

平成 29 年 度

# 高知医療センター一年報

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター



## 目 次

はじめに ー病院長あいさつー	1	
I 病院の概要		
1 高知医療センターの理念及び基本方針、患者さんの権利章典	3	
2 高知医療センターの概要	4	
3 沿革	5	
4 高知県・高知市病院企業団体制	10	
5 職員数と診療体制		
(1) 職員・職種別現員表	11	
(2) 診療体制	11	
(3) 経営分析に関する調	13	
6 施設基準	15	
7 財務の状況	20	
II 各診療科資料		27
III 各委員会資料		57
IV クリニカルインディケータ		
1 退院患者数		
(1) 診療科別・性別退院患者数	65	
(2) 診療科別・在院期間別・性別退院患者数	66	
(3) 診療科別・性別・在院日数の平均	69	
(4) 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数	70	
(5) 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均	73	
(6) 大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	76	
(7) 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	79	
(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院患者数 ・平均年齢・在院日数の平均	97	
2 外来患者数	138	
3 疾病分類別統計		
全科疾病分類別上位頻度表	139	
4 DPC 統計		
(1) MDC 別退院患者数	143	
(2) 在院期間別退院患者数	144	
(3) MDC 別・年齢別・性別退院患者数	145	
(4) MDC 別退院患者・救急搬送数	146	

(5) 診療科別診断群分類（DPC）上位頻度表	147
(6) 退院後の患者の動向（退院先）	155
5 悪性新生物統計	
(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数	156
(2) 悪性新生物による死亡患者数	163
6 死亡患者統計	
(1) 科別死亡率	164
(2) 死亡患者数	165
(3) 死亡患者数の割合	166
(4) 年齢別死亡患者数	167
(5) 死亡患者疾病順位表＜性別・年齢別＞	169

## はじめに

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 病院長 島田 安博

平成 29 年度高知医療センター年報が完成いたしました。

平成 29 年度は平成 17 年 3 月の開院から 13 年目となります。平成 29 年 4 月に病院本院の西側に 4 階建ての「がんサポートセンター」が竣工し、さらに 11 月には「患者支援センター」が整備されました。平成 30 年 4 月からの「こころのサポートセンター」での成人精神科患者の入院受入れが確定し、高知大学精神科教室から 3 名の先生を派遣していただくことになりました。

当センターの特徴である 6 つのセンター機能は、救命救急、循環器病、がん、総合周産期母子医療、こころのサポート（精神科医療）と地域医療連携であります。がんについては、放射線治療、PET 診断、抗がん剤治療、緩和ケアの手術以外のがん治療を「がんサポートセンター」として集約することができました。また、待機手術患者に対して、術前から多職種によるチーム医療で対応することにより、安全で合併症の少ない手術治療を行い、早期に社会復帰を目指す「患者支援センター」が始まりました。

高度急性期病院として、救急患者の受入れ、高度専門医療の提供、そして患者さんの生活の場である地域への退院、継続診療のための医療連携を確立、維持することがますます重要となってきています。この分野では、高知県全体の高齢化、人口減少が現実的に影響を及ぼしてきています。ここ 10 年間で 10 万人の人口減少が報告され、毎年 1 万人減という想定以上の変化が見られています。この変化に対応するために医療連携、医療機関の役割分担、医療制度の変化などについて、県民市民への適切な情報提供が重要になります。

平成 29 年度年報には、高知医療センターの診療実績とその解析、年次推移、クリニカル・インディケーターなども掲載しており、今後の当センターの方向性を検討する際の基礎的データになります。さらに、公的病院が担うべき社会保障的医療（救命救急、周産期母子、精神、希少疾患など）についても、持続的に維持することが必要であり、重要な資料になります。

年報に掲載された各種のデータは、高知医療センターを受診してくれた患者さん、ご紹介していただいた医療機関と、当センター全職員が協力して作り上げた貴重な生きたデータです。高知医療センターの診療の質をさらに向上させ、県民、市民の皆様のご期待に沿えるよう、職員一同で努力してまいりますので、今後とも皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



# I 病院の概要



# 高知医療センターの理念及び基本方針

【理 念】 医療の主人公は患者さん

【基本方針】

- 1 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を实践します
  - 患者さんの人間性を尊重し、十分な説明を行うことで、患者さんの理解をもとにした診療を实践します。
  - 患者さんのプライバシーを守り、安全で質の高い療養環境を提供します。
  - チーム医療を推進し、患者さんの心と体の痛みを和らげるように努め、一日も早い日常生活への復帰を目指します。
- 2 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します
  - 医療や保健・福祉の向上のため、地域の病院や診療所、関係機関との連携を強化します。
  - 高度な医療機器を備えて、高度で先進的な医療を提供します。
  - 365日24時間体制で救急患者を受け入れます。
- 3 自治体病院としての使命を果たします
  - 基幹災害拠点病院として、大地震などの災害時にも医療機能が發揮できる病院にします。
  - 地域で不足する医療の確保に努めます。
  - 医療福祉職、学生などの教育・研修に力を入れ、今後の医療・保健・福祉を担う人材を育てます。
- 4 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします
  - 高知医療センターに関わるすべての職員が、誇りと向上心を持ち、総力を挙げて患者さんの立場に立った医療を提供するための資質向上に取り組みます。
  - 医学、看護学、薬学、栄養学などの臨床研究に力を入れ、職員のキャリア形成を支援します。
- 5 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します
  - モラルを守り、公正で開かれた病院を目指します。
  - 効率的な病院運営に努め、健全な経営を实践します。

## 患者さんの権利章典

患者さんには「受ける権利」「選べる権利」「守られる権利」の3つの権利があります。

### 1 「受ける権利」

- ① 患者さんは、ご自身の病気について最善の医療を受ける権利があります。
- ② 患者さんは、経済的・社会的地位、年齢、性別、病気の種類などにかかわらず、公平な医療を受ける権利があります。
- ③ 患者さんは、原則としてご自身の正確な病状や治療・経過を知る権利があります。
- ④ 患者さんは、病気に立ち向かうための支援を受ける権利があります。あらゆるご相談は、1階の [まごころ窓口] へお寄りください。
- ⑤ 患者さんは、病気に立ち向かうために自ら学ぶ機会を提供される権利があります。どなたでも病気についての知識を深めるため、2階の [なるほどライブラリ] をご利用いただけます。

### 2 「選べる権利」

- ① 患者さんは、検査、治療法、病気の見通しなどについて、わかりやすい言葉で納得できるまで説明を受け、そのうえで自らの生き方に沿って治療方法などを選択する権利があります。
- ② 患者さんは、病状や治療法などについて担当医以外の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めたうえで、治療方法などを選択する権利があります。
- ③ 患者さんは、正しい病名を告知される権利がありますが、一方、告知されない権利もあり、このいずれかを選ぶことができます。
- ④ 患者さんは、判断する能力が失われたような場合にそなえて、治療法などについて、あらかじめ明らかにしておく権利があります。
- ⑤ 患者さんは、法律が許す範囲で治療を拒絶する権利があります。またその場合には、医学的にどのような結果になるかを知る権利もあります。

### 3 「守られる権利」

- ① 患者さんは、病気を克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重され、守られる権利があります。
- ② 患者さんは、医療が実践されるあらゆる場面で、ご自身の個人情報第三者の目に触れることのないように配慮され、守られる権利があります。
- ③ 患者さんは、法令に基づく場合以外においては、本人の同意がなければ個人情報が関与する医療従事者以外に開示されないよう、守られる権利があります。
- ④ 患者さんは、医療に関係するすべての記録などが守秘されることを期待する権利があります。
- ⑤ 患者さんは、診断・治療データなどが研究・発表などに使われる際には、当院の定めるところによりプライバシーが守られる権利があります。

## 2 高知医療センターの概要

H29.4.1 現在

名称	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
開設者 病院長	企業長 古味 勉 病院長 島田 安博
住所	〒781-8555 高知市池 2125 番地 1
連絡先	TEL : 088-837-3000 FAX : 088-837-6766
ホームページ	URL : <a href="http://www.khsc.or.jp">http://www.khsc.or.jp</a>
E-mail	khsc0001@khsc.or.jp
許可病床数	一般 588 床 結核 20 床 感染 8 床 精神 44 床 計 660 床 内 救命救急 20 (ICU 8 CCU 4 HCU 8) 院内 ICU 8 NICU 12 後方 15 小児 32 産科 34 MFICU 3 (LDR 3) 開放病棟 10 6F SCU 10 HCU 12 特別室 19,440 円 (9 床) 9,720 円 (133 床)
特殊病床	人工透析 9 床 (許可病床数に含まず)
施設概況	敷地面積 約 52,000 m <sup>2</sup> 延床面積 本 館 : 約 67,400 m <sup>2</sup> 精神科病棟 : 約 2,800 m <sup>2</sup> がんセンター棟 : 約 3,600 m <sup>2</sup> ドクターヘリ棟 : 約 1,600 m <sup>2</sup> 構造 本 館 : 鉄骨鉄筋コンクリート造 (基礎免震工法) 精神科病棟、がんセンター棟 : 鉄筋コンクリート造 ドクターヘリ棟 : 鉄骨造 階数 本 館 : 地上 12 階 搭屋 1 階 精神科病棟 : 地上 2 階 搭屋 1 階 がんセンター棟 : 地上 4 階 ドクターヘリ棟 : 地上 3 階 高さ 地上 58.5m 駐車場 約 560 台 (患者さん・見舞い客用) 身障者用 15 台、救外用 14 台
診療科目 (41)	総合診療科、精神科、心療内科、リハビリテーション科、地域医療科、 血液内科・輸血科、糖尿病・内分泌内科、放射線療法科、緩和ケア内科、 腫瘍内科、ペインクリニック科、放射線科、検査診断科、病理診断科、 画像診断科、感染症科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、 呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、心臓血管外科、消化器内科、 消化器外科・一般外科、泌尿器科、腎臓内科・膠原病科、移植外科、 婦人科、産科、生殖医療科、小児科、小児外科、救命救急科、集中治療科、 麻酔科、皮膚科、整形外科、形成外科、乳腺・甲状腺外科
外来診療時間	8 時 30 分から 12 時、13 時から 16 時 30 分 受付 : 診療開始時間及び診療終了時間の 30 分前まで 休診 : 土・日・祝日・年末年始 (12/29~1/3)
職員数 (別掲)	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 医療技術 事務 その他
その他	臨床研修指定病院 救急告示病院 (平成 17 年 2 月 26 日指定) 総合周産期母子医療センター (平成 17 年 2 月 26 日指定) 救命救急センター (平成 17 年 3 月 25 日指定) 基幹災害拠点病院 第 1 種感染症指定病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院

### 3 沿 革

高知医療センターの前身の高知県立中央病院は、昭和23年5月1日に開院、昭和41年に桜井町に移転し、地域がん診療拠点病院、臨床研修拠点病院、救急病院などの機能を持ち、良質な医療を提供する病院として運営してきた。一方、高知市立市民病院は明治26年に市立伝染病隔離病舎として発足した。明治31年高知市丸の内に移転、市立伝染病院として開設、昭和24年高知市立厚生病院と改称、さらに昭和25年高知市立市民病院と改称し、昭和44年潮江市民病院を統合し高知市立市民病院として、救急病院、開放型病院、オーダーリングシステムなどの機能を持ち、同じく良質な医療を提供してきた。

しかし、県民の医療に対するニーズが多様化・高度化する中で、両病院はともに施設の老朽化、狭隘化が著しく、十分な診療機能の発揮が困難となり、両病院の整備に医療法などの制約のもと、統合整備することにより、そのスケールメリットを生かすことで機能の充実が図ることができ、医療資源の効率的な活用や住民に高度医療を提供できる病院として、平成17年に高知県・高知市病院企業団立高知医療センターとして開院した。

平成2年9月（県議会）：高知県立中央病院の移転整備の検討を知事が表明

平成3年3月：（社）病院管理研究協会に県立中央病院の整備に関する基本調査を委託、「中央病院整備基本調査」が提出

平成3年8月：（社）病院管理研究協会、コンピューターシステム研究所に高知市立市民病院の現状分析、将来構想、業務改善などの基本調査を依頼

平成4年4月：高知市立市民病院分析基本調査報告、病院情報システム化計画調査分析開始

平成5年2月：県議会；高知県知事橋本大二郎「統合について市と協議したい」と申し入れ

平成5年4月：高知市立市民病院業務改善推進委員会発足

平成5年5月：高知県医務課、病院局、高知市の事務レベル協議会開始（5回）

平成6年4月：高知市立市民病院歯科オーダーリングシステム稼働

平成6年6月：医療システム科学研究所に「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合基本調査」を委託

平成6年9月：「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合検討委員会」発足

この委員会の委員は県・市医師会代表、県・市事務職員、両病院院長・副院長、関連6大学（中央病院は岡山大学、自治医大、市民病院は徳島大学、高知医大（耳鼻科）、京都大学（外科、胸部外科）、三重大学（心臓外科））の専門委員で構成された。

平成6年10月：高知市立市民病院病棟オーダーリングシステム稼働

平成6年11月：高知県立中央病院；「高知県立中央病院事業経営改善実施計画」提出

平成6年11月：高知市立市民病院；「市民病院自主健全化計画」発足

平成7年2月：県・市統合検討委員会の検討結果；『各々単独で整備するよりも両病院を統合して整備する方が、県民・市民に対する医療面の貢献が大きいことから、

課題を解決して統合を推進すべき』

- 平成7年7月：市議会；「市民病院対策特別委員会」設置
- 平成7年8月：県・市各々が世論調査を実施（県：1000人、市：1000人を対象）
- 平成7年11月：高知市立市民病院外来オーダーリングシステム稼働
- 平成7年12月：世論調査公表（過半数は統合に賛成）
- 平成8年4月：「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合問題合同検討チーム」発足
- 平成8年5月：県議会；「病院統合問題調査特別委員会」設置
- 平成8年12月：市議会；「病院統合問題調査特別委員会」の報告；『両病院の今後を検討した結果、統合整備し、統合的かつ高度な診療機能を有し、将来の医療の進歩と多様化に対応できる県下の基幹病院を新たに整備し、その整備の主体として高知県と高知市により新に一部事務組合が設立すべき』
- 平成9年1月：「統合病院立地場所合同研究チーム」発足
- 平成9年12月：市議会；「新病院は統合して池地区に立地すべき」で承認
- 平成10年4月：高知県・高知市新病院整備推進室を設置
- 平成10年6月：新病院整備基本計画検討委員会が発足
- 平成10年11月：高知県・高知市病院組合（一部事務組合）設立
- 平成11年3月：新病院整備基本計画策定
- 平成11年3月30日の高知新聞：「県、高知市に基本計画提出 整備事業本格スタートへ」と掲載
- 平成11年7月：法律第117号（PFI法）第6条「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」が発令
- 平成12年4月1日：基本設計業務開始
- 平成12年12月22日：新病院実施設計ワーキング・グループ；両病院において発足
- 平成13年1月：統合新病院整備推進要綱策定、推進体制の確立、実施設計業務開始
- 平成13年2月：統合新病院推進事業へのPFI手法の導入開始
- 平成13年2月21日：（仮称）高知県・高知市新病院整備運営事業「実施方針」策定・公表
- 平成13年3月：公募により名称を「高知医療センター」に決定
- 平成13年4月：新病院開設許可、地方公営企業法一部適用
- 平成13年5月：「高知医療センターPFI事業化検討委員会」設置（高知県・高知市）
- 平成13年6月：「統合情報システム基本計画策定プロポーザル審査委員会」発足
- 平成13年8月：「高知医療センターPFI事業化検討委員会」中間答申（高知県・高知市）
- 平成13年9月：「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定業務委託企業選定特定企業選定
- 平成13年9月15日：「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定
- 平成13年9月27日：高知医療センター整備運営事業にかかる特定事業の選定・公表
- 平成13年10月：「高知医療センター整備運営事業PFIプロポーザル審査委員会」発足
- 平成13年11月1日：本事業を実施する民間事業者の1次募集要項の公表・開始  
事業に参加を希望する事業者の事前登録の実施

(登録期間：13.11.1～14.1.16、277社登録)

- 平成13年12月：1次審査実施(12.5～12.6) 応募4グループ全員合格
- 平成14年1月16日：県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
- 平成14年3月2日：「高知医療センター統合情報システム評価委員会」設置
- 平成14年3月15日：本事業を実施する民間事業者の2次募集要項の公表・開始
- 平成14年3月29日：「高知医療センター統合情報システム基本計画」策定
- 平成14年5月27日：県医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
- 平成14年6月24日：市医師会、県の健康福祉部と病院組合との「統合病院の医療の在り方」について意見交換会
- 平成14年7月：2次審査実施(7.27～7.29)、最優秀提案者オリックスグループを選出
- 平成14年8月9日：高知医療センター整備運営事業にかかる優先交渉権者、次点者の決定・契約交渉開始、優先交渉権者：オリックスグループ、次点者：三井物産グループ
- 平成14年9月2日：「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の設置
- 平成14年10月7日：「高知医療センター統合情報システム評価委員会」の提言書
- 平成14年10月24日：PFI基本協定の締結
- 平成14年10月30日：SPC(「高知医療ピーエフアイ株式会社」)設立
- 平成14年12月8日：PFI事業契約の締結(平成44年3月事業の終了)  
高知医療センター新築工事「起工式」
- 平成15年2月25日：IT基本協定締結
- 平成15年3月11日：病院組合業務システム開発整備委託契約締結
- 平成15年3月28日：SPC業務システム開発整備・運営保守管理および病院組合業務システム運営保守管理委託契約締結
- 平成15年4月1日：両病院で、1患者1診療録開始
- 平成16年4月1日：高知県・高知市病院組合が運営母体となり、従来の高知県立中央病院は高知県・高知市病院組合立高知中央病院、高知市立市民病院は高知県・高知市病院組合立高知市民病院と名称を変更
- 平成16年12月11日：統合情報システム総合リハーサル開始(5回)
- 平成17年2月13日：高知医療センター開院式、ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所式
- 平成17年2月19日：両病院から高知医療センターへ物品移転開始
- 平成17年2月21日：両病院外来診療休診(～2.28)
- 平成17年2月25日：ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所
- 平成17年2月26日：両病院から高知医療センターへ患者移送
- 平成17年2月26日：高知医療センター開設
- 平成17年2月26日：へき地医療拠点病院に指定される

平成 17 年 2 月 26 日：エイズ治療拠点病院に指定される  
平成 17 年 2 月 26 日：第 1 種感染症指定医療機関に指定される  
平成 17 年 2 月 26 日：総合周産期母子医療センターに指定される  
平成 17 年 3 月 1 日：外来診療開始  
平成 17 年 3 月 1 日：高知県・高知市病院企業団設立（地方公営企業法全部適用）、正式病院  
名称を『高知県・高知市病院企業団立高知医療センター』と変更して開院  
平成 17 年 3 月 25 日：救命救急センターに指定される  
平成 19 年 4 月 25 日：地域医療支援病院に指定される  
平成 19 年 7 月 1 日：DPC 準備病院に承認される  
平成 20 年 2 月 8 日：地域がん診療連携拠点病院に指定される  
平成 21 年 2 月 16 日：日本医療機能評価機構認定病院として認定される  
平成 21 年 4 月 1 日：DPC 対象病院に指定される  
平成 21 年 12 月 17 日：高知医療センター P F I 事業契約解約合意に係る確認書を締結  
平成 22 年 3 月 11 日：高知医療センター整備運営事業契約解約合意書を締結  
平成 22 年 3 月 31 日：高知医療センター整備運営事業 P F I 事業契約終了  
平成 22 年 8 月 12 日：欧州型ドクターカー（Fast Medical Response Car）の導入  
平成 22 年 11 月 17 日：高知女子大学（現高知県立大学）と包括的連携に関する協定締結  
平成 23 年 3 月 12 日：高知県ドクターヘリの導入  
東日本大震災のため高知県ドクターヘリにて D M A T 派遣  
平成 23 年 5 月：「こころのサポートセンター（精神科病棟）」新築工事起工式  
平成 24 年 2 月：統合情報システム（I I M S）更新  
平成 24 年 3 月：「くじらネット」による電子カルテの地域公開開始  
平成 24 年 4 月：「こころのサポートセンター（精神科病棟）」新設  
平成 24 年 4 月：基幹災害拠点病院に指定される  
平成 8 年 12 月 19 日に高知県立中央病院が指定された「基幹災害医療センター」の名称変更  
平成 24 年 5 月：ドクターヘリ場外離着陸場設置  
平成 24 年 10 月：S C U 新設（3 床）  
平成 25 年 1 月：結核病床（30 床）廃止  
平成 25 年 4 月：N I C U 増床（3 床：計 12 床）、S C U 増床（3 床：計 6 床）、H C U 新設（12 床）  
平成 26 年 3 月：日本医療機能評価機構による「病院機能評価付加機能認定証（救急医療機能）」の交付  
平成 26 年 7 月：ハイブリッド手術室新設  
平成 26 年 10 月：一般病床（周産期関係）増床（4 床：計 30 床）  
平成 27 年 2 月：G C U 増床（3 床：計 15 床）  
平成 27 年 3 月：S C U 増床（4 床：計 10 床）

平成 27 年 5 月：開院 10 周年記念行事

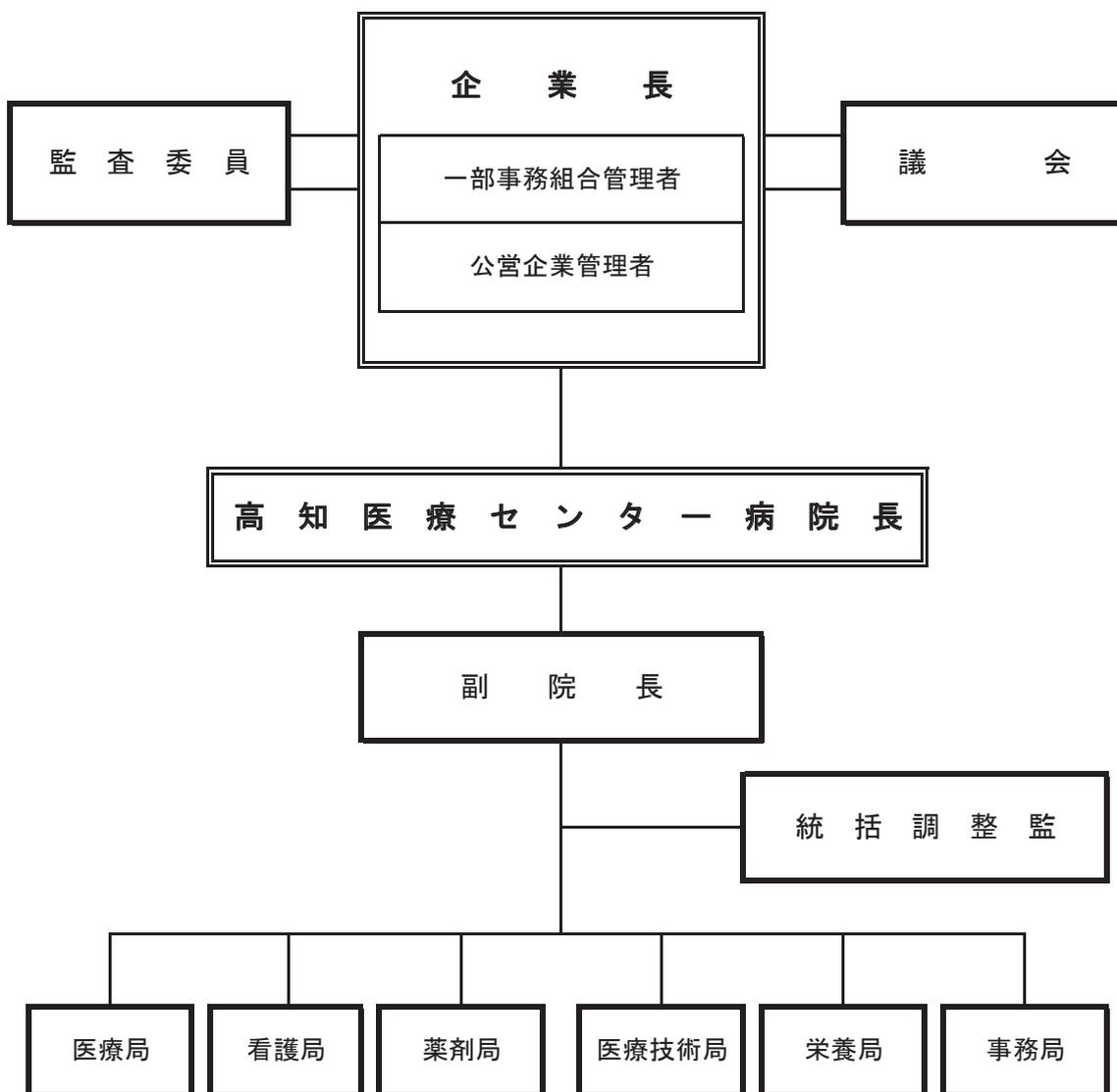
平成 27 年 11 月：「新がんセンター（仮称）」新築工事起工式

平成 28 年 4 月：熊本地震にDMAT3 隊派遣

平成 29 年 3 月：「がんサポートセンター」新設

平成 29 年 11 月：「患者支援センター」新設

## 4 高知県・高知市病院企業団体制



○ 6つのセンター機能

「がんセンター」

「循環器病センター」

「地域医療センター」

「救命救急センター」

「総合周産期母子医療センター」

「こころのサポートセンター」

## 5 職員数と診療体制

### (1) 職員・職種別現員表

正職員数

所属	職種	平成28年4月1日		平成29年4月1日	
		人数	備考	人数	備考
医療局	医師	135		140	
	歯科医師	4		4	
	臨床工学技士	14		15	
看護局	看護師	705	助産師含む	726	助産師含む
薬剤局	薬剤師	28		29	
医療技術局	放射線技師	28		31	
	臨床検査技師	23		21	
	理学療法士	13		13	
	歯科衛生士	2		3	
	視能訓練士	2		2	
	言語聴覚士	4		4	
	臨床心理士	2		2	
	作業療法士	4		4	
栄養局	管理栄養士	8		9	
事務職等	行政職	34	縣市派遣職員含む	34	縣市派遣職員含む
	診療情報管理士	8		8	
	MSW	10		10	
	司書	1		1	
	医療情報事務	2		2	
	電気	1		1	
合計		1,028		1,059	

### (2) 診療体制

看護職員配置数(病棟看護師のみ)

平成29年4月1日現在

階	フロア	病床分類	許可 病床数	有効 病床数	看護師
2F	なごやか	精神	44	44	15
3F		救命救急	20	20	45
		院内ICU	8	8	30
4F	すこやかA	NICU	12	12	31
		GCU	15	15	18
	一般	32	32	28	
	すこやかB	MFICU	3	3	8
一般		30	30	30	
5F	ほがらかA	一般	48	48	32
		一般	48	48	34
6F	にこやかA	一般	48	48	32
		SCU	10	10	20
		HCU	12	12	25
7F	のびやかA	一般	48	48	33
	のびやかB	一般	48	48	30
8F	さわやかA	一般	40	40	休床中
	さわやかB	一般	48	48	31
9F	おだやかA	一般	48	48	33
	おだやかB	一般	40	40	31
10F	あたたかA	一般	30	30	26
		結核	20	20	
		一般	2	2	
	あたたかB	二類感染症	6	6	
合計			660	660	532

病床数

			平成28.4.1～					平成29.4.1～								
			許可 病床数	有効 病床数		一般病 棟病床 数 (病床 利用率 分母)	その他 病床数	施設基 準上の 一般病 床数	一般 病床数 (運用 病床数)	許可 病床数	有効 病床数		一般病 棟病床 数 (病床 利用率 分母)	その他 病床数	施設基 準上の 一般病 床数	一般 病床数 (運用 病床数)
2F	なごやか	精 神	44	44	44		44		44	44	44		44			
		児童・思春期														
3F		救命救急	20	20	28		20		20	20	28		20	20		
		院内ICU	8	8			8		8	8			8	8		
4F	すこやかA	N I C U	12	12	59		12		12	12	59		12	12		
		G C U	15	15			15		15	15			15	15		
		小児入院	32	32			32		32	32			32	32		
	すこやかB	M F I C U	3	3		33		3		3		3	33		3	3
一 般		30	30		30			30	30		30	30				
5F	ほがらかA	一 般	48	48	48	48		48	48	48	48	48	48	48		
	ほがらかB	一 般	48	48	48	48		48	48	48	48	48	48	48		
6F	にこやかA	一 般	48	48	48	48		48	48	48	48	48	48	48		
	にこやかB	一 般	12	12	12		12		12	12	12		12	12		
		S C U	10	10	10		10		10	10	10		10	10		
7F	のびやかA	一 般	48	48	48	48		48	48	48	48	48	48	48		
	のびやかB	一 般	48	48	48	48		48	48	48	48	48	48	48		
8F	さわやかA	一 般	40	40	40	40		40	40	0	0	0	0	0		
	さわやかB	一 般	48	48	48	48		48	48	48	48	48	48	48		
9F	おだやかA	一 般	48	48	48	48		48	48	48	48	48	48	48		
	おだやかB	一 般	40	40	40	40		40	40	40	40	40	40	40		
10F	あたたかA	一 般	30	30	30	30		30	30	30	30	30	30	30		
		結 核	20	20	20		20		20	20	20		20			
	あたたかB	感 染 症	8	8	8	6	2	6		8	8	8	6	2	6	
合 計			660	660		514	146	482	588	660	620		474	146	442	548

(3) 経営分析に関する調(決算統計検収調書より)

区 分		算 式	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	類似規模 全国平均 (H28年度)		
病 床	病床利用率(%)	一 般	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	87.0	85.5	80.1	80.4	80.1	
		結 核	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	11.7	6.7	4.5	5.4	22.8	
		精 神	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	(36.2) 17.6		(25.6) 8.2	(35.1) 11.2	59.7	
		伝 染	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$						
		計	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	(81.8) 78.9	77.2	(75.5) 72.0	(76.0) 72.5	78.1	
患 者 数	1日平均患者数  (人)	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{365日 \cdot 366日}$	514.4	509.2	475.4	478.8	481.0	
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	845.1	838.8	842.3	831.0	1,117.0	
		計		1,359.5	1,348.0	1,317.7	1,309.8	1,598.0	
	外来入院比率(%)		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	109.8	109.4	117.9	116.0	158.5	
	医師1人1日当 たり患者数	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.8	3.7	3.4	3.4	3.3	
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	4.1	4.1	4.0	4.0	5.2	
		計		7.9	7.8	7.4	7.4	8.5	
	収 入	職員1人1日当た り診療収入(円)	医 師	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延医師数}}$	342,490	347,427	344,915	350,533	289,737
			看護職員	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延看護師数}}$	68,390	67,899	68,401	80,684	68,651
		患者1人当たり	入 院	投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延入院患者数}}$	1,782	2,043	2,155	2,255
処置・手術				$\frac{\text{処置手術収入}}{\text{年延入院患者数}}$	26,684	27,335	28,833	28,827	16,908
検 査				$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延入院患者数}}$	897	935	986	969	973
放 射 線				$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延入院患者数}}$	571	535	564	575	544
そ の 他				$\frac{\text{その他入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	45,219	45,506	48,000	48,576	40,184
計				$\frac{\text{入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	75,153	76,352	80,539	81,202	60,897
診療収入(円)				外 来	投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延外来患者数}}$	4,706	5,554	6,156
		検 査	$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延外来患者数}}$		3,531	3,715	4,118	3,973	3,520
		放 射 線	$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延外来患者数}}$		2,887	2,780	3,081	3,257	2,588
		そ の 他	$\frac{\text{その他外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$		3,198	3,371	3,736	3,518	4,241
		計	$\frac{\text{外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$		14,322	15,420	17,091	17,917	16,936

※ 「病床利用率」欄の( )書きは、稼働病床における稼働病床利用率。

区 分		算 式		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	類似規模 全国平均 (H28年度)
費 用	患者1人1日当たり薬品費(円)		$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	5,798	6,570	6,896	7,105	5,113
	入院患者1人1日当たり給食材料費(円)		$\frac{\text{患者用給食材料費}}{\text{年延入院外来患者数}}$					
	薬品使用効率(%)	投 薬	$\frac{\text{投 薬 薬 品 収 入}}{\text{投薬用薬品払出金額}} \times 100$	41.9	49.1	50.7	51.8	108.5
		注 射	$\frac{\text{注 射 薬 品 収 入}}{\text{注射用薬品払出金額}} \times 100$	60.2	60.9	64.9	72.5	92.4
費 用 構 成	医業収益に対する 割 合(%)	職員給与費	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	47.5	49.7	48.6	50.9	50.8
		薬 品 費	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	12.6	13.9	14.0	14.2	14.3
		その他の材料費	$\frac{\text{そ の 他 医 療 材 料 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	16.2	16.2	15.5	15.7	12.6
職 員 数	病床100床  当たり職員数	医 師	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	20.2	20.5	20.9	20.8	22.9
		看護部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	102.0	104.5	104.7	109.4	99.2
		薬剤部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.9	3.8	4.2	4.2	4.6
		事務部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	4.8	5.5	5.6	5.6	11.9
		給食部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	1.4	1.4	1.4	1.4	2.1
		放射線部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.8	3.9	3.3	4.7	4.8
		臨床検査部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.3	3.5	4.2	3.2	6.0
		そ の 他	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	5.5	5.2	5.9	6.2	10.7
		計	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	144.8	148.2	150.2	155.5	162.2
検 査 薬 品	診療収入に対する 割 合(%)	検 査 収 入	$\frac{\text{検 査 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	5.3	5.4	5.8	5.5	7.5
		放射線収入	$\frac{\text{放 射 線 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	4.1	3.8	4.2	4.3	5.3
		薬 品 収 入	$\frac{\text{薬 品 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	7.6	8.7	9.4	10.4	14.5
室 料 差 額	1人1日当たり	個 室	最高	19,440	19,440	19,440	19,440	
			最低	9,720	9,720	9,720	9,720	
	徴 収 額(円)	2人以上室	最高					
			最低					
	室料差額対象病床数/総病床数(%)				21.6	21.5	18.9	18.9

類似規模全国平均は地方公営企業年鑑 第2編 統計資料 6病院事業 (12)経営分析に関する調イ 経営規模別 (ウ)全事業 における 500床以上データから抜粋

## 6 施設基準

平成30年3月31日現在

	届 出 項 目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成22年4月
	歯科外来診療環境体制加算	平成20年7月
	歯科診療特別対応連携加算	平成22年4月
	一般病棟入院基本料	平成20年7月
	結核病棟入院基本料	平成20年7月
	精神病棟入院基本料	平成24年3月
	総合入院体制加算	平成20年8月
	超急性期脳卒中加算	平成20年4月
	診療録管理体制加算	平成17年2月
	医師事務作業補助体制加算	平成21年5月
	急性期看護補助体制加算	平成23年2月
	看護職員夜間配置加算	平成28年7月
	看護補助加算	平成24年5月
	療養環境加算	平成20年3月
	重症者等療養環境特別加算	平成19年2月
	無菌治療室管理加算	平成24年4月
	緩和ケア診療加算	平成23年2月
	精神科応急入院施設管理加算	平成24年4月
	精神病棟入院時医学管理加算	平成24年4月
	精神科リエゾンチーム加算	平成28年4月
	栄養サポートチーム加算	平成22年6月
	医療安全対策加算	平成20年4月
	感染防止対策加算	平成22年4月
	患者サポート体制充実加算	平成24年4月
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成19年1月
	ハイリスク妊婦管理加算	平成20年4月
	ハイリスク分娩管理加算	平成20年4月
	精神科救急搬送患者地域連携受入加算	平成24年5月
	データ提出加算	平成24年4月
	退院支援加算	平成28年10月
	認知症ケア加算	平成28年4月
	精神疾患診療体制加算	平成28年4月
	地域歯科診療支援病院入院加算	平成20年4月
	救命救急入院料	平成22年4月
	特定集中治療室管理料	平成17年2月
	ハイケアユニット入院医療管理料	平成25年6月
	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	平成24年12月
	総合周産期特定集中治療室管理料	平成19年4月

	届 出 項 目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	新生児治療回復室入院医療管理料	平成22年5月
	一類感染症患者入院医療管理料	平成17年5月
	小児入院医療管理料 2	平成22年4月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	高度難聴指導管理料	平成17年2月
	糖尿病合併症管理料	平成20年4月
	がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年4月
	がん患者指導管理料	平成26年4月
	外来緩和ケア管理料	平成24年4月
	移植後患者指導管理料	平成26年4月
	糖尿病透析予防指導管理料	平成24年4月
	院内トリアージ実施料	平成25年5月
	外来放射線照射診療料	平成25年6月
	ニコチン依存症管理料	平成18年4月
	開放型病院共同指導料	平成17年2月
	がん治療連携計画策定料	平成22年4月
	薬剤管理指導料	平成17年2月
	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年6月
	医療機器安全管理料 1	平成20年4月
	医療機器安全管理料 2	平成20年4月
	医療機器安全管理料（歯科）	平成20年4月
	歯科治療総合医療管理料	平成18年4月
	持続血糖測定器加算	平成26年4月
	遺伝学的検査	平成30年1月
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成22年4月
	検体検査管理加算（Ⅰ）	平成20年4月
	検体検査管理加算（Ⅱ）	平成22年4月
	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成20年4月
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成28年4月
	ヘッドアップティルト試験	平成24年4月
	皮下連続式グルコース測定	平成22年4月
	コンタクトレンズ検査料 1	平成18年4月
	小児食物アレルギー負荷検査	平成26年5月
	内服・点滴誘発試験	平成22年4月
	センチネルリンパ節生検（片側）	平成22年4月
	画像診断管理加算 1	平成17年2月
	遠隔画像診断	平成17年2月
ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	平成29年4月	
CT撮影及びMRI撮影	平成17年2月	

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	冠動脈C T撮影加算	平成22年4月
	心臓MRI撮影加算	平成20年4月
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年4月
	外来化学療法加算 1	平成20年4月
	無菌製剤処理料	平成17年2月
	心大血管疾患リハビリテーション料 (I)	平成22年4月
	脳血管疾患等リハビリテーション料 (II)	平成25年4月
	運動器リハビリテーション料 (I)	平成23年5月
	呼吸器リハビリテーション料 (I)	平成22年7月
	リンパ浮腫複合的治療料	平成28年4月
	歯科口腔リハビリテーション料 2	平成26年4月
	児童・思春期精神科専門管理加算	平成28年4月
	抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	平成24年4月
	医療保護入院等診療料	平成24年4月
	処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年4月
	イソールの局所注入 (甲状腺に対するもの)	平成17年3月
	イソールの局所注入 (副甲状腺に対するもの)	平成17年3月
	透析液水質確保加算	平成22年4月
	う蝕歯無痛的窩洞形成加算	平成20年4月
	CAD/CAM冠	平成26年4月
	歯科技工加算	平成22年4月
	組織拡張器による再建手術 (一連につき) (乳房 (再建手術) の場合に限る。)	平成25年10月
	骨移植術 (軟骨移植術を含む。)(同種骨移植 (非生体) (同種骨移植 (特殊なものに限る。)))	平成29年4月
	脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成17年2月
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型 (拡大副鼻腔手術)	平成26年4月
	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉)、内視鏡下副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術	平成28年4月
	乳腺悪性腫瘍手術 (乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算 2 を算定する場合に限る。)	平成22年4月
	乳腺悪性腫瘍手術 (乳頭乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳頭乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))	平成28年4月
	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)	平成25年10月
	経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	平成17年11月
	経カテーテル大動脈弁置換術	平成26年12月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成17年2月

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成17年2月
	植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極 除去術	平成17年2月
	両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能 付き植込型除細動器交換術	平成20年4月
	大動脈バルーンポンピング法（IABP法）	平成17年2月
	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	平成26年4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	平成26年4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪 性腫瘍手術	平成26年4月
	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を 伴うものに限る。）	平成28年4月
	体外衝撃波胆石破碎術	平成24年12月
	腹腔鏡下肝切除術	平成24年4月
	体外衝撃波膵石破碎術	平成26年4月
	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成24年4月
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年4月
	腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成23年2月
	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	平成20年2月
	腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔 鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	平成23年2月
	同種死体腎移植術	平成20年4月
	生体腎移植術	平成20年4月
	腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	平成26年4月
	膀胱水圧拡張術	平成22年4月
	腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	平成26年4月
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成24年4月
	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	平成26年4月
	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	平成23年2月
	手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年4月
	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	平成26年4月
	輸血管理料 I	平成20年8月
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年4月
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年4月
	歯周組織再生誘導手術	平成20年4月
	手術時歯根面レーザー応用加算	平成22年4月
	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成25年11月
	麻酔管理料（I）	平成17年2月
	麻酔管理料（II）	平成22年4月
	放射線治療専任加算	平成17年2月
	外来放射線治療加算	平成20年4月

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	高エネルギー放射線治療	平成17年2月
	1回線量増加加算	平成26年4月
	強度変調放射線治療（IMRT）	平成29年11月
	画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成29年11月
	体外照射呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	定位放射線治療	平成17年2月
	病理診断管理加算	平成26年4月
	口腔病理診断管理加算	平成26年4月
	クラウン・ブリッジ維持管理料	平成17年2月
保険外併用療養費	特別の療養環境の提供	平成17年2月
	初診等の保険外併用療養費	平成17年2月
	180日を超える入院	平成17年2月
	齲蝕に罹患している患者の指導管理	平成17年2月
	金属床による総義歯の提供	平成17年2月
	急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	平成24年10月
入院時食事療養の基準	入院時食事療養費(1)	平成17年2月

## 7 財務の状況

### 1 損益状況(25年度～29年度)

(単位:円, %)

区 分 年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
経 常 収 益 (a)	20,691,290,669	22,293,273,542	22,052,079,818	22,589,781,947	22,833,508,575
うち 医 業 収 益 (b)	17,069,780,256	17,731,951,023	18,039,316,611	18,202,598,226	18,539,384,995
うち 料 金 収 入 (c)	16,465,099,441	17,063,895,502	17,373,103,215	17,474,076,690	17,822,832,834
うち 他 会 計 繰 入 金 (d)	3,053,542,018	2,992,128,700	2,364,160,748	2,483,178,619	2,458,873,571
経 常 費 用 (e)	20,528,030,708	20,996,327,448	21,979,428,450	22,065,975,420	22,488,069,111
うち 医 業 費 用 (f)	19,387,013,041	19,556,181,838	20,550,013,413	20,548,308,254	21,002,833,106
うち 職 員 給 与 費 (g)	9,361,873,173	8,934,318,117	9,482,150,096	9,454,814,252	9,699,377,944
うち 材 料 費 (h)	4,950,894,223	5,230,544,249	5,556,348,890	5,491,517,452	5,663,282,605
うち 支 払 利 息 (i)	539,791,491	513,067,648	486,914,219	459,824,779	438,453,446
経 常 損 益 (j)	163,259,961	1,296,946,094	72,651,368	523,806,527	345,439,464
特 別 損 益 (k)	△ 37,326,697	△ 2,164,221,791	△ 131,337,419	△ 28,227,203	△ 35,702,074
純 損 益 (l)	125,933,264	△ 867,275,697	△ 58,686,051	495,579,324	309,737,390
累 積 欠 損 金 (△) (m)	9,273,066,530	10,140,342,227	10,199,028,278	9,703,448,954	9,393,711,564
不 良 債 務 (n)	—	—	—	—	—
経 常 収 支 比 率 (a)/(e)	100.8	106.2	100.3%	102.4%	101.5%
医 業 収 支 比 率 (b)/(f)	88.0	90.7	87.8%	88.6%	88.3%
職 員 給 与 比 率 (g)/(b)	54.8	50.4	52.6%	51.9%	52.3%
材 料 費 比 率 (h)/(b)	29.0	29.5	30.8%	30.2%	30.5%
他 会 計 繰 入 金 比 率 (d)/(b)	17.9	16.9	13.1%	13.6%	13.3%
不 良 債 務 比 率 (n)/(b)	—	—	—	—	—

## 2 貸借対照表(25年度～29年度)

(単位:円, %)

区 分	平成26年3月31日		平成27年3月31日		平成28年3月31日		平成29年3月31日		平成30年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
固定資産	29,907,449,161	74.1	29,454,400,999	73.8	28,648,920,756	71.8	28,785,337,327	73.1	28,813,021,788	71.7
有形固定資産	28,865,546,338	71.6	28,014,916,510	70.2	27,599,077,737	69.1	28,128,203,651	71.4	28,246,646,201	70.3
無形固定資産	1,041,902,823	2.6	702,246,359	1.8	385,027,781	1.0	66,186,796	0.2	49,297,069	0.1
投資			737,238,130	1.8	664,815,238	1.7	590,946,878	1.5	517,078,518	1.3
流動資産	9,623,573,367	23.9	10,466,826,769	26.2	11,233,206,284	28.2	10,602,725,432	26.9	11,382,894,678	28.3
現金預金	4,175,957,207	10.4	4,422,575,685	11.1	4,579,585,450	11.5	3,466,573,989	8.8	4,392,268,653	10.9
未収金	4,378,581,883	10.9	4,920,818,857	12.3	4,869,225,260	12.2	5,379,057,118	13.7	5,735,145,764	14.3
貯蔵品	67,639,077	0.2	46,543,867	0.1	60,946,209	0.2	71,650,625	0.2	69,410,261	0.2
前払金	2,163,200	0.0	2,321,360	0.0	2,159,365	0.0	3,367,700	0.0	2,382,000	0.0
有価証券	999,232,000	2.5	1,074,567,000	2.7	1,721,290,000	4.3	1,682,076,000	4.3	1,183,688,000	2.9
繰延勘定	811,106,490	2.0								
控除対象外消費税	811,106,490	2.0								
資産合計	40,342,129,018	100.0	39,921,227,768	100.0	39,882,127,040	100.0	39,388,062,759	100.0	40,195,916,466	100.0
固定負債	1,982,000,000	4.9	29,751,744,980	74.5	28,764,413,799	72.1	28,063,477,518	71.2	27,695,526,544	68.9
企業債			26,374,515,601	66.1	25,312,014,598	63.5	24,593,519,525	62.4	24,351,634,427	60.6
長期借入金	406,000,000	1.0	228,600,000	0.6	152,400,000	0.4	114,300,000	0.3		
引当金	1,576,000,000	3.9	3,148,629,379	7.9	3,299,999,201	8.2	3,355,657,993	8.5	3,343,892,117	8.3
流動負債	2,274,576,715	5.6	4,887,331,365	12.2	5,409,281,542	13.6	4,818,513,524	12.2	5,424,799,023	13.5
企業債			2,307,583,233	5.8	2,559,501,003	6.4	2,277,495,073	5.8	2,415,885,098	6.0
長期借入金			76,200,000	0.2	76,200,000	0.2	38,100,000	0.1	114,300,000	0.3
未払金	2,196,276,737	5.4	1,964,136,340	4.9	2,216,226,793	5.6	1,912,571,848	4.9	2,311,890,418	5.8
賞与引当金			458,480,010	1.1	470,095,932	1.2	504,483,370	1.3	500,232,340	1.2
預り金	78,299,978	0.2	80,931,782	0.2	87,257,814	0.2	85,863,233	0.2	82,491,167	0.2
繰延収益			1,827,484,932	4.6	2,176,310,259	5.4	2,339,217,953	5.9	2,456,768,745	6.1
長期前受金			1,827,484,932	4.6	2,176,310,259	5.4	2,339,217,953	5.9	2,456,768,745	6.1
負債合計	4,256,576,715	10.6	36,466,561,277	91.3	36,350,005,600	91.1	35,221,208,995	89.4	35,577,094,312	88.5
資本金	43,294,934,659	107.3	13,385,957,629	33.5	13,385,957,629	33.6	13,385,957,629	34.0	13,385,957,629	33.3
自己資本金	13,385,957,629	33.2	13,385,957,629	33.5	13,385,957,629	33.6	13,385,957,629	34.0	13,385,957,629	33.3
借入資本金	29,908,977,030	74.1								
剰余金	△ 7,209,382,356	△ 17.9	△ 9,931,291,138	△ 24.9	△ 9,853,836,189	△ 24.7	△ 9,219,103,865	△ 23.4	△ 8,767,135,475	△ 21.8
資本剰余金	2,063,684,174	5.1	209,051,089	0.5	345,192,089	0.9	484,345,089	1.2	626,576,089	1.6
利益剰余金	△ 9,273,066,530	△ 23.0	△ 10,140,342,227	△ 25.4	△ 10,199,028,278	△ 25.6	△ 9,703,448,954	△ 24.6	△ 9,393,711,564	△ 23.4
資本合計	36,085,552,303	89.4	3,454,666,491	8.7	3,532,121,440	8.9	4,166,853,764	10.6	4,618,822,154	11.5
負債資本合計	40,342,129,018	100.0	39,921,227,768	100.0	39,882,127,040	100.0	39,388,062,759	100.0	40,195,916,466	100.0

### 3 収益費用明細書(25年度～29年度)

#### (1) 収益

(単位:円,%)

科目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	医業収益比	
						対前年比	対前年比
事業収益	20,762,240,910	22,347,547,548	22,132,970,210	22,679,850,498	22,901,547,232	123.5	101.0
医業収益	17,069,780,256	17,731,951,023	18,039,316,611	18,202,598,226	18,539,384,995	100.0	101.9
入院収益	13,584,132,744	14,110,696,508	14,230,183,122	13,976,153,434	14,190,209,480	76.5	101.5
外来収益	2,880,966,697	2,953,198,994	3,142,920,093	3,497,923,256	3,632,623,354	19.6	103.9
その他医業収益	604,680,815	668,055,521	666,213,396	728,521,536	716,552,161	3.9	98.4
室料差額	246,827,452	268,644,539	268,886,593	245,813,822	253,748,880	1.4	103.2
公衆衛生	89,634,288	105,669,178	102,738,709	123,394,431	126,712,312	0.7	102.7
受託検査							
その他医業	268,219,075	293,741,804	294,588,094	359,313,283	336,090,969	1.8	93.5
医業外収益	3,621,510,413	4,561,322,519	4,012,763,207	4,387,183,721	4,294,123,580	23.2	97.9
受取利息配当金	357,466	15,504,152	17,108,468	17,915,609	17,674,893	0.1	98.7
預金利息	357,466	504,152	505,656	270,609	105,983	0.0	39.2
有価証券利息		15,000,000	16,602,812	17,645,000	17,568,910	0.1	99.6
補助金	317,526,746	313,845,288	315,344,952	360,186,726	373,911,494	2.0	103.8
国庫補助金	25,721,000	21,422,000	16,927,000	15,828,000	16,400,000	0.1	103.6
県補助金	284,994,000	285,679,000	291,335,000	337,437,000	350,496,000	1.9	103.9
高知市補助金	6,811,746	6,744,288	7,082,952	6,921,726	7,015,494	0.0	101.4
構成団体負担金	3,053,542,018	2,992,128,700	2,364,160,748	2,483,178,619	2,458,873,571	13.3	99.0
構成団体負担金	3,053,542,018	2,992,128,700	2,364,160,748	2,483,178,619	2,458,873,571	13.3	99.0
長期前受金戻入		929,698,122	951,601,673	1,299,508,306	1,180,307,726	6.4	90.8
長期前受金戻入		929,698,122	951,601,673	1,299,508,306	1,180,307,726	6.4	90.8
その他医業外	250,084,183	310,146,257	364,547,366	226,394,461	263,355,896	1.4	116.3
不用品売却	736,473	704,084	541,107	671,615	644,520	0.0	96.0
有価証券評価益	2,897,617	75,335,000	146,723,000		14,562,000	0.1	
その他医業外	246,450,093	234,107,173	217,283,259	225,722,846	248,149,376	1.3	109.9
特別利益	70,950,241	54,274,006	80,890,392	90,068,551	68,038,657	0.4	75.5

#### (2) 費用

科目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	医業収益比	
						対前年比	対前年比
事業費用	20,636,307,646	23,214,823,245	22,191,656,261	22,184,271,174	22,591,809,842	121.9	101.8
医業費用	19,387,013,041	19,556,181,838	20,550,013,413	20,548,308,254	21,002,833,106	113.3	102.2
給与費	9,361,873,173	8,934,318,117	9,482,150,096	9,454,814,252	9,699,377,944	52.3	102.6
医師給	782,061,169	815,204,996	817,841,771	829,970,846	827,116,929	4.5	99.7
看護師給	2,091,252,889	2,107,442,598	2,217,274,464	2,181,411,603	2,269,275,468	12.2	104.0
医療技術職員給	353,631,240	376,559,088	387,698,073	411,229,916	428,715,572	2.3	104.2
事務職員給	83,369,328	95,715,276	99,534,545	104,160,803	112,682,928	0.6	108.2
医師手当	1,546,869,818	1,491,295,860	1,507,621,353	1,509,270,252	1,502,016,731	8.1	99.5
看護師手当	1,337,287,172	1,173,811,708	1,225,628,234	1,221,173,262	1,251,975,567	6.8	102.5
医療技術職員手当	209,557,590	185,936,975	193,659,818	202,228,579	217,052,930	1.2	107.3
事務職員手当	78,309,649	70,650,774	62,874,912	70,105,429	68,016,301	0.4	97.0
児童手当	46,050,000						
賞与引当金繰入額		458,480,010	470,095,932	504,483,370	500,232,340	2.7	99.2
賞金	464,635,411	490,381,078	467,456,455	426,190,953	431,641,823	2.3	101.3
報酬	250,433,558	264,511,046	253,069,575	283,386,774	273,926,287	1.5	96.7
法定福利費	1,285,393,130	1,252,880,844	1,279,012,040	1,341,524,974	1,374,904,484	7.4	102.5
退職給与金	833,022,219	151,447,864	500,382,924	369,677,491	441,960,584	2.4	119.6
材料費	4,950,894,223	5,230,544,249	5,556,348,890	5,491,517,452	5,663,282,605	30.5	103.1
薬品費	2,595,986,624	2,720,272,059	3,033,451,757	3,067,858,835	3,204,253,145	17.3	104.4
診療材料費	2,313,141,686	2,453,830,014	2,485,289,664	2,387,250,579	2,416,532,972	13.0	101.2
医療消耗備品	41,765,913	56,442,176	37,607,469	36,408,038	42,496,488	0.2	116.7
経費	3,201,876,769	3,370,324,677	3,390,539,852	3,436,128,318	3,644,167,144	19.7	106.1
厚生福利費	19,533,964	20,453,730	20,538,000	19,812,386	21,167,020	0.1	106.8
報償費	94,309,590	96,233,118	110,013,720	115,661,747	124,094,726	0.7	107.3
旅費交通費	6,237,602	8,180,156	7,642,864	8,418,629	8,544,362	0.0	90.7
職員被服費	3,057,648	2,343,520	2,511,260	2,387,150	2,118,700	0.0	88.8
消耗品費	73,461,415	94,717,415	70,287,991	97,814,711	97,218,411	0.5	99.4
消耗備品費							
光熱水費	402,814,245	416,821,211	370,594,769	337,414,725	370,580,108	2.0	109.8
燃料費	1,391,313	508,341	3,814,779	419,543	2,782,952	0.0	663.3
食料費	81,898	100,074	65,647	60,444	83,417	0.0	138.0
印刷製本費	3,442,389	3,006,880	2,904,840	3,008,100	4,215,100	0.0	140.1
修繕費	84,812,246	99,569,261	88,548,857	119,332,476	150,872,194	0.8	126.4
保険料	36,495,996	36,296,210	26,712,472	34,061,639	33,839,258	0.2	99.3
賃借料	71,194,309	109,760,490	104,906,575	115,899,205	131,490,123	0.7	113.5
通信運搬費	21,175,514	21,750,370	21,390,271	21,367,804	21,644,119	0.1	101.3
委託料	2,193,362,780	2,253,793,986	2,347,548,265	2,340,776,739	2,448,795,117	13.2	104.6
負担金諸会費	181,645,608	196,515,917	196,803,386	198,749,531	206,755,637	1.1	104.0
交際費	162,218	251,817	245,868	240,328	270,325	0.0	112.5
雑費	8,698,034	10,022,181	16,010,288	19,703,161	19,695,575	0.1	100.0
減価償却費	1,776,807,854	1,945,622,066	2,033,491,714	2,091,384,513	1,902,341,475	10.3	91.0
建物	1,007,081,046	1,078,855,501	1,093,737,043	1,094,814,839	1,173,047,102	6.3	107.1
構築物	31,150,776	31,504,854	31,504,854	31,504,854	31,504,854	0.2	100.0
器械備品	408,740,844	499,098,181	570,253,539	630,737,551	666,550,990	3.6	105.7
無形固定資産	329,835,188	336,163,530	337,996,278	334,327,269	31,238,529	0.2	9.3
資産減耗費	36,306,855	21,086,987	28,085,147	11,702,081	36,431,285	0.2	311.3
たな卸	12,269,763	11,885,769	10,787,727	8,947,935	11,441,474	0.1	127.9
固定資産除却費	24,037,092	9,201,218	17,297,420	2,754,146	24,989,811	0.1	907.4
研究研修費	59,254,167	54,285,742	59,397,714	62,761,638	57,232,653	0.3	91.2
謝金	2,141,656	1,538,035	1,631,937	1,876,555	988,274	0.0	52.7
旅費	34,225,888	30,295,635	29,852,945	30,377,809	30,319,161	0.2	99.8
研究経費	22,886,623	22,452,072	27,912,832	30,507,274	25,925,218	0.1	85.0

科 目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	医業収益比	
						対前年比	
医業外費用	1,141,017,667	1,440,145,610	1,429,415,037	1,517,667,166	1,485,236,005	8.0	97.9
支払利息	539,791,491	513,067,648	486,914,219	459,824,779	438,453,446	2.4	95.4
企業債利息	510,610,332	484,814,291	484,814,291	458,378,999	436,684,962	2.4	95.3
長期借入金利息	2,030,000	1,524,000	1,524,000	1,143,000	762,000	0.0	66.7
企業債手数料及び取扱諸費	427,316	575,928	575,928	302,780	1,006,484	0.0	332.4
控除対象消費税償却							
長期前払消費税償却	73,868,360	72,422,892	72,422,892	73,868,360	73,868,360	0.4	100.0
議会費	1,355,972	1,167,558	1,311,474	1,313,703	1,272,628	0.0	96.9
報酬	959,832	953,000	981,822	958,583	953,333	0.0	99.5
旅費交通費	275,240	129,658	233,352	243,520	217,595	0.0	89.4
委託料	120,900	84,900	96,300	111,600	101,700	0.0	91.1
監査委員費	112,915	112,000	112,916	112,000	112,917	0.0	100.8
報酬	112,915	112,000	112,916	112,000	112,917	0.0	100.8
企業団管理費	5,172,082	5,510,060	6,402,717	3,400,967	3,113,017	0.0	91.5
報酬	36,000	81,000					
報償費	932,177	1,198,662	1,383,473	954,150	861,803	0.0	90.3
旅費交通費	2,376	6,501					
消耗品費			12,376	2,550	42,962	0.0	1,684.8
印刷製本費							
賃借料	33,425	39,802		31,334	17,470	0.0	
通信運搬費	3,229	173,739	84,597	162,106	147,004	0.0	90.7
委託料	1,338,747	1,116,000	1,476,425	336,450	366,600	0.0	109.0
負担金諸会費	91,239	91,852	109,352	65,649	38,426	0.0	58.5
雑費	2,734,889	2,802,504	3,336,494	1,848,728	1,638,752	0.0	88.6
その他雑損失	520,716,847	846,419,984	862,250,819	979,147,357	968,415,637	5.2	98.9
その他雑損失	88,773,360	88,413,919	71,101,759	73,857,554	90,415,144	0.5	122.4
3条控除対象外	149,919,979	251,670,093	253,191,349	255,526,232	273,258,108	1.5	106.9
4条 "	42,112,663	100,853,764	104,609,587	181,185,819	159,714,812	0.9	88.1
貯蔵品 "	239,910,845	405,482,208	433,348,124	429,363,752	439,577,573	2.4	102.4
有価証券評価損				39,214,000			
有価証券売却損					5,450,000	0.0	—
特別損失	108,276,938	2,218,495,797	212,227,811	118,295,754	103,740,731	0.6	87.7
過年度損益修正損	108,276,938	118,755,801	210,978,095	118,295,754	102,460,758	0.6	86.6
固定資産売却損		7,058,832	1,249,716		1,279,973	0.0	—
臨時損失							
その他特別損失		2,092,681,164					

科 目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	医業収益比	
						対前年比	
当年度純損益	130,829,326	125,933,264	△ 867,275,697	495,579,324	309,737,390	1.7	
累積欠損金	△ 9,273,066,530	△ 10,140,342,227	△ 10,199,028,278	△ 9,703,448,954	△ 9,393,711,564	△ 50.7	96.8

## 4 資本の収支明細書(25年度~29年度)

(単位:円, %)

科 目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	対前年比
資本の収入	2,154,209,500	2,360,761,000	2,936,761,247	3,353,881,000	3,614,948,318	107.8
企業債	840,000,000	923,000,000	1,497,000,000	1,752,000,000	2,174,000,000	124.1
病院施設整備事業債						
医療器械整備事業債	840,000,000	923,000,000	1,497,000,000	1,752,000,000	2,174,000,000	124.1
構成団体負担金	1,267,151,500	1,341,896,000	1,430,514,000	1,597,669,000	1,439,609,518	90.1
高知医療センター建設改良費負担金	1,267,151,500	1,341,896,000	1,430,514,000	1,597,669,000	1,439,609,518	90.1
固定資産売却代金		801,000	3,181,247		820,800	—
固定資産売却代金		801,000	3,181,247		820,800	—
補助金	47,058,000	95,064,000	162,000	4,212,000	518,000	12.3
国庫補助金						
県補助金	47,058,000	95,064,000	162,000	4,212,000	518,000	12.3
寄付金			5,904,000			—
寄付金			5,904,000			—
資本の支出	3,166,406,925	3,656,014,653	3,811,717,198	5,317,381,277	4,508,952,682	84.8
建設改良費	913,529,920	1,404,936,457	1,427,933,965	2,488,680,274	2,193,357,609	88.1
医療器械整備費	755,391,105	847,529,219	784,347,575	371,110,186	1,869,698,630	503.8
資産購入費	56,194,215	129,779,695	244,393,810	193,312,095	122,170,852	63.2
施設整備費	101,944,600	427,627,543	399,192,580	1,924,257,993	201,488,127	10.5
一般管理費						
企業債等償還金	2,012,377,005	2,149,878,196	2,307,583,233	2,752,501,003	2,277,495,073	82.7
構成団体長期借入金償還金	240,500,000	101,200,000	76,200,000	76,200,000	38,100,000	50.0
収支差引	△ 1,012,197,425	△ 1,295,253,653	△ 874,955,951	△ 1,963,500,277	△ 894,004,364	

## 5 一般会計繰入金

### (1)繰入金内訳(25年度～29年度)

(単位:円)

区 分	年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
収 益 的 収 入	企業債利息負担金	210,075,000	191,861,000	182,761,000	173,380,000	166,490,000
	割賦金利息負担金	135,634,000	128,571,000	121,387,000	114,080,000	106,648,000
	割賦金元金負担金					
	へき地医療確保繰入金 ①					
	結核病棟運営費負担金	92,253,000	100,009,000	100,422,000	58,980,000	64,175,000
	小児医療負担金	15,335,000			131,953,000	132,556,000
	周産期医療負担金	129,506,000	106,789,000	118,314,000	191,228,000	202,167,000
	救急医療確保負担金 ※3～※7 ②	499,862,000	411,971,000	387,473,000	392,349,000	378,839,000
	高度特殊医療等負担金	558,326,000	616,803,000	601,026,000	624,663,000	599,650,000
	リハビリテーション医療負担金	11,417,000	12,325,000	31,257,000	2,905,000	1,191,000
	院内保育所運営負担金	22,067,000	27,229,000	39,424,000	31,230,000	28,297,000
	保健衛生行政事務負担金 ③	18,497,000	18,053,000	18,074,000	17,950,000	18,162,000
	医師等研究研修負担金	34,898,000	40,361,000	40,361,000	36,187,000	40,864,000
	地共済追加費用負担金	293,969,000	296,626,000	244,829,000	154,317,000	178,361,000
	医師確保対策費用負担金		5,243,000	7,393,000	6,367,000	6,228,000
	基礎年金拠出金負担金	191,168,000	196,887,000	210,369,000	255,270,000	250,118,000
	児童手当負担金	39,330,000	42,225,000	45,518,000	43,200,000	56,184,000
	退職給与金負担金 ※1～※2 ④	552,000,000	575,968,000			
	企業団管理費負担金	16,209,000	20,401,000	20,505,000	17,691,000	17,557,000
	弁護士費用負担金					
	感染症病床運営費負担金	4,427,000	5,846,000	7,042,000	5,912,000	5,920,000
	診療機能差異化経費負担金					
	移行業務経費負担金					
精神科医療に要する負担金 ※8 ⑤	228,569,018	194,960,700	188,005,748	225,516,619	205,466,571	
計 (A)	3,053,542,018	2,992,128,700	2,364,160,748	2,483,178,619	2,458,873,571	
資 本 的 収 入	企業債償還元金出資金	769,102,000	821,723,000	894,012,000	1,016,175,000	872,267,000
	〃 高度医療機器分	57,625,000	71,125,000	79,125,000	116,750,000	97,000,000
	割賦金償還元金出資金	413,746,000	420,811,000	427,995,000	435,301,000	442,733,000
	施設整備出資金 ※9	1,500,000	1,412,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	精神科医療に要する負担金 ※9 ⑥	25,178,500	25,000,000	25,000,000	25,000,000	23,104,518
	応答解析業務に要する負担金		1,825,000			
	災害時における救急医療のために行う施設整備費			2,882,000	2,943,000	3,005,000
開院準備運営費負担金						
計 (B)	1,267,151,500	1,341,896,000	1,430,514,000	1,597,669,000	1,439,609,518	
繰入金合計	4,320,693,518	4,334,024,700	3,794,674,748	4,080,847,619	3,898,483,089	

長期借入金					
-------	--	--	--	--	--

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
県負担分	2,339,162,018	2,317,115,700	2,033,877,248	2,195,474,619	2,093,425,089
収益的((A)-①-②※-③-④-⑤)×1/2+①+②※+③+④※+⑤	1,692,997,018	1,633,667,700	1,306,120,248	1,384,140,119	1,362,068,071
資本的((B)-⑥)×1/2+⑥	646,165,000	683,448,000	727,757,000	811,334,500	731,357,018
市負担分	1,981,531,500	2,016,909,000	1,760,797,500	1,885,373,000	1,805,058,000
収益的((A)-①-②※-③-④-⑤)×1/2+④※	1,360,545,000	1,358,461,000	1,058,040,500	1,099,038,500	1,096,805,500
資本的((B)-⑥)×1/2	620,986,500	658,448,000	702,757,000	786,334,500	708,252,500

- ※1 退職給与金負担金(割愛職員分)の25年度については、県298,000,000円、市254,000,000円。  
 ※2 退職給与金負担金(割愛職員分)の26年度については、県299,729,000円、市276,239,000円。  
 ※3 25年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,386,000円については県負担。  
 ※4 26年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分38,703,000円については県負担。  
 ※5 27年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分42,000,000円については県負担。  
 ※6 28年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。  
 ※7 29年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。  
 ※8、9 精神科医療に要する負担金については県負担。

(2) 繰入率・一床当り繰入額(25年度～29年度)

(単位:円, %)

年度 区分		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
		金額	対前年比								
一般会計からの繰入金	収益的収入繰入 (a)	3,053,542,018	105.6	2,992,128,700	98.0	2,364,160,748	79.0	2,483,178,619	105.0	2,458,873,571	99.0
	負担金	3,053,542,018	105.6	2,992,128,700	98.0	2,364,160,748	79.0	2,483,178,619	105.0	2,458,873,571	99.0
	資本的収入繰入 (b)	1,267,151,500	207.3	1,341,896,000	105.9	1,430,514,000	106.6	1,597,669,000	111.7	1,439,609,518	90.1
	負担金	1,267,151,500	207.3	1,341,896,000	105.9	1,430,514,000	106.6	1,597,669,000	111.7	1,439,609,518	90.1
	繰入金合計 (c)	4,320,693,518	123.4	4,334,024,700	100.3	3,794,674,748	87.6	4,080,847,619	107.5	3,898,483,089	95.5
収益的収入 (d)		20,762,240,910	103.9	22,347,547,548	107.6	22,132,970,210	99.0	22,679,850,498	102.5	22,901,547,232	101.0
資本的収入 (e)		2,154,209,500	118.8	2,360,761,000	109.6	2,936,761,247	124.4	3,353,881,000	114.2	3,614,948,318	107.8
繰入率	収益的収入 $\frac{(a)}{(d)} \times 100$	14.7		13.4		10.7		10.9		10.7	
	資本的収入 $\frac{(b)}{(e)} \times 100$	58.8		56.8		48.7		47.6		39.8	
	収益的収入に対する繰入金計 $\frac{(c)}{(d)} \times 100$	20.8		19.4		17.1		18.0		17.0	
一床当り繰入金(千円)	収益的収入繰入	4,705		4,534		3,582		3,762		3,726	
	資本的収入繰入	1,952		2,033		2,167		2,421		2,181	
	繰入金合計	6,657		6,567		5,749		6,183		5,907	

## II 各診療科資料



# 総合診療科

## 1. 概要

総合診療科では、初診外来および日勤帯の救急外来において、臓器別ではなく、かつ疾患に偏りがない幅広い領域にわたる疾患や訴えをもつ患者さんへの診療を行っている。特に日常よく遭遇する common disease をはじめ、診断困難症例への対応や地域医療機関からのセカンドオピニオン、紹介状を持参せず来院された患者さんで、どの診療科にかかったら良いか分からない方、複数の健康問題に対する包括的なケア、根拠に基づく医療（EBM）、臨床推論、入院・外来患者さんの外来フォロー（再診診療）などを行っている。また病棟（入院）では、高齢者（特に虚弱高齢者）に対するケア、複数の病態を抱える患者さん、必要に応じて他の専門診療科との連携、心理・社会・倫理的複雑事例への対応、癌・非癌患者さんへの緩和ケア、退院支援と地域医療連携機能の提供、在宅患者さんの緊急入院対応などの役割も同時に担っている。当科では、特に救命救急センターとコラボレーションして、複数の診療科に渡る幅広い症例を豊富に診療している。本来であれば二次病院レベルで入院治療が可能な症例も、夜間や時間外に救命救急センターへ救急搬送されてくることから、救急専門医の先生方と一緒にこれらの救急患者さんを急性期病棟で診療、治療している。

## 2. スタッフ活動状況

科長 **澤田 努** 臨床研修管理センター長、総合診療部長、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医・代議員

**石川 忠則** 主任医長 日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医

**吉村 彰人** 地域医療科長、医長、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

**矢野 博子** 医長 日本救急医学会専門医、日本プラ

イマリ・ケア連合学会認定医・指導医

**石井 隆之** 医長、日本脳外科学会専門医、

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

**大平 咲** 主査 緩和ケア内科併任 日本内科学会認定内科医

**池田 達也** 総合診療科専攻医

**伊東 秀樹** 招聘医師、総合内科専門医

## 3. 診療実績

現在、月曜日～金曜日まで午前・午後と 2～3 診の外来枠で外来診療を行っている。初期臨床研修のローテーション研修中の研修医の先生をはじめ、高知大学学外実習プライマリ・ケア、外来医療面接コースで実習に来る医学部学生さんらの教育活動も行っている。

病棟は 6A、9B 病棟をメインとして約 10～15 床前後で運用している。その他、地域医療分野における地域包括ケア、在宅医療などの業務として、黒潮町拳ノ川診療所、津野町国保杉ノ川診療所、宿毛市沖の島へき地診療所、四万十町国保十和診療所、仁淀川町国保大崎診療所、本山町国保嶺北中央病院、佐川町国保高北病院などへ毎週総合診療科医師を派遣している。

## 4. 今後の課題・目標

JCEP による指導の中で、臨床研修における外来診療の位置づけが大きいことが分かり、医療面接やコミュニケーションに重きをおいた教育が実践できる体制づくりを目指していく。また、救命救急センターとのコラボレーションはより深化したものとし、総合診療専門医の教育拠点としても努力していく所存である。

# 精神科

## 1. 医師数

平成 29 年度の医師数は、常勤医師が 3 人、非常勤医師が 3 人であった。

## 2. 診療実績

平成 29 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数…1,793 人
- ・退院患者数…27 人
- ・外来患者数…4,435 人

## 3. 問題点・今後の課題・目標

近年、心の健康に何らかの問題を抱える子どもたちの支援ニーズが高まっている。児童虐待やいじめに巻き込まれた子どもやその家族は、深刻な悩みを抱えている。また、自閉スペクトラム症、ADHD、LD に代表される発達障害は社会全体の関心事であり、これらの特性をもつ人たちは幼児期からさまざまな社会場面で適応できず二次的な精神疾患を抱えるおそれもあるため、支援体制の確立が不可欠である。こころのサポートセンター児童精神科はこのような子どもたちとその家族を支援する重要な役割を担っており、より一層、診療体制を充実させる必要がある。多くの子どもの心専門医療機関が抱える問題として、患者さんの初診までの待機期間が長期になってしまうことが挙げられるが、当院は県下で唯一の児童精神科専門病棟を持つ医療機関であり、入院が必要な相談ケースには可能な限り早急な対応を心がけている。今後も関連機関と協力して、地域の子どもたちの心の問題への支援に貢献できるよう努めていきたい。

成人の診療に関しては、一般的な外来診療を行うとともに、成人の精神科病棟の再開に向けて、活動をしていた。スムーズな病棟運営をするために、医療資源、人的資源の確保の計画を行っていた。公的病院での治療を必要とする身体合併症の治療や対応困難な症例に対して適切に対応するよう、病院内の他診療科、病院外の精神科病院や診療所との交流を適切に行っていきたい。

# 地域医療科

## 1. 業務概要

高知医療センターは、へき地医療拠点病院として指定を受け、無医地区巡回診療やへき地診療所への代診医派遣、へき地医療情報ネットワークを活用した遠隔画像伝送や離島診療所との遠隔診療などを主たる業務として担っている。また、初期臨床研修医や高知大学医学部の学外実習や夏期へき地医療実習などで医学生に対する教育にも携わっている。

## 2. スタッフ活動状況

地域医療科医師 2 名（高知県へき地医療支援機構専任担当官を兼務）が中心となって無医地区巡回診療やへき地診療所への医師派遣、代診医派遣調整などを行っている。また、総合診療科医師 3 名とも連携し、4 名体制で業務を行っている。医師 1 名あたり週 1～2 回程度派遣され活動している状況である。

## 3. 活動実績

### ・無医地区巡回診療（長岡郡大豊町久寿軒・北川地区）

医師・看護師、薬剤師、事務職員で巡回診療班を構成し、毎月第 3 火曜日に巡回診療を行っている。

### ・へき地診療所への代診医派遣

平成 29 年度の代診医派遣実績は 357 日（実日数）であり、その内訳は、黒潮町国保拳ノ川診療所 126 日、宿毛市立沖の島へき地診療所 83 日、津野町国保杉ノ川診療所 39 日、四万十町国保十和診療所 51 日、仁淀川町国保大崎診療所 40 日、馬路村立馬路診療所 8 日、四万十市国保西土佐診療所 4 日、四万十町国保大正診療所 6 日であった。

### ・へき地医療情報ネットワークの活用

県内で 32 ヶ所の地域医療機関（へき地診療所を

含む)がネットワークで繋がっており、画像コンサルトなどで活用されている。遠隔画像伝送により院内の各専門医に直接コンサルトすることが可能となっている。また、宿毛市沖の島へき地診療所では、天候不良などで地域医療科医師が島に渡れない際に、遠隔 Web 会議システムを利用して遠隔診療を行うこともある。

#### ・医学教育

平成16年4月から始まった新医師臨床研修制度では、「地域保健・医療」が研修必修項目の中に挙げられており、中小自治体病院や診療所およびそれに関連する社会福祉施設、介護老人保健施設、へき地・離島にある医療機関や保健所等の地域保健・医療の現場を経験することが研修目標に明記されている。当院では地域医療科が中心となり、へき地医療機関を研修協力施設とする高知県内共通のプログラムに従って、プライマリ・ケア研修を学ぶことができる教育体制をとっている。

#### 4. 今後の課題・目標

総合診療科との連携によって、ここ数年で当科としての活動範囲が経年的に広がってきた。しかし高知県は県内に38ヶ所の無医地区(H26年10月現在)を抱えており、65歳以上の高齢者人口比率は32.2%で全国第2位の高齢県となっている。このような状況下では、当院の地域医療科単独で担うことのできる業務は限られている。しかし、今後も引き続き県内の他のへき地医療拠点病院とも連携を図ることで、更なる地域医療への貢献が期待できるのではないかと考えている。

## 血液内科・輸血科

### 1. 概要

血液内科専門医機構の基幹施設、非血縁者間骨髄採取・移植認定施設として、血液内科領域全般

の外来・入院診療や造血幹細胞移植を主として行った。

### 2. スタッフ活動状況

現在、岡山大学第二内科から医師1名派遣して頂き、常勤医師6名、専修医1名、併任医師(週1回)1名が確保できている。今後も安定した人員確保が継続できるか、また女性医師確保に努力するとともに女性医師が継続して仕事が続けられる職場環境の構築などが今後の問題点である。

### 3. 診療実績

(外来)

平日の午前中に1名から2名の医師で外来診療を行っている。紹介患者さんは増加している。

(入院)

入院患者数も常時50名から60名と安定した患者数が確保できている。造血幹細胞移植件数は、2015年14件、2016年30件、2017年29件、造血幹細胞採取件数は2015年15件、2016年33件、2017年22件と推移している。

初診疾患別は、悪性リンパ腫は2015年84名、2016年99名、2017年87名、多発性骨髄腫は2015年11名、2016年20名、2017年19名、急性白血病は2015年40名、2016年45名、2017年43名とほぼ安定した推移を示している。

### 4. 今後の課題・目標

高知県内の血液内科基幹病院の事情もあり、当科で診療する患者数は増加している。現在の診療体制を継続していくには、安定した医師数確保が最も大切である。また、同様に造血幹細胞移植件数も増加傾向である。2017年からは、新たに臍帯血移植にも取り組むことができ、すでに3症例に実施した。それでもなお、十分には全ての造血幹細胞移植が実施できる状況ではないため、高次の医療機関で研鑽などを積み、更に上のレベルでの移植医療の提供を目指す必要がある。より新しい、

また難しい移植医療を行うためには、やはり安定した人員確保（常勤医師5名以上、専修医数名程度）が必要と考える。

より高度な血液内科診療、造血幹細胞移植医療を提供するためには、多職種conferencesなどを通じて職員への教育、啓発を行い、チーム医療の重要性を共通認識し、現在進行中であるHCTC（造血細胞移植コーディネーター）の育成にも努める必要がある。

また今後は、LFTU外来（移植後長期フォローアップ外来）の設置にも取り組みたいと考えている。

数少ない専門医で高知県内の血液疾患の診療を担っている状況であり、今後は他の専門病院との診療連携、協力なども行っていきたい。

## 糖尿病・内分泌内科

### 1. 概要

基幹病院として、糖尿病・内分泌疾患の外来診療、入院診療を中心に行った。

### 2. スタッフ活動状況

平成 29 年現在は、常勤 2 名体制である。

### 3. 診療実績

29 年度の外来患者さんの延べ人数は 3,875 人、入院患者さんの延べ人数は 539 人であった。

糖尿病教育入院期間を 12 日から 10 日に短縮した。

### 4. 今後の課題・目標

院内における糖尿病管理を継続する。

糖尿病患者さんは増加しており、また高齢化も進んでいるため、糖尿病の早期発見・治療に努め、合併症の進展を抑制したい。かかりつけ医との連

携した対策を行い、逆紹介の増加に努める。

救急科をはじめ他科と連携し糖尿病や内分泌疾患の診療レベルを維持したい。

若手医師育成に関しては、当院は、日本内分泌学会認定施設、日本糖尿病学会認定施設であり専門医の育成に努める。また、他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

## 放射線科・放射線療法科

### 1. 概要

各種画像診断（CT、MRI、核医学検査）・レポート作成、放射線治療、血管造影・IVR など日本医学放射線学会の総合修練施設として幅広い診療を日々行っている。

病診連携として他医療施設から画像診断（CT、MRI、核医学検査）をご依頼頂き、即日レポート作成を行っている。IVR に関しては CV リザーバー留置も行っている。

平成 29 年度はがんサポートセンターのオープンに伴い PET-CT、高精度放射線治療の提供を開始した。

### 2. スタッフ活動状況

放射線治療は、いずれも放射線治療専門医である 2 名の常勤医師を中心に行なっている。平成 29 年 7 月からは、がんサポートセンターにて 2 台の高精度放射線治療装置を用いて、強度変調放射線治療(IMRT)や定位放射線治療(STI)と言った高精度放射線治療も実施可能となった。

平成 29 年 4 月より PET-CT 開始のために岡山大学放射線医学教室から PET センター長として PET 核医学専門医 1 名を派遣頂き、放射線読影専従位が 2 名になった。

読影・レポート作成業務は 5 名の非常勤読影医の協力のもと読影専従医 2 名と IVR 医 4 名で（整

形外科、脳神経外科依頼分をのぞく)すべての CT、MRI、核医学検査を対象にしているが、その全体に占める割合は 73.8%であり、残念ながら画像診断管理加算 II を断念し画像診断管理加算 I の状態が続いている。

IVR は全国の IVR 学会修練施設 370 施設中 8 位の症例件数で、少ないスタッフで多くの症例を実施している施設として、IVR を習得したい若手医師からの見学が続き、現在 2 名(救急医 1 名、放射線科医 1 名)が研修中である。30 年度以降も研修希望者が数名待機している。

### 3. 診療実績

#### 放射線診断・画像診断レポート作成

- ・ CT: 24,123 件 (レポート: 19,835 件 82.2%)
- ・ MRI: 8,514 件 (レポート: 3,794 件 44.6%)
- ・ 核医学: 997 件 (レポート: 997 件 100%)
- ・ PET-CT 737 件 (レポート 737 件 100%)

#### 血管造影・IVR: 1,209 件

- ・ CV カテ、リザーバー留置 483 件
  - ・ 動脈塞栓術(頭頸部・胸腹部・他) 167 件
  - ・ ドレナージ(胸腹部・他) 166 件
  - ・ 生検(頭頸部、胸腹部・他) 105 件
  - ・ 血管形成術(PTA、下肢、シャント) 90 件
  - ・ ステンントグラフト 40 件
- リンパ系 IVR も開始した。

#### 放射線治療: 270 件

- ・ 胸部(肺・食道) 88 件
- ・ 乳癌 51 件
- ・ 骨転移 38 件
- ・ 造血器・リンパ系 24 件
- ・ TBI(全身照射)13 件
- ・ IMRT(強度変調放射線治療) 24 件
- ・ STI(定位放射線治療) 3 件

### 4. 今後の課題・目標

・ 1 名増員と IVR 医のシフトにより読影専従医が 3 名となり、脳外科医の協力も頂き画像管理加算

II の取得準備を開始した。

・ PET の安定した業務遂行と安定した検査件数の確保。

・ 症例の多い IVR 関連の研究、論文発表、臨床試験への参加。

・ 放射線科レジデントの育成(新専門医制度では高知大学、岡山大学、徳島大学の連携施設に登録されている。)

## 緩和ケア内科

### 1. 緩和ケア内科とチームの概要

治療の早期の段階から緩和ケアを提供し、全人的苦痛を取り除くように MSW や専従看護師と協力している。治療継続が困難な患者さんには最適な療養環境を整えることも行なっている。緩和ケアチームは、入院中に紹介された患者さんの治療や療養場所などを主治医、専従看護師、病棟看護師、薬剤師、MSW、管理栄養士、理学療法士などの多職種で話し合っている。

### 2. スタッフ活動状況

緩和ケア内科は、専従の緩和医療学会専門医が 1 名、専任医師 1 名で診察を担当している。

緩和ケアチームは、専従医師 1 名、専任医師 1 名、兼任医師 2 名、専従のがん性疼痛認定看護師 1 名、兼任の薬剤師 3 名、管理栄養士 1 名、理学療法士 1 名、MSW 2 名で診療を行なっている。

主な活動としては、平成 27 年には緩和ケア内科でペインクリニック誌に症例報告を 2 度掲載し、平成 28 年の日本緩和医療学会で 2 演題を発表した。がん診療連携拠点病院として 2 日間の医師への緩和ケア研修会を 2 回開催した。半日のフォローアップ研修会を行なった。緩和ケアの病棟リンクナースの勉強会を毎月行なっている。

平成 28 年 4 月 1 日に日本緩和医療学会の認定

研修施設に再認定。平成 29 年 3 月 31 日に日本緩和医療学会専門医試験に専従医師が合格した。

教育面では、研修医 2 名の受け入れや高知大学の 5・6 年生の受け入れや県立大学大学院生の受け入れを行なっている。

平成 29 年 4 月から、がんサポートセンター緩和ケアセンターとして活動を開始。がん相談支援センターでは相談員 2 名が、対面あるいは電話やメールでの相談に応じている。

### 3. 診療実績

緩和ケア内科の外来は、月曜日～金曜日の午前中に診療を行なっている。腹水濾過濃縮再静脈灌流法を行なう患者さんのみ他院からの紹介を受けるが、基本的には院内他科に通院中の紹介患者さんが対象である。全人的な苦痛を取り除くことを目的にして治療を行ない、治療継続が困難となった患者さんには最適な療養環境を整えるように MSW や専従看護師と協力し、他院の外来に紹介を行なっている。

平成 29 年の外来診療件数は、2,078 件であった。当院に一度も入院せずに、他院の外来に紹介する患者さんも増加している。

緩和ケア内科での延入院患者数は、平成 29 年は 165 名あり平均在院日数は 3.2 日であった。腹水濾過濃縮再静脈灌流法の手術施行例であった。

緩和ケアチームは、火曜日と木曜日に回診を行なうほかに、随時、回診を行なっている。平成 28 年の依頼件数は、360 件であり、退院が 242 件（在宅ケア導入が 30 件、緩和ケア病棟転院が 46 件、一般病棟転院が 15 件、当院での死亡退院が 25 件）であった。緩和ケア診療加算件数は、1,147 件であった。

### 4. 今後の課題・目標

外来には、看護師、医療秘書は不在の状態で、緩和ケアセンター運用のために、マンパワーの充実を目標とする。

医師確保や看護師、医療秘書の確保、また、緩和ケアセンターとして活動するにはゼネラルマネージャーの確保も必要。医師や看護師が勉強会や講演会の企画運営や会場準備まで担当するのは厳しい状態である。他診療科、他部署との連携、地域連携も重要である。

併せて、がん相談支援センターの活用の充実も目標とする。

## 腫瘍内科

### 1. 概要

消化器がんを中心とした固形がんの抗がん剤治療を担当し、2017 年 4 月開院のがんサポートセンター 3 階外来ケアルームを主たる診療場所としている。

2014 年 7 月以降、腫瘍内科医が赴任し、術前・術後化学療法、再発・転移例に対する化学療法を実施、治験・臨床試験も積極的に導入している。

診療初期より緩和ケア科と併診体制を敷き、緩和ケアチームをはじめとした多職種のかかわりにより全人的医療を実践しており、また病状進行期には、近隣の緩和ケア専門医療機関や在宅診療機関との連携を密に図っている。

### 2. スタッフ活動状況

平成 30 年 4 月より、腫瘍内科医の院長就任にあたり臨床業務を削減、香川大学より非常勤医師（3 名での交代制）を招聘することで補填している。常勤医は従来通り、消化器内科医 1 名と院長の 2 名体制である。

### 3. 診療実績

外来のべ患者数は平成 27 年度 4,469 名、平成 28 年度 4,889 名、平成 29 年度 4,904 名であり、月平均 400 名あまりで高止まりとなっている。腫

瘍内科の初診患者数は月平均 17～18 名程度であり、前年比で 1 名以上の増となっている。その多くは消化器外科をはじめとした院内多科からの紹介であり、院外からの紹介は月平均で 3-4 名程度である。

対象癌腫は、胃癌、大腸癌、膵癌、胆道癌を主とした消化器がんを中心に、一部の原発不明癌も担当している。治療レジメンは、標準治療レジメンを第一に実施し、臨床試験や治験の適格条件を満たす場合には患者さんに説明し参加を依頼している。また、当センターの特徴として、外科、診断科との協力関係が良好であり、術前治療→切除という術前化学療法もスムーズに実施出来ている。初診時、高度進行癌や全身状態が不良な患者さんの割合も少なくないが、出来るだけ治療の可能性を検討して対応している。

#### 4. 今後の課題・目標

- 1) 当センターに限ったことではないが、腫瘍内科医の確保は大きな懸案事項である。腫瘍内科医の必要性が増す一方で、安定した供給体制がないのが実情である。現在のところ腫瘍内科を目指す若手医師は大都市圏のがんセンターに集中する傾向があり、地方都市への招聘は極めて困難である。今後の高知県のがん診療を担う人材輩出のためにも、当センターにおいて消化器内科、外科と連携を図り若手ががん診療医の育成をしていく。
- 2) 当センターでの治療内容、長期成績についてデータベース構築。特に、高齢者患者さんの割合が高い当センターの特徴を考慮して、長期予後や、治療中止理由などの検討を行う。
- 3) JCOG 他の研究者主導臨床研究や治験に積極的に症例登録を行い、当センターの立場をアピールしていく。
- 4) 抗がん剤、支持療法の高騰化を適正化するために、新規薬剤の適応、導入について十分な検討を行い、医療経済的視点を持って抗がん剤に

あたる。

- 5) がんサポートセンター外来ケアルームの安定した運用のため、看護師をはじめとしたメディカル・スタッフの育成を目指す。

## ペインクリニック科

### 1. 概要

外来診療を中心として、患者さんへの治療を行った。また、神経ブロック治療や、キシロカイン、パルクスの点滴や内服薬などによる治療も実施した。

### 2. スタッフ活動状況

平成 29 年度の医師数は、常勤医師が 1 名、非常勤医師が 2 名（2 名とも麻酔科との兼任）であった。

### 3. 診療実績

平成 29 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数…35 人
- ・退院患者数…4 人
- ・外来患者数…3,896 人

## 病理診断科

### 1. 概要

各臨床科の外来診療・入院診療の一翼を担い、種々の検体を対象とした病理診断（組織診・細胞診・病理解剖）を行った。日本病理学会の認定施設、および日本臨床細胞学会の認定施設・教育研修施設の資格も維持している。

### 2. スタッフ活動状況

従来と同じく、3名の常勤病理医が業務に携わっている。2名は日本病理学会認定病理専門医・病理専門医研修指導医、1名は病理専門医研修中である。業務量とマンパワーの兼ね合いはおおむね妥当な状態である。

なお、医師に加え、医療技術局に属する7名の臨床検査技師（常勤職員5名、臨時職員2名、前者のうち3名は細胞検査士）、および事務局に属する医療秘書1名が業務をともにしている。

### 3. 診療実績

組織診は6,345件（うち迅速組織診452件）、細胞診は5,084件（うち迅速細胞診1件）、病理解剖は10体で、いずれも前年度とほぼ同程度である。

組織診と細胞診においては、臨床科の幅広さを反映して、多領域・多臓器にわたる検体が提出されている。特に組織診では、手術検体の比率が高く（生検検体と手術検体の数に大差がない）、件数の割には作製ブロック数・標本数が多いという特徴がある。また、診断や治療に際して有用な情報を提供しうる免疫染色の需要も増え続けている。

病理解剖は内科系からの依頼が主だが、それでも特定の臨床科にあまり偏ってはいない。全例において初期臨床研修医が臨床医の一員として関与し、また、全例において臨床病理検討会（CPC）を行っている。

### 4. 今後の課題・目標

病理検体の数が近い将来において大幅に変化する可能性は低いと思われるが、臨床科から求められる情報の量や質は、今後、徐々にではあれ高まる一方と考えられ、それに従って業務量も増えてゆくと予想される。よって、現時点では確保できている病理医のマンパワーを、将来にわたって維持してゆくための体制が必要となる。

新専門医制度の導入にあたり、日本病理学会認定病理専門医の研修については、当院は本年度より、高知大学医学部附属病院を基幹施設としたプ

ログラムの連携施設の一つとなっている。今後の人的要素の安定のためにも、高知大学医学部附属病院、および他の連携施設との関係を密にしてゆく所存である。

一方、予想される業務量の増加に関しては、標本作製等に携わる技師への配慮も必要である。

## 画像診断科

### 1. 概要

超音波学会認定施設として、医療技術局生理検査技師とともに外来および入院診療における心臓・腹部・血管・乳腺・甲状腺・体表超音波検査を行い、特に心臓超音波検査に積極的に介入している。

### 2. スタッフ活動状況

画像診断科・循環器内科に3名の日本超音波学会認定超音波専門医を有する。臨床検査技師と循環器内科医師で心臓超音波診断を行っている。

### 3. 診療実績

1階超音波検査室の5台の超音波検査機を中心に、検査室出棟ができない患者に対しては各病棟のポータブル機も使用し診療を行っている。平成29年度の検査室での全超音波検査件数は10,130件であり、うち経胸壁心臓超音波検査は5,191件であった。

心臓超音波検査では1-2名の循環器内科医が検査室に常駐する体制を継続している。臨床検査技師の検査にリアルタイムで医師が同席することで診断精度の向上と迅速な最終診断結果報告ができるようになり、また臨床検査技師や循環器内科下級医師・他科研修医師・初期臨床研修医の指導体制の強化につながっている。

平成29年度の経食道心臓超音波検査件数は156

件であった。検査室での施行に加え、集中治療室管理の重症患者に対しては積極的に当日病棟出張で検査を行い、また手術室での心臓血管外科手術時に麻酔科医師が行う術中経食道心臓超音波検査に際しては必要に応じて応援を行った。

外来および入院患者における経食道心臓超音波検査に関して、検査時の苦痛軽減および全国的標準水準に追従すべく検査時の鎮静を基本方針として新たに院内プロトコルを作成した。

#### 4. 今後の課題・目標

超音波検査の需要は今後も増加することが予想され、診断業務の主軸を担う臨床検査技師のマンパワー不足が大きな問題である。予約枠数を大幅に超える検査オーダーに対しては前年から周術期心臓超音波検査の適応に関するガイドラインを院内に周知して緊急適応のクラス分けを行い、また各科に検査予約時間の遵守の協力を要請しているが、全体の検査枠のうち予約外緊急オーダーが約30%を占めており、曜日や時間による検査数のばらつきが非常に大きく、検査技師の負担や外来患者の待ち時間への対応が望まれる。

経食道心臓超音波検査の新たなプロトコル作成に続き、今後は静脈麻酔薬での鎮静検査時の人員配置等、医療安全上のシステム整備も必要である。

将来的に現状の診断能力を維持し更に向上するために、若手の臨床検査技師の増員および育成指導をより強化する必要がある。超音波以外の業務を担う循環器内科応援医師にとって超音波検査室業務の負担が大きく、医師の増員も望まれる。低侵襲画像検査として検査技術習得を希望する初期臨床研修医や他科医師も多く、指導カリキュラムの整備が課題である。

## 脳神経外科

### 1. 概要

脳神経外科学会専門医研修プログラムの連携・関連施設、脳神経血管内治療学会研修施設、脳卒中学会認定研修教育病院として、脳神経外科領域の外来診療や手術治療（カテーテルによる神経放射線治療を含む）を主とする入院診療を行った。

### 2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは昨年同様7名の体制であった（全員が脳神経外科専門医）。外科治療を主目的にご紹介いただいた外来受診患者さんのみならず、脳卒中や頭部外傷などの急性期の神経疾患で救急受診した患者さんを可能な限り診療した。

### 3. 診療実績

（外来）延べ人数 3,728 人

週3日の外来診療を各日2診察室の体制で行った。そのほか緊急患者さんを診療する人員を常に確保し、24時間県内全域からの新たな患者さんを受け入れる体制を維持した。

専門外来は設けなかったが、全員が脳神経外科専門医であること、脳血管内治療専門医が各曜日に診療を担当していることから、専門的な診療が可能であった。

（入院）延べ人数 12,706 人

06 SCU病棟を6床から9床に増床し、急性期脳卒中の診療体制を充実させた。そのほか、一般入院加療は06にこやかA病棟、特に重篤な急性疾患に関しては03救命救急病棟、入院患者の術後は03集中治療病棟で加療を行った。

（手術）

平成29年度の脳神経外科の手術総数は276例（うち緊急が178例）であった。直達手術175例中顕微鏡下手術は37例、内視鏡併用手術は60例であった。

### 4. 今後の課題・目標

高知県では他県よりも顕著に高齢化が進行して

いる。その結果、高齢者に多い急性期脳卒中患者が増加している。反対に、その侵襲性から、高齢者では予防的外科治療の適応を慎重に考慮するため、都市部の脳神経外科が盛んに行っている予防的手術は減少している。上記の動向を受け、当院では早期から急性期の脳神経疾患、特に脳卒中を中心とした診療活動をおこなっている。

当科の強みは、全員が脳神経外科専門医であること、高知県最初の脳神経血管内治療学会研修施設であること、複数の脳卒中学会専門医および神経内視鏡専門医が在籍すること、医師以外のさまざまな職種が治療に能動的に関与していることである。反対に、救急症例増加による救急部への過度の負担、複数施設の脳神経外科での症例分散が解決すべき課題である。

現在の利点の発展と問題解決のためには、日常診療を大切に治療成績を向上させることは当然だが、各症例での収益率を高めること、脳神経外科を志す若手医師を養成すること、当院の協力施設を増やすことが重要である。具体的には、入院期間の短縮化、学術活動や専門医・指導医の養成を通じての全国での存在感の強化、紹介医への丁寧な報告書の提供と逆紹介の推進が望ましい。

到達すべき目標として DPC II 超率 20%、手術治療 250 例、緊急症例 7 割、逆紹介率 500%を努力したい。

今後も迅速かつ信頼される診療体制を維持しながら、近視眼的にならずにより積極的な診療を続けたい。

## 眼科

### 1. 概要

眼科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。

### 2. スタッフ活動状況

平成 28 年 4 月から新専門医研修プログラムプログラム開始に伴い、高知大学より常勤医師 1 名の派遣が得られた。現在は常勤医師 2 名、非常勤医師 2 名となっている。

### 3. 診療実績

(外来)

週 5 日の外来診療を常勤医師 2 名と非常勤医師 2 名で、3 診体制で行った(金曜日のみ 2 診体制)。眼科の診察、術前検査や蛍光眼底造影などの各種検査を行った。糖尿病網膜症や未熟児網膜症などに対して網膜光凝固術を施行した。

(入院)

入院患者の延べ数は、140 名であった。多くは手術症例であった。手術症例以外でも重症例では入院管理の下に治療を要する例もあった。

(手術)

平成 29 年度の眼科での手術総数は 242 例であった。内訳は、白内障および硝子体手術 172 例、眼瞼手術 14 例、網膜光凝固術 25 例、抗 VEGF 硝子体注射 27 例、その他 4 例であった。

### 4. 今後の課題・目標

医療機器の進歩により必要な検査がますます多くなっているが、特に眼科は外来検査の種類が多い。また、小児や重度の全身疾患合併者では、検査に時間を要する。その中でいかに効率的な外来運営を行うかが課題である。病状に応じて、再来間隔や検査の頻度を適宜調節する。術後安定している患者は他院へ紹介する。外来診療に余裕を持たせ、初診患者や治療を要する患者に適切な時間をかける必要がある。

また、電子カルテ入力と確認操作の効率化も望まれる。図(シェーマ)を多用したい当科にとって、現在の電子カルテシステムは使いやすいとはいえない。医師やコメディカルの負担を減らすようなシステムが必要である。

今後も院内他科・部門や他病院との連携も深め、人的確保も含め十分に検討していく必要がある。

## 耳鼻咽喉科

### 1. 概要

耳鼻咽喉科の基幹病院として、精密検査を含む耳鼻咽喉科領域の外来診療や、主に入院での手術診療を行なった。

### 2. スタッフ活動状況

常勤医 4 名全て専門医の診療体勢になった。

### 3. 診療実績

(外来)

週 3 回 (月水金) の外来診療を医師 2~3 名体勢で行なった。

がんの化学療法はのべ 159 例施行した。

救急部等の要請があり、緊急性を認めたときにはできる限り他の曜日でも対応を行なった。

手術後や検査結果により、速やかに紹介元に逆紹介を行った。

(入院)

平成 29 年度入院患者の延べ数は 430 例であった。内訳は手術症例が 408 例、めまいや突発性難聴などの感覚器障害が 40 例であった。入院患者のうち、がん患者は 107 例で、手術を施行したのは 35 例で放射線化学療法を施行したのは 66 例であった。

合併症がある患者も多く、必要に応じて循環器内科など他科と連携して診療を行なった。

(手術)

平成 29 年度の手術症例数は 445 例であった。鼓室形成術等の耳科手術は 47 例、内視鏡下鼻副鼻腔手術は 150 例、口腔・咽頭手術は 137 例、耳下腺などの唾液腺手術は 27 例、頸部手術は 27 例で

あった。気管切開その他 20 例であった。うち、がんの手術は 35 例であった。

咽喉頭表在癌は経口的手術で対応した。

頭頸部進行がんなどの再建を含む手術については、形成外科や消化器外科など他科と協力して手術を行なった。耳科手術は内視鏡を用いることもあった。

(検査)

開業医では施行できない検査を中心に行なった。即ち、標準純音聴力検査以外に、電気眼振図 45 例、重心動揺計 170 例、ABR39 例を施行した。

### 4. 今後の課題・目標

高知医療センターに求められる耳鼻咽喉科領域は広く、対応するにはマンパワー不足は否めない。全国的にも耳鼻咽喉科医の高齢化が進んでいる。今後新たに耳鼻咽喉科医を目指す医師を養成する必要がある。

(注)手術件数は、日本耳鼻咽喉科学会算定方法によった。このため入院症例数に対して、手術症例数が見かけ上多くなっている。

## 歯科口腔外科

### 1. 概要

歯科口腔外科領域の外来診療や手術治療および周術期口腔管理に関わった。

日本口腔外科学会、日本有病者歯科医療学会認定施設、日本障害者歯科医療学会の認定施設としての診療基準をクリアした。

### 2. スタッフ活動状況

平成 29 年度は常勤スタッフ 4 名 (歯科口腔外科 3 名、小児歯科および障害者歯科診療 1 名) が在籍した。後期研修医は昨年度の 3 名から 0 名とな

り、一部では外来（救急含む）・入院・手術・周術期口腔機能管理への対応を昨年同様に行っていくことが困難となる状況が生じた。

非常勤医師は2名（他院常勤医と行政職）で昨年度から変化はない。

チーム医療としては周術期口腔機能管理、摂食・嚥下およびNSTに関与・協力している。

### 3. 診療実績

（外来）

6名が各々院内・外の紹介患者さんの受け入れに奔走・努力したため、外来患者数は、新患数2,729人、再初診では延べ18,300人を超え、開院以来最高となった。紹介率については、院内の周術期口腔機能管理に力点を置いている関係上昨年より低下し56.5%に留まった。逆紹介率は、患者さんや紹介先との診療上の繋がりを重要視し対応しているがこちらも昨年度より若干低下し40.6%となった。なお平成29年度、周術期口腔機能管理の新規依頼数は578件であった。

（入院）

入院患者さんの延べ数は、1,672人であった。ここ数年の傾向として、薬剤関連顎骨壊死や糖尿病などをはじめ合併症を有する難治性菌性感染症や後期高齢者以上の口腔癌治療ケースが増加傾向にある。

（手術）

手術室の年間執刀症例は92件とほぼ目標である100件に近い数であった。内訳は、嚢胞、外傷、良性腫瘍および悪性腫瘍と開院以来研修施設として、あまり偏りのない件数が確保できている。

### 4. 今後の課題・目標

当科における診療は、口腔外科疾患や医療弱者（有病者・障害者）を中心として外来診療（紹介患者さん）および入院・手術治療、周術期口腔管理（院内・院外連携）の3つの柱だと認識している。

課題として、歯科研修制度が定着しつつある中、多面的で様々な臨床に関する適応能力を要求される病院歯科にあって、次の時代を担う有能な歯科医師の確保と要請は全国的にも困難を極めるが、喫緊の課題としては周術期に関わる専任医師の確保が挙げられる。また開院以来13年を経過し、様々な医療機器の更新が適宜必要となって来ている。

目標としては、①医療連携をベースに様々な全身疾患を有する患者さんに対し、安心・安全な口腔疾患の観血処置（外来・入院・手術）の提供できる体制作り、②マンパワーを確保し、周術期口腔機能管理の介入率のアップ（20～30%台）、さらに③口腔ケアに熟知し、病院歯科で活躍できる「歯科衛生士」の養成（県内養成機関である高知学園短大との包括連携協定の具体化）だと考えている。

## 呼吸器内科

### 1. 概要

当科は、呼吸器疾患の内科的診断、治療全般を行っており胸部異常陰影に対する気管支鏡検査、肺癌に対する化学療法、急性呼吸不全や慢性呼吸不全の増悪などの急性期疾患、肺炎、間質性肺炎や肺結核治療を行える病院として高知県全域からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

### 2. スタッフ活動状況

開院時は5名の常勤スタッフで診療を行っていたが現在2名の常勤医で診療を続けている。

### 3. 診療実績

週5日の外来診療を、常勤医2名で、非常勤医1人で診察を行っている。表1に平成29年度の呼

吸器系患者の入院、外来数の延べ人数を示した。延べ入院患者 5,918 人、外来患者数は 6,045 人である。入院患者の内訳は肺癌が半数をしめる。肺癌の化学療法は 112 人（レジメン適応数 178 件）に施行されており、免疫チェックポイント阻害剤は 39 人、分子標的治療薬は 24 人に導入している。肺癌の化学療法については入院での治療導入後は外来化学療法が主体となっており、患者さんの QOL の維持を目的として緩和ケアチームと連携を取りながら治療に当たっている。

呼吸器内科の人員の減少により、通常の肺炎などは総合診療科や救急科で治療していただき、難治性肺炎や間質性肺炎など特殊な疾患については呼吸器内科での加療となる体制となっている。

気管支鏡検査は年間 209 例施行しており 1 泊 2 日のパスを使用している。末梢肺の小型病変に対してはバーチャル気管支ナビゲーションを使用し診断率向上に努めている。縦隔リンパ節病変の精査に対しては EBUS-TBNA を施行。原因不明の胸水の精査および膿胸の加療目的に局所麻酔下胸腔鏡を施行している。

表 1 入院・外来実績

	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器内科	5,918 人	6,045 人

表 2 平成 29 年度疾患別退院患者数(532 人)

疾患名	退院患者数 (人)
肺炎	75
肺癌	333
気管支喘息	8
間質性肺炎	43
気胸	2
肺結核	21
その他	532

表 3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数 1 カウント)
呼吸器内科	112 人	712 回

#### 4. 今後の課題・目標

肺炎などについては総合診療科や救急科の協力のもと加療を行い、肺癌など悪性疾患については呼吸器外科と連携のもと診断、治療を行っているが今後もスタッフの充実が望まれる。

## 呼吸器外科

### 1. 概要

当科は、呼吸器疾患を中心に外科的治療(手術)を主に行う科で、「肺がん、気胸などの呼吸器疾患に対する安全を重視した外科的治療」を基本理念としている。高知県全域および県外からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

### 2. スタッフ活動状況

開院以来 3 名の常勤スタッフで手術を中心とした診療を続けている。

### 3. 診療実績

週 2 日の外来診療を、常勤医 3 名で行った。表 1 に呼吸器系患者さんの入院、外来数の延べ人数を示した。入院、外来とも呼吸器外科患者数はそれぞれ約 3,300-3,400 人であった。

表 2 に手術実績を示した。平成 29 年は 194 例の手術を施行し、平成 28 年、平成 29 年と概ね 200 例弱の手術を施行した。

(<http://www2.khsc.or.jp/info/dtl.php?ID=1101>)

平成 29 年の内訳では、原発性肺癌が 92 例で最多であるが、当院の特徴として他の疾患からの転移(転移性肺腫瘍)の診断・治療(手術)が多い

のも特徴である。胸腔鏡下の肺切除術（VATS）が手術全体の8割以上で行われている。2017年も、年間を通して手術関連死亡（術死、在院死）を認めなかった。気管支鏡検査は、呼吸器内科、呼吸器外科合わせて209件で、呼吸器内科を中心に施行いただいた。

表1 入院・外来実績（平成29年）

	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器外科	3,442人	3,398人
呼吸器内科	5,918人	6,045人

表2 手術実績

手術実績	平成28年	平成29年
肺癌	102	92
転移性肺腫瘍	23	28
縦隔腫瘍	8	17
気胸	19	18
膿胸	5	3
外傷	6	2
その他	33	34
合計	196	194

表3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数1カウント)	レジメン適用回数 (患者・回数複数カウント)
呼吸器外科	39人	53回	175回
呼吸器内科	112人	178回	712回

表3に化学療法の実績を示し、呼吸器内科、呼吸器外科ともに多くの化学療法を行っている。1患者さんあたり2種類以上のレジメンが施行されている。肺癌病期IA期でも、2cm以上の大きさでは術後化学療法が推奨される。また大多数の切除不能肺癌・進行肺癌・再発肺癌の領域でのレジメン数は増加し、適応症例や適応回数も増加しうると思われる。DPC資料からも地域での肺悪性腫瘍の診療実績が上位におり、基幹病院としての役割

を果たしている。

#### 4. 今後の課題・目標

今後発展し続ける内視鏡手術の適応継続と保険収載となったロボット支援下の手術手技・システムの充実、保持、適切な更新とともに、肺癌化学療法分野の著しい進歩に合わせた呼吸器内科・呼吸器外科の連携、スタッフの充実、教育、がん診療連携拠点病院の機能保持が望まれる。

## 循環器内科

### 1. 概要

『紹介患者さんを断らない』をモットーに、365日・24時間、循環器内科医師が常駐し、迅速な患者さん受け入れ直後より専門医師による救急医療を提供する。救急外来での診断、緊急カテーテル治療、CCU・一般病棟管理、早期からの心臓リハビリテーション（心リハ）、病診連携による外来フォローと、切れ目のない循環器診療を実践している。

虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション（PCI）、不整脈に対するカテーテルアブレーション（RFCA）、各種デバイス移植術（ペースメーカーやICD）、大動脈弁疾患に対する経皮的冠動脈弁置換術（TAVI）/形成術（BAV）、末梢血管疾患に対するカテーテル治療（EVT）等、最先端の低侵襲治療を積極的に行っている。

### 2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ10名、非常勤スタッフ2名の総勢12名で循環器診療を行っている（表1）。日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本不整脈心電学会専門医、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会指導医、日本超音波医学

会専門医、日本心臓リハビリテーション学会指導士の資格を持つ専属スタッフにより、PCI、RFCA、TAVI/BAV、心エコー、心リハに質の高い医療を実践している。平成 29 年 11 月、ストラクチャークラブ・ジャパン 2017 の Case Competition において最優秀賞を受賞した。平成 29 年 10 月には、四国で唯一の PCI ライブである四国お遍路ライブデモンストレーションコースを当院で開催し、四国 4 県から 200 名を超える医療従事者を迎え、成功裏に行うことができた。

### 3. 診療実績

平成 29 年度の診療実績を表 3 に示す。

平成 29 年度の外来患者数は延べ 8,322 人、入院患者数は延べ 13,398 人であり、平均入院日数は 6.8 日で概ね例年どおりであった。

当科での PCI については、ロータブレード、エキシマレーザー、方向性粥腫切除術（DCA）、順行性解離再開通法（ADR）の認定施設であり、複雑冠動脈病変への PCI を積極的かつ安全に行っている。平成 29 年 10 月には、四国で唯一の PCI ライブである四国お遍路ライブデモンストレーションコースを当院で開催し 200 名を超す医療従事者の参加があった。

重症大動脈弁狭窄症に対する TAVI の認定施設でもある。循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・コメディカルスタッフから成るハートチームで治療に当たり、良好な治療成績をあげている。今後、僧帽弁逆流症に対する経皮的僧帽弁形成術（MitraClip）、ペースメーカーや ICD の機能不全リードに対する経皮的リード抜去術等の低侵襲手術の施設認定を取得する予定である。

当院は日本循環器学会専門医研修施設、日本心臓血管インターベンション治療学会研修施設、日本内科学会認定教育施設であり、種々認定医・専門医の教育を行っている。

### 4. 今後の課題・目標

更に多くの患者さんを県内外の医療機関から紹介頂けるよう、カスタマーサービス含め医療のレベルアップを図る。

また、迅速な緊急患者さんの受け入れのため、急性期を脱し病状が安定すれば、迅速な退院・転院が可能となるよう密な病診・病病連携を継続し地域チーム医療を更に推し進める。

高知県で世界標準の循環器医療が受けられるようソフト面・ハード面ともに充実させ、地域完結型の循環器診療を目指したい。

(表 1)

名前	役職	専門分野
山本 克人	循環器病センター長	RFCA
細木 信吾	科長	PCI (CTO)
尾原 義和	医長	TAVI/BAV
宮地 剛	医長	PCI・CT
古川 敦子	兼画像診断科長	心エコー
福岡 陽子	副医長	心エコー
吉村 由紀	副医長	TAVI/BAV
高木 航	副医長	循環器内科一般
飛田 諭志	副医長	循環器内科一般
山地 達也	副医長	循環器内科一般
西本 美香	(非常勤)	心リハ
川田 哲史	(非常勤)	RFCA

(表 2)

曜日	午前・午後	名前
月曜	午前	尾原 吉村 山本 (不整脈)
	午後	尾原
火曜	午前	細木 飛田
	午後	細木
水曜	午前	山本 福岡

	午後	ペースメーカー外来
木曜	午前	宮地 山地
	午後	宮地（再診）
金曜	午前	古川 高木
	午後	ペースメーカー外来

(表 3)

		件数
虚血性心疾患	冠動脈造影	1,153
	PCI (初期成功率)	384(99.5%)
	ロータブレーター	55
	エキシマレーザー	30
	CTO	39
不整脈	EPS	8
	RFCA	63
ペースメーカー	新規	66
	電池交換	33
ICD	新規	3
	電池交換	5
CRT-P	新規	8
	電池交換	0
CRT-D	新規	0
	電池交換	0
大動脈弁	TAVI	30
	BAV	15
EVT		23
心エコー	経胸壁	3,412
	経食道	255
心臓 CT		245
心筋シンチ		292
心臓 MRI		11
運動負荷 ECG		297

## 心臓血管外科

### 1. 概要

心臓血管外科専門医機構の基幹施設として、心臓血管外科領域の外来診療・入院診療を行っている。入院診療は手術治療を中心とし、手術対象は心臓・大血管・末梢血管である。

### 2. スタッフ活動状況

現在常勤スタッフ3名の体制で診療を行っておりますが、仕事の効率化や強力関係の強化によって、予定手術に加え、緊急対応も精力的に行っている。既に手術中である場合、または、麻酔科・手術室体制として受け入れ不可能な場合を除いて全ての緊急症例を受け入れる体制で診療している。

### 3. 診療実績

(外来診療)

火曜日と木曜日に外来診療を行っており、各々が特殊外来を兼任する形で行っている。一般的な心臓血管外科外来およびその他の特殊領域の外来；静脈瘤、末梢血管、ステントグラフト、先天性；などを対象として、外来診療を受診しやすく、紹介しやすくして対応している。

当科では手術をした患者さんに関しては基本的に術後終生診させていただくことを原則とし、術後状態についても責任を持って行くべく、体制をとっている。

また、救急救命センターとの連携において、通常の急患はもちろん、術後状態変化のあった患者さんに関しても可及的早期に受診できる様にしていく。

(入院診療)

当院9階フロアを循環器病センターとし、循環器内科と心臓外科を隣の病棟に配置して、術前後の連携を図っている。心臓・大血管術後急性期は当院3階の院内ICUにて、集中治療科医との連

携のもと、必要な期間治療している。

(手術治療)

週4日の手術日にて手術治療を、半日のカテ治療日にカテ治療を行っている。平成29年度の手術総数は311例で、弁膜症82例

、虚血性心疾患27例、胸部大動脈瘤51例、腹部瘤55例、先天性10例などであった。僧帽弁逆流は基本的に形成術を施行、冠動脈バイパスは状態不良緊急例以外はほぼOPCAB(人工心肺非使用)にて完遂、胸部瘤は日勤帯で終了し多くは当日に人工呼吸器離脱、という状況であり、疾患の重症度から考えられる最善の結果を得られている。

カテ治療も積極的に行っており、ステントグラフト治療はTEVARとEVARを併せて35例、TAVI治療は17例に施行した。両治療ともに緊急・準緊急症例に対しても積極的に行っている。

手術成績は良好で、昨年1年間での在院死亡は1例のみで、AMIに乳頭筋断裂を合併した超重症緊急例のみであった。

#### 4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化・高齢化した手術症例が増加する傾向はますます進行しているが、院内他科、特に麻酔科・集中治療科・救急科との協力が充分に行われており、良好な成績を得ている。

最新の手術動向を取り入れつつも、高知で最も早く開心術を行ったチームから引き継がれた歴史と伝統をのこしつつ治療を行っており、しっかりした礎に建てられた最新の快適な家のように、病気に冒された患者さんに少しでも快適を提供できるように努力していきたいと考えています。

## 消化器内科

### 1. 概要

当診療科は消化器内科領域、特に消化管、胆膵疾患の診断・治療を担当し、外来および入院診療を行った。なかでも内視鏡診断・治療を中心として、救急治療、専門的な精査、治療を行った。また研修医および院外からの研修医師を受け入れ、診療および内視鏡研修の指導を行った。

### 2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは計7名、他非常勤医師1名が水曜午後の外来を担当している。

### 3. 診療実績

外来業務：週5日午前、月・木・金は2診、火・水は1診での常勤スタッフによる診察、水曜午後に非常勤医師による診察を行った。また救命救急科を主として各科と連携しつつ救急外来の対応を行った。基本的には早期の転医を推進し、再診患者数の削減を目指している。

入院業務：検査、予定治療入院、緊急入院診療を行い、地域医療連携、退転院調整、離床促進やリハビリを早期より積極的に利用し、在院日数の短縮を図っている。

内視鏡実績以外には急性膵炎、炎症性腸疾患が主たる疾患で入院期間も長期になりやすい。

内視鏡実績：平成29年度の消化器内科での内視鏡実績は以下の通りであった。

#### 上部消化管内視鏡検査

通常検査	1,814
止血術	191
食道ESD	24
胃ESD	74
胃ポリペクトミー・EMR	10
十二指腸ポリペクトミー・EMR	10
静脈瘤硬化療法	21
静脈瘤結紮術	5
異物除去	21
胃瘻造設術	35
消化管拡張術：食道	25
胃十二指腸	5

ステント留置：食道 5 胃十二指腸 0  
内視鏡下胃管挿入 11  
胆膵 EUS 46 FNA・ドレナージ 11  
迅速ウレアーゼテスト 265

#### 下部消化管内視鏡検査

通常検査 718

止血術 53

大腸ポリペクトミー・EMR 334

大腸 ESD 40

消化管拡張術 小腸・大腸 2

ステント留置 3

ダブルバルーン小腸内視鏡検査 13

#### ERCP

通常検査 38

結石除去 218 ステント留置 53

#### 4. 今後の課題・目標

主な業務となる消化器救命救急、がん診療に対する院内外からの要望がより高まる中、年々減少するスタッフの数が絶対的に足りていないのが現状である。また数年来肝疾患専門常勤スタッフ不在で、週1回非常勤医師の外来のみの対応となっている。これらは当科の指導システムや新しい人材の確保、施設認定等においても影響する課題といえる。

スタッフの確保と、いかに安全性を保ちつつ診療体制の維持・進歩をはかっていくかが最大の課題・目標である。

## 消化器外科・一般外科

#### 1. 概要

高知県の消化器外科の基幹病院として、手術治療を主とした入院診療と外来診療、さらに救急医療を行った。

#### 2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ16人の体制で活動した。

#### 3. 診療実績

(外来)

外来診療は、平日午前、午後それぞれ2-3診察室の体制で、1日平均患者数は約50人で推移しており、1枠の診察患者数は10-20人であった。初診患者数は2-3人であり、今後より多くの初診患者さんに対応できると考えられる。

(入院)

1日平均入院患者数は55-60人であるが、70人近い月もあり、昨年より増加傾向であり、新規入院患者数の達成率は100-110%である。平均入院日数は12-13日の間で変動しており、昨年と大きな変化はないと考えられる。また手術件数は70-107件/月と月による変動がみられるが、昨年より僅かに増加傾向にある。予定手術患者は前年度よりやや増加傾向にあり、今後さらに病診連携を進めて術後在院日数を短縮する努力が必要と考えられる。

(手術)

表1に手術数を示した。平成29年の消化器外科手術総数は1,071件であった。平成28年の手術総数は1,097件であり、前年度とほぼ同数であった。主な疾患別では、食道疾患20件、胃疾患138件、大腸疾患240件、肝胆膵高難度手術は140件であった。また、胆嚢摘出術159件(開腹胆摘53件、腹腔鏡下胆嚢摘出106件)、ヘルニア69件であった。腹腔鏡下手術は総数323件であり、全症例の約30%を占めていた。

#### 4. 今後の課題・目標

常勤スタッフ数に対し、消化器外科専攻医が少ない状況が続いている。県外出身者からすれば辺境の地であるかもしれないが、豊富な手術症例数があり、上級医からの教育体制も整ってきており、外科医としての研修環境としては全国の基幹病院

に引けをとらないと考えられる。今後は県内外の研修医に向けて積極的にアピールを行い、地道に当科での専攻医を増やしていきたい。また、来年度には女性医師の派遣が内定しており、女性医師が安心して働ける消化器外科を実現しなければならない。

平成 30 年度から消化器外科内での臓器別グループ化を予定しており、今後より専門性を高めて高度な取り組みが出来るように発展させたい。各領域における臨床試験、治験等への取り組みもさらに充実できればと考えている。

学会発表・論文業績においてもこれまで岡山大学関連病院の中で有数であり、今後も業績を維持・向上させるべく各スタッフの努力が望まれる。

## 泌尿器科

### 1. 概要

泌尿器科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。当院は地域がん診療拠点病院であるため、泌尿器悪性腫瘍の患者さんが中心となるが、尿路結石の治療や、前立腺肥大症など排尿障害の手術なども積極的に行っている。また、移植外科と協同で腎移植にも関与している。

### 2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ 3 名と、後期研修医 1 名の 4 名体制で診療を行った。常勤スタッフは日本泌尿器科学会の専門医・指導医であり、うち 2 名は泌尿器腹腔鏡技術認定医である。

診療時間外についても 1 名のオンコール体制により緊急対応も行っている。

### 3. 診療実績

(外来)

平成 29 年度の外来患者総数は 6,705 人、月平均

559 人であり、前年度とほぼ同様であった。

週 4 日（水曜以外）の外来診療は各日午前中 3 診察室の体制で行った。初診患者さんの紹介状は地域医療連携室へ事前に FAX で送っていただき、初診時にできるだけ効率よく検査ができるようにしている。

(入院)

入院患者さんの延べ数は 3,176 名で、前年度とほぼ同様であった。

入院目的となる大半の疾患に対してはクリニカルパスを使用し入院期間の短縮に努めている。パス適応の手術・検査は、腹腔鏡下副腎摘除術、腎摘除術、腎尿管全摘除術、TUL、EWSL、尿管ステント留置術、TUR-BT、前立腺全摘除術、HoLEP、精巣摘除術、前立腺生検である。

(手術)

平成 29 年の総手術件数は 480 例（前立腺生検も含む）であった。泌尿器悪性腫瘍に対する手術が多く、副腎腫瘍に対する副腎摘除術を 4 例（腹腔鏡下）、腎腫瘍に対する根治的腎摘除術を 13 例（体腔鏡下 12 例、開腹 1 例）、腎部分切除術を 12 例（小切開 10 例、体腔鏡下 2 例）行った。上部尿路腫瘍に対して腎尿管全摘除術（後腹膜鏡下）を 9 例行い、膀胱腫瘍に対しては膀胱全摘除術を 2 例（尿路変向は回腸導管 1 例、尿管皮膚瘻 1 例）、TURBT を 62 例（初発 31 例）行った。前立腺癌に対しては前立腺全摘除術（小切開）を 2 例、去勢術を 7 例行った。精巣腫瘍に対する高位精巣摘除術は 3 例であった。

悪性腫瘍以外については、前立腺肥大症に対する経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）を 28 例行い、結石治療として PNL4 例、TUL36 例、ESWL4 例、経尿道的膀胱碎石術 15 例、膀胱切石術 1 例行った。また、移植外科とともにドナー腎採取術を 12 例行った。尿管ステント留置・交換は 101 例、前立腺生検は 119 例（前立腺癌検出は 72 例）であった。

#### 4. 今後の課題・目標

前立腺全摘除術、腎部分切除術、膀胱全摘除術などの泌尿器科手術でダ・ヴィンチを使用するロボット支援手術が保険適応となっており、こちらが主流となりつつある。当院では未導入であるため、今後の治療レベルの維持のためには早期の導入が望まれる。

## 腎臓内科・膠原病科

### 1. 概要

腎臓疾患の基幹病院として、腎炎・ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、膠原病、血管炎の外来診療、入院診療を中心に行った。

### 2. スタッフ活動状況

これまで常勤スタッフ3名であったが、平成28年8月に1名退職し、常勤2名体制になった。9月より高知大学より週1回外来、非常勤医師（月曜日14:00～17:00、再診のみ担当、隔週交代）、計3名体制で診療している。

### 3. 診療実績

外来患者さんの延べ数は、4,773人（平成28年度）、3,686人（平成29年度）前年比77.2%と減少した。平成29年初診80人（紹介66人）、逆紹介144人であった。スタッフ減少したが、新患は可能な範囲で受入れた。

入院患者さんの延べ数は、4,512人（平成28年度）、3,358人（平成29年度）前年比74.4%に減少した。

腎炎・ネフローゼ症候群、膠原病、血管炎の診断、診療を中心に継続した。血液浄化療法に関しては、①急性腎不全、慢性腎不全急性増悪時に対する血液透析、血液透析導入、②他院にて血液透析中の合併症に対する治療（手術、内視鏡治療、

循環器内科的治療、化学療法等）、③腎移植前後の管理（血漿交換、血液透析）、④消化器疾患（GCAP、血漿交換等）、⑤特殊な疾患に対する血漿交換療法（血栓性血小板減少性紫斑病など）を行った。

日本透析学会平成29年末統計調査は、当院新規導入27名（平均57.9歳、男性19名、女性8名）、原疾患①慢性糸球体腎炎29.6%、糖尿病性腎症29.6%、③腎硬化症18.5%と報告した。

他科入院中に合併する腎不全は、頻度が多く早期対応が望ましいと考え、対診枠は月～金、従来どおり継続した。時間外の急性腎不全、急性血液浄化に関しては、救命救急科と連携し対応した。定期の血液透析は休日も同様に継続し、周術期に関連した血液浄化は、院内ICUと連携し、時間外の臨時（緊急）透析に対応した。

#### 4. 今後の課題・目標

院内発症の腎不全管理、腎代替療法の選択・導入、維持透析中の合併症治療における血液透析管理を継続する。

腎炎・ネフローゼ症候群、血管炎が増加しており、また高齢化も進んでおり、早期発見・治療に努め、末期腎不全への進展を抑制したい。かかりつけ医との連携した慢性腎臓病（CKD）対策、特に早期発見、早期治療、その後の逆紹介アップに努める。

若手医師育成に関しては、当院は、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会認定施設であり、腎臓専門医、透析専門医の育成に努める。腎臓疾患は、全身と密接に関連しており、全身疾患によって腎障害は惹起され、また、腎障害は全身に影響を与える。原疾患と腎疾患の関連を常に考えながら診断、治療を行う generalist の意識を育成する。

平成28年8月透析専門医が1名退職したため、日本透析医学会認定施設の条件が満たされなくなり、平成29年度より教育関連施設に変更した。他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

## 移植外科

### 1. 概要

県内唯一の腎臓移植施設であり、腎臓移植手術を中心として内シャント設置術、シャントトラブルの対応を行い、多数の腎移植患者さんのフォローアップを外来で行っている。

### 2. スタッフ活動状況

現在腎臓移植レシピエント手術は、澁谷、大石、須井、高田、ドナー手術は小野(泌尿器科)、尾崎、須井、坪井(泌尿器科)が担当している。

移植レシピエントコーディネーターは2名おり、外来での患者さんへの指導、入院患者さんへの生活指導やその他の相談に対応している。学会活動も積極的に行っており、日本臨床腎移植学会、腎移植・血管外科研究会、中国四国臨床臓器移植研究会、日本移植学会で発表した。

### 3. 診療実績

当院開院以来 136 例の腎臓移植手術を行った。(県立中央病院の症例を合わせて 311 例)平成 29 年度は 13 例の生体腎移植を行った。近年は透析導入することなく腎移植を行う preemptive(先行的)腎移植が増加している。136 例中 49 例(36%)が preemptive 腎移植であった。平成 22 年以降免疫抑制療法の進歩により腎移植の生着率は向上しており、10 年生着率は 90%である。血液型不適合腎移植もリツキサンの保険適応となり非常に成績良好である。最近は糖尿病性腎不全で移植を希望される患者さんが増加している。糖尿病性腎不全患者さんは透析により動脈硬化がさらに進行するため生命予後が不良となる。そのため preemptive 腎移植の良い適応と考え当科でも積極的に取り組んでいるがノンアドヒアランスや過体重などの問題もあり今後の課題である。

## 婦人科

### 1. 概要

産婦人科は婦人科腫瘍、産科周産期医療、生殖医療とその他疾患に専門が更に分かれて来ている。婦人科は婦人科腫瘍とその他疾患を取り扱っている。

### 2. スタッフ活動状況

婦人科は他の産科、生殖医療科の医師も兼任している。

### 3. 診療実績

週 5 日の外来診療を行っている。平成 29 年度の初診患者さんは 511 例(紹介患者さんは 392 例)であり、逆紹介患者さんは 105 例であった。平成 29 年の手術総数は 351 例であり、そのうち腹腔鏡手術が 75 例、子宮鏡手術が 26 例であった。過多月経に対するマイクロ波子宮内膜焼灼術も施行している。婦人科悪性腫瘍治療数(初回治療症例のみ)は、CIN が 73 例、子宮頸がんが 13 例、子宮体がんが 15 例、卵巣がん・境界悪性腫瘍が 19 例であった。

### 4. 今後の課題・目標

初診患者さんの受け入れを遅滞なく行うため、逆紹介患者さんを増やし、再診患者数の削減が必要である。産科周産期症例が増加している中、婦人科疾患の救急対応に対して他施設との連携が必要である。

## 産科

### 1. 概要

産婦人科は平成 29 年度末現在、4 名の常勤産科医師および 4 名の兼務産婦人科医師(生殖補助医

療科、婦人科) 3名の後期研修医、1名の非常勤医師の合計12名で診療にあたっている。外来受診妊婦の約半数が一般産科症例であり、残りの半数がハイリスク妊娠である。合併症妊娠のほか、近年では生殖医療技術(ART)による妊娠や35歳以上の高齢妊婦が増加する傾向にある。また、高齢妊娠の増加を背景に出生前診断を希望される妊婦も多く、ニーズに応えるため特殊外来を開設し超音波専門医・臨床遺伝専門医が対応している。当院は高知県唯一の総合周産期母子医療センターであり、MFICU3床、NICU12床、GCU15床を有し、小児科(新生児・小児循環器)、小児外科の協力を得て、高知県全域からハイリスク妊娠や胎児異常症例を受け入れている。胎児疾患症例の紹介も多く胎児胸水に対する胸腔シャント術や胎児採血・輸血などの胎児検査・治療も行っている。

## 2. スタッフ活動状況

外来診療、入院診療および定時手術に加え、緊急手術や母体搬送に対応している。学術活動としては、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児学会をはじめ周産期医療関連学会に積極的に演題発表、参加し最先端の情報を臨床に生かしている。また、シミュレーション教育にも力を入れており、看護スタッフとともにALSO japanやJ-CIMELS(日本母体救命システム普及協議会)などチーム医療や産科救急に関する研修会に積極的に参加し臨床技術の向上を図っている。その他、高知県周産期医療関係者研修事業の委託を受け、周産期医療関係者研修会、症例検討会を開催、その他外部資金(高知医療再生機構、生命(いのち)の基金)を得て、周産期医療に関わる研修会を多数開催し、周産期に関わる人材育成や情報共有を進めている。

## 3. 診療実績

産科外来患者数：延べ10,461名 産科入院患者数：延べ9,815名 分娩件数(22週以降)：853件 多胎：双胎41組 児総数：894人(22~27週：16名、28~33週：26名、34~36週：54名) 帝王切開：315件 母体搬送受け入れ件数：57件 高知県の早産予防対策により、妊娠初期から早

産ハイリスク例が抽出されるようになり、結果として外来患者数は増加し、母体搬送件数は減少している。また、高齢妊娠や母体合併症を有したハイリスク妊娠例も多く、全体として分娩数は増加している。当院の早産率は減少するとともに、高知県全体の周産期データも好転し、全国レベル以上となっている【平成28年 周産期死亡率2.9(全国3.6)、新生児死亡率0.4(全国0.9)、いずれも出産千対】。

## 4. 今後の課題・目標

高知県の出生数は年々減少しているが、当院の外来患者数、分娩数は増加している。理由として分娩施設の減少とハイリスク妊娠の増加が背景にあると考える。当院では増加する分娩に対応すべく平成26年に産科8床が増床され合計34床となっているが、ローリスク症例の増加に伴い満床によりハイリスク症例を受けられない状態が生じている。ハイリスク症例を優先的に受け入れローリスク症例を一次、二次病院に分散するようマネージする必要がある。早産を例にとると、高知県下全症例に対する子宮頸管長測定および細菌性膣症検査により早産ハイリスク症例を早期発見・治療的介入が可能になり早産防止対策は一定の効果を上げている(前述周産期死亡率・新生児死亡率の低下)。しかし高齢妊娠の増加に伴い妊娠高血圧症および子宮内胎児発育不全や、ART妊娠による多胎の増加による早産症例は減少していない。切迫早産管理の再検討を行い、ハイリスク症例の高次医療機関への集約とローリスク妊娠の分散を目標に産科施設の病診連携強化が必須となる。

このような平時の産科医療システムの適正化は近い将来確実に来ることが予測されている南海トラフ地震による災害時の周産期医療の質を保つために必須であり、喫緊の課題と言える。

生殖医療科

## 1. 概要

生殖医療専門医制度の認定研修施設として、日本産科婦人科学会規約を遵守し一般不妊治療から高度生殖医療に至る幅広い診療を行っている。

## 2. スタッフ活動状況

生殖医療専門医 2 名、胚培養士 3 名による配偶者間人工授精、及び高度生殖医療として体外受精、顕微受精（精巣内精子回収法を含む）、凍結融解胚移植、悪性腫瘍患者さんに対する精子凍結保存などを実施している。また、不妊症看護認定看護師 1 名による外来カウンセリングを週 1 回程度実施している。

## 3. 診療実績

外来診療として不妊症検査スクリーニング、timing 指導、配偶者間人工授精、高度生殖医療を実施している。高度生殖医療の 2017 年 1 月～12 月の実施件数および成績を示す。

体外受精 77 周期、顕微受精 52 周期、凍結融解胚移植 69 周期

平均年齢 37 歳

胚移植あたりの妊娠率 27.5%

胚移植あたりの妊娠継続率 24.6%

体外受精と顕微受精を合わせた採卵周期数は 129 周期となり、年々増加傾向を示している。

また、泌尿器科と連携した無精子症、悪性腫瘍患者さんに対する精巣内精子回収法または射出による精子凍結保存は毎年数症例実施しており、2017 年は 7 例、開院依頼 72 例実施した。凍結精子を使用した顕微受精による妊娠率は、症例あたり 57.5%であった。

## 4. 今後の課題・目標

晩婚化に伴い不妊治療を受ける方が増加し初診時の年齢が 40 歳以上の比率が年々上昇している。そのため高度生殖医療に対する需要は大きく県内では当院を含め数カ所で行っているが、加齢と

共に治療に対する反応は悪くなり 40 歳代前半で治療を断念しているのが現状である。一方、男性悪性腫瘍患者さんに対する取り組みは当院が県内唯一であり社会的重責を担う。症例数が増え多忙を極める中、医師、胚培養士をはじめ生殖医療に携わるスタッフの更なる技術向上、安全性に対する意識向上を徹底することが急務である。

# 小児科

## 1. 概要

当科は、小児の内科的疾患を主に行う科で、高知県全域から患者さんを受け入れており、各地域の開業医院、病院の先生がたと連携を保ちながら診療を行っている。また、外科的治療を要する児に関しても、小児外科および他の外科系診療科との連携を図りながら、患者さん全身の診療を行っている。小児病棟では院内学級も併設、院内保育士も配備されており、長期入院児の学業面および生活面のサポートを行っている。

総合周産期母子医療センターを有しており、県内の新生児疾患全般に関して診療を行っており、先天性心疾患および希少な重複外科疾患の一部は県外の専門施設と連携しながら対応している。

## 2. スタッフ活動状況

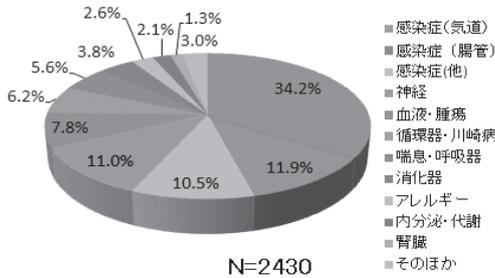
西内部長を含めて、常勤医 9 名、非常勤医 2 名である。外来診察室は感染症 2 室、非感染症 4 室(小児外科含む)と分けて診療を行い、病院での感染に配慮している。一般外来・専門外来ともに午前・午後行っている。専門外来では、小児循環器、小児神経、小児血液・腫瘍、内分泌・腎臓、慢性疾患、NICU 卒業児の発達フォローアップの各専門外来を行っている。

## 3. 診療実績

(入院)

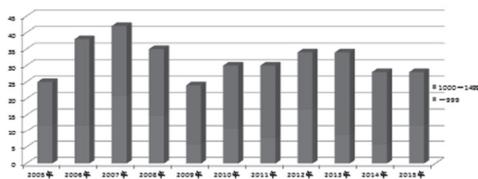
入院延べ人数は、平成 28 年度は 13,096 名、平成 29 年度が 14,169 名で、108.2%の増加となっている。平均入院日数は、平成 28 年度は 11.3 日、平成 29 年度は 10.5 日で、0.8 日減少している。

図1 2013～2015年の疾患別入院割合(NICUを除く)



3 年間の集計では、4A 病棟では感染症が約 56% を占めており、次いで神経疾患が多かった。県下での小児救急医療体制の中で重要な役割を果たしている。

図2 極低出生体重児(1500g未満)の入院数



	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計
入院数	25	38	42	35	24	30	30	34	34	28	28	348
死亡数	3	7	5	1	1	2	1	1	0	1	0	22
救命率(%)	88.0	81.6	88.1	97.1	95.8	93.3	96.7	97.1	100	96.4	100	93.7

極低出生体重児の救命率は、近年安定して良好な成績である。

(外来)

平成 29 年度の外来患者数は 17,528 名、予防接種件数 6,402 回(複数接種含む)、乳児健診健診 1,171 名であった。

#### 4. 今後の課題・目標

今後も現状と同様、地域の医療機関と連携して診療を継続していく予定である。

NICU 満床による受け入れ困難が発生しており対

応を迫られている。高知県は NICU 1 床あたりの新生児科医が全国的にも大変少なく、県全体での増員が課題である。

## 小児外科

### 1. 概要

高知県内唯一の日本小児外科学会認定施設として、小児外科・小児泌尿器科領域の外来・入院診療を行った。

### 2. スタッフ活動状況

日本小児外科学会専門医 1 名が一人医長として勤務している。多くの小児外科予定手術は小児科に研修している 2 年目の初期臨床研修医を第一助手として行っているが、緊急手術や高難度の予定手術は、消化器外科、呼吸器外科のグループの協力を得て行っており、症例によっては岡山大学より学会認定の指導医や専門医の応援を得て施行している。小児泌尿器科領域も小児外科領域と同様に泌尿器科の協力を得ている。

当院小児科が日本小児血液・がん学会研修施設であることから、その認定更新の必要要件である日本がん治療認定機構がん治療認定医と日本小児血液・がん学会認定外科医の資格を一人医長の小児外科専門医が有し、若手小児科医の修練を外科的な立場でサポートしている。また、日本周産期・新生児学会も同様の条件になり得ることを考慮して、日本周産期・新生児学会外科医の資格も有して、新生児外科的疾患の修練もサポートしている。

### 3. 診療実績

(外来)

従来と同様に、月曜日の午後と水曜日に外来診療を行っている。受診患者数が多く患者さん達からの希望もあり、月曜日の午前と金曜日にも外来

診療を枠外で行っている。外来検査は火曜日の午後と金曜日に行っているが、月曜日の午前中も必要に応じて行っている。多くの画像検査で小児の場合鎮静が必要となり、鎮静を行う場合は小児外科医が鎮静を行い、その後もすべての検査に立ち会っている。

(入院)

昨年手術症例数は 206 例で、例年通りの 200 例を確保できた。鏡視下手術は 26 例、新生児手術は 13 例、泌尿器科関連手術は 16 例とほぼ例年通りであった。

#### 4. 今後の課題・目標

当院の病院機能として小児外科的・小児泌尿器科的疾患に対して救急対応を行っている現状を考えると小児外科専門医がもう一名常勤医として赴任することが必要であるが、全国的に小児外科の人的資源は乏しい。

専門医の赴任が現実的に困難である状況であり、当科では前述のとおり初期臨床研修医が多くの手術で第一助手を行っている。小児外科志望の専門研修医や他領域外科からの専門研修医が小児外科研修で手術を行うことが望ましいが、当院の外科専門研修医は十分ではない状況が続いている。

一方、高知県の出生人口は当院開院時 6,000 人を越えていたが、近年では 4,700 人台となっており、10 年後は 4,000 人を割ることは十分に予想される。こういう現状を踏まえて、高知県における小児外科の必要性をどのように考えるか、他施設との集約化を図るか、当院の施設認定を含め、行政と十分に議論を行い、病院としての長期的なビジョンを示す必要がある。そのビジョンに沿うように人的資源の確保に努めたい。

目標は例年どおり手術症例数である 200 例を確保したい。

## 救命救急科

### 1. 概要

突然発症した重症な病気や外傷の患者さんに対し、救急専門医を中心に各科の専門医と連携を密にとりながら早期診断と集学的治療を行い、『救急医療は医の原点』であることを実践して、患者さんが安心して受けられる高度救急医療を提供している。

### 2. スタッフ活動状況

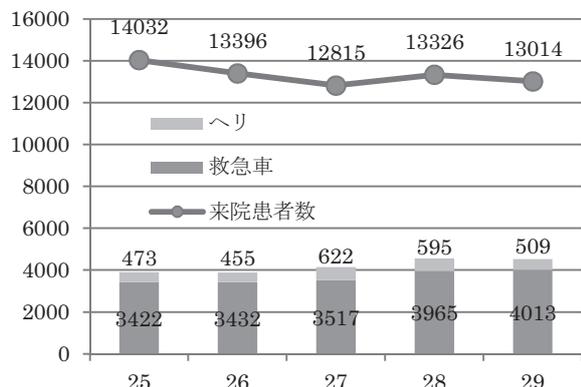
常勤医 8 名、うち救急専門医 5 名でドクターヘリ事業を中心とした病院前診療、救急外来診療、及び救命救急センターや一般床の入院診療を行っている。診療以外ではメディカルコントロールの一環として事後検証会（県内各地で月 1 回開催）へ出席し、更に年間を通じた救急救命士病院研修では看護師の協力を得て静脈路確保や脳卒中をはじめとする症状の観察指導を実施している。その他、学会認定の蘇生コース、外傷診療・災害対応等の標準コースの開催やインストラクターとしての県内外への参加を積極的に行っている。

### 3. 診療実績

(病院前診療) 高知市内の救命救急センターから遠い地域でも救急専門医を早期に傷病者に接触させるシステムとして高知県ドクターヘリ事業がある。当院はその拠点病院として重要な役割を担っており県内医療機関や消防機関と連携した診療を行なっている。また、欧州型ドクターカー（通称：FMRC）を出動させ、病院に比較的近い地域においても現場からより早く医療を開始する取り組みを行なっている。平成 29 年度の出動件数は 144 件であった。

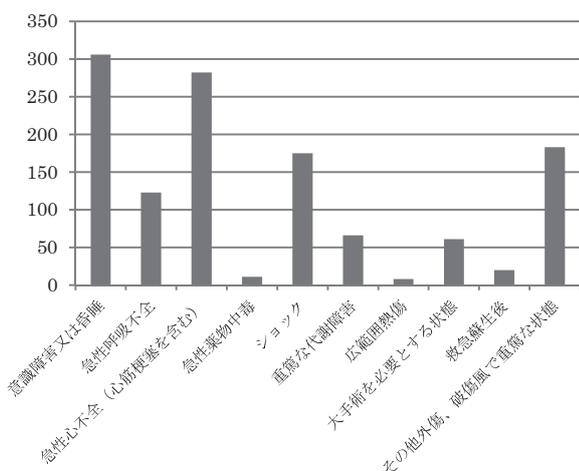
(救急外来診療) 救急隊や病院前診療に出動した医師との情報共有、ICTなどを駆使し良質な搬送となるように救急隊活動や病院前診療を支援して

いる。また、救急外来では直ちに必要な処置が実施出来る体制を確保している。



(入院) 集中治療室では生命に関わる病態の患者さんの治療を、入院中の QOL に配慮して実施している。毎日カンファレンスによって治療内容が検討され遅滞なく治療を進めている。

救命救急センター・救命救急科入院の救急入院料算定別患者数 (人)



#### 4. 今後の課題・目標

- ① 教育：症例報告、論文作成を支援する。各部門において研修医教育の充実をはかる。
- ② 診療：(病院前診療) 活動の検証を行ない安全、迅速な活動を保証する。(救急外来) 重症多発外傷に対する診療体制を更に充実させる。(集中治療) 高齢者集中治療におけるリハビリテーションと症状緩和を実践し、更なる集中治療中の QOL 向上をはかる。
- ③ 安全：チーム STEPPS に基づくチーム医療を

実践する。情報の見える化と情報共有を推進する。倫理的課題に対して多職種カンファレンスを効率的に実施する。

- ④ 人員：業務の効率化を引き続き進める。

## 麻酔科・集中治療科

### 1. 概要

急性期病院として多くの手術件数をこなしている。難度の高い手術も多く、また合併症を多く持つ患者さんや高齢者の増加で要求される医療レベルも年々高くなってきている。

術後管理も院内 ICU で麻酔科・集中治療科が担っており、一貫した周術期管理を行っている。

### 2. スタッフ活動状況

常勤 13 名、非常勤 3 名、専攻医 2 名で運営している。現在麻酔科専門医・指導医併せて 10 名となった。集中治療科も集中治療専門医試験合格者をだし、日本集中治療学会専門医研修施設の指定を受けた。またあらたに 2 名が心臓血管麻酔専門医認定医試験に合格した。

### 3. 診療実績

手術室は 11 室あり、うち 1 室はハイブリッド手術室である。平成 27 年よりハイブリッド手術室稼働に合わせ経カテーテル的大動脈弁植え込み術 (TAVI) が始まり、現在まで 100 例以上行った。術中の麻酔管理のみならず心エコーも麻酔科医が担当している。また新たに心臓血管麻酔専門医試験に 2 名合格し、2018 年より高知県で初となる心臓血管麻酔専門医認定施設に認定された。

手術は局所麻酔および腕神経叢ブロックのみで行う手術以外のすべての手術の麻酔を担当している。全身麻酔では吸入麻酔が 85%、完全静脈麻酔 (TIVA) が 15% となっている。

手術中の麻酔管理とともに術後鎮痛も重要であり、硬膜外麻酔が主流であるが、抗凝固療法や抗血小板剤療法を受けている患者さんが増加しており、このような患者さんに対しては、積極的に超音波ガイド下神経ブロックなどを併用した polymodal な術後鎮痛法を行うようにしている。

年度	麻酔科管理症例数
平成 24 年度	4,157
平成 25 年度	4,584
平成 26 年度	4,536
平成 27 年度	4,512
平成 28 年度	4,541
平成 29 年度	4,609

集中治療科は術後患者さんと院内急変患者さんを対象とした院内 ICU であり、現在 8 床で運営している。

#### 4. 今後の課題

新専門医制度下開始されたため、教育システムをさらに充実させ、多くの麻酔科専攻医を獲得して、さらなる人員の確保の充実につとめ、麻酔科のレベル向上を目指したい。

## 皮膚科

### 1. 概要

日本皮膚科学会認定専門医研修施設として、皮膚科領域の外来診療や入院診療（自科、他科問わず）を行った。

### 2. スタッフ活動状況

これまで常勤スタッフ 2 名が、平日午前 2 診体制で外来診療をおこない、緊急時の対応にも速やかに行えるようにした。他科からの対診依頼にも時間的に可能な範囲で対応した。

また、医療秘書も診療補助につき診療業務を円滑に行うために不可欠となっている。

さらに、不定期ではあるが、1 ヶ月単位での研修医の皮膚科研修で、人手のいる処置などでも非常に助かっている。

### 3. 診療実績

外来患者数 7,012 人(累計)、入院患者数 389 人(累計)、平均在院日数 15.6 日、局所麻酔下年間手術数（生検含む）181 例、全身麻酔下年間手術数 4 例（いずれも全身熱傷の手術応援）

☆皮膚科への対診数 1,063 件

（歯科に次いで院内で 2 番目）

外来対診 494 件、入院対診 569 件

（外来）

従来のように、平日週 5 日の外来診療を常勤医師 2 名で、毎日 2 診体制で行った。開業医師からの紹介も多く、個々の症例に対する細やかな診療・治療を心がけてきた。院内他科からの当日紹介も多くあった。

鶏眼処置、疣贅冷凍凝固、紫外線治療、皮膚生検、小手術、乾癬患者に対する生物学製剤の使用など可能な限り行っている。

皮膚悪性腫瘍の場合には、皮膚生検の結果や手術の侵襲の程度等に応じ、形成外科等へ紹介している。

美容・レーザー治療などは他院へ紹介している。

毎月院外にて大学、勤務医、開業医と皮膚科の病診連携につながる勉強会等に参加し、スキルアップにつなげている。

（入院）

蜂窩織炎、帯状疱疹、自己免疫性水疱症、中毒疹、薬疹、紅皮症、難治性下腿潰瘍、アトピー性皮膚炎の急性増悪等で入院治療を行ってきた。褥瘡に関しては褥瘡防止委員会の一員として WOC ナースや他のコメディカルと連携をとりながら、褥瘡回診を行っている。

他科入院中患者に関しては、一般病床、ICU、

NICU、救急外来、手術室などありとあらゆる部署への往診を含め診察治療を行い、経過をフォローしている。

#### 4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化、高齢化した患者の皮膚疾患も目立ってきている。

当科だけでは対応できない皮膚悪性腫瘍の手術症例、全身と皮膚との関連を思わせるデルマドローム、病院全体として取り組む褥瘡治療、予防などのチーム医療も欠かせない状況である。

今後、新専門医制度の導入にあたり、施設認定の維持、研修システムへの参加などが必要不可欠である。十分今後も検討していく予定である。

## 整形外科

### 1. 医師数

平成 29 年度の医師数は、常勤医師が 9 人であった。

### 2. 診療実績

平成 29 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数…17,577 人
- ・退院患者数…1,376 人
- ・外来患者数…9,686 人
- ・手術件数…1,057 件

## 形成外科

### 1. 概要

日本形成外科学会の認定施設として形成外科領域の外来診療、入院診療、手術治療をおこなった。

### 2. スタッフ活動状況

形成外科では常勤スタッフとして 3 名が在籍している。これまでの入院診療は手術が主な目的であったが、近年の創傷管理に対する意識の高まりやデバイスの進歩に伴って、当科でも創傷管理自体が目的の入院診療、さらに他科からの創傷管理の依頼が増えてきている。これには時間と人手が必要であり、今後さらに同様のケースが増え続けるなら人員増員も視野に入れた対策が必要かもしれない。

### 3. 診療実績

(外来)

基本的には外来は毎日行っている。少ない人数で回しているため病棟回診などと掛け持ちすることが多い。本来なら院外施設と連携して経過観察などを依頼すべきだが、高知県には形成外科専門医が少なく地域の病院に丸投げできないのが現状である。救急外来については切断指など、超緊急を要する場合は対応できないことがある。他科も含めマイクロサージャンの育成が待たれる。

(入院)

前述の通り、近年創傷管理に対する意識、技術、デバイスなどの進歩は目を見張るものがある。当院でも形成外科が創傷管理のスペシャリストとして認識されてきた。平成 29 年度の入院延べ人数は 2,371 人で対前年比 83.5%であった。これに加えて同数もしくはそれ以上の他科入院中の患者さんの創傷処置を行っている。一方創傷管理を必要とする難治性皮膚潰瘍は入院日数が長くなる傾向があるため、当科での平均在院日数は 14.3 日と前年より 0.1 日短い結果となっている。

(手術)

平成 29 年の形成外科単独手術、他科との共同手術含め手術は総数 916 件であった。総数は数年来変わらないが、内容は年々変化している印象があ

る。創傷管理と同様に手術の分野でも新しい機器、設備が導入され、より安全に正確におこなわれるようになった。顔面骨折はほぼ全例ハイブリッド手術室でおこなうことで、リアルタイムで整復の正確性が検証できている。

#### 4. 今後の課題・目標

これまで同様、形成外科領域の疾患に対しての診療を行うことに加えて、更に他科に信頼されるよう連携をすすめたい。また昨年度は入院患者在院日数の大幅な増加という結果になったため、長期間入院の症例に対しては転院を見据えた治療方法を積極的に推進したい。そのためには地域の病院との連携や創傷に関する理解が絶対条件となるので、できる限りのアピールや啓発活動も行っていきたい。

## 乳腺・甲状腺外科

### 1. 概要

日本乳癌学会認定施設、日本甲状腺外科学会認定施設として乳癌、甲状腺癌を中心とした乳腺疾患、甲状腺疾患の手術、薬物療法、緩和治療などを行っている。またセカンドオピニオンにも対応している。

### 2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ2名、乳腺疾患は主に高島、甲状腺疾患は主に大石が担当し、適宜ローテーション研修医、修練医が加わる。入院症例については共同で診療にあたる体制を取っている。学外活動としては全国学会、地方会ともに演題発表には積極的に取り組んでおり、論文執筆も行っている。JBCRG、SBP、CSPORなどの臨床試験にも積極的に参加している。また癌診療拠点病院に関連した講演活動なども行っている。各種教育セミナー

や研究会にも参加し知識、技術のアップデートに努めている。新たな専門医の取得についても現在研修中である。

### 3. 診療実績

以下に過去4年間の手術症例数を示す。

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
乳腺 手術件数	42例	56例	83例	83例

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
甲状腺 手術件数	53例	62例	81例	98例

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
副甲状腺 手術件数	8例	7例	9例	8例

手術症例数は順調に増えており、乳癌についてはエキスパンダーインプラント実施施設の認定を取得しており乳房再建も行っている。甲状腺については術中神経モニタリングを併用することにより可及的に反回神経麻痺を回避し合併症の少ない手術を心がけている。

(外来)

2名の常勤スタッフで週2回終日の外来を行っており、一日あたり最大50人程度の患者さんの診療を行っている。紹介率も年々増加傾向にある。可能な限り待ち時間を短縮すべく迅速かつ丁寧な診察に努めている。また外来診療日以外の日でも緊急を要する場合は適宜対応可能な体制を取っている。セカンドオピニオン、遺伝カウンセリングなどは時間的余裕をもって対応できるよう外来受診日以外に日程を別途もうけるようにしている。紹介医には詳細な経過報告を遅滞なく行う事に留意している。

(入院)

手術については乳腺、甲状腺ともに最大 1 週間の入院で可能な限り早期退院を目指している。術後リハビリ、リンパ浮腫指導なども病棟スタッフが中心となり、患者さん満足度を上げるべく努力している。化学療法については患者さん教育、副作用観察、服薬指導などを目的に初回のみ数日の入院で行うようにしている。終末期の患者さんについては可能であれば当院での看取りも行っているが長期入院になることも多いため適宜、近隣の緩和病床への紹介も行っている。合併症発症時に総合病院のメリットを活かすべく関連科への迅速なコンサルトを心がけている。

#### 4. 今後の課題・目標

2 名のスタッフで診療に当たっているが症例数の増加に伴いマンパワー不足を感じる場面も多くなってきたため後進の育成もかねて当科への勧誘、アピールも積極的に行っていきたい。乳癌症例については外来治療が長期にわたることも多く、特に再発症例では終末期までを視野に入れた外来、入院間の途切れのない連携をいかに構築するかが今後の大きな課題である。認定看護師などを仲介とした医師、コメディカル間の情報共有がこれらの解決策として期待される。甲状腺手術に関しては今後内視鏡下手術の導入も予定しており、コスメティックに優れた患者さん満足度の高い手術を目指す。地域の中核病院として地元信頼され都会の専門病院にひけをとらない診療体制の構築が我々に課せられた義務であり、症例数のみを追求するのではなく診療の質を落とさないよう個々の患者さんに対し真摯に向きあえるようなチーム医療体制の確立が今後の目標である。

## Ⅲ 各委員会資料



## 医療安全管理委員会

### 1. 目的

委員会の目的は院内の医療安全管理対策の検討及び推進を行い、医療安全に関わる協議決定を行う事。定期開催日は毎月第2月曜日。委員は病院長が任命した各局の責任ある職員を含む26名。委員会の検討結果については、定期的に委員長が病院長に報告すると共に、各局協議会、セイフティマネジメント部会を通じて各部署の全職員に周知徹底する。

### 2. 開催回数

12回/年

### 3. 1年間の活動要約

- (1) 毎月のインシデントレポート統計の件数と種類別（7項目）の詳細分析と対策の報告、重要事案に関する報告を行った。さらに、医薬品に関する情報提供、医療機器に関する研修や点検実績の報告。また、院内 Web にて統計報告を全職員が共有出来るようにしている。
- (2) 各局から、医療安全に関する報告や検討事項の提案。まごころ窓口からは、医療安全に関する患者からの相談、対応事例の報告をうけ共有した。
- (3) 年間計画に基づく医療安全管理研修会の実施報告。研修内容や職員の反応・参加状況等を報告し、年2回の必須研修に参加していない職員に対する啓発を継続的に実施した。
- (4) インシデント重要事案、医療事故調査委員会の報告を行い、方針、結論を確定した。
- (5) 医療安全管理体制やマニュアルについて検討、行事の企画運営等についての提案や報告を行った。

### 4. 今後の活動目標

- (1) 医療安全管理体制の再検討・整備
- (2) マニュアルの改訂
- (3) 職員研修は動画などでわかりやすく興味を持てる内容を企画し全職員の参加を目指す。  
e-ラーニングを活用し欠席者へのフォローアップにも取り組む。
- (4) インシデントの分析と対策の周知徹底、ラウンドで評価を行い、再発防止に努めると共に、多職種で事故を未然に防ぐ方策を検討する。

## 医療関連感染対策委員会

### 1. 目的

病院長の諮問機関として、医療関連感染防止ための必要事項について審議することを目的としている。

### 2. 開催日・審議事項等

- 1) 定期開催：1回/月（第2月曜日）  
開催回数：12回/年
- 2) 臨時開催：必要時  
開催回数：1回（12月19日）  
「CRE検出と今後の対応について」

### 3. 1年間の活動要約

- 1) 毎月の報告・検討事項
  - ① ICT 運営部会等活動報告
  - ② 抗菌薬抗真菌薬使用状況 (AUD) 報告
  - ③ 院内感染対策レポート (血液培養/耐性菌等)
  - ④ 医療系廃棄物不法投棄状況件数報告
  - ⑤ 針刺し切創・皮膚粘膜曝露状況報告
  - ⑥ 栄養部門検便等検査結果報告
  - ⑦ 感染対策研修会参加状況報告
  - ⑧ 各部門での取り組み等報告 など
- 2) 臨時検討および審議事項
  - ① 肝炎ウイルス検査陽性患者への対応
  - ② 感染管理関連組織図変更  
感染対策センターを病院長直下とする。  
感染制御スタッフ (ICS) 運営部会は廃止する。
  - ③ インフルエンザ迅速検査機器変更
  - ④ マニュアル改訂の承認  
血液培養マニュアル  
感染症罹患職員の出勤に関するマニュアル
  - ⑤ 診療報酬改訂への対応  
抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の準備
  - ⑥ 滅菌部門リコール報告
- 3) その他
  - ① 新型インフルエンザ疑い患者搬送訓練  
(11月15日)
  - ② 軟性内視鏡細菌培養：1回/年

### 4. 今後の活動目標

委員会出席の少ない委員の交代を検討する。  
委員会決定事項の職員への周知徹底をする。

## ICT委員会

【ICTメンバー：15名】

医師4名・看護師2名・薬剤師4名  
臨床検査技師3名・事務2名

### 1. 目的

医療関連感染防止を円滑に運営することを目的とする。そのための具体的な活動を行う。

### 2. 開催日・審議事項等

- 1) 定期開催：1回/週（水曜日）  
ICTラウンド実施37回/年
- 2) 部署カンファレンス他  
MRSA 検出部署・CRE 検出部署  
CRE 感染対策チーム会

### 3. 1年間の活動要約

- 1) 院内ラウンド・抗菌薬ラウンド(1回/週)
- 2) 血液培養・耐性菌カンファレンス(原則毎日)  
週報カンファレンス(1回/週)  
抗菌薬長期使用カンファレンス(1回/週)
- 3) 感染対策研修会  
(定期) 24回/年実施。
- 4) マニュアル作成・改訂  
血液培養マニュアル  
感染症罹患職員の出勤に関するマニュアル
- 5) アウトブレイク対応  
MRSA 対応  
CRE 対応
- 6) 加算2 医療機関との合同カンファレンス  
対象12施設と4回/年実施
- 7) 加算1 医療機関との相互評価  
訪問2回、受審1回
- 8) 厚生労働省サーベイランスデータ提出  
検査部門・手術部位感染  
新生児集中治療室(NICU)部門
- 9) ウイルス肝炎陽性結果患者対応
- 10) 高知県 HIV 感染防止のための予防服用への院内対応

### 4. 今後の活動目標

ICT 下部組織であるリンクナース会と協力して対策の周知徹底を図る。

## 医師の業務負担軽減委員会

### 1. 目的

高知医療センターの医師業務の負担軽減を図るため

### 2. 開催日・審議事項等

- 平成30年1月18日
- ・高知医療センターにおける勤務医負担軽減計画等について
  - ・医師の業務負担に向けた取り組みについてなど

### 3. 1年間の活動要約

高知医療センターの医師業務の負担軽減を図るため、病院長方針を基に、負担軽減計画を策定した。

昨今、国においても時間外労働が問題となり「働き方改革」が議論されている。当院においても医師の長時間労働が課題となっており、委員会として医師に向けた提言書を作成した。

### 4. 今後の活動目標

医師の時間外勤務の削減を目標とし、具体的な事項について、議論していく。

## 診療情報管理委員会

### 1. 目的

診療録の電子保存、電子媒体や紙媒体記録の精度管理、適正な診療記録の記載に関する啓蒙・教育・研修・広報、診療録等帳票の様式およびフォーマット、診療録の開示等診療情報の提供、その他診療録管理業務に関し必要と認める事項等の審議を行う。

### 2. 開催日・審議事項等

毎月1回 第3木曜日に開催

### 3. 1年間の活動要約

- (1) 退院サマリ作成状況および受取点検の詳細については、退院2週間以内での担当医によるサマリ記載と診療科長の承認を、毎月91～97%で維持できた。また看護サマリについて

も、同様に作成・承認状況を確認し、各フロア科長へ督促を行い、承認率向上を図った。

- (2) 未承認委譲者オーダーについては、未承認オーダーが残っている医師に対しては、医療局長、医療情報センターより督促メールを送信し、委譲者オーダー承認の向上を図った。
- (3) 手術レポートの作成状況については、医事請求業務委託事業者より状況を報告してもらい、手術記録の記載や点検、管理の強化を図った。
- (4) 入院診療計画書 7 日以内の説明交付率については、交付抜かりや記載抜かりが無いよう運用の周知徹底を図った。

#### 4. 今後の活動目標

引き続き、医師退院サマリの退院 2 週間以内の承認率 90%以上の維持と未承認委譲者オーダーの早期承認のため、医師への記載・承認依頼、さらに督促の強化を図っていききたい。

手術レポート作成状況については、手術手技料算定の根拠となるため、記載依頼など未作成が無いよう取り組みを継続していく。

入院診療計画書については、関係部署と連携を図りながら、7 日以内に抜かりなく交付出来るよう連携を図っていく。

- ・留意すべき ICD コード（詳細不詳病名）の月別使用割合

#### 3. 1年間の活動要約

実績報告については、各資料に入院の経過やそれぞれの理由等記載し、委員会メンバーによるコーディングの妥当性について協議を行った。コーディング再検討となった症例については、診療情報管理士、医療事務担当者、必要に応じて担当医師へ確認を行い、コーディングの妥当性について検討、理解を深めた。

その他について、留意すべき ICD コードの使用割合を確認し対策を検討した。

(開催日)

平成 29 年 5/21・7/19・9/27・11/15

平成 30 年 1/24・3/22

#### 4. 今後の活動目標

より一層、適切な診断群分類による診療報酬請求と精緻なデータ提出が出来るよう、医事請求担当と協力していくと共に、DPC 制度等について、医師をはじめとする院内職員に広報や情報提供を行い、周知を図っていききたい。

### DPC コーディング委員会

#### 1. 目的

適切な診断群分類の決定を促進することを目的とする。適切な DPC コーディング、「はずれ値」の評価、提出データの精度管理等の事項に関し、関係する部署および他の委員会等と連携しながら検討を行い、当院の DPC コーディングの質向上を目指す。

#### 2. 開催日・審議事項等

2 ヶ月に 1 回開催

##### (1) 実績報告

- ・DPC 退院患者月別集計
- ・DPC 入院期間月別集計（入院期間Ⅲ超え症例）
- ・DPC 出来高差額上位 10 症例のコーディングの妥当性の検討
- ・コード変更実績（医療情報センター・フロア）

##### (2) その他

### 医科臨床研修管理委員会

#### 1. 目的

医科初期研修医が、円滑かつ充実した臨床研修生活を遂行できることを目的として開催する。

#### 2. 開催日・審議事項等

第 1 回：平成 29 年 4 月 21 日（金）

- ・平成 28、29 年度採用臨床研修医の研修について
- ・平成 30 年度初期臨床研修プログラムについて
- ・平成 29 年度初期臨床研修マッチングスケジュール
- ・研修中断者の再開について
- ・平成 29 年度臨床研修管理委員会開催予定 他

第 2 回：平成 29 年 9 月 8 日（金）

- ・平成 29 年度マッチング試験について
- ・平成 28、29 年度採用研修医の研修状況について

て

- ・実習生からの要望対応について 他

第3回：平成30年3月23日（金）

- ・平成28・29年度高知医療センター卒後臨床研修プログラム修了等について
- ・平成29、30年度高知医療センター卒後臨床研修プログラムについて
- ・平成31年度高知医療センター卒後臨床研修プログラムについて
- ・平成30年度医師臨床研修費補助金について 他

### 3. 1年間の活動要約

委員会として、院長以下院内の指導医、初期研修医、事務職員、院外の連携施設の先生方とともに研修場の問題点や課題について討論した。

また、臨床研修管理センターを常時設置し、研修ローテーションや出向研修の管理、院外からの研修医受け入れなどに、円滑に対応できるようにしている。

- ・主な議題  
研修プログラムについての確認  
→概要、スケジュール、評価方法など  
→問題点・改善点など  
採用試験についての確認  
→試験日の調整、試験結果の報告など  
→マッチングの結果報告  
→医大生へのアプローチなど

### 4. 今後の活動目標

来年度も年3回の開催を予定している。高知医療センターの良さを生かした研修プログラムを提供できるよう、指導医や臨床研修管理センターで万全の体制を整え、初期研修医を指導する。

## 歯科臨床研修管理委員会

### 1. 目的

歯科初期臨床研修医（管理型1年、単独型2年）や後期研修医に対し円滑かつ充実した研修生活が当院にて遂行できる事を目的として開催する。

### 2. 開催日・審議事項等

(1)平成29年9月15日

- ・平成30年度歯科初期研修医採用試験について
- ・平成29年度歯科初期研修医の研修状況について

(2)平成30年3月16日

- ・平成29年度採用初期臨床研修医（管理型）の修了認定について
- ・平成29年度採用初期臨床研修医（単独型）の研修状況について
- ・平成30年度採用初期臨床研修医の研修プログラムについて

### 3. 1年間の活動要約

研修プログラムの問題点や改善点の確認

研修医募集期間および採用試験日の調整、採用試験に関する結果報告

マッチングの結果報告

管理型研修施設での研修歯科医の現状や問題点評価

研修医、歯科初期研修指導医、院外の管理型研修施設の指導医、院長以下院内の研修管理委員会のメンバーの先生を囲んで研修上の問題点や今後の研修のあり方などを討論

臨床研修補助金配分の詳細を毎年報告する。

### 4. 今後の活動目標

来年度も、少なくとも年2回以上の開催を原則とし、初期研修医や後期研修医がより良い環境下で研修を行えるようにサポートしていく。

## 医の倫理委員会

### 1. 目的

高知医療センターでの診療で、ひとにより賛否が分かれるような内容について審査を行ない、病院としての統一見解を出す。

### 2. 開催日・審議事項等

平成29年度は開催実績なし

### 3. 今後の活動目標

倫理問題に現場で対応出来るチームを作り、依頼があったら派遣し、客観的意見を答申する。

回復の見込みのない患者への治療差し控えについて、ガイドラインを作り、主治医任せだった差し控えに統一性を持たせる。

新たな倫理問題が発生したときは、委員会を開催して方針を決める。

## 治験審査委員会

### 1. 目的

治験を依頼した製薬会社や治験を実施する医師等とは独立した第三者的な機関として設置されている。治験を計画通りに実施することができるか、参加される患者さんの治療に不利益にならないかなどを事前に取り決めた手順書に従って、治験を開始する前に確認している。また、治験実施中に、治験が正しく実施されているか確認したり、安全性に問題がないかを評価し、治験を継続すべきか判断したりしている。

### 2. 開催日・審議事項等

平成 29 年 4 月 27 日  
平成 29 年 5 月 29 日  
平成 29 年 6 月 28 日  
平成 29 年 7 月 24 日  
平成 29 年 8 月 28 日  
平成 29 年 9 月 27 日  
平成 29 年 10 月 26 日  
平成 29 年 11 月 22 日  
平成 29 年 12 月 20 日  
平成 30 年 1 月 29 日  
平成 30 年 2 月 26 日  
平成 30 年 3 月 28 日

院内実施中治験の安全性報告、治験に関する変更、新規案件実施の可否等審査している。

### 3. 1年間の活動要約と今後の目標

月 1 回の開催を行い、院内の実施試験を患者さんの人権保護と安全確保の観点から公正に審議していく。

## 外来化学療法部門運営部会

### 1. 目的

外来での抗がん剤による化学療法を円滑に行い、抗がん剤の適正使用を推進するため外来化学療法の運営状況の調査と改善、抗がん剤レジメンの妥当性の評価を行う。

### 2. 開催日・審議事項等

抗がん剤レジメン管理委員会と合同で開催した。

(1) 第 44 回 平成 29 年 7 月 20 日

平成 29 年 1 月～6 月のレジメン稼動状況  
適用レジメンの合計数、診療科別適用数  
登録数、適用率  
患者数、抗がん剤調製数  
レジメン修正報告  
食道癌レジメンの妥当性  
臨床試験のレジメン変更  
レジメン適用率の明瞭化  
オーダー時の用量設定について

(2) 第 45 回 平成 30 年 2 月 28 日

平成 29 年 7 月～12 月のレジメン稼動状況  
適用レジメンの合計数、診療科別適用数  
登録数、適用率  
患者数、抗がん剤調製数  
後発品への変更  
当日レジメンオーダーの発生状況について  
B 型肝炎対策状況報告  
レジメン適用数などの報告事項の提示変更について  
レジメンの審議方法の見直し提案

### 3. 1年間の活動要約

1 ヶ月に 1 回の開催はできなかったが、その都度「抗がん剤レジメン管理委員会」と連携して新規申請のレジメンについては実施の適否も審議した。

効率的な運用ができる様に患者数、抗がん剤調製数、当日オーダー発生の確認も行い、関係部署への協力要請も行った。

運営部会の開催規定事項など要綱の見直しを検討する。

### 4. 今後の活動目標

外来ケアルームの治療が円滑に行えるよう継続して状況調査を行い、多職種で連携し、必要時に

は他部署に働きかけ運用改善の協議を行っていく。

患者数の増加に対応できるよう準備し、より一層機能の充実を図るため、検討していく。

## 緩和ケアチーム運用部会

### 1. 目的

緩和ケアチームは、医師・看護師・薬剤師等多職種がチームとして入院・外来患者と家族の抱える痛みやその他の身体的問題・心理社会的問題・スピリチュアルな問題を早期に同定し、適切な評価と治療によって苦痛の予防と緩和を行うことで、患者と家族の QOL (Quality of Life : 生活の質) 改善を目指し活動する。

### 2. 開催日・審議事項等

緩和ケアチームカンファレンス : 1 回/週

### 3. 1 年間の活動要約

#### (1) 緩和ケアチームラウンド

チームメンバーで週 2 回 (火・木曜) チーム介入中の入院患者のベットサイドを訪問し、苦痛症状の評価とケアの提案を行っている。

#### (2) 緩和ケアチームカンファレンス

週 1 回 (火曜) 緩和ケアチームカンファレンスを行い、情報共有と事例検討を行っている。

### 4. 今後の活動目標

(1) 入院・外来と切れ目なく緩和ケアを提供できる体制づくり

(2) 緩和ケアの知識の普及 : 研修会や講演会の開催

## がんセンターボード運用部会

### 1. 目的

患者によりよい医療を提供するために、手術、放射線療法および化学療法に携わる専門的な知識を有する医師や、その他の専門医師および医療スタッフなどが参集し、がん患者の症状、状態および治療方針などを意見交換・共有・確認などを行

うことを目的とする。

がんセンターボードの実施は、がん診療連携拠点病院の認定要件である。

### 2. 開催日・審議事項等

開催は毎週火曜日の 18 : 30 とする。提示される事例がなければ参集されない。

新規治療開始患者・再発患者を問わず、治療方針などについて検討を行う。

### 3. 1 年間の活動要約

29 年度の開催は 35 回、検討事例件数は 73 例であった。参集メンバーは、病理医、放射線治療医、腫瘍内科医、画像診断医、消化器外科医、消化器内科医、乳腺外科医、耳鼻咽喉科医、呼吸器外科医、泌尿器科医、総合診療科医、緩和ケア医など症例に関連する診療科医、ならびに薬剤師、看護師、放射線技師、栄養士、理学療法士などである。

治療方針が決定した際には、必要な対診日程なども決定し、速やかに治療を開始できるように調整を行う。

### 4. 今後の活動目標

現在検討されている事例は消化器系が多く、そのほか乳腺外科、耳鼻咽喉科、総合診療科などの症例であり、検討される診療科に偏りがある。各診療科のニーズを把握しながら、複数診療科で検討される必要のある症例が適切に検討される機会を提供していく。

## 抗がん剤レジメン管理委員会

### 1. 目的

注射用抗がん剤はレジメンオーダによってのみ施行できるものとしており、抗がん剤レジメンオーダの運用を円滑に行い、抗がん剤の適正使用を推進する。

### 2. 開催日・審議事項等

外来化学療法運営委員会と合同で開催した。

(1) 第 43 回 平成 29 年 7 月 20 日

新規申請のレジメン登録 6 件

レジメン稼動状況、登録数、適用率

抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数

レジメン修正報告  
後発品への変更  
供給停止薬についての対応確認  
当日発生について

- (2) 第44回 平成30年2月28日  
新規申請のレジメン登録11件  
申請済みレジメンの登録1件  
レジメン稼働状況、登録数、適用率  
抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数  
レジメンの整理  
当日発生について  
B型肝炎対策

### 3. 1年間の活動要約

設置要綱に規定されている3ヵ月に1回の委員会の開催はできなかったが、レジメンの登録については、申請があれば、その都度、事務局（薬剤局製剤科）で作成したレジメンを、院内メール等を利用して審議し承認した。

レジメン内の輸液や制吐剤の変更、フラッシュ用生食の追加、稼働状況、不使用レジメンの整理等について審議、確認した。

### 4. 今後の活動目標

継続してレジメンの妥当性を評価し、抗がん剤の適正使用を推進していく。レジメンの稼働率や運用状況を確認し、使用していない登録レジメンは削除し整理を行う。

## 行動制限最小化委員会

### 1. 目的

精神科病棟で隔離拘束が1ヶ月を越えた患者が発生した場合、隔離拘束が妥当かどうか判断する。また隔離拘束が解除出来るよう助言などを行なう。

### 2. 開催日・審議事項等

対象となる事例がなく、開催実績なし。

### 3. 1年間の活動要約

隔離拘束が長期化した症例がないかどうか注意を払った。

### 4. 今後の活動目標

対象事例が発生しないか注意するとともに、発生した場合は委員会を開催して審議する。

## 褥瘡防止委員会

### 1. 目的

当センターは、救命救急センターをはじめ、循環器病センター、がんセンター、総合周産期母子医療センターなど不安定な呼吸・循環動態、高侵襲の治療、脆弱な皮膚など褥瘡発生リスクの高い患者さんが多い。当センターではリスクアセスメントを行い、多職種が連携をし、褥瘡発生予防、褥瘡の治癒、褥瘡悪化予防など褥瘡対策に取り組むことを目的としている。

### 2. 開催日・審議事項等

12回年（原則毎月第2金曜日開催）  
医療局、看護局、薬剤局、栄養局、医療技術局、事務局等が連携し、褥瘡保有者の状況報告を毎回実施し、チーム医療を推進している。

### 3. 1年間の活動要約

- (1) 褥瘡保有者の状況報告を毎回実施し、重要な案件に対しては、防止策の検討を行い、周知徹底を目指した。
- (2) 院内発生の褥瘡は、インシデントレポートで報告している。
- (3) 体圧分散寝具が効果的に使用できているか、定期的なラウンドと整備を実施した。
- (4) 褥瘡防止委員会リンクナース会を6回/年開催し、より実践的なケアにつながる知識、技術の向上に取り組んだ。
- (5) 多職種と協働し、褥瘡に関連した研修会を開催し、褥瘡に関連する知識・技術の向上に努めた。
- (6) 「じょくそうニュース」を発行し、褥瘡に関連する情報を発信した。

### 4. 今後の活動目標

平成29年度は、褥瘡防止委員会を引き続き1回/月の開催とし、各専門職の専門技能を集結かつ有効に発揮できる場の提供に努める。

また、病院機能に必要な物品等の充足、褥瘡防

止等に向けた職員への啓発活動の継続、さらに地域と連携を図り、チーム医療のより一層の充実を図りたい。

## 適正輸血療法推進委員会

### 1. 目的

高知医療センターにおける輸血療法の適正化を図る。

### 2. 開催日

12回／年 毎月第3火曜日開催

### 3. 1年間の活動要約

#### 1) 月次報告

毎月以下の統計をとり、委員会で検証している。

- ・日赤血購入額
- ・使用単位数内訳（RBC、FFP、PC）
- ・製剤廃棄額
- ・廃棄製剤内訳（RBC、FFP、PC）
- ・Alb/RBC比、FFP/RBC比
- ・科別使用単位数
- ・血液製剤大量使用例
- ・心外科血液製剤使用例
- ・超救命対応
- ・副作用報告（発生件数、払出表回収率、終了実施入力率、副作用入力率）
- ・返却PC（理由、転用の有無）
- ・遡及調査
- ・不規則抗体検査実施率
- ・輸血後感染症（輸血後感染症疑いの有無）

#### 2) 高知県輸血・細胞治療研究会

高知県輸血・細胞治療研究会世話人に医師、臨床検査技師に加え看護師が新たに参加することとなった。

平成29年12月9日、第11回高知県輸血・細胞治療研究会を高知医療センター主催で開催した。

#### 3) 輸血に関わる運用の変更

輸血同意書の有効期限を最長一年と定めた。

輸血時認証を医療従事者2名以上で行うと定めた。

#### 4) アルブミン一元管理

次期システム更新に向けて血液管理科でアルブミン一元管理を行うためのWGを立ち上げた。

### 4. 今後の活動目標

院内における輸血に関する問題点を多職種で審議し、より一層輸血療法の適正化を図りたい。

## IV クリニカルインディケータ



# 1 退院患者数

## (1) 診療科別・性別退院患者数

(単位:人)

診療科	性別	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総合診療科	男	28	121	137
	女	20	147	129
精神科	男			
	女			
血液内科・輸血科	男	388	361	394
	女	240	290	334
糖尿病・内分泌内科	男	17	28	27
	女	32	42	41
放射線療法科	男	7	7	1
	女	4	5	3
腫瘍内科	男	36	42	27
	女	20	11	22
ペインクリニック科	男	8	4	2
	女	5	5	2
脳神経外科	男	423	447	376
	女	302	302	297
眼科	男	83	114	70
	女	107	105	66
耳鼻咽喉科	男	232	207	264
	女	166	135	173
歯科口腔外科	男	74	71	63
	女	59	99	86
呼吸器内科	男	490	446	381
	女	202	237	151
呼吸器外科	男	180	202	183
	女	135	120	140
循環器内科	男	1,023	1,068	1,089
	女	551	547	582
心臓血管外科	男	320	248	230
	女	179	153	148
乳腺・甲状腺外科	男	23	29	21
	女	189	231	248
消化器内科	男	326	374	376
	女	221	196	240
消化器外科・一般外科	男	1,010	1,014	1,026
	女	544	567	567
泌尿器科	男	318	345	354
	女	111	109	115
腎臓内科・膠原病科	男	124	74	86
	女	70	72	63
婦人科	男			
	女	636	512	533
生殖医療科	男			
	女	10	15	7
移植外科	男	31	60	48
	女	34	31	39
救命救急科	男	328	364	438
	女	253	301	303
小児科	男	626	569	688
	女	547	494	545
小児外科	男	136	121	134
	女	70	67	71
産科	男			
	女	892	1,060	1,031
皮膚科	男	22	23	10
	女	19	12	12
整形外科	男	716	745	769
	女	653	601	607
形成外科	男	108	101	83
	女	79	82	71
緩和ケア内科	男	12	14	26
	女	14	7	13
児童精神科	男	14	6	9
	女	15	4	18
合計	男	7,103	7,205	7,312
	女	6,379	6,559	6,657

## (2)-1 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

平成27年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	48	0.4%	男	28	19.5	8	9	6	2	1	1	1			
			女	20	22.2	6	2	6	2	3	1				
血液内科・輸血科	628	4.7%	男	388	31.2	47	45	124	56	76	17	18	5		
			女	240	31.9	29	45	50	41	53	9	10	3		
糖尿病・内分泌内科	49	0.4%	男	17	9.3	6	10	1							
			女	32	8.7	14	16	2							
放射線療法科	11	0.1%	男	7	7.9	7									
			女	4	8.0	4									
腫瘍内科	56	0.4%	男	36	15.3	16	7	5	4	3	1				
			女	20	20.0	4	6	2	5	3					
ペインクリニック科	13	0.1%	男	8	7.8	5	2	1							
			女	5	14.6	2	1	1		1					
脳神経外科	725	5.4%	男	423	20.1	120	116	74	36	61	11	4		1	
			女	302	18.0	78	80	64	31	45	4				
眼科	190	1.4%	男	83	6.0	71	8	2		2					
			女	107	5.3	95	7	5							
耳鼻咽喉科	398	3.0%	男	232	16.4	82	102	17	3	17	7	3	1		
			女	166	9.8	77	77	8		3	1				
歯科口腔外科	133	1.0%	男	74	19.7	38	21	6	3	3		2		1	
			女	59	13.4	24	23	7	1	1	3				
呼吸器内科	692	5.1%	男	490	12.5	266	101	45	30	42	3	3			
			女	202	11.3	108	43	26	13	10	2				
呼吸器外科	315	2.3%	男	180	13.5	92	55	13	8	9	1	1	1		
			女	135	8.9	79	45	4	4	3					
循環器内科	1,574	11.7%	男	1,023	7.2	810	114	43	24	22	7	3			
			女	551	9.6	380	82	40	18	25	4	1	1		
心臓血管外科	499	3.7%	男	320	21.9	100	63	60	35	44	9	8	1		
			女	179	29.5	48	23	38	13	38	11	4	3	1	
乳腺・甲状腺外科	212	1.6%	男	23	6.3	21	2								
			女	189	11.2	95	70	10	2	8	3	1			
消化器内科	547	4.1%	男	326	8.0	202	103	13	6	1	1				
			女	221	8.6	141	58	11	3	6	2				
消化器外科・一般外科	1,554	11.5%	男	1,010	16.0	326	384	107	66	99	23	5			
			女	544	15.1	164	229	63	34	48	2	4			
泌尿器科	429	3.2%	男	318	7.4	238	52	15	7	5	1				
			女	111	8.9	79	14	10	2	5	1				
腎臓内科・膠原病科	194	1.4%	男	124	28.7	43	18	16	11	20	8	7		1	
			女	70	43.3	18	6	7	6	16	9	7	1		
婦人科	636	4.7%	男												
			女	636	7.5	508	89	22	6	9	1	1			
生殖医療科	10	0.1%	男												
			女	10	6.4	9		1							
移植外科	65	0.5%	男	31	27.6	11	6	3	3	5	2		1		
			女	34	22.9	10	14	2	2	5				1	
救命救急科	581	4.3%	男	328	11.0	213	48	19	19	24	2	2	1		
			女	253	12.2	160	36	15	19	14	3	5	1		
小児科	1,173	8.7%	男	626	13.5	469	70	22	8	35	4	10	8		
			女	547	12.2	439	48	19	12	10	9	7	2	1	
小児外科	206	1.5%	男	136	4.8	122	7	3	3	1					
			女	70	5.5	60	7	2			1				
産科	892	6.6%	男												
			女	892	11.9	680	73	26	18	69	19	7			
皮膚科	41	0.3%	男	22	15.2	11	5	3		2	1				
			女	19	9.9	10	7	1		1					
整形外科	1,369	10.2%	男	716	16.1	315	103	126	95	62	8	6		1	
			女	653	16.5	212	129	138	91	76	6	1			
形成外科	187	1.4%	男	108	13.6	56	20	13	7	9	2	1			
			女	79	9.2	47	19	7	2	4					
緩和ケア内科	26	0.2%	男	12	3.8	11	1								
			女	14	4.4	13		1							
児童精神科	29	0.2%	男	14	65.1		1			7	3	3			
			女	15	84.0		1			4	4	4	1		
合計	13,482	100.0%	男	7,103	14.5	3,706	1,473	737	426	550	112	77	18	4	
			女	6,379	13.6	3,594	1,250	588	325	460	95	52	13	2	

## (2)-2 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

平成28年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	268	1.9%	男	121	17.2	29	44	23	12	11	2				
			女	147	16.2	31	47	37	23	8	1				
血液内科・輸血科	651	4.7%	男	361	28.5	35	50	135	48	58	21	12	2		
			女	290	29.4	29	55	83	40	52	20	9	2		
糖尿病・内分泌内科	70	0.5%	男	28	12.0	7	16	3	2						
			女	42	10.3	17	19	5	1						
放射線療法科	12	0.1%	男	7	7.4	7									
			女	5	8.0	5									
腫瘍内科	53	0.4%	男	42	14.1	17	13	6	3	3					
			女	11	18.5	1	5	1	3	1					
ペインクリニック科	9	0.1%	男	4	7.8	2	2								
			女	5	6.0	4	1								
脳神経外科	749	5.4%	男	447	20.7	144	104	93	43	48	13	1	1		
			女	302	16.9	77	95	65	29	31	3	2			
眼科	219	1.6%	男	114	7.4	86	14	11	2	1					
			女	105	7.1	80	16	5	3	1					
耳鼻咽喉科	342	2.5%	男	207	11.2	108	76	9	3	7	4				
			女	135	9.2	78	51	1	2	2	1				
歯科口腔外科	170	1.2%	男	71	12.0	37	17	9	2	5	1				
			女	99	13.7	42	35	12	5	2	1	2			
呼吸器内科	683	5.0%	男	446	11.8	240	87	43	40	34	1	1			
			女	237	10.3	149	36	28	9	13	1	1			
呼吸器外科	322	2.3%	男	202	9.1	114	68	10	5	5					
			女	120	9.7	68	42	5	2	2	1				
循環器内科	1,615	11.7%	男	1,068	6.8	861	93	56	32	22	2	2			
			女	547	9.0	366	92	36	32	20	1				
心臓血管外科	401	2.9%	男	248	26.8	69	38	44	31	45	10	8	3		
			女	153	25.3	51	17	26	23	23	6	5	2		
乳腺・甲状腺外科	260	1.9%	男	29	7.3	26	1	1		1					
			女	231	9.3	162	47	6	5	8	3				
消化器内科	570	4.1%	男	374	8.2	219	134	14	2	5					
			女	196	7.9	141	40	8	4	2		1			
消化器外科・一般外科	1,581	11.5%	男	1,014	15.0	369	377	104	74	67	16	6	1		
			女	567	13.1	224	213	68	24	31	5	2			
泌尿器科	454	3.3%	男	345	7.4	260	56	10	7	10	2				
			女	109	7.6	80	18	7	2	2					
腎臓内科・膠原病科	146	1.1%	男	74	32.1	16	13	8	6	18	9	4			
			女	72	26.0	29	7	6	8	15	4	3			
婦人科	512	3.7%	男												
			女	512	7.3	412	74	12	4	9	1				
生殖医療科	15	0.1%	男												
			女	15	6.7	14				1					
移植外科	91	0.7%	男	60	13.4	33	15		1	10	1				
			女	31	17.6	9	12	1	1	8					
救命救急科	665	4.8%	男	364	7.9	281	35	20	6	16	5	1			
			女	301	6.6	237	33	11	11	8	1				
小児科	1,063	7.7%	男	569	11.6	427	63	25	15	19	5	14	1		
			女	494	12.7	367	44	19	20	23	5	15	1		
小児外科	188	1.4%	男	121	4.5	111	3	4	2	1					
			女	67	3.9	63	3	1							
産科	1,060	7.7%	男												
			女	1,060	9.9	851	88	35	29	37	14	6			
皮膚科	35	0.3%	男	23	19.5	12	6			2	3				
			女	12	12.8	5	5		1	1					
整形外科	1,346	9.8%	男	745	12.6	362	156	133	48	33	7	5	1		
			女	601	13.0	240	149	123	60	24	5				
形成外科	183	1.3%	男	101	20.7	53	19	12	3	6	6	1	1		
			女	82	10.5	53	16	3	3	7					
緩和ケア内科	21	0.2%	男	14	3.7	14									
			女	7	3.6	7									
児童精神科	10	0.1%	男	6	96.3					1	3	1	1		
			女	4	100.8					3			1		
合計	13,764	100.0%	男	7,205	13.1	3,939	1,500	773	387	428	111	56	9	2	
			女	6,559	12.0	3,892	1,260	604	344	334	73	46	6		

## (2)-3 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

平成29年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	266	1.9%	男	137	19.4	19	45	37	16	18	1	1			
			女	129	18.3	28	36	31	15	17	2				
血液内科・輸血科	728	5.2%	男	394	30.7	53	77	100	59	64	22	14	4	1	
			女	334	27.2	34	57	119	44	49	20	9	2		
糖尿病・内分泌内科	68	0.5%	男	27	9.0	14	11	1	1						
			女	41	9.4	25	13			3					
放射線療法科	4	0.0%	男	1	8.0	1									
			女	3	4.3	3									
腫瘍内科	49	0.4%	男	27	17.9	8	5	7	3	4					
			女	22	15.0	11	3	3	3	2					
ペインクリニック科	4	0.0%	男	2	10.0		2								
			女	2	7.5	1	1								
脳神経外科	673	4.8%	男	376	15.9	120	110	67	39	34	6				
			女	297	15.5	86	90	66	27	26	2				
眼科	136	1.0%	男	70	8.4	50	11	6	2	1					
			女	66	7.7	46	16	3	1						
耳鼻咽喉科	437	3.1%	男	264	14.4	134	79	19	6	12	11	3			
			女	173	9.5	93	71	3	2	2	2				
歯科口腔外科	149	1.1%	男	63	9.3	34	18	8	3						
			女	86	12.4	51	13	11	2	6	3				
呼吸器内科	532	3.8%	男	381	11.4	221	70	31	26	29	2	2			
			女	151	9.9	86	36	12	10	6	1				
呼吸器外科	323	2.3%	男	183	11.3	86	70	12	5	9		1			
			女	140	10.9	79	43	5	2	10	1				
循環器内科	1,671	12.0%	男	1,089	7.6	857	123	47	21	32	5	3	1		
			女	582	8.9	393	104	40	26	14	4	1			
心臓血管外科	378	2.7%	男	230	27.1	64	35	49	30	36	7	7	1	1	
			女	148	25.2	37	29	29	18	23	6	5	1		
乳腺・甲状腺外科	269	1.9%	男	21	7.5	15	5		1						
			女	248	7.3	193	37	8	4	6					
消化器内科	616	4.4%	男	376	8.4	232	111	17	9	6	1				
			女	240	7.1	161	63	11	5						
消化器外科・一般外科	1,593	11.4%	男	1,026	15.0	404	356	97	55	83	22	8	1		
			女	567	14.0	210	209	71	33	35	7	2			
泌尿器科	469	3.4%	男	354	6.8	273	48	19	7	7					
			女	115	7.0	82	23	9	1						
腎臓内科・膠原病科	149	1.1%	男	86	27.7	29	15	12	6	10	10	4			
			女	63	22.4	32	9	2	4	10	3	3			
婦人科	533	3.8%	男												
			女	533	7.2	452	57	10	5	8	1				
生殖医療科	7	0.1%	男												
			女	7	5.1	7									
移植外科	87	0.6%	男	48	16.4	22	13	2	1	8	2				
			女	39	12.6	18	12	2	4	3					
救命救急科	741	5.3%	男	438	8.3	323	62	24	8	11	8	2			
			女	303	7.7	218	52	17	7	7	1	1			
小児科	1,233	8.8%	男	688	11.1	529	67	33	15	21	7	14	2		
			女	545	12.1	411	52	24	18	22	8	6	4		
小児外科	205	1.5%	男	134	3.8	126	5	3							
			女	71	10.0	62	3	3		2			1		
産科	1,031	7.4%	男												
			女	1,031	10.0	822	96	28	25	43	10	7			
皮膚科	22	0.2%	男	10	17.7	4	4			1	1				
			女	12	11.0	8	2	1		1					
整形外科	1,376	9.9%	男	769	12.3	353	191	127	49	41	4	4			
			女	607	14.3	223	161	123	54	41	4		1		
形成外科	154	1.1%	男	83	18.0	42	15	12	2	7	3	2			
			女	71	13.6	41	17	4	2	3	3	1			
緩和ケア内科	39	0.3%	男	26	3.5	25	1								
			女	13	7.7	12					1				
児童精神科	27	0.2%	男	9	41.2	1	1		2	3	1	1			
			女	18	82.2	2	2	1	1	6	4	1		1	
合計	13,969	100.0%	男	7,312	13.0	4,039	1,550	730	366	437	113	66	9	2	
			女	6,657	12.2	3,927	1,307	636	313	345	83	36	9	1	

### (3) 診療科別・性別・在院日数の平均

(単位:日)

診療科	性別	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総合診療科	男	19.5	17.2	19.4
	女	22.2	16.2	18.3
精神科	男			
	女			
血液内科・輸血科	男	31.2	28.5	30.7
	女	31.9	29.4	27.2
糖尿病・内分泌内科	男	9.3	12.0	9.0
	女	8.7	10.3	9.4
放射線療法科	男	7.9	7.4	8.0
	女	8.0	8.0	4.3
腫瘍内科	男	15.3	14.1	17.9
	女	20.0	18.5	15.0
ペインクリニック科	男	7.8	7.8	10.0
	女	14.6	6.0	7.5
脳神経外科	男	20.1	20.7	15.9
	女	18.0	16.9	15.5
眼科	男	6.0	7.4	8.4
	女	5.3	7.1	7.7
耳鼻咽喉科	男	16.4	11.2	14.4
	女	9.8	9.2	9.5
歯科口腔外科	男	19.7	12.0	9.3
	女	13.4	13.7	12.4
呼吸器内科	男	12.5	11.8	11.4
	女	11.3	10.3	9.9
呼吸器外科	男	13.5	9.1	11.3
	女	8.9	9.7	10.9
循環器内科	男	7.2	6.8	7.6
	女	9.6	9.0	8.9
心臓血管外科	男	21.9	26.8	27.1
	女	29.5	25.3	25.2
乳腺・甲状腺外科	男	6.3	7.3	7.5
	女	11.2	9.3	7.3
消化器内科	男	8.0	8.2	8.4
	女	8.6	7.9	7.1
消化器外科・一般外科	男	16.0	15.0	15.0
	女	15.1	13.1	14.0
泌尿器科	男	7.4	7.4	6.8
	女	8.9	7.6	7.0
腎臓内科・膠原病科	男	28.7	32.1	27.7
	女	43.3	26.0	22.4
婦人科	男			
	女	7.5	7.3	7.2
生殖医療科	男			
	女	6.4	6.7	5.1
移植外科	男	27.6	13.4	16.4
	女	22.9	17.6	12.6
救命救急科	男	11.0	7.9	8.3
	女	12.2	6.6	7.7
小児科	男	13.5	11.6	11.1
	女	12.2	12.7	12.1
小児外科	男	4.8	4.5	3.8
	女	5.5	3.9	10.0
産科	男			
	女	11.9	9.9	10.0
皮膚科	男	15.2	19.5	17.7
	女	9.9	12.8	11.0
整形外科	男	16.1	12.6	12.3
	女	16.5	13.0	14.3
形成外科	男	13.6	20.7	18.0
	女	9.2	10.5	13.6
緩和ケア内科	男	3.8	3.7	3.5
	女	4.4	3.6	7.7
児童精神科	男	65.1	96.3	41.2
	女	84.0	100.8	82.2
合計	男	14.5	13.1	13.0
	女	13.6	12.0	12.2

## (4)－1 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

平成27年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	48	0.4%	男	28					3	8	6	11
			女	20					1	4	8	7
血液内科・輸血科	628	4.7%	男	388					22	73	228	65
			女	240				2	6	71	125	36
糖尿病・内分泌内科	49	0.4%	男	17					1	6	9	1
			女	32					13	12	5	2
放射線療法科	11	0.1%	男	7								7
			女	4								2
腫瘍内科	56	0.4%	男	36					3	10	22	1
			女	20					1	8	10	1
ペインクリニック科	13	0.1%	男	8					1	6	1	
			女	5					1	1	1	2
脳神経外科	725	5.4%	男	423	3	3	10	7	14	81	190	115
			女	302			2		13	36	111	140
眼科	190	1.4%	男	83	2	3	9	1	5	7	39	17
			女	107	2	4	14		6	17	41	23
耳鼻咽喉科	398	3.0%	男	232	1	15	22	4	31	47	104	8
			女	166	1	10	17	3	27	53	42	13
歯科口腔外科	133	1.0%	男	74		2	4	7	14	8	31	8
			女	59	1	1	2	8	14	10	11	12
呼吸器内科	692	5.1%	男	490					10	68	300	112
			女	202					10	46	87	59
呼吸器外科	315	2.3%	男	180					10	26	113	31
			女	135					4	35	85	11
循環器内科	1,574	11.7%	男	1,023			1	1	15	152	593	261
			女	551				1	6	53	236	255
心臓血管外科	499	3.7%	男	320	1	1			4	43	173	98
			女	179					3	9	65	102
乳腺・甲状腺外科	212	1.6%	男	23					4	5	10	4
			女	189					18	61	82	28
消化器内科	547	4.1%	男	326		1	1	1	11	48	183	81
			女	221				1	17	27	85	91
消化器外科・一般外科	1,554	11.5%	男	1,010			3	2	26	162	665	152
			女	544			2	2	30	129	259	122
泌尿器科	429	3.2%	男	318				2	7	45	202	62
			女	111					2	25	56	28
腎臓内科・膠原病科	194	1.4%	男	124			2		12	39	53	18
			女	70				1	4	21	32	12
婦人科	636	4.7%	男				1	2	204	233	172	24
			女	636								
生殖医療科	10	0.1%	男						9	1		
			女	10					6	15	10	
移植外科	65	0.5%	男	31					1	11	21	1
			女	34								
救命救急科	581	4.3%	男	328	1	1	9	6	33	52	128	98
			女	253	2	2	1	4	16	21	85	122
小児科	1,173	8.7%	男	626	407	71	137	8	3			
			女	547	374	73	95	3	2			
小児外科	206	1.5%	男	136	70	26	40					
			女	70	23	22	24		1			
産科	892	6.6%	男									
			女	892			2	11	806	73		
皮膚科	41	0.3%	男	22	1			1	2	11	4	3
			女	19					1	10	4	4
整形外科	1,369	10.2%	男	716	1	4	21	11	95	178	334	72
			女	653		4	5	7	40	94	324	179
形成外科	187	1.4%	男	108	11	8	20	4	19	20	19	7
			女	79	11	2	9	2	13	23	14	5
緩和ケア内科	26	0.2%	男	12						5	6	1
			女	14						2	11	1
児童精神科	29	0.2%	男	14			14					
			女	15			15					
合計	13,482	100.0%	男	7,103	498	135	293	55	351	1,115	3,430	1,226
			女	6,379	414	118	189	47	1,269	1,086	1,974	1,282

## (4)－2 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

平成28年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	268	1.9%	男	121					2	8	48	63
			女	147				4	5	14	41	83
血液内科・輸血科	651	4.7%	男	361				6	20	69	223	43
			女	290				1	22	45	177	45
糖尿病・内分泌内科	70	0.5%	男	28			1	1		6	18	2
			女	42					21	14	7	
放射線療法科	12	0.1%	男	7								7
			女	5								2
腫瘍内科	53	0.4%	男	42						4	36	2
			女	11						2	9	
ペインクリニック科	9	0.1%	男	4					1	1	2	
			女	5								4
脳神経外科	749	5.4%	男	447	2	1	5	4	15	81	212	127
			女	302		1		1	9	34	119	138
眼科	219	1.6%	男	114	2	3	12	5	3	18	51	20
			女	105	2	2	12	1		20	48	20
耳鼻咽喉科	342	2.5%	男	207	1	14	25	8	22	46	79	12
			女	135		4	11	1	21	39	44	15
歯科口腔外科	170	1.2%	男	71			8	2	10	9	27	15
			女	99		1	2	10	20	21	26	19
呼吸器内科	683	5.0%	男	446			2		8	40	292	104
			女	237				1	12	40	108	76
呼吸器外科	322	2.3%	男	202			2	1	8	44	118	29
			女	120				2	4	28	73	13
循環器内科	1,615	11.7%	男	1,068			1	3	12	156	619	277
			女	547					8	46	219	274
心臓血管外科	401	2.9%	男	248		1	1	1	2	22	152	69
			女	153					2	6	69	76
乳腺・甲状腺外科	260	1.9%	男	29					3	15	10	1
			女	231				1	21	84	103	22
消化器内科	570	4.1%	男	374			1	3	9	62	204	95
			女	196			1		5	30	88	72
消化器外科・一般外科	1,581	11.5%	男	1,014			2	4	27	209	612	160
			女	567				1	29	104	274	159
泌尿器科	454	3.3%	男	345				2	6	40	222	75
			女	109				1	7	20	49	32
腎臓内科・膠原病科	146	1.1%	男	74				2	1	17	40	14
			女	72			1	2	10	22	30	7
婦人科	512	3.7%	男									
			女	512			1	10	155	185	137	24
生殖医療科	15	0.1%	男									
			女	15					15			
移植外科	91	0.7%	男	60				1	14	17	26	2
			女	31					2	9	19	1
救命救急科	665	4.8%	男	364	7	5	10	9	39	61	133	100
			女	301	2	1	2	6	31	40	98	121
小児科	1,063	7.7%	男	569	383	74	108	3		1		
			女	494	329	68	88	4	5			
小児外科	188	1.4%	男	121	66	26	27	2				
			女	67	26	20	21					
産科	1,060	7.7%	男									
			女	1,060			2	22	954	82		
皮膚科	35	0.3%	男	23				1	1	5	10	6
			女	12						5	2	5
整形外科	1,346	9.8%	男	745	1	6	16	19	82	186	367	68
			女	601	1	3	9	3	42	110	269	164
形成外科	183	1.3%	男	101	17	6	14	2	13	13	26	10
			女	82	9	8	8	1	11	23	12	10
緩和ケア内科	21	0.2%	男	14						3	9	2
			女	7					1	1	4	1
児童精神科	10	0.1%	男	6			6					
			女	4			4					
合計	13,764	100.0%	男	7,205	479	136	241	79	298	1,133	3,543	1,296
			女	6,559	369	108	162	72	1,412	1,024	2,031	1,381

### (4)－3 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

平成29年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	266	1.9%	男	137			1		5	12	53	66
			女	129		3	4	11	8	40	63	
血液内科・輸血科	728	5.2%	男	394				1	29	77	241	46
			女	334			1	26	57	204	46	
糖尿病・内分泌内科	68	0.5%	男	27					4	4	17	2
			女	41					14	14	10	3
放射線療法科	4	0.0%	男	1							1	
			女	3					1	1	1	
腫瘍内科	49	0.4%	男	27						7	17	3
			女	22					2	7	11	2
ペインクリニック科	4	0.0%	男	2								2
			女	2								2
脳神経外科	673	4.8%	男	376	2	2	7		11	66	208	80
			女	297	2	1	3	3	3	36	123	126
眼科	136	1.0%	男	70			2	1	3	3	40	21
			女	66		2			2	10	31	21
耳鼻咽喉科	437	3.1%	男	264	2	11	20	9	26	58	108	30
			女	173		7	15	3	42	44	43	19
歯科口腔外科	149	1.1%	男	63			4	6	9	12	24	8
			女	86			1	1	15	19	23	27
呼吸器内科	532	3.8%	男	381					2	60	259	60
			女	151					1	33	80	37
呼吸器外科	323	2.3%	男	183			1	3	2	24	125	28
			女	140				2	5	30	87	16
循環器内科	1,671	12.0%	男	1,089				1	11	157	634	286
			女	582			1		6	43	215	317
心臓血管外科	378	2.7%	男	230				1		21	151	57
			女	148				1	1	12	72	62
乳腺・甲状腺外科	269	1.9%	男	21					7	4	9	1
			女	248			2		28	86	104	28
消化器内科	616	4.4%	男	376					6	59	219	92
			女	240				1	8	33	103	95
消化器外科・一般外科	1,593	11.4%	男	1,026		1		4	23	206	632	160
			女	567				7	25	116	271	148
泌尿器科	469	3.4%	男	354				2	14	38	204	96
			女	115					11	16	57	31
腎臓内科・膠原病科	149	1.1%	男	86				2	13	16	32	23
			女	63				6	9	23	14	11
婦人科	533	3.8%	男									
			女	533				7	141	289	89	7
生殖医療科	7	0.1%	男									
			女	7					7			
移植外科	87	0.6%	男	48				2	6	22	17	1
			女	39				1	2	16	16	4
救命救急科	741	5.3%	男	438	2	1	13	12	40	79	171	120
			女	303	1	1	2	2	21	31	95	150
小児科	1,233	8.8%	男	688	461	100	120	1	4	2		
			女	545	370	73	90	10	2			
小児外科	205	1.5%	男	134	73	28	31	2				
			女	71	27	27	15	2				
産科	1,031	7.4%	男									
			女	1,031			1	18	928	84		
皮膚科	22	0.2%	男	10	1				1	1	4	3
			女	12				1		3	5	3
整形外科	1,376	9.9%	男	769		1	25	9	69	200	369	96
			女	607	1	5	6	3	32	101	286	173
形成外科	154	1.1%	男	83	4	2	10	4	15	14	26	8
			女	71	3	5	8	3	11	15	15	11
緩和ケア内科	39	0.3%	男	26						5	20	1
			女	13						6	7	
児童精神科	27	0.2%	男	9			9					
			女	18			18					
合計	13,969	100.0%	男	7,312	545	146	243	60	300	1,147	3,583	1,288
			女	6,657	404	121	165	76	1,354	1,133	2,004	1,400

## (5)－1 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

平成27年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層								
						0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～	
総合診療科	48	0.4%	男	28	19.5					6.7	23.8	14.2	22.7	
			女	20	22.2					23.0	13.3	13.3	37.4	
血液内科・輸血科	628	4.7%	男	388	31.2					37.0	42.1	29.0	24.7	
			女	240	31.9				12.5	28.5	35.0	32.4	25.4	
糖尿病・内分泌内科	49	0.4%	男	17	9.3					3.0	9.0	9.9	12.0	
			女	32	8.7					8.1	7.7	10.6	14.0	
放射線療法科	11	0.1%	男	7	7.9								7.9	
			女	4	8.0								8.0	8.0
腫瘍内科	56	0.4%	男	36	15.3					3.7	20.2	14.4	20.0	
			女	20	20.0					5.0	18.6	19.3	53.0	
ペインクリニック科	13	0.1%	男	8	7.8					14.0	7.7	2.0		
			女	5	14.6					3.0	11.0	19.0	20.0	
脳神経外科	725	5.4%	男	423	20.1	29.7	4.0	14.3	27.1	11.0	18.4	21.9	19.5	
			女	302	18.0				44.5		16.9	16.1	15.9	19.8
眼 科	190	1.4%	男	83	6.0	3.0	3.0	3.1	3.0	5.6	7.6	5.8	8.3	
			女	107	5.3	3.0	3.0	2.9		5.7	6.0	5.2	6.7	
耳鼻咽喉科	398	3.0%	男	232	16.4	12.0	11.1	8.9	9.0	9.2	13.8	22.5	16.0	
			女	166	9.8	10.0	8.9	9.8	9.3	8.7	8.5	12.5	9.4	
歯科口腔外科	133	1.0%	男	74	19.7			3.0	4.0	13.0	10.2	7.9	32.9	14.8
			女	59	13.4	2.0	3.0	10.0	11.1	8.0	11.0	15.9	23.5	
呼吸器内科	692	5.1%	男	490	12.5					8.0	11.0	11.4	16.6	
			女	202	11.3					8.2	7.5	10.1	16.7	
呼吸器外科	315	2.3%	男	180	13.5					7.8	28.1	10.9	12.5	
			女	135	8.9					8.3	8.0	9.0	11.3	
循環器内科	1,574	11.7%	男	1,023	7.2			2.0	3.0	4.4	6.4	6.6	9.3	
			女	551	9.6				3.0	6.2	6.1	7.2	12.6	
心臓血管外科	499	3.7%	男	320	21.9	16.0	16.0			29.5	19.1	21.0	24.5	
			女	179	29.5					24.3	22.4	26.5	32.1	
乳腺・甲状腺外科	212	1.6%	男	23	6.3					4.8	6.6	6.5	7.0	
			女	189	11.2					8.6	9.9	12.0	13.6	
消化器内科	547	4.1%	男	326	8.0		2.0	7.0	3.0	9.7	7.2	7.6	9.2	
			女	221	8.6				1.0	6.4	8.1	9.9	8.1	
消化器外科・一般外科	1,554	11.5%	男	1,010	16.0			4.7	11.0	10.0	15.6	16.1	17.1	
			女	544	15.1			5.5	5.0	8.3	14.4	15.0	18.0	
泌尿器科	429	3.2%	男	318	7.4				6.5	4.1	7.6	7.8	6.5	
			女	111	8.9					6.5	5.1	9.8	10.6	
腎臓内科・膠原病科	194	1.4%	男	124	28.7			4.0		4.9	26.3	37.1	27.9	
			女	70	43.3				4.0	29.0	31.1	46.4	64.2	
婦人科	636	4.7%	男											
			女	636	7.5			3.0	5.5	6.1	7.7	8.9	7.8	
生殖医療科	10	0.1%	男							6.4	6.0			
			女	10	6.4									
移植外科	65	0.5%	男	31	27.6					18.8	13.4	54.2		
			女	34	22.9					2.0	19.2	26.7	3.0	
救命救急科	581	4.3%	男	328	11.0	3.0	2.0	3.3	3.7	6.7	8.2	12.6	13.1	
			女	253	12.2	2.0	2.0	29.0	2.5	6.5	5.8	12.2	14.6	
小児科	1,173	8.7%	男	626	13.5	13.8	13.0	13.1	17.5	3.0				
			女	547	12.2	10.9	25.0	8.0	4.0	3.5				
小児外科	206	1.5%	男	136	4.8	5.1	3.5	5.2						
			女	70	5.5	9.0	2.9	4.6		5.0				
産科	892	6.6%	男											
			女	892	11.9			12.0	9.6	12.0	11.0			
皮膚科	41	0.3%	男	22	15.2	3.0			6.0	5.5	11.3	33.8	18.7	
			女	19	9.9					6.0	9.1	7.3	15.8	
整形外科	1,369	10.2%	男	716	16.1	3.0	3.3	8.0	18.8	21.1	15.7	15.4	16.3	
			女	653	16.5		3.0	7.2	8.4	12.5	16.6	15.5	20.1	
形成外科	187	1.4%	男	108	13.6	3.6	4.3	6.7	24.0	16.4	20.6	15.8	20.7	
			女	79	9.2	2.9	5.5	3.8	4.0	8.0	12.5	12.4	15.8	
緩和ケア内科	26	0.2%	男	12	3.8						3.2	4.0	5.0	
			女	14	4.4						3.0	4.7	3.0	
児童精神科	29	0.2%	男	14	65.1			65.1						
			女	15	84.0			84.0						
合計	13,482	100.0%	男	7,103	14.5	12.3	9.5	12.5	15.1	14.1	15.5	14.8	15.1	
			女	6,379	13.6	10.5	17.1	13.7	7.8	10.6	12.5	14.4	17.4	

## (5)－2 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

平成28年度

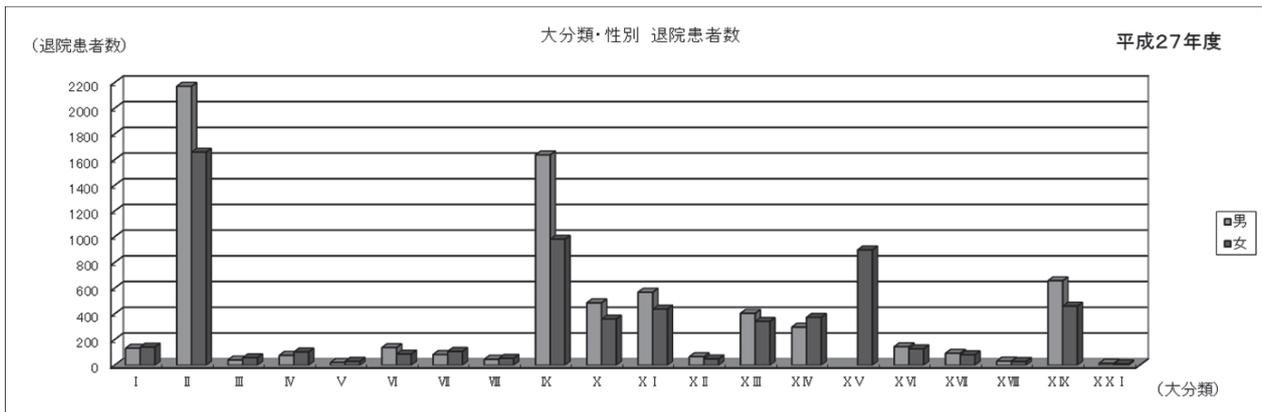
診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	268	1.9%	男	121	17.2					9.0	9.9	17.0	18.5
			女	147	16.2				9.3	6.2	20.5	14.9	17.1
血液内科・輸血科	651	4.7%	男	361	28.5				21.2	29.4	35.3	27.3	24.9
			女	290	29.4				4.0	32.9	36.6	28.3	25.3
糖尿病・内分泌内科	70	0.5%	男	28	12.0			9.0	12.0		11.7	12.4	11.5
			女	42	10.3					9.1	11.3	12.0	
放射線療法科	12	0.1%	男	7	7.4							7.4	
			女	5	8.0								8.0
腫瘍内科	53	0.4%	男	42	14.1						9.8	14.5	15.5
			女	11	18.5						22.0	17.7	
ペインクリニック科	9	0.1%	男	4	7.8					2.0	9.0	10.0	
			女	5	6.0							6.3	5.0
脳神経外科	749	5.4%	男	447	20.7	11.5	4.0	10.4	8.8	106.5	19.3	17.1	18.7
			女	302	16.9		37.0		16.0	6.8	11.1	16.1	19.5
眼 科	219	1.6%	男	114	7.4	3.0	2.7	3.0	10.4	5.3	9.6	7.9	7.6
			女	105	7.1	3.0	3.0	3.0	2.0		10.3	7.7	6.2
耳鼻咽喉科	342	2.5%	男	207	11.2	10.0	8.6	8.8	11.8	7.5	11.0	13.8	8.9
			女	135	9.2		11.0	7.8	10.0	8.0	11.1	8.2	9.1
歯科口腔外科	170	1.2%	男	71	12.0			7.1	5.5	8.5	7.0	18.9	8.3
			女	99	13.7		1.0	6.0	10.2	8.5	18.0	15.8	14.7
呼吸器内科	683	5.0%	男	446	11.8			3.5		10.6	10.0	11.7	13.1
			女	237	10.3				4.0	10.6	8.2	8.5	14.1
呼吸器外科	322	2.3%	男	202	9.1			4.5	5.0	6.4	7.6	9.4	11.4
			女	120	9.7				5.0	9.3	8.9	9.3	15.2
循環器内科	1,615	11.7%	男	1,068	6.8			4.0	3.3	7.8	4.4	6.7	8.2
			女	547	9.0					7.9	8.7	6.1	11.5
心臓血管外科	401	2.9%	男	248	26.8		13.0	13.0	18.0	5.5	21.2	26.7	30.1
			女	153	25.3					18.5	41.0	19.7	29.3
乳腺・甲状腺外科	260	1.9%	男	29	7.3					5.0	5.7	6.8	43.0
			女	231	9.3				5.0	5.6	7.9	10.7	11.6
消化器内科	570	4.1%	男	374	8.2			5.0	6.3	10.7	8.3	8.2	7.9
			女	196	7.9			9.0		8.0	4.8	7.9	9.1
消化器外科・一般外科	1,581	11.5%	男	1,014	15.0			5.0	5.8	11.0	14.2	14.6	18.5
			女	567	13.1				4.0	10.5	9.5	14.2	14.2
泌尿器科	454	3.3%	男	345	7.4				5.0	10.7	7.1	7.8	6.1
			女	109	7.6				4.0	6.9	8.4	7.2	7.8
腎臓内科・膠原病科	146	1.1%	男	74	32.1				42.5	62.0	32.5	33.4	24.0
			女	72	26.0			4.0	3.5	5.8	19.0	31.4	63.3
婦人科	512	3.7%	男										
			女	512	7.3			5.0	7.3	5.4	7.4	8.9	8.8
生殖医療科	15	0.1%	男										
			女	15	6.7					6.7			
移植外科	91	0.7%	男	60	13.4				2.0	15.4	15.9	11.6	6.0
			女	31	17.6					34.0	9.6	20.1	11.0
救命救急科	665	4.8%	男	364	7.9	6.4	2.4	4.0	6.3	8.0	7.4	9.6	6.9
			女	301	6.6	1.5	3.0	15.0	1.7	5.4	6.4	6.4	7.3
小児科	1,063	7.7%	男	569	11.6	12.3	7.4	12.4	7.0		4.0		
			女	494	12.7	12.7	8.6	13.9	9.8	55.6			
小児外科	188	1.4%	男	121	4.5	4.3	4.7	4.4	8.5				
			女	67	3.9	4.3	3.0	4.3					
産科	1,060	7.7%	男										
			女	1,060	9.9			6.0	6.5	10.1	8.2		
皮膚科	35	0.3%	男	23	19.5				7.0	9.0	5.6	31.5	15.0
			女	12	12.8							13.0	8.0
整形外科	1,346	9.8%	男	745	12.6	2.0	2.8	5.1	7.1	11.7	12.4	13.3	14.5
			女	601	13.0	56.0	2.7	8.1	10.7	11.9	10.9	12.6	15.5
形成外科	183	1.3%	男	101	20.7	4.2	4.7	5.6	8.5	12.3	22.8	41.4	36.7
			女	82	10.5	3.1	3.5	11.6	7.0	7.9	10.0	20.7	13.7
緩和ケア内科	21	0.2%	男	14	3.7						4.7	3.6	3.0
			女	7	3.6					3.0	3.0	3.5	5.0
児童精神科	10	0.1%	男	6	96.3			96.3					
			女	4	100.8			100.8					
合計	13,764	100.0%	男	7,205	13.1	10.7	6.4	11.0	9.6	16.4	12.9	13.5	13.7
			女	6,559	12.0	11.8	7.2	12.8	7.1	9.8	10.8	12.8	14.6

### (5)－3 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

平成29年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0～2 才	3～5 才	6～15 才	16～20 才	21～40 才	41～60 才	61～79 才	80才～
総合診療科	266	1.9%	男	137	19.4			5.0		13.0	17.2	18.2	21.5
			女	129	18.3			15.0	4.0	8.2	17.3	22.7	18.4
血液内科・輸血科	728	5.2%	男	394	30.7				2.0	34.0	39.1	28.8	25.0
			女	334	27.2				5.0	29.4	29.8	26.3	27.5
糖尿病・内分泌内科	68	0.5%	男	27	9.0					4.5	7.3	9.9	13.0
			女	41	9.4					9.1	5.7	14.9	9.0
放射線療法科	4	0.0%	男	1	8.0							8.0	
			女	3	4.3					2.0	3.0	8.0	
腫瘍内科	49	0.4%	男	27	17.9						12.7	20.8	13.3
			女	22	15.0					8.0	9.7	19.3	16.5
ペインクリニック科	4	0.0%	男	2	10.0							10.0	
			女	2	7.5							7.5	
脳神経外科	673	4.8%	男	376	15.9	8.5	16.0	19.3		17.9	14.0	16.3	15.9
			女	297	15.5	6.5	2.0	6.7	11.7	6.7	11.6	14.6	18.3
眼科	136	1.0%	男	70	8.4			3.0	3.0	10.3	13.0	9.4	6.2
			女	66	7.7			3.0		5.0	10.5	7.5	7.4
耳鼻咽喉科	437	3.1%	男	264	14.4	8.5	10.0	8.2	10.7	7.7	11.5	17.5	21.5
			女	173	9.5		9.7	8.1	12.0	8.4	8.9	10.3	12.4
歯科口腔外科	149	1.1%	男	63	9.3			6.3	7.0	4.4	7.0	12.1	13.3
			女	86	12.4			3.0	2.0	6.1	8.2	14.4	18.0
呼吸器内科	532	3.8%	男	381	11.4					5.0	7.7	11.3	15.3
			女	151	9.9					18.0	10.5	8.9	11.5
呼吸器外科	323	2.3%	男	183	11.3			7.0	6.0	9.0	10.4	11.9	10.4
			女	140	10.9					11.0	14.6	8.1	11.0
循環器内科	1,671	12.0%	男	1,089	7.6				3.0	4.9	8.1	6.1	10.6
			女	582	8.9			4.0		4.0	9.8	6.0	10.8
心臓血管外科	378	2.7%	男	230	27.1				13.0		29.5	27.1	26.6
			女	148	25.2				11.0	25.0	16.8	25.2	27.1
乳腺・甲状腺外科	269	1.9%	男	21	7.5					6.4	5.8	9.1	7.0
			女	248	7.3			5.5		5.9	8.1	6.9	7.7
消化器内科	616	4.4%	男	376	8.4					12.3	9.2	8.3	7.9
			女	240	7.1				3.0	7.8	8.1	6.5	7.5
消化器外科・一般外科	1,593	11.4%	男	1,026	15.0		2.0		4.5	10.5	12.3	15.3	18.6
			女	567	14.0				4.9	16.9	11.0	14.6	15.1
泌尿器科	469	3.4%	男	354	6.8				3.5	7.3	6.5	6.8	7.0
			女	115	7.0					5.9	6.4	7.4	6.9
腎臓内科・膠原病科	149	1.1%	男	86	27.7				13.0	25.4	21.6	34.8	24.8
			女	63	22.4				5.0	4.8	15.0	33.2	47.9
婦人科	533	3.8%	男										
			女	533	7.2				6.3	5.2	7.7	8.6	8.0
生殖医療科	7	0.1%	男										
			女	7	5.1					5.1			
移植外科	87	0.6%	男	48	16.4				9.0	5.3	21.8	15.1	2.0
			女	39	12.6				30.0	3.5	11.3	15.8	5.3
救命救急科	741	5.3%	男	438	8.3	2.0	2.0	4.3	10.7	4.8	8.4	10.4	6.9
			女	303	7.7	1.0	2.0	6.0	2.5	4.0	6.1	8.9	7.9
小児科	1,233	8.8%	男	688	11.1	12.1	7.0	11.3	3.0	12.3	4.0		
			女	545	12.1	13.7	8.1	9.8	3.3	9.5			
小児外科	205	1.5%	男	134	3.8	4.0	3.8	3.6	2.5				
			女	71	10.0	20.0	3.7	4.0	4.0				
産科	1,031	7.4%	男										
			女	1,031	10.0			7.0	9.1	10.0	10.0		
皮膚科	22	0.2%	男	10	17.7	9.0				8.0	11.0	22.8	19.3
			女	12	11.0				5.0		4.0	7.8	25.3
整形外科	1,376	9.9%	男	769	12.3		39.0	9.9	7.2	10.9	12.8	11.6	15.5
			女	607	14.3	5.0	6.8	6.8	6.0	6.8	10.9	15.0	17.1
形成外科	154	1.1%	男	83	18.0	3.8	3.0	5.7	9.5	17.6	16.9	27.3	20.6
			女	71	13.6	3.3	3.2	4.0	7.7	10.5	8.7	14.9	37.8
緩和ケア内科	39	0.3%	男	26	3.5						3.0	3.6	3.0
			女	13	7.7							3.2	11.6
児童精神科	27	0.2%	男	9	41.2			41.2					
			女	18	82.2			82.2					
合計	13,969	100.0%	男	7,312	13.0	10.8	6.8	10.5	8.1	12.4	13.4	13.4	14.0
			女	6,657	12.2	13.9	6.8	16.5	6.9	9.5	10.3	13.5	14.3

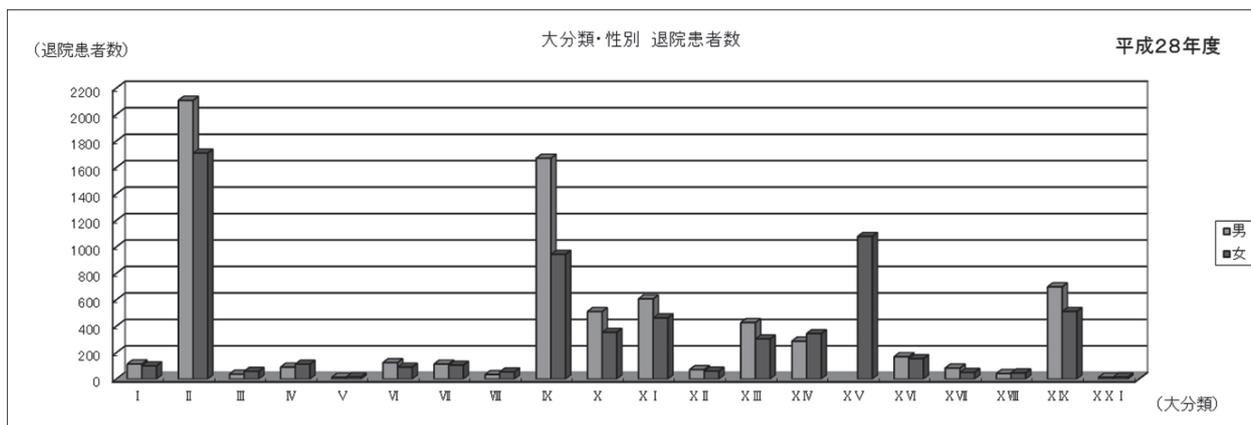
(6)-1【平成27年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



平成27年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症および寄生虫症	273	2.0%	男	132	40.4	11.3
				女	141	38.1	10.2
II	新生物	3,828	28.4%	男	2,170	66.8	17.7
				女	1,658	61.9	14.5
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	99	0.7%	男	41	48.5	20.0
				女	58	41.0	19.2
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	180	1.3%	男	77	60.8	9.9
				女	103	60.4	10.1
V	精神および行動の障害	51	0.4%	男	21	20.3	44.8
				女	30	33.4	46.8
VI	神経系の疾患	224	1.7%	男	137	38.6	13.8
				女	87	47.7	12.8
VII	眼および付属器の疾患	190	1.4%	男	83	56.6	6.5
				女	107	56.4	5.3
VIII	耳および乳様突起の疾患	99	0.7%	男	46	44.8	6.7
				女	53	57.8	8.5
IX	循環器系の疾患	2,617	19.4%	男	1,636	70.9	12.1
				女	981	76.5	14.6
X	呼吸器系の疾患	844	6.3%	男	485	40.2	12.4
				女	359	32.9	9.4
X I	消化器系の疾患	1,004	7.4%	男	568	57.7	9.0
				女	436	56.7	9.4
X II	皮膚および皮下組織の疾患	115	0.9%	男	66	42.9	19.7
				女	49	41.9	12.9
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	745	5.5%	男	404	60.0	13.8
				女	341	64.6	15.7
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	668	5.0%	男	296	54.9	15.6
				女	372	51.8	12.0
X V	妊娠、分娩および産褥	897	6.7%	男			
				女	897	33.0	11.9
X VI	周産期に発生した病態	271	2.0%	男	144	0.0	26.6
				女	127	0.0	29.0
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	174	1.3%	男	93	8.3	8.2
				女	81	10.8	9.6
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61	0.5%	男	32	21.8	4.3
				女	29	38.5	12.4
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	1,117	8.3%	男	657	54.4	16.5
				女	460	68.2	17.4
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	25	0.2%	男	15	54.0	8.3
				女	10	63.3	13.9
合計		13,482	100.0%	男	7,103	59.0	14.5
				女	6,379	54.8	13.6

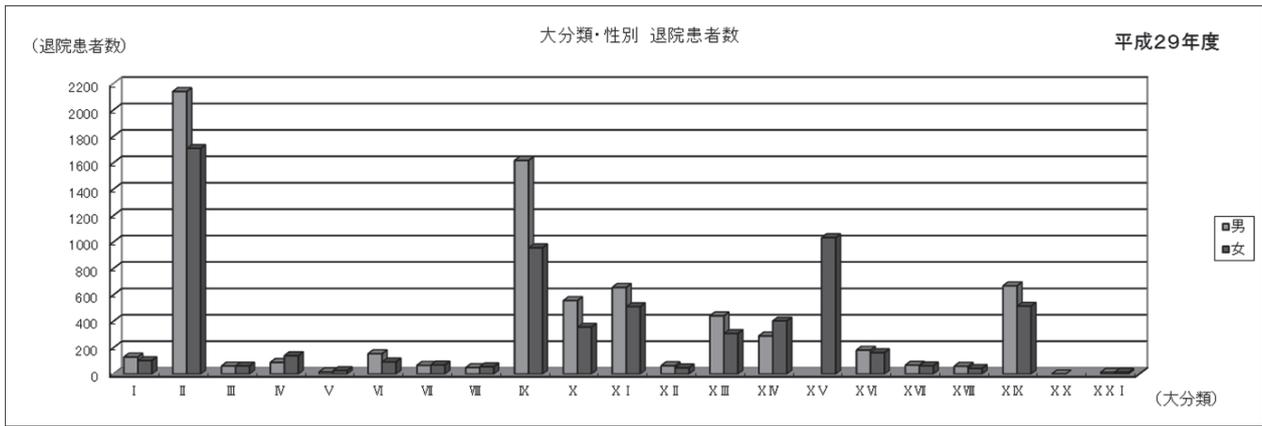
## (6)－2【平成28年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



平成28年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症および寄生虫症	213	1.5%	男	114	45.1	10.3
				女	99	48.7	8.7
II	新生物	3,815	27.7%	男	2,107	67.5	15.2
				女	1,708	63.4	14.1
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	95	0.7%	男	37	55.6	25.7
				女	58	42.8	19.5
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	202	1.5%	男	90	60.5	8.5
				女	112	57.9	10.7
V	精神および行動の障害	29	0.2%	男	13	35.0	50.8
				女	16	29.3	34.9
VI	神経系の疾患	214	1.6%	男	124	45.6	10.9
				女	90	49.7	11.1
VII	眼および付属器の疾患	218	1.6%	男	113	56.5	7.0
				女	105	60.5	7.1
VIII	耳および乳様突起の疾患	87	0.6%	男	34	43.3	5.7
				女	53	61.6	6.4
IX	循環器系の疾患	2,612	19.0%	男	1,669	70.8	12.2
				女	943	76.9	13.2
X	呼吸器系の疾患	863	6.3%	男	510	45.5	11.6
				女	353	42.3	10.1
X I	消化器系の疾患	1,068	7.8%	男	606	58.8	9.3
				女	462	57.0	8.6
X II	皮膚および皮下組織の疾患	131	1.0%	男	71	43.1	27.8
				女	60	43.4	11.5
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	730	5.3%	男	427	59.1	11.8
				女	303	63.4	12.8
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	629	4.6%	男	286	57.6	13.2
				女	343	53.2	10.5
X V	妊娠、分娩および産褥	1,078	7.8%	男			
				女	1,078	32.7	9.9
X VI	周産期に発生した病態	323	2.3%	男	169	0.0	17.9
				女	154	0.0	17.0
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	133	1.0%	男	83	8.0	8.7
				女	50	19.4	15.6
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	88	0.6%	男	42	27.7	6.5
				女	46	38.7	5.8
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	1,208	8.8%	男	697	56.9	13.9
				女	511	66.6	12.3
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	28	0.2%	男	13	49.5	8.6
				女	15	49.5	9.5
合計		13,764	100.0%	男	7,205	60.1	13.1
				女	6,559	55.4	12.0

(6)-3【平成29年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



平成29年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症および寄生虫症	231	1.7%	男	129	34.4	12.1
				女	102	41.5	11.4
II	新生物	3,847	27.5%	男	2,139	67.8	16.2
				女	1,708	62.0	13.9
III	血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の傷害	122	0.9%	男	61	51.3	36.3
				女	61	42.5	21.1
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	227	1.6%	男	88	61.9	8.9
				女	139	58.1	7.8
V	精神および行動の障害	42	0.3%	男	16	28.9	25.2
				女	26	20.7	62.4
VI	神経系の疾患	246	1.8%	男	154	37.5	9.1
				女	92	44.2	9.9
VII	眼および付属器の疾患	135	1.0%	男	66	68.3	8.4
				女	69	69.2	8.0
VIII	耳および乳様突起の疾患	104	0.7%	男	49	48.2	6.6
				女	55	55.4	7.8
IX	循環器系の疾患	2,573	18.4%	男	1,617	71.1	10.9
				女	956	76.5	12.4
X	呼吸器系の疾患	911	6.5%	男	556	43.0	10.0
				女	355	41.2	9.0
X I	消化器系の疾患	1,166	8.3%	男	656	58.9	8.9
				女	510	61.6	8.5
X II	皮膚および皮下組織の疾患	110	0.8%	男	63	44.9	17.2
				女	47	49.3	17.5
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	748	5.4%	男	441	63.2	11.6
				女	307	63.1	13.7
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	690	4.9%	男	288	54.8	14.2
				女	402	52.1	8.7
X V	妊娠、分娩および産褥	1,033	7.4%	男			
				女	1,033	33.2	10.0
X VI	周産期に発生した病態	343	2.5%	男	181	0.0	22.1
				女	162	0.0	19.7
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	129	0.9%	男	67	7.9	6.5
				女	62	16.2	22.3
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	102	0.7%	男	59	37.6	4.8
				女	43	27.5	5.3
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	1,182	8.5%	男	668	55.7	13.6
				女	514	67.9	13.9
X X	傷病および死亡の外因	1	0.0%	男	1	23.0	2.0
				女			
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	27	0.2%	男	13	50.0	7.4
				女	14	56.9	11.3
合計		13,969	100.0%	男	7,205	60.1	13.1
				女	6,559	55.4	12.0

(7)-1 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成27年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
<b>I 感染症および寄生虫症</b>							
腸管感染症		132	48.4%	男	60	21.8	4.8
				女	72	18.4	4.1
結核		15	5.5%	男	6	73.7	43.7
				女	9	76.8	32.7
人畜共通細菌性疾患		1	0.4%	男	1	64.0	6.0
その他の細菌性疾患		72	26.4%	男	39	67.6	18.7
				女	33	72.3	19.7
主として性的伝播様式をとる感染症		8	2.9%	男			
節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱		1	0.4%	男			
				女	1	57.0	23.0
皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症		19	7.0%	男	11	32.8	6.1
				女	8	31.6	7.0
その他のウイルス疾患		14	5.1%	男	8	14.4	6.6
				女	6	13.7	5.2
真菌症		10	3.7%	男	6	54.5	12.3
				女	4	69.8	19.0
蠕虫症		1	0.4%	男	1	74.0	7.0
				女			
<b>II 新生物</b>							
口唇、口腔および咽頭(悪性新生物)		75	2.0%	男	63	67.3	39.0
				女	12	71.5	23.0
消化器(悪性新生物)		1,159	30.3%	男	782	69.1	16.7
				女	377	69.7	16.4
呼吸器および胸腔内臓器(悪性新生物)		613	16.0%	男	422	68.2	10.9
				女	191	66.9	8.2
骨および関節軟骨(悪性新生物)		17	0.4%	男	12	67.0	20.5
				女	5	27.4	13.2
皮膚(悪性新生物)		23	0.6%	男	14	73.2	19.9
				女	9	68.7	12.3
中皮および軟部組織(悪性新生物)		42	1.1%	男	22	47.4	13.2
				女	20	68.4	16.9
乳房(悪性新生物)		132	3.4%	男	1	50.0	8.0
				女	131	61.1	12.5
女性性器(悪性新生物)		264	6.9%	男			
男性性器(悪性新生物)		107	2.8%	男	107	71.2	5.1
				女			
尿路(悪性新生物)		137	3.6%	男	101	69.5	11.1
				女	36	69.9	19.3
眼、脳および中枢神経系のその他の部位(悪性新生物)		21	0.5%	男	21	31.0	21.4
				女			
甲状腺およびその他の内分泌腺(悪性新生物)		31	0.8%	男	12	64.3	7.6
				女	19	59.6	11.5
部位不明確、続発部位および部位不明(悪性新生物)		165	4.3%	男	95	68.3	14.4
				女	70	68.4	13.6
リンパ組織、造血組織および関連組織(悪性新生物)		547	14.3%	男	342	62.6	31.8
				女	205	62.8	34.1
上皮内新生物		26	0.7%	男	7	65.1	8.9
				女	19	49.1	4.5
良性新生物		339	8.9%	男	82	54.3	8.5
				女	257	47.6	7.1
性状不詳または不明の新生物		130	3.4%	男	87	68.9	26.9
				女	43	64.5	12.3
<b>III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害</b>							
栄養性貧血		10	10.1%	男	6	56.7	11.0
				女	4	60.3	15.5
溶血性貧血		4	4.0%	男	4	81.3	24.0
				女			
無形成性貧血およびその他の貧血		11	11.1%	男	2	51.0	53.0
				女	9	51.0	58.6

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	51	51.5%	男	20	42.8	18.0
				女	31	32.4	12.6
	血液および造血器のその他の疾患	13	13.1%	男	6	38.3	16.5
				女	7	40.7	16.0
	免疫機構の障害	10	10.1%	男	3	45.3	31.3
				女	7	55.7	2.7
<b>IV 内分泌、栄養および代謝疾患</b>							
	甲状腺障害	47	26.1%	男	7	47.3	6.4
				女	40	58.1	5.7
	糖尿病	43	23.9%	男	22	64.1	13.3
				女	21	55.5	19.1
	その他のグルコース調節および膵内分泌障害	7	3.9%	男	2	37.0	3.5
				女	5	36.8	6.6
	その他の内分泌腺障害	24	13.3%	男	10	50.0	6.4
				女	14	60.0	5.5
	栄養失調(症)	3	1.7%	男	2	40.0	30.5
				女	1	71.0	11.0
	その他の栄養欠乏症	4	2.2%	男	4	43.8	10.3
				女			
	代謝障害	52	28.9%	男	30	70.3	8.5
				女	22	74.5	13.2
<b>V 精神および行動の障害</b>							
	症状性を含む器質性精神障害	2	3.9%	男			
				女	2	47.0	18.5
	精神作用物質使用による精神および行動の障害	4	7.8%	男	3	42.3	1.0
				女	1	42.0	1.0
	精神分裂病、分裂病型障害および妄想性障害	3	5.9%	男	1	47.0	12.0
				女	2	71.0	10.5
	気分[感情]障害	2	3.9%	男			
				女	2	46.5	63.5
	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	21	41.2%	男	6	24.3	55.3
				女	15	32.5	35.3
	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	7	13.7%	男			
				女	7	19.6	86.0
	知的障害<精神遅滞>	1	2.0%	男	1	13.0	35.0
				女			
	心理的発達の障害	5	9.8%	男	5	8.0	45.6
				女			
	小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	6	11.8%	男	5	10.8	66.0
				女	1	8.0	87.0
<b>VI 神経系の疾患</b>							
	中枢神経系の炎症性疾患	18	8.0%	男	13	23.6	30.9
				女	5	35.2	34.6
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	14	6.3%	男	8	71.8	4.3
				女	6	57.8	14.2
	錐体外路障害および異常行動	5	2.2%	男	2	70.5	14.5
				女	3	83.3	7.0
	神経系のその他の変性疾患	1	0.4%	男	1	68.0	10.0
				女			
	挿間性および発作性障害	103	46.0%	男	61	35.2	7.8
				女	42	38.8	9.2
	神経、神経根および神経叢の障害	24	10.7%	男	12	52.5	9.2
				女	12	54.1	9.6
	多発(性)ニューロパチ<シ>-およびその他の末梢神経系の障害	1	0.4%	男	1	0.0	3.0
				女			
	神経筋接合部および筋の疾患	2	0.9%	男	2	17.5	2.0
				女			
	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	7	3.1%	男	5	16.4	12.6
				女	2	10.5	6.5
	神経系のその他の障害	49	21.9%	男	32	40.8	24.0
				女	17	63.6	18.6
<b>VII 眼および付属器の疾患</b>							
	眼瞼、涙器および眼窩の障害	9	4.7%	男	6	27.7	2.8
				女	3	30.3	8.3
	強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害	2	1.1%	男	2	79.0	28.5
				女			

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	水晶体の障害	110	57.9%	男	43	73.4	5.2
				女	67	70.2	5.5
	脈絡膜および網膜の障害	15	7.9%	男	9	46.0	13.7
				女	6	76.2	8.5
	緑内障	3	1.6%	男	2	64.0	17.0
				女	1	78.0	6.0
	硝子体および眼球の障害	2	1.1%	男	1	59.0	14.0
				女	1	80.0	16.0
	眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害	46	24.2%	男	18	26.2	2.9
				女	28	21.0	2.9
	眼および付属器のその他の障害	3	1.6%	男	2	72.0	11.0
				女	1	36.0	19.0
<b>VIII 耳および乳様突起の疾患</b>							
外耳疾患	4	4.0%	男	4	20.3	4.3	
			女				
中耳および乳様突起の疾患	36	36.4%	男	18	26.9	6.0	
			女	18	42.3	7.0	
内耳疾患	49	49.5%	男	19	61.1	5.8	
			女	30	67.0	9.3	
耳のその他の障害	10	10.1%	男	5	67.0	15.0	
			女	5	58.6	9.2	
<b>IX 循環器系の疾患</b>							
慢性リウマチ性心疾患	26	1.0%	男	16	71.8	22.2	
			女	10	75.8	27.2	
高血圧性疾患	22	0.8%	男	10	74.7	13.0	
			女	12	80.4	11.0	
虚血性心疾患	980	37.4%	男	700	70.4	5.3	
			女	280	73.8	6.3	
肺性心疾患および肺循環疾患	13	0.5%	男	5	69.6	7.0	
			女	8	79.8	13.5	
その他の型の心疾患	669	25.6%	男	352	71.8	14.8	
			女	317	79.1	17.6	
脳血管疾患	516	19.7%	男	290	70.0	21.6	
			女	226	76.2	19.0	
動脈、細動脈および毛細血管の疾患	349	13.3%	男	237	73.1	16.1	
			女	112	78.4	18.9	
静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	38	1.5%	男	25	62.0	12.0	
			女	13	67.1	6.7	
循環器系のその他および詳細不明の障害	4	0.2%	男	1	90.0	1.0	
			女	3	25.7	4.3	
<b>X 呼吸器系の疾患</b>							
急性上気道感染症	37	4.4%	男	20	13.9	4.6	
			女	17	17.6	5.3	
インフルエンザおよび肺炎	208	24.6%	男	125	51.1	12.3	
			女	83	42.1	14.0	
その他の急性下気道感染症	206	24.4%	男	94	2.2	4.8	
			女	112	3.3	4.8	
上気道のその他の疾患	127	15.0%	男	74	32.7	10.4	
			女	53	41.1	9.2	
慢性下気道疾患	76	9.0%	男	46	26.9	6.3	
			女	30	27.5	6.2	
外的因子による肺疾患	70	8.3%	男	42	77.2	26.6	
			女	28	81.8	15.3	
主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	54	6.4%	男	37	73.3	25.6	
			女	17	71.2	12.6	
下気道の化膿性および壊死性病態	13	1.5%	男	10	65.4	26.3	
			女	3	59.3	14.0	
胸膜のその他の疾患	42	5.0%	男	30	63.7	14.7	
			女	12	57.1	15.7	
呼吸器系のその他の疾患	11	1.3%	男	7	62.6	15.7	
			女	4	69.3	15.3	
<b>X I 消化器系の疾患</b>							
口腔、唾液腺および顎の疾患	79	7.9%	男	41	49.2	6.3	
			女	38	43.2	8.5	
食道、胃および十二指腸の疾患	79	7.9%	男	55	64.5	8.8	
			女	24	74.5	12.7	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	虫垂の疾患	64	6.4%	男	39	29.1	6.1
	女			25	25.4	5.7	
	ヘルニア	153	15.2%	男	93	44.6	4.5
	女			60	26.2	5.0	
	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	18	1.8%	男	6	50.5	19.7
	女			12	25.3	19.2	
	腸その他の疾患	150	14.9%	男	79	59.0	10.5
	女			71	66.6	10.4	
	腹膜の疾患	28	2.8%	男	17	57.8	22.2
	女			11	78.3	27.8	
肝疾患	27	2.7%	男	14	56.5	15.2	
女			13	60.9	16.6		
胆嚢、胆管および膵の障害	345	34.4%	男	188	68.2	9.5	
女			157	69.3	8.3		
消化器系その他の疾患	61	6.1%	男	36	66.4	9.8	
女			25	61.7	10.5		
<b>X II 皮膚および皮下組織の疾患</b>							
	皮膚および皮下組織の感染症	45	39.1%	男	22	48.1	17.8
				女	23	40.8	10.8
	水疱症	3	2.6%	男	3	73.7	120.0
				女			
	皮膚炎および湿疹	11	9.6%	男	7	59.3	8.6
				女	4	58.8	10.3
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	1	0.9%	男			
				女	1	68.0	19.0
	蕁麻疹および紅斑	8	7.0%	男	4	7.3	4.8
				女	4	32.5	38.0
	皮膚付属器の障害	11	9.6%	男	5	29.8	4.8
				女	6	39.7	11.0
	皮膚および皮下組織のその他の障害	36	31.3%	男	25	38.3	17.8
				女	11	40.5	9.8
<b>X III 筋骨格系および結合組織の疾患</b>							
	感染性関節障害	4	0.5%	男	3	69.3	58.3
				女	1	48.0	14.0
	炎症性多発性関節障害	13	1.7%	男	8	25.6	8.9
				女	5	80.4	25.8
	関節症	44	5.9%	男	9	71.1	18.6
				女	35	71.5	21.7
	その他の関節障害	4	0.5%	男			
				女	4	68.3	19.8
	全身性結合組織障害	56	7.5%	男	26	17.9	14.0
				女	30	24.9	19.9
	変形性脊柱障害	117	15.7%	男	45	66.4	12.2
				女	72	71.4	12.2
	脊椎障害	366	49.1%	男	238	67.4	12.8
				女	128	71.9	14.9
	その他の脊柱障害	72	9.7%	男	41	42.5	9.7
				女	31	42.9	10.3
	筋障害	5	0.7%	男	4	46.8	6.0
				女	1	92.0	24.0
	滑膜および腱の障害	9	1.2%	男	4	47.8	6.0
				女	5	61.6	8.2
	その他の軟部組織障害	9	1.2%	男	5	68.4	60.0
				女	4	72.0	17.3
	骨の密度および構造の障害	27	3.6%	男	11	66.5	22.0
				女	16	74.0	22.2
	その他の骨障害	13	1.7%	男	4	67.0	19.0
				女	9	57.7	20.1
	軟骨障害	3	0.4%	男	3	21.3	18.0
				女			
	筋骨格系および結合組織のその他の障害	3	0.4%	男	3	57.0	27.3
				女			
<b>X IV 腎尿路生殖器系の疾患</b>							
	糸球体疾患	88	13.2%	男	61	45.7	19.1
				女	27	49.2	43.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	腎尿細管間質性疾患	130	19.5%	男	57	62.9	6.2
	女			73	59.6	6.4	
	腎不全	133	19.9%	男	74	65.6	33.2
	女			59	64.6	23.0	
	尿路結石	15	2.2%	男	10	68.0	7.2
	女			5	71.0	6.4	
	腎および尿管のその他の障害	8	1.2%	男	6	58.8	8.0
	女			2	71.5	12.0	
	尿路系のその他の疾患	45	6.7%	男	20	56.9	8.7
	女			25	50.2	12.4	
	男性性器の疾患	68	10.2%	男	68	42.1	5.0
女							
乳房の障害	2	0.3%	男				
女			2	57.5	8.0		
女性骨盤臓器の炎症性疾患	15	2.2%	男	15	49.6	7.7	
女							
女性性器の非炎症性障害	163	24.4%	男				
女			163	43.3	6.0		
尿路性器系のその他の障害	1	0.1%	男				
女			1	84.0	7.0		
<b>X V 妊娠、分娩および産褥</b>							
	流産に終わった妊娠	28	3.1%	男			
				女	28	33.5	3.3
	妊娠、分娩および産褥における浮腫、蛋白尿および高血圧性障害	37	4.1%	男			
				女	37	34.5	13.1
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	69	7.7%	男			
				女	69	33.9	9.1
	胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	397	44.3%	男			
				女	397	33.2	17.8
	分娩の合併症	72	8.0%	男			
				女	72	32.9	8.5
	分娩	287	32.0%	男			
				女	287	32.1	5.9
	主として産褥に関連する合併症	4	0.4%	男			
				女	4	35.8	3.8
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	3	0.3%	男			
				女	3	32.3	13.0
<b>X VI 周産期に発生した病態</b>							
	妊娠期間および胎児発育に関連する障害	96	35.4%	男	52	0.0	57.9
					女	44	0.1
	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	78	28.8%	男	46	0.0	13.1
					女	32	0.0
	周産期に特異的な感染症	6	2.2%	男			
					女	6	0.0
	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	65	24.0%	男	38	0.0	4.2
					女	27	0.0
	胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	12	4.4%	男	6	0.0	8.0
					女	6	0.0
	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	4	1.5%	男			
					女	4	0.0
	周産期に発生したその他の障害	10	3.7%	男	2	0.0	5.0
					女	8	0.0
<b>X VII 先天奇形、変形および染色体異常</b>							
	神経系の先天奇形	12	6.9%	男	7	6.1	15.6
					女	5	1.4
	眼、耳、顔面および頸部の先天奇形	13	7.5%	男	6	14.3	6.3
					女	7	9.3
	循環器系の先天奇形	41	23.6%	男	12	26.3	7.7
					女	29	12.0
	呼吸器系の先天奇形	3	1.7%	男			
					女	3	22.3
	唇裂および口蓋裂	11	6.3%	男	7	1.9	5.3
					女	4	0.3
	消化器系のその他の先天奇形	27	15.5%	男	12	9.5	13.3
					女	15	10.5
	性器の先天奇形	35	20.1%	男	32	1.7	2.8
					女	3	17.7

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	尿路系の先天奇形	10	5.7%	男	4	17.3	5.5
				女	6	7.2	5.7
	筋骨格系の先天奇形および変形	9	5.2%	男	6	2.5	6.0
				女	3	3.3	2.7
	その他の先天奇形	6	3.4%	男	3	20.7	3.0
				女	3	39.3	5.7
染色体異常、他に分類されないもの	7	4.0%	男	4	0.3	41.5	
			女	3	0.7	33.7	
<b>XVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの</b>							
	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	20	32.8%	男	6	62.0	5.5
				女	14	68.1	17.0
	消化器系および腹部に関する症状および徴候	2	3.3%	男	1	80.0	20.0
				女	1	7.0	2.0
	皮膚および皮下組織に関する症状および徴候	1	1.6%	男	1	71.0	2.0
				女			
	認識、知覚、情緒状態および行動に関する症状および徴候	1	1.6%	女			
				男	1	76.0	55.0
	全身症状および徴候	37	60.7%	男	24	7.3	3.5
				女	13	6.1	5.1
<b>XIX 損傷、中毒およびその他の外因の影響</b>							
	頭部損傷	177	15.8%	男	127	57.3	14.5
				女	50	67.0	13.7
	頸部損傷	67	6.0%	男	45	62.6	18.1
				女	22	70.0	22.7
	胸部<郭>損傷	73	6.5%	男	40	65.3	16.2
				女	33	65.5	13.1
	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	99	8.9%	男	59	54.8	20.7
				女	40	72.8	20.4
	肩および上腕の損傷	54	4.8%	男	31	40.6	9.3
				女	23	57.7	14.1
	肘および前腕の損傷	52	4.7%	男	27	42.4	8.0
				女	25	64.1	11.5
	手首および手の損傷	34	3.0%	男	28	45.6	14.7
				女	6	35.5	5.8
	股関節部および大腿の損傷	148	13.2%	男	43	66.8	21.6
				女	105	80.1	20.3
	膝および下腿の損傷	101	9.0%	男	70	44.0	26.3
				女	31	56.3	16.2
	足首および足の損傷	24	2.1%	男	18	38.4	23.3
				女	6	68.8	21.7
	多部位の損傷	19	1.7%	男	9	43.1	21.0
				女	10	72.5	26.9
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	18	1.6%	男	8	58.8	5.5
				女	10	50.8	13.0
	自然開口部からの異物侵入の作用	11	1.0%	男	6	66.8	2.5
				女	5	74.6	8.0
	熱傷および腐食	24	2.1%	男	15	46.5	26.7
				女	9	62.6	56.4
	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	21	1.9%	男	15	50.3	2.5
				女	6	50.8	2.2
	薬用を主としない物質の毒作用	15	1.3%	男	9	45.8	4.1
				女	6	65.0	4.8
	外因のその他および詳細不明の作用	46	4.1%	男	29	46.1	4.1
				女	17	59.8	4.2
	外傷の早期合併症	12	1.1%	男	7	68.1	29.0
				女	5	78.2	16.6
	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	120	10.7%	男	70	64.9	16.3
				女	50	68.7	20.0
	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	2	0.2%	男	1	19.0	10.0
				女	1	7.0	1.0
<b>XXI 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用</b>							
	特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	19	76.0%	男	10	48.0	6.0
				女	9	62.9	14.0
	家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	6	24.0%	男	5	66.0	12.8
				女	1	67.0	13.0
<b>合計</b>		13,482	100.0%	男	7,103	59.0	14.5
				女	6,379	54.8	13.6

## (7)-2 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成28年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
<b>I 感染症および寄生虫症</b>							
	腸管感染症	85	39.9%	男	50	26.9	5.5
				女	35	23.9	5.1
	結核	21	9.9%	男	11	73.1	20.8
				女	10	81.9	18.4
	その他の細菌性疾患	59	27.7%	男	27	62.0	14.5
				女	32	71.0	10.0
	主として性的伝播様式をとる感染症	2	0.9%	男	1	2.0	3.0
				女	1	35.0	2.0
	リケッチア症	2	0.9%	男	2	74.5	12.5
				女			
	中枢神経系のウイルス感染症	2	0.9%	男			
				女	2	53.5	13.0
	皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	13	6.1%	男	9	45.7	8.0
				女	4	64.8	6.5
	ウイルス肝炎	5	2.3%	男	2	59.0	4.5
				女	3	63.3	7.3
	その他のウイルス疾患	15	7.0%	男	5	33.4	6.6
				女	10	14.5	8.0
	真菌症	8	3.8%	男	7	67.9	20.4
				女	1	65.0	2.0
	原虫疾患	1	0.5%	男			
				女	1	86.0	20.0
<b>II 新生物</b>							
	口唇、口腔および咽頭(悪性新生物)	63	1.7%	男	43	66.8	24.1
				女	20	69.4	20.3
	消化器(悪性新生物)	1,175	30.8%	男	820	69.4	14.8
				女	355	71.6	14.4
	呼吸器および胸腔内臓器(悪性新生物)	586	15.4%	男	390	69.5	9.5
				女	196	68.5	7.9
	骨および関節軟骨(悪性新生物)	13	0.3%	男	5	72.0	7.4
				女	8	26.0	23.6
	皮膚(悪性新生物)	15	0.4%	男	11	75.7	18.1
				女	4	78.8	13.5
	中皮および軟部組織(悪性新生物)	27	0.7%	男	10	47.7	16.7
				女	17	63.4	17.6
	乳房(悪性新生物)	172	4.5%	男			
				女	172	59.9	9.9
	女性性器(悪性新生物)	226	5.9%	男			
				女	226	60.2	10.1
	男性性器(悪性新生物)	127	3.3%	男	127	72.2	4.1
				女			
	尿路(悪性新生物)	129	3.4%	男	96	72.4	12.2
				女	33	75.4	10.2
	眼、脳および中枢神経系のその他の部位(悪性新生物)	32	0.8%	男	28	25.3	18.8
				女	4	32.8	87.0
	甲状腺およびその他の内分泌腺(悪性新生物)	39	1.0%	男	14	61.3	8.4
				女	25	59.4	8.4
	部位不明確、続発部位および部位不明(悪性新生物)	181	4.7%	男	99	70.8	13.5
				女	82	64.9	14.4
	リンパ組織、造血組織および関連組織(悪性新生物)	557	14.6%	男	328	63.0	29.1
				女	229	64.6	31.7
	上皮内新生物	27	0.7%	男	11	73.8	9.0
				女	16	47.8	4.9
	良性新生物	304	8.0%	男	72	55.3	7.6
				女	232	49.9	6.8
	性状不詳または不明の新生物	142	3.7%	男	53	65.6	15.9
				女	89	66.6	16.8
<b>III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害</b>							
	栄養性貧血	9	9.5%	男	4	80.5	5.5
				女	5	51.4	9.6
	溶血性貧血	1	1.1%	男	1	84.0	15.0
				女			

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	無形成性貧血およびその他の貧血	18	18.9%	男	6	55.7	51.7
				女	12	39.8	38.5
	凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	41	43.2%	男	18	49.4	29.2
				女	23	39.3	15.5
	血液および造血器のその他の疾患	16	16.8%	男	4	42.8	17.3
				女	12	37.3	15.4
免疫機構の障害	10	10.5%	男	4	63.8	2.0	
			女	6	66.2	13.7	

#### IV 内分泌、栄養および代謝疾患

甲状腺障害	48	23.8%	男	17	54.2	5.0
			女	31	52.5	6.1
糖尿病	53	26.2%	男	29	63.9	14.0
			女	24	56.1	13.1
その他のグルコース調節および隣内分泌障害	7	3.5%	男	5	49.6	2.0
			女	2	81.0	7.0
その他の内分泌腺障害	24	11.9%	男	8	51.5	7.4
			女	16	54.4	6.7
栄養失調(症)	3	1.5%	男	1	0.0	6.0
			女	2	79.0	19.0
その他の栄養欠乏症	5	2.5%	男	1	49.0	9.0
			女	4	22.3	50.5
代謝障害	62	30.7%	男	29	67.6	6.7
			女	33	67.5	9.9

#### V 精神および行動の障害

精神作用物質使用による精神および行動の障害	1	3.4%	男	1	49.0	2.0
			女			
精神分裂病、分裂病型障害および妄想性障害	1	3.4%	男	1	51.0	22.0
			女			
気分[感情]障害	3	10.3%	男	3	54.3	6.0
			女			
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	19	65.5%	男	5	31.4	52.2
			女	14	31.5	33.1
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	2	6.9%	男			
			女	2	14.0	47.0
小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	3	10.3%	男	3	11.7	119.3
			女			

#### VI 神経系の疾患

中枢神経系の炎症性疾患	24	11.2%	男	14	23.5	11.1
			女	10	39.9	16.2
主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	17	7.9%	男	15	69.1	7.2
			女	2	76.0	14.5
錐体外路障害および異常行動	6	2.8%	男	5	72.4	5.8
			女	1	11.0	4.0
挿間性および発作性障害	108	50.5%	男	48	33.8	10.5
			女	60	49.3	9.2
神経、神経根および神経叢の障害	23	10.7%	男	17	63.6	11.4
			女	6	62.5	7.5
多発(性)ニューロパチ<シ>-およびその他の末梢神経系の障害	5	2.3%	男	5	45.8	9.0
			女			
神経筋接合部および筋の疾患	3	1.4%	男	2	61.0	13.5
			女	1	65.0	1.0
脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	2	0.9%	男	1	19.0	5.0
			女	1	52.0	7.0
神経系のその他の障害	26	12.1%	男	17	50.5	16.5
			女	9	51.4	22.3

#### VII 眼および付属器の疾患

眼瞼、涙器および眼窩の障害	9	4.1%	男	6	30.2	4.8
			女	3	55.3	5.3
強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害	2	0.9%	男	1	84.0	7.0
			女	1	58.0	16.0
水晶体の障害	114	52.3%	男	57	71.5	4.6
			女	57	73.8	6.4
脈絡膜および網膜の障害	33	15.1%	男	17	61.1	15.5
			女	16	62.5	14.1
緑内障	5	2.3%	男	2	77.0	15.5
			女	3	70.7	4.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	硝子体および眼球の障害	6	2.8%	男	4	58.3	13.8
				女	2	45.5	12.0
	視神経および視(覚)路の障害	4	1.8%	男	4	65.0	10.3
				女			
	眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害	43	19.7%	男	21	14.8	3.0
				女	22	25.3	3.0
眼および付属器のその他の障害	2	0.9%	男	1	51.0	39.0	
			女	1	66.0	26.0	

### VIII 耳および乳様突起の疾患

中耳および乳様突起の疾患	32	36.8%	男	21	28.1	5.2
			女	11	38.7	5.3
内耳疾患	45	51.7%	男	11	66.2	5.3
			女	34	70.6	5.9
耳のその他の障害	10	11.5%	男	2	76.5	13.0
			女	8	54.6	10.3

### IX 循環器系の疾患

急性リウマチ熱	1	0.0%	男	1	78.0	12.0
			女			
慢性リウマチ性心疾患	23	0.9%	男	14	76.7	24.7
			女	9	76.3	37.0
高血圧性疾患	31	1.2%	男	10	72.8	8.0
			女	21	80.7	13.5
虚血性心疾患	1000	38.3%	男	742	70.3	5.1
			女	258	75.2	6.2
肺性心疾患および肺循環疾患	14	0.5%	男	7	58.3	11.4
			女	7	64.9	9.3
その他の型の心疾患	646	24.7%	男	338	71.7	13.1
			女	308	79.1	14.4
脳血管疾患	548	21.0%	男	329	70.8	23.1
			女	219	76.3	18.0
動脈、細動脈および毛細血管の疾患	306	11.7%	男	205	73.6	18.3
			女	101	77.9	16.2
静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	38	1.5%	男	20	47.4	12.5
			女	18	67.2	11.0
循環器系のその他および詳細不明の障害	5	0.2%	男	3	73.7	5.0
			女	2	44.0	2.0

### X 呼吸器系の疾患

急性上気道感染症	46	5.3%	男	23	13.6	4.3
			女	23	21.2	4.4
インフルエンザおよび肺炎	241	27.9%	男	137	52.1	10.3
			女	104	50.1	11.0
その他の急性下気道感染症	143	16.6%	男	78	3.6	4.7
			女	65	5.3	5.2
上気道のその他の疾患	136	15.8%	男	87	40.1	9.8
			女	49	45.4	8.2
慢性下気道疾患	57	6.6%	男	23	28.7	10.4
			女	34	41.4	8.3
外的因子による肺疾患	114	13.2%	男	75	76.3	24.4
			女	39	72.8	18.1
主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	44	5.1%	男	29	73.1	13.9
			女	15	67.9	21.6
下気道の化膿性および壊死性病態	12	1.4%	男	10	63.0	13.5
			女	2	79.0	38.5
胸膜のその他の疾患	46	5.3%	男	36	61.4	11.8
			女	10	56.8	10.5
呼吸器系のその他の疾患	24	2.8%	男	12	55.8	14.8
			女	12	55.4	8.5

### X I 消化器系の疾患

口腔、唾液腺および顎の疾患	96	9.0%	男	40	52.0	7.4
			女	56	45.8	8.4
食道、胃および十二指腸の疾患	81	7.6%	男	55	61.9	9.7
			女	26	64.0	9.3
虫垂の疾患	54	5.1%	男	30	41.9	6.6
			女	24	39.0	6.5
ヘルニア	156	14.6%	男	96	36.9	4.9
			女	60	22.9	5.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	19	1.8%	男	10	40.6	16.8
				女	9	34.0	17.2
	腸その他の疾患	187	17.5%	男	98	67.6	12.0
				女	89	64.3	9.5
	腹膜の疾患	16	1.5%	男	11	68.0	30.9
				女	5	72.2	15.4
	肝疾患	44	4.1%	男	28	64.6	17.2
				女	16	62.4	9.1
	胆嚢、胆管および膵の障害	347	32.5%	男	194	67.1	8.5
				女	153	69.7	8.2
	消化器系その他の疾患	68	6.4%	男	44	62.0	7.3
				女	24	72.0	11.8

## X II 皮膚および皮下組織の疾患

皮膚および皮下組織の感染症	53	40.5%	男	32	45.0	12.6
			女	21	50.3	13.0
水疱症	2	1.5%	男	1	72.0	71.0
			女	1	86.0	38.0
皮膚炎および湿疹	8	6.1%	男	3	52.7	6.7
			女	5	59.8	9.4
丘疹落屑<鱗屑>性障害	2	1.5%	男			
			女	2	60.5	11.5
蕁麻疹および紅斑	11	8.4%	男	6	45.2	6.5
			女	5	12.8	2.8
皮膚および皮下組織放射線(非電離および電離)に関する障害	3	2.3%	男	1	88.0	19.0
			女	2	68.5	11.5
皮膚付属器の障害	7	5.3%	男	2	38.5	7.0
			女	5	39.6	5.6
皮膚および皮下組織のその他の障害	45	34.4%	男	26	36.7	54.2
			女	19	33.8	12.9

## X III 筋骨格系および結合組織の疾患

感染性関節障害	9	1.2%	男	5	61.4	12.4
			女	4	48.0	17.5
炎症性多発性関節障害	4	0.5%	男	4	78.5	15.8
			女			
関節症	42	5.8%	男	10	62.4	17.3
			女	32	73.3	18.5
その他の関節障害	5	0.7%	男	1	20.0	4.0
			女	4	42.0	5.5
全身性結合組織障害	58	7.9%	男	36	27.6	16.0
			女	22	34.3	22.7
変形性脊柱障害	89	12.2%	男	37	65.5	9.7
			女	52	69.8	11.9
脊椎障害	360	49.3%	男	241	66.5	11.6
			女	119	71.0	9.8
その他の脊柱障害	92	12.6%	男	60	45.0	7.8
			女	32	45.8	7.4
筋障害	9	1.2%	男	7	60.1	11.4
			女	2	78.5	20.0
滑膜および腱の障害	4	0.5%	男			
			女	4	62.3	2.8
その他の軟部組織障害	9	1.2%	男	6	49.3	10.0
			女	3	53.7	10.3
骨の密度および構造の障害	22	3.0%	男	6	59.5	8.2
			女	16	54.9	16.6
その他の骨障害	22	3.0%	男	13	57.8	27.8
			女	9	55.6	30.8
軟骨障害	3	0.4%	男	1	15.0	5.0
			女	2	52.0	4.5
筋骨格系および結合組織のその他の障害	2	0.3%	男			
			女	2	77.0	16.5

## X IV 腎尿路生殖器系の疾患

糸球体疾患	64	10.2%	男	26	49.7	32.7
			女	38	42.0	11.1
腎尿細管間質性疾患	141	22.4%	男	66	65.7	6.3
			女	75	62.9	7.9

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	腎不全	142	22.6%	男	85	63.2	20.3
				女	57	67.2	27.4
	尿路結石	24	3.8%	男	16	69.7	4.0
				女	8	65.9	5.3
	腎および尿管のその他の障害	11	1.7%	男	7	54.9	11.0
				女	4	49.5	9.0
	尿路系のその他の疾患	55	8.7%	男	30	64.2	12.3
				女	25	60.0	9.5
	男性性器の疾患	56	8.9%	男	56	36.3	4.7
				女			
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	11	1.7%	男			
				女	11	48.6	7.5
	女性性器の非炎症性障害	124	19.7%	男			
				女	124	42.6	5.0
腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.2%	男				
			女	1	82.0	6.0	

### X V 妊娠、分娩および産褥

流産に終わった妊娠	35	3.2%	男				
			女	35	33.6	4.2	
妊娠、分娩および産褥における浮腫、蛋白尿および高血圧性障害	35	3.2%	男				
			女	35	33.9	14.4	
主として妊娠に関連するその他の母体障害	58	5.4%	男				
			女	58	33.1	12.6	
胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	430	39.9%	男				
			女	430	32.5	13.9	
分娩の合併症	108	10.0%	男				
			女	108	33.7	7.6	
分娩	403	37.4%	男				
			女	403	32.2	5.9	
主として産褥に関連する合併症	7	0.6%	男				
			女	7	34.7	10.7	
その他の産科的病態、他に分類されないもの	2	0.2%	男				
			女	2	33.0	6.0	

### X VI 周産期に発生した病態

妊娠期間および胎児発育に関連する障害	94	29.1%	男	43	0.0	46.5
			女	51	0.0	39.3
出産外傷	2	0.6%	男			
			女	2	0.0	16.0
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	96	29.7%	男	55	0.0	12.0
			女	41	0.0	8.0
周産期に特異的な感染症	5	1.5%	男	2	0.0	26.5
			女	3	0.0	2.7
胎児および新生児の出血性障害および血液障害	81	25.1%	男	48	0.0	4.3
			女	33	0.0	4.3
胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	27	8.4%	男	11	0.0	4.2
			女	16	0.0	4.1
胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	5	1.5%	男	1	0.0	2.0
			女	4	0.0	3.8
周産期に発生したその他の障害	13	4.0%	男	9	0.0	6.8
			女	4	0.0	7.8

### X VII 先天奇形、変形および染色体異常

神経系の先天奇形	10	7.5%	男	5	5.8	8.8
			女	5	8.2	13.6
眼、耳、顔面および頸部の先天奇形	13	9.8%	男	6	10.5	7.3
			女	7	6.0	4.0
循環器系の先天奇形	30	22.6%	男	17	24.2	8.4
			女	13	27.7	27.9
唇裂および口蓋裂	6	4.5%	男	5	2.2	9.8
			女	1	0.0	24.0
消化器系のその他の先天奇形	17	12.8%	男	7	5.7	12.4
			女	10	38.8	8.8
生殖器の先天奇形	22	16.5%	男	20	2.5	4.2
			女	2	47.5	5.5
腎尿路系の先天奇形	3	2.3%	男			
			女	3	6.7	10.0
筋骨格系の先天奇形および変形	17	12.8%	男	14	2.4	7.4
			女	3	0.0	35.3

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	その他の先天奇形	6	4.5%	男	4	4.3	25.8
				女	2	8.0	3.0
	染色体異常、他に分類されないもの	9	6.8%	男	5	1.0	13.4
				女	4	1.5	14.0
<b>XVIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの</b>							
	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	7	8.0%	男	5	58.8	22.8
				女	2	62.0	11.5
	消化器系および腹部に関する症状および徴候	6	6.8%	男	2	11.0	3.5
				女	4	40.8	2.8
	皮膚および皮下組織に関する症状および徴候	2	2.3%	男			
				女	2	70.5	4.0
	神経系および筋骨格系に関する症状および徴候	1	1.1%	男	1	19.0	4.0
				女			
	認識、知覚、情緒状態および行動に関する症状および徴候	5	5.7%	男	3	75.3	7.3
				女	2	77.0	3.0
	全身症状および徴候	67	76.1%	男	31	19.4	4.1
				女	36	33.3	6.1
<b>XIX 損傷、中毒およびその他の外因の影響</b>							
	頭部損傷	216	17.9%	男	144	56.6	11.3
				女	72	66.7	10.1
	頸部損傷	90	7.5%	男	58	64.4	15.5
				女	32	70.0	16.8
	胸部<郭>損傷	83	6.9%	男	53	66.3	17.2
				女	30	70.3	11.6
	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	123	10.2%	男	68	58.7	16.7
				女	55	70.0	16.7
	肩および上腕の損傷	62	5.1%	男	38	42.2	10.0
				女	24	50.1	8.2
	肘および前腕の損傷	43	3.6%	男	23	47.1	6.6
				女	20	65.9	7.9
	手首および手の損傷	21	1.7%	男	21	36.5	7.5
				女			
	股関節部および大腿の損傷	130	10.8%	男	37	66.6	20.8
				女	93	81.7	17.6
	膝および下腿の損傷	91	7.5%	男	52	45.6	20.1
				女	39	59.4	14.3
	足首および足の損傷	22	1.8%	男	16	44.6	11.3
				女	6	50.2	7.0
	多部位の損傷	14	1.2%	男	7	54.3	23.4
				女	7	49.1	11.0
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	16	1.3%	男	10	47.0	5.2
				女	6	35.3	5.5
	自然開口部からの異物侵入の作用	12	1.0%	男	7	46.3	3.3
				女	5	60.2	6.4
	熱傷および腐食	21	1.7%	男	17	53.2	27.2
				女	4	57.8	18.3
	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	21	1.7%	男	2	55.0	17.5
				女	19	46.4	3.5
	薬用を主としない物質の毒作用	21	1.7%	男	12	62.1	2.6
				女	9	55.9	6.8
	外因のその他および詳細不明の作用	60	5.0%	男	35	55.6	5.9
				女	25	56.0	7.2
	外傷の早期合併症	4	0.3%	男	3	68.0	8.0
				女	1	90.0	25.0
	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	156	12.9%	男	93	65.7	15.0
				女	63	68.8	10.0
	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	2	0.2%	男	1	84.0	36.0
				女	1	17.0	4.0
<b>XXI 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用</b>							
	特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	26	92.9%	男	12	49.5	8.8
				女	14	51.9	9.9
	家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	2	7.1%	男	1	50.0	6.0
				女	1	16.0	5.0
	<b>合計</b>	13,764	100.0%	男	7,205	60.1	13.1
				女	6,559	55.4	12.0

(7)-3 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成29年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
<b>I 感染症および寄生虫症</b>							
	腸管感染症	108	46.8%	男	65	15.5	4.6
				女	43	21.7	5.2
	結核	15	6.5%	男	11	71.3	58.7
				女	4	63.0	10.0
	その他の細菌性疾患	57	24.7%	男	27	64.2	15.2
				女	30	69.2	20.4
	主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.4%	男			
				女	1	49.0	3.0
	リケッチア症	1	0.4%	男			
				女	1	69.0	15.0
	中枢神経系のウイルス感染症	2	0.9%	男	1	45.0	3.0
				女	1	1.0	2.0
	節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱	2	0.9%	男	1	65.0	4.0
				女	1	79.0	15.0
	皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	22	9.5%	男	16	23.6	4.6
				女	6	25.0	9.0
	その他のウイルス疾患	12	5.2%	男	3	35.0	12.7
				女	9	25.3	16.1
	真菌症	7	3.0%	男	3	65.0	15.7
				女	4	69.3	9.8
	原虫疾患	2	0.9%	男	2	63.5	18.5
				女			
	蠕虫症	2	0.9%	男			
				女	2	56.5	6.0
<b>II 新生物</b>							
	口唇、口腔および咽頭(悪性新生物)	102	2.7%	男	77	69.3	24.8
				女	25	72.1	19.8
	消化器(悪性新生物)	1,126	29.3%	男	762	69.0	15.8
				女	364	70.5	14.7
	呼吸器および胸腔内臓器(悪性新生物)	534	13.9%	男	365	68.8	10.7
				女	169	67.8	10.4
	骨および関節軟骨(悪性新生物)	7	0.2%	男	7	32.7	10.6
				女			
	皮膚(悪性新生物)	22	0.6%	男	13	71.2	25.1
				女	9	73.6	24.8
	中皮および軟部組織(悪性新生物)	50	1.3%	男	29	55.5	20.0
				女	21	56.8	11.1
	乳房(悪性新生物)	179	4.7%	男			
				女	179	60.7	7.6
	女性生殖器(悪性新生物)	186	4.8%	男			
				女	186	55.9	9.7
	男性生殖器(悪性新生物)	143	3.7%	男	143	73.3	4.3
				女			
	尿路(悪性新生物)	126	3.3%	男	99	71.7	11.2
				女	27	73.3	10.7
	眼、脳および中枢神経系のその他の部位(悪性新生物)	22	0.6%	男	19	25.7	13.3
				女	3	71.3	24.7
	甲状腺およびその他の内分泌腺(悪性新生物)	36	0.9%	男	12	58.0	8.9
				女	24	61.5	7.2
	部位不明確、続発部位および部位不明(悪性新生物)	190	4.9%	男	110	70.4	12.8
				女	80	67.6	15.5
	リンパ組織、造血組織および関連組織(悪性新生物)	568	14.8%	男	303	64.1	32.7
				女	265	62.4	28.1
	上皮内新生物	28	0.7%	男	12	69.3	8.0
				女	16	49.1	4.9
	良性新生物	341	8.9%	男	96	63.8	8.8
				女	245	47.6	7.3
	性状不詳または不明の新生物	187	4.9%	男	92	68.8	16.1
				女	95	61.6	15.6
<b>III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害</b>							
	栄養性貧血	4	3.3%	男	3	61.0	10.3
				女	1	77.0	5.0
	溶血性貧血	10	8.2%	男	8	73.9	98.9
				女	2	32.5	3.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	無形成性貧血およびその他の貧血	20	16.4%	男	10	62.2	79.9
				女	10	57.9	39.8
	凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	66	54.1%	男	28	41.6	12.7
				女	38	33.9	21.2
	血液および造血器のその他の疾患	11	9.0%	男	5	54.0	12.2
				女	6	52.2	10.7
	免疫機構の障害	11	9.0%	男	7	43.1	25.1
				女	4	67.0	2.8
<b>IV 内分泌、栄養および代謝疾患</b>							
甲状腺障害	54	23.8%	男	8	48.3	5.6	
			女	46	48.9	6.4	
糖尿病	41	18.1%	男	26	63.8	12.1	
			女	15	69.5	11.9	
その他のグルコース調節および隣内分泌障害	9	4.0%	男	3	73.7	9.0	
			女	6	22.2	3.7	
その他の内分泌腺障害	30	13.2%	男	10	45.4	5.8	
			女	20	59.9	5.6	
栄養失調(症)	1	0.4%	男	1	70.0	19.0	
			女				
その他の栄養欠乏症	3	1.3%	男	1	65.0	36.0	
			女	2	1.0	46.0	
代謝障害	89	39.2%	男	39	66.4	7.3	
			女	50	69.0	7.8	
<b>V 精神および行動の障害</b>							
症状性を含む器質性精神障害	1	2.4%	男				
			女	1	74.0	24.0	
精神作用物質使用による精神および行動の障害	4	9.5%	男	4	52.0	2.5	
			女				
精神分裂病、分裂病型障害および妄想性障害	2	4.8%	男				
			女	2	28.0	357.5	
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	19	45.2%	男	5	31.6	31.8	
			女	14	17.0	41.2	
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	4	9.5%	男				
			女	4	13.5	39.0	
心理的発達障害	4	9.5%	男				
			女	4	13.5	39.0	
小児<児童>期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	8	19.0%	男	7	13.7	33.4	
			女	1	10.0	13.0	
<b>VI 神経系の疾患</b>							
中枢神経系の炎症性疾患	13	5.3%	男	8	27.6	7.9	
			女	5	41.0	34.0	
主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	20	8.1%	男	16	52.4	8.1	
			女	4	39.0	14.3	
錐体外路障害および異常行動	1	0.4%	男				
			女	1	65.0	2.0	
挿間性および発作性障害	147	59.8%	男	95	31.3	8.1	
			女	52	44.0	7.8	
神経、神経根および神経叢の障害	25	10.2%	男	10	58.3	9.3	
			女	15	53.1	8.3	
多発(性)ニューロパチ<シ>-およびその他の末梢神経系の障害	2	0.8%	男	1	75.0	10.0	
			女	1	45.0	30.0	
神経筋接合部および筋の疾患	3	1.2%	男	2	63.5	19.0	
			女	1	47.0	2.0	
脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	6	2.4%	男	4	29.3	9.3	
			女	2	37.5	6.5	
神経系のその他の障害	29	11.8%	男	18	46.4	14.3	
			女	11	35.0	9.6	
<b>VII 眼および付属器の疾患</b>							
眼瞼、涙器および眼窩の障害	13	9.6%	男	9	47.7	5.7	
			女	4	22.3	3.3	
水晶体の障害	86	63.7%	男	39	75.6	6.4	
			女	47	74.4	6.8	
脈絡膜および網膜の障害	23	17.0%	男	12	72.0	15.5	
			女	11	67.4	12.5	
緑内障	2	1.5%	男				
			女	2	69.0	7.5	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)	
	硝子体および眼球的障害	7	5.2%	男	4	56.3	13.5	
				女	3	49.7	9.0	
	視神経および視(覚)路の障害	2	1.5%	男	1	23.0	14.0	
				女	1	82.0	6.0	
	眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害	2	1.5%	男	1	18.0	3.0	
				女	1	77.0	35.0	
<b>VIII 耳および乳様突起の疾患</b>								
	外耳疾患	2	1.9%	男	1	54.0	5.0	
				女	1	82.0	14.0	
	中耳および乳様突起の疾患	34	32.7%	男	21	30.6	5.2	
				女	13	30.3	6.0	
	内耳疾患	59	56.7%	男	21	63.5	6.7	
				女	38	62.2	8.1	
耳のその他の障害	9	8.7%	男	6	55.5	11.2		
			女	3	69.0	9.7		
<b>IX 循環器系の疾患</b>								
	慢性リウマチ性心疾患	43	1.7%	男	15	69.6	55.5	
				女	28	74.4	20.4	
	高血圧性疾患	34	1.3%	男	19	74.1	13.7	
				女	15	84.3	13.0	
	虚血性心疾患	994	38.6%	男	736	70.3	5.0	
				女	258	75.8	6.3	
	肺性心疾患および肺循環疾患	16	0.6%	男	4	59.8	21.3	
				女	12	67.6	12.5	
	その他の型の心疾患	656	25.5%	男	348	72.6	12.9	
				女	308	78.3	12.4	
	脳血管疾患	483	18.8%	男	274	69.9	17.4	
				女	209	76.0	16.7	
	動脈、細動脈および毛細血管の疾患	309	12.0%	男	205	73.3	15.9	
				女	104	75.5	18.1	
	静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	33	1.3%	男	12	64.8	11.3	
				女	21	75.0	6.6	
	循環器系のその他および詳細不明の障害	5	0.2%	男	4	74.3	9.0	
				女	1	28.0	6.0	
	<b>X 呼吸器系の疾患</b>							
		急性上気道感染症	65	7.1%	男	40	8.0	3.7
女					25	6.7	4.5	
インフルエンザおよび肺炎		217	23.8%	男	121	59.5	11.5	
				女	96	60.9	12.7	
その他の急性下気道感染症		188	20.6%	男	103	2.5	4.9	
				女	85	6.5	4.7	
上気道のその他の疾患		141	15.5%	男	78	37.8	8.1	
				女	63	39.7	8.6	
慢性下気道疾患		79	8.7%	男	49	32.9	6.8	
				女	30	46.4	8.5	
外的因子による肺疾患		93	10.2%	男	60	74.2	16.5	
				女	33	78.4	13.5	
主として間質を障害するその他の呼吸器疾患		55	6.0%	男	45	71.5	16.4	
				女	10	74.5	8.4	
下気道の化膿性および壊死性病態		13	1.4%	男	13	71.8	24.7	
				女				
胸膜のその他の疾患		40	4.4%	男	32	60.9	11.8	
				女	8	70.9	13.1	
呼吸器系のその他の疾患		20	2.2%	男	15	65.9	9.3	
				女	5	51.6	8.2	
<b>X I 消化器系の疾患</b>								
	口腔、唾液腺および顎の疾患	96	8.2%	男	37	46.8	6.6	
				女	59	54.7	6.5	
	食道、胃および十二指腸の疾患	102	8.7%	男	68	62.5	8.6	
				女	34	67.5	9.6	
	虫垂の疾患	55	4.7%	男	33	45.9	6.4	
				女	22	37.0	5.8	
	ヘルニア	161	13.8%	男	98	35.7	3.8	
				女	63	30.2	4.5	
	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	25	2.1%	男	19	26.1	12.9	
				女	6	46.3	31.0	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	腸その他の疾患	190	16.3%	男	91	67.5	13.4
				女	99	69.2	10.6
	腹膜の疾患	17	1.5%	男	7	72.9	33.1
				女	10	71.2	27.7
	肝疾患	44	3.8%	男	25	60.0	11.2
				女	19	64.3	9.5
	胆嚢、胆管および膵の障害	382	32.8%	男	212	68.7	8.9
				女	170	71.4	6.9
	消化器系その他の疾患	94	8.1%	男	66	67.2	8.6
				女	28	70.2	12.9
<b>X II 皮膚および皮下組織の疾患</b>							
	皮膚および皮下組織の感染症	60	54.5%	男	35	45.2	12.0
				女	25	49.8	16.6
	水疱症	4	3.6%	男	1	70.0	67.0
				女	3	71.7	31.0
	皮膚炎および湿疹	2	1.8%	男	2	14.0	7.0
				女			
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	2	1.8%	男			
				女	2	49.5	12.5
	蕁麻疹および紅斑	3	2.7%	男	2	27.5	8.0
				女	1	1.0	3.0
	皮膚および皮下組織放射線(非電離および電離)に関する障害	1	0.9%	男	1	78.0	11.0
				女			
	皮膚付属器の障害	6	5.5%	男	2	33.0	3.5
				女	4	30.8	5.3
	皮膚および皮下組織のその他の障害	32	29.1%	男	20	47.4	27.5
				女	12	52.9	22.3
<b>X III 筋骨格系および結合組織の疾患</b>							
	感染性関節障害	7	0.9%	男	3	43.7	8.0
				女	4	68.8	88.5
	炎症性多発性関節障害	9	1.2%	男	4	62.8	8.5
				女	5	79.2	12.6
	関節症	56	7.5%	男	21	69.4	18.4
				女	35	72.9	18.6
	その他の関節障害	6	0.8%	男	3	38.3	6.0
				女	3	56.3	9.0
	全身性結合組織障害	56	7.5%	男	25	20.5	19.7
				女	31	19.9	17.3
	変形性脊柱障害	106	14.2%	男	40	66.6	8.6
				女	66	65.3	8.7
	脊椎障害	359	48.0%	男	258	68.7	11.1
				女	101	71.8	12.2
	その他の脊柱障害	87	11.6%	男	60	53.3	7.1
				女	27	46.5	8.7
	筋障害	6	0.8%	男	4	79.8	6.5
				女	2	66.0	11.5
	滑膜および腱の障害	4	0.5%	男	1	62.0	5.0
				女	3	55.3	11.3
	その他の軟部組織障害	7	0.9%	男	5	36.8	9.4
				女	2	66.5	14.5
	骨の密度および構造の障害	20	2.7%	男	8	72.6	13.5
				女	12	73.3	12.5
	その他の骨障害	15	2.0%	男	6	71.7	38.3
				女	9	72.1	14.7
	筋骨格系および結合組織のその他の障害	10	1.3%	男	3	76.3	34.0
				女	7	83.9	21.4
<b>X IV 腎尿路生殖器系の疾患</b>							
	糸球体疾患	74	10.7%	男	28	49.4	49.6
				女	46	38.7	12.5
	腎尿細管間質性疾患	166	24.1%	男	68	56.1	6.2
				女	98	64.1	7.4
	腎不全	110	15.9%	男	73	63.7	21.6
				女	37	65.8	17.1
	尿路結石	37	5.4%	男	19	67.3	6.2
				女	18	60.2	5.4
	腎および尿管のその他の障害	6	0.9%	男	3	77.0	14.7
				女	3	46.7	36.3

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	尿路系のその他の疾患	45	6.5%	男	20	72.3	9.3
				女	25	59.7	14.4
	男性生殖器の疾患	76	11.0%	男	76	38.9	4.8
				女			
	乳房の障害	3	0.4%	男	1	24.0	6.0
				女	2	61.5	6.5
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	19	2.8%	男			
				女	19	48.6	12.4
女性生殖器の非炎症性障害	153	22.2%	男				
			女	153	43.1	4.9	
腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.1%	男				
			女	1	86.0	8.0	
<b>X V 妊娠、分娩および産褥</b>							
流産に終わった妊娠	18	1.7%	男				
			女	18	29.9	3.7	
妊娠、分娩および産褥における浮腫、蛋白尿および高血圧性障害	54	5.2%	男				
			女	54	35.1	10.4	
主として妊娠に関連するその他の母体障害	48	4.6%	男				
			女	48	35.3	8.0	
胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	430	41.6%	男				
			女	430	33.5	14.8	
分娩の合併症	168	16.3%	男				
			女	168	33.6	6.9	
分娩	311	30.1%	男				
			女	311	32.1	5.8	
主として産褥に関連する合併症	2	0.2%	男				
			女	2	31.5	3.0	
その他の産科的病態、他に分類されないもの	2	0.2%	男				
			女	2	34.5	9.0	
<b>X VI 周産期に発生した病態</b>							
母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児	1	0.3%	男				
			女	1	0.0	4.0	
妊娠期間および胎児発育に関連する障害	118	34.4%	男	62	0.0	47.0	
			女	56	0.0	41.3	
周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	91	26.5%	男	54	0.0	13.4	
			女	37	0.0	15.7	
周産期に特異的な感染症	5	1.5%	男	2	0.0	41.0	
			女	3	0.0	4.0	
胎児および新生児の出血性障害および血液障害	67	19.5%	男	38	0.0	3.4	
			女	29	0.0	4.5	
胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	38	11.1%	男	16	0.0	4.9	
			女	22	0.0	3.8	
胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	9	2.6%	男	1	0.0	3.0	
			女	8	0.0	5.4	
周産期に発生したその他の障害	14	4.1%	男	8	0.0	9.6	
			女	6	0.0	4.8	
<b>X VII 先天奇形、変形および染色体異常</b>							
神経系の先天奇形	11	8.5%	男	2	6.5	12.0	
			女	9	7.6	47.2	
眼、耳、顔面および頸部の先天奇形	9	7.0%	男	4	9.0	7.8	
			女	5	24.2	5.0	
循環器系の先天奇形	35	27.1%	男	15	10.8	6.3	
			女	20	18.5	13.1	
呼吸器系の先天奇形	2	1.6%	男				
			女	2	9.5	15.5	
唇裂および口蓋裂	4	3.1%	男	1	0.0	4.0	
			女	3	0.3	4.3	
消化器系のその他の先天奇形	20	15.5%	男	7	5.4	12.0	
			女	13	20.5	40.4	
生殖器の先天奇形	23	17.8%	男	23	2.5	3.8	
			女				
腎尿路系の先天奇形	5	3.9%	男	3	17.3	4.0	
			女	2	27.0	6.0	
筋骨格系の先天奇形および変形	8	6.2%	男	5	4.4	3.0	
			女	3	3.3	24.3	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	その他の先天奇形	9	7.0%	男	4	35.8	9.5
				女	5	19.0	4.0
	染色体異常、他に分類されないもの	3	2.3%	男	3	2.0	15.0
				女			
<b>X VIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの</b>							
	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	24	23.5%	男	18	71.6	7.7
				女	6	66.2	4.0
	消化器系および腹部に関する症状および徴候	5	4.9%	男	4	31.5	6.8
				女	1	12.0	5.0
	神経系および筋骨格系に関する症状および徴候	1	1.0%	男	1	48.0	2.0
			女				
	認識、知覚、情緒状態および行動に関する症状および徴候	8	7.8%	男	5	61.4	2.2
				女	3	82.7	6.0
	全身症状および徴候	64	62.7%	男	31	14.4	3.4
				女	33	15.9	5.5
<b>X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響</b>							
	頭部損傷	199	16.8%	男	124	54.8	10.3
				女	75	66.8	12.1
	頸部損傷	89	7.5%	男	64	60.4	16.3
				女	25	70.7	15.6
	胸部＜郭＞損傷	76	6.4%	男	45	62.8	11.4
				女	31	71.3	16.4
	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	129	10.9%	男	77	56.0	15.6
				女	52	68.7	12.8
	肩および上腕の損傷	49	4.1%	男	29	54.4	9.0
				女	20	56.2	8.9
	肘および前腕の損傷	54	4.6%	男	24	39.0	8.7
				女	30	65.0	7.3
	手首および手の損傷	24	2.0%	男	20	53.0	9.6
				女	4	53.8	8.0
	股関節部および大腿の損傷	142	12.0%	男	37	65.5	18.7
				女	105	83.8	18.3
	膝および下腿の損傷	80	6.8%	男	46	45.9	15.5
				女	34	53.2	16.9
	足首および足の損傷	22	1.9%	男	15	59.1	27.1
				女	7	61.1	17.9
	多部位の損傷	27	2.3%	男	13	47.2	28.0
				女	14	65.9	28.3
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	24	2.0%	男	14	48.0	2.1
				女	10	50.4	2.4
	自然開口部からの異物侵入の作用	9	0.8%	男	5	46.8	4.8
				女	4	1.3	2.0
	熱傷および腐食	20	1.7%	男	14	60.8	45.2
				女	6	60.5	46.3
	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	23	1.9%	男	11	47.1	3.5
				女	12	48.6	4.7
	薬用を主としない物質の毒作用	16	1.4%	男	9	56.4	3.8
				女	7	61.0	5.9
	外因のその他および詳細不明の作用	43	3.6%	男	33	47.7	5.5
				女	10	54.1	8.9
	外傷の早期合併症	1	0.1%	男	1	56.0	3.0
				女			
	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	154	13.0%	男	87	61.7	14.5
				女	67	69.7	10.9
	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.1%	男			
				女	1	18.0	3.0
<b>X X 傷病および死亡の外因</b>							
	故意の自傷および自殺	1	100.0%	男	1	23.0	2.0
				女			
<b>X X I 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用</b>							
	特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	26	96.3%	男	13	50.0	7.4
				女	13	56.2	11.9
	家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1	3.7%	男			
				女	1	66.0	3.0
<b>合計</b>		13,969	100.0%	男	7,312	59.6	13.0
				女	6,657	55.2	12.2

(8) 小分類・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

平成29年度

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
A020	サルモネラ胃腸炎	無	1	35.0	21.0					1				
A021	サルモネラ敗血症	無	1	5.0	13.0		1							
A045	カンピロバクター腸炎	無	3	28.0	5.7			1		1	1			
A047	クロストリジウム・ディフィシル腸炎	無	1	88.0	27.0									1
A049	細菌性胃腸炎	無	6	11.0	7.0	1	2	2			1			
A049	細菌性腸炎	無	4	28.0	4.5			2		1		1		
A080	ロタウイルス性胃腸炎	有	1	2.0	4.0	1								
A080	ロタウイルス性腸炎	無	16	2.6	3.7	8	7	1						
A080	ロタウイルス性胃腸炎	無	1	4.0	4.0			1						
A081	ノロウイルス性胃腸炎	無	7	2.4	3.1	4	2	1						
A081	流行性嘔吐症	無	1	7.0	3.0			1						
A084	ウイルス性胃腸炎	無	12	6.9	3.5	5	3	3		1				
A084	ウイルス性胃腸炎に伴う痙攣	無	1	1.0	2.0	1								
A09	回腸炎	無	1	9.0	2.0			1						
A09	感染性胃腸炎	無	22	9.7	3.5	10	4	6			1			1
A09	感染性下痢症	無	1	0.0	4.0	1								
A09	感染性腸炎	無	10	29.1	5.5	2	1	2		2	1	1	1	1
A09	急性胃腸炎	無	5	41.4	4.0	1			2					2
A09	急性大腸炎	無	1	81.0	16.0									1
A09	急性腸炎	有	2	47.5	10.0						2			
A09	急性腸炎	無	10	47.3	5.0				1	2	5	2		
A09	急性腸炎の疑い	無	1	27.0	3.0					1				
A150	肺結核・鏡検確認あり	無	7	62.1	46.6					1	2	2	2	2
A160	肺結核(検査陰性のもの)	無	1	90.0	241.0									1
A162	肺結核の疑い	無	2	66.0	2.0						1	1	1	
A165	結核性胸膜炎	無	1	75.0	31.0							1	1	
A169	胸壁結核	無	1	85.0	17.0									1
A180	脊椎結核	無	1	61.0	59.0								1	
A182	結核性リンパ節炎	有	1	84.0	3.0									1
A188	肝結核	無	1	74.0	5.0								1	
A310	肺非結核性抗酸菌症	有	3	64.0	26.0						1	2		
A310	肺非結核性抗酸菌症	無	3	62.0	9.0						2	1		
A310	肺非結核性抗酸菌症の疑い	無	3	73.0	2.0								3	
A319	非結核性抗酸菌症	有	2	72.0	9.5								2	
A403	肺炎球菌性敗血症	無	1	5.0	18.0		1							
A410	MRSA敗血症	有	1	66.0	179.0								1	
A410	MRSA敗血症	無	1	88.0	10.0									1
A410	黄色ぶどう球菌敗血症	無	1	0.0	21.0	1								
A411	MRCNS敗血症	無	2	66.0	17.0								2	
A415	グラム陰性桿菌敗血症	有	2	67.5	42.0						1			1
A415	グラム陰性桿菌敗血症	無	8	76.0	15.0						1	4	3	
A415	セラチア敗血症	無	1	86.0	14.0									1
A418	グラム陽性菌敗血症	無	3	82.0	19.0								2	1
A418	腎盂腎炎性敗血症	有	1	64.0	17.0								1	
A419	敗血症	無	2	11.0	4.0			2						
A419	敗血症の疑い	無	1	13.0	4.0			1						
A419	敗血症性ショック	有	7	68.6	18.7					1	1	3	2	
A419	敗血症性ショック	無	8	80.1	11.6						1	2	5	
A480	下腿ガス壊疽	有	1	48.0	25.0						1			
A490	ぶどう球菌感染症	無	1	63.0	6.0								1	
A491	侵襲性肺炎球菌感染症	有	2	61.5	22.5						1	1		
A499	グラム陰性桿菌感染症	無	1	81.0	6.0									1
A499	グラム陽性桿菌感染症	無	1	89.0	19.0									1
A499	細菌感染症	無	1	80.0	2.0									1
A630	肛門尖圭コンジローマ	有	1	49.0	3.0						1			
A778a	日本紅斑熱	無	1	69.0	15.0								1	
A86	ウイルス性脳炎	無	1	45.0	3.0						1			
A86	ウイルス性脳脊髄炎の疑い	無	1	1.0	2.0	1								
A938	重症熱性血小板減少症候群	無	2	72.0	9.5								2	
B000	カポジ水痘様発疹症	無	3	10.3	4.7	1	1			1				
B002	ヘルペスウイルス性歯肉口内炎	無	1	4.0	8.0			1						
B022	ハント症候群	無	1	78.0	9.0								1	
B022	带状疱疹後三叉神経痛	無	1	69.0	12.0								1	
B029	顔面带状疱疹	無	1	65.0	7.0								1	
B029	胸部带状疱疹	無	2	48.5	6.5					1			1	
B029	躯幹带状疱疹	無	2	51.0	7.5			1						1
B029	带状疱疹	無	1	66.0	20.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
B082	突発性発疹症	無	2	2.0	2.5	2								
B084	手足口病	無	3	1.0	4.0	3								
B085	ヘルパンギーナ	無	5	1.8	2.6	3	2							
B269	ムンプス	無	1	7.0	4.0			1						
B270	EBウイルス伝染性単核症	無	4	20.5	10.3			2		2				
B271	サイトメガロウイルス性単核症	無	2	30.5	8.0					2				
B338	EBウイルス感染症	無	1	3.0	3.0		1							
B348	RSウイルス感染症	無	1	1.0	3.0	1								
B349	ウイルス感染症	無	1	21.0	1.0					1				
B349	ウイルス血症	無	1	67.0	23.0							1		
B349	ウイルス性関節炎	無	1	91.0	92.0									1
B441	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の疑い	無	1	63.0	2.0								1	
B441	肺アスペルギルス症	無	3	70.0	22.7								2	1
B441	肺アスペルギルス症の疑い	無	1	49.0	2.0						1			
B450	急性肺クリプトコッカス症	有	1	72.0	12.0								1	
B487	深在性真菌症の疑い	無	1	78.0	2.0								1	
B59	ニューモシスティス肺炎	有	1	63.0	19.0								1	
B59	ニューモシスティス肺炎	無	1	64.0	18.0								1	
B810	腸アニサキス症	無	2	56.5	6.0						1	1		
C01	舌根部癌	有	6	62.2	45.8						2	3	1	
C01	舌根部癌	無	3	69.3	10.7							3		
C021	舌縁癌	有	9	63.4	26.1						4	5		
C021	舌縁癌	無	6	60.0	9.3						5		1	
C029	舌癌	有	3	80.3	17.0							1	2	
C029	舌癌	無	9	75.7	14.7						1	6	2	
C030	上顎歯肉癌	無	1	60.0	14.0						1			
C031	下顎歯肉癌	有	1	70.0	17.0							1		
C031	下顎歯肉癌	無	4	81.8	13.8							1	3	
C039	下顎臼歯部歯肉癌	無	1	72.0	17.0							1		
C039	歯肉癌	無	2	74.5	57.5								2	
C040	前部口腔底癌	有	5	61.2	25.4						4		1	
C049	口腔底癌	無	1	78.0	22.0								1	
C050	硬口蓋癌	無	1	38.0	3.0					1				
C051	軟口蓋癌	有	1	70.0	15.0								1	
C051	軟口蓋癌	無	1	70.0	5.0								1	
C060	頬粘膜癌	無	1	82.0	14.0									1
C07	耳下腺悪性腫瘍	無	2	68.0	29.5								2	
C07	耳下腺癌	有	5	71.6	32.8								4	1
C080	顎下腺癌	有	1	72.0	14.0								1	
C102	中咽頭側壁癌	有	2	88.0	18.5									2
C103	中咽頭後壁癌	有	4	62.3	18.3						1	3		
C103	中咽頭後壁癌	無	3	62.3	7.3						1	2		
C12	梨状陥凹癌	有	18	72.2	33.9						1	12	5	
C12	梨状陥凹癌	無	6	72.2	12.8						1	3	2	
C130	輪状後部癌	有	2	76.0	36.5							1	1	
C130	輪状後部癌	無	1	86.0	3.0								1	
C131	下咽頭披裂喉頭蓋ひだ癌	有	2	73.0	38.5							2		
C140	副咽頭間隙悪性腫瘍	有	1	86.0	13.0									1
C150	頸部食道癌	有	3	58.7	24.3						2	1		
C151	胸部下部食道癌	有	9	59.0	30.8						5	4		
C151	胸部下部食道癌	無	13	60.6	8.8						9	4		
C151	胸部上部食道癌	有	5	66.0	48.4						1	4		
C151	胸部上部食道癌	無	10	50.1	11.7						8	2		
C151	胸部食道癌	有	71	67.2	22.1						17	48	6	
C151	胸部食道癌	無	78	66.1	9.8						21	54	3	
C151	胸部中部食道癌	有	8	72.9	40.5						1	3	4	
C151	胸部中部食道癌	無	13	63.0	7.5						5	7	1	
C152	腹部食道癌	有	2	62.5	18.0								2	
C152	腹部食道癌	無	1	62.0	8.0								1	
C155	下部食道癌	有	3	70.7	13.7								3	
C155	下部食道癌	無	5	70.2	7.2								5	
C159	食道悪性黒色腫	有	1	58.0	11.0						1			
C160	胃噴門部GIST(悪性)	有	1	59.0	12.0							1		
C160	食道胃接合部癌	有	11	61.5	19.0						6	5		
C160	食道胃接合部癌	無	4	59.8	8.5						3	1		
C160	噴門癌	有	11	75.5	23.9						1	8	2	
C160	噴門癌	無	1	79.0	16.0								1	
C161	胃底部癌	有	4	61.5	18.5						2	2		
C162	胃体部GIST(悪性)	有	5	77.4	30.8							3	2	
C162	胃体部カルチノイド	有	1	35.0	12.0						1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C162	胃体部癌	有	137	71.2	15.7					1	16	86	34
		無	5	62.8	9.4					1	1	2	1
C163	胃前庭部GIST(悪性)	有	1	68.0	10.0							1	
		無	1	71.0	4.0							1	
C163	胃前庭部癌	有	26	72.8	13.3							20	6
		無	1	71.0	4.0							1	
C163	幽門前庭部癌	有	15	74.8	9.5					1	8	6	6
		無	12	72.8	20.3							7	5
C164	胃幽門部癌	有	12	72.8	20.3							7	5
		無	1	73.0	19.0							1	
C164	幽門癌	無	1	58.0	2.0					1			
C165	胃小弯部癌	有	1	49.0	13.0					1			
C169	スキルス胃癌	有	3	70.0	21.0							2	1
C169	胃カルチノイド	有	3	46.3	9.0					3			
C169	胃癌	無	1	76.0	15.0							1	
C169	胃進行癌	有	1	68.0	2.0							1	
C169	残胃癌	有	1	80.0	9.0								1
C170	十二指腸GIST(悪性)	有	1	46.0	12.0					1			
C170	十二指腸カルチノイド	有	1	77.0	9.0							1	
C170	十二指腸癌	有	6	65.5	21.7						1	5	
		無	4	67.3	24.0							4	
C171	空腸GIST(悪性)	有	4	67.3	24.0							4	
		無	3	67.0	5.0							3	
C171	空腸癌	有	1	79.0	15.0							1	
C180	回盲部癌	有	4	73.0	11.8							3	1
		無	3	66.7	5.0						1	1	1
C180	盲腸癌	有	18	76.5	12.1							10	8
		無	3	66.7	5.0						1	1	1
C181	虫垂癌	有	2	64.0	14.5						1		1
C182	上行結腸癌	有	44	75.3	12.5						1	31	12
		無	2	72.0	13.0							2	
C184	横行結腸癌	有	27	68.3	16.6						10	10	7
		無	1	61.0	15.0							1	
C185	脾弯部癌	有	1	48.0	9.0						1		
C186	下行結腸癌	有	18	70.8	21.2				1	2	11	4	4
C187	S状結腸癌	有	60	69.9	15.7						8	41	11
		無	5	72.6	11.4							4	1
C187	S状結腸内分泌細胞癌	有	1	69.0	17.0							1	
C19	直腸S状部癌	有	1	63.0	13.0							1	
C19	直腸S状部結腸癌	有	28	69.5	16.7						4	19	5
		無	1	68.0	31.0							1	
C20	直腸カルチノイド	有	4	70.5	9.8							4	
C20	直腸癌	有	79	66.3	16.2					2	18	51	8
		無	10	63.5	14.9					1	2	7	
C20	直腸癌術後再発	有	8	67.4	28.5						2	5	1
		無	3	74.7	21.7							2	1
C211	痔瘻癌	有	3	62.0	16.7						1	2	
C211	肛門管癌	有	2	70.0	22.0						1		1
C220	肝癌	有	2	74.0	8.0							2	
C220	肝細胞癌	有	89	72.7	10.1						8	63	18
		無	6	81.8	11.8							2	4
C220	肝細胞癌の疑い	無	1	62.0	2.0							1	
C220	肝細胞癌破裂	有	2	79.0	9.0							2	
C220	原発性肝癌	有	1	68.0	9.0							1	
C221	肝内胆管癌	有	14	66.7	17.6					1	4	7	2
		無	4	77.3	8.8							2	2
C221	肝内胆管癌の疑い	有	1	80.0	6.0								1
C227	肝のう胞腺癌	有	1	79.0	9.0							1	
C23	胆のう癌	有	16	65.3	13.1						7	6	3
		無	4	68.3	9.3						2		2
C23	胆のう癌の疑い	無	1	92.0	2.0								1
C23	胆のう神経内分泌癌	有	1	67.0	14.0							1	
C240	下部胆管癌	有	15	77.4	25.1							7	8
		無	1	70.0	6.0							1	
C240	肝外胆管癌	有	2	82.0	13.5								2
C240	肝門部胆管癌	有	11	75.1	31.1						1	8	2
		無	2	77.0	8.0							2	
C240	術後肝門部胆管癌	有	1	75.0	17.0							1	
C240	総胆管癌	有	1	68.0	2.0							1	
		無	2	74.0	11.0							2	
C240	胆のう管癌	有	5	78.8	4.4							5	
C240	胆管癌	有	3	73.3	17.0							3	
C240	胆管癌の疑い	無	1	67.0	2.0							1	
C241	十二指腸乳頭部癌	有	9	69.9	17.4						1	8	
C250	膵頭部癌	有	68	70.3	13.9					3	10	35	20
		無	9	72.0	16.1						1	5	3

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C250	腭頭部癌の疑い	有	2	77.0	5.0							1	1
C251	腭体部癌	有	6	63.2	25.0						2	4	
C251	腭体部癌の疑い	無	8	70.9	10.4						1	5	2
C251	腭体部癌の疑い	無	1	81.0	3.0								1
C252	腭尾部癌	有	6	70.3	19.0						1	3	2
C252	腭尾部癌	無	1	75.0	9.0							1	
C253	腭管内乳頭粘液性腺癌	有	10	75.1	28.0							7	3
C258	腭体尾部癌	有	2	70.0	9.0							2	
C258	腭体尾部癌	無	2	62.5	9.5						1	1	
C259	腭癌	有	3	64.3	3.7						1	2	
C259	腭癌の疑い	無	2	60.0	5.0						1	1	
C300	鼻前庭癌	無	1	77.0	11.0							1	
C311	篩骨洞癌	有	2	86.0	7.5								2
C320	声門癌	有	4	74.3	37.0							3	1
C320	声門癌	無	1	80.0	52.0								1
C321	喉頭蓋癌	無	1	57.0	64.0					1			
C321	声門上癌	有	6	71.8	37.8							4	2
C321	声門上癌	無	1	70.0	3.0							1	
C321	披裂喉頭蓋ひだ喉頭面癌	有	1	70.0	60.0							1	
C328	喉頭下咽頭癌	有	2	80.0	14.0							1	1
C340	肺門部肺癌	無	7	72.3	11.7							7	
C341	上葉小細胞肺癌	有	1	60.0	28.0						1		
C341	上葉小細胞肺癌	無	19	67.1	7.9						4	15	
C341	上葉肺癌	有	44	67.3	14.0						10	30	4
C341	上葉肺癌	無	91	67.9	9.7						14	69	8
C341	上葉肺癌の疑い	無	50	70.4	2.1						8	33	9
C341	上葉肺腺癌	無	13	67.2	6.4						3	10	
C341	上葉肺扁平上皮癌	有	1	45.0	11.0						1		
C341	上葉肺扁平上皮癌	無	9	60.8	8.9						4	5	
C341	上葉非小細胞肺癌	有	12	69.1	18.3						1	11	
C341	上葉非小細胞肺癌	無	21	66.0	11.4						6	14	1
C341	肺上葉腺癌	無	4	68.0	4.5							4	
C341	肺上葉大細胞神経内分泌癌	無	4	71.8	7.3							4	
C342	中葉小細胞肺癌	有	1	83.0	39.0								1
C342	中葉小細胞肺癌	無	7	71.7	8.0							6	1
C342	中葉肺癌	有	11	71.6	11.6							9	2
C342	中葉肺癌	無	4	67.8	4.5						1	3	
C342	中葉肺癌の疑い	無	2	67.5	2.0							2	
C342	中葉肺腺癌	有	1	83.0	38.0								1
C342	中葉肺腺癌	無	11	67.9	9.3						2	7	2
C342	中葉非小細胞肺癌	無	1	67.0	5.0							1	
C343	下葉小細胞肺癌	有	2	66.5	18.5							2	
C343	下葉小細胞肺癌	無	9	66.9	7.4							9	
C343	下葉肺癌	有	32	66.8	14.4				1		7	18	6
C343	下葉肺癌	無	64	69.5	9.9						7	49	8
C343	下葉肺癌の疑い	無	38	72.9	2.0						4	22	12
C343	下葉肺腺癌	無	7	66.3	7.9						3	4	
C343	下葉肺扁平上皮癌	無	5	73.6	23.0							3	2
C343	下葉非小細胞肺癌	有	4	69.3	44.0						1	1	2
C343	下葉非小細胞肺癌	無	18	63.0	9.6						11	4	3
C349	原発性肺癌	有	1	66.0	22.0							1	
C349	小細胞肺癌	有	3	65.0	12.0							3	
C349	小細胞肺癌	無	3	65.0	4.0							3	
C349	肺癌の疑い	無	1	68.0	2.0							1	
C349	肺未分化癌	有	1	70.0	3.0							1	
C37	悪性胸腺腫	有	4	64.5	20.3						1	3	
C37	悪性胸腺腫	無	1	50.0	34.0						1		
C37	胸腺癌	有	1	81.0	49.0								1
C37	胸腺癌	無	2	70.5	23.0							2	
C37	浸潤性胸腺腫	有	1	44.0	12.0						1		
C37	浸潤性胸腺腫	無	1	57.0	3.0						1		
C380	心臓血管肉腫	無	1	67.0	20.0							1	
C383	悪性縦隔腫瘍	有	1	37.0	11.0					1			
C383	悪性縦隔腫瘍	無	1	57.0	2.0						1		
C400	上腕骨軟骨肉腫	有	1	55.0	24.0						1		
C402	腓骨骨肉腫	有	2	29.0	8.0						2		
C402	腓骨骨肉腫	無	4	29.0	8.5						4		
C437	足底部悪性黒色腫	有	2	69.0	21.0							2	
C437	足底部悪性黒色腫	無	3	69.3	8.0							3	
C437	足部悪性黒色腫	有	1	80.0	62.0								1
C440	下口唇基底細胞癌	有	1	82.0	19.0								1
C441	下眼瞼基底細胞癌	有	1	89.0	15.0								1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C441	眼瞼メルケル細胞癌	有	1	84.0	43.0									1
C443	顔面メルケル細胞癌	有	1	82.0	29.0									1
C443	顔面基底細胞癌	有	1	66.0	3.0								1	
C443	顔面有棘細胞癌	有	1	65.0	127.0								1	
C443	耳前部基底細胞癌	有	1	41.0	10.0						1			
C443	鼻背有棘細胞癌	有	1	65.0	8.0								1	
C445	腹部基底細胞癌	有	1	62.0	9.0								1	
C445	肛門部基底細胞癌	有	1	84.0	9.0									1
C446	手背有棘細胞癌	有	1	70.0	9.0								1	
C446	前腕有棘細胞癌	有	2	74.0	35.0								1	1
C447	下腿有棘細胞癌	有	1	82.0	13.0									1
C447	大腿有棘細胞癌	有	1	69.0	30.0								1	
C449	陰部基底細胞癌	有	1	72.0	27.0								1	
C450	悪性胸膜中皮腫	無	1	59.0	5.0						1			
C450	悪性胸膜中皮腫の疑い	無	1	77.0	2.0								1	
C451	腹膜中皮腫	有	1	69.0	8.0								1	
C459	悪性中皮腫	有	1	66.0	3.0								1	
C480	後腹膜脂肪肉腫	有	3	74.0	34.3								2	1
C490	頭部横紋筋肉腫	有	3	44.7	58.0				1			2		
		無	7	53.1	13.7			1			6			
C491	上腕悪性軟部腫瘍	有	3	61.7	15.3					1			2	
		無	4	43.8	6.8					3			1	
C491	上腕脂肪肉腫	有	1	52.0	5.0						1			
C491	前腕悪性軟部腫瘍	有	2	73.0	36.0								2	
C492	大腿悪性軟部腫瘍	有	2	61.5	22.5						1		1	
		無	1	67.0	7.0								1	
C493	胸部悪性軟部腫瘍	有	1	43.0	12.0						1			
		無	6	44.0	7.0						6			
C493	腋窩軟部悪性腫瘍	無	2	58.0	15.5						2			
C494	腹部脂肪肉腫の疑い	無	1	82.0	2.0									1
C495	骨盤部悪性軟部腫瘍	有	3	67.3	25.0						1		2	
		無	7	49.9	8.4						7			
C500	乳房パジェット病	有	2	75.0	6.0								2	
C501	乳房中央部乳癌	有	6	62.7	6.0						4			2
		無	8	55.3	5.5					1	3	4		
C502	乳房上内側部乳癌	有	12	59.5	10.6						7	4	1	
		無	8	59.4	6.4						5	3		
C503	乳房下内側部乳癌	有	9	58.4	6.0						5	2	2	
		無	2	63.0	2.5							2		
C504	乳房上外側部乳癌	有	66	59.3	8.1					9	22	31	4	
		無	34	59.2	5.6					5	11	14	4	
C505	乳房下外側部乳癌	有	16	71.3	7.3						3	10	3	
		無	9	61.0	7.7						4	4	1	
C509	進行乳癌	無	1	80.0	23.0									1
C509	乳癌	有	3	63.7	26.3						1		2	
		無	1	64.0	6.0								1	
C509	乳癌の疑い	有	1	51.0	5.0						1			
C509	乳癌再発	有	1	60.0	5.0						1			
C519	外陰部有棘細胞癌	有	1	58.0	21.0							1		
C530	子宮頸管癌	有	4	47.0	16.3							4		
		無	4	46.0	10.3							4		
C530	子宮頸内膜癌	無	1	57.0	52.0						1			
C531	子宮腔部癌	有	12	46.0	10.6					3	8		1	
		無	11	45.7	7.0					1	9			1
C539	子宮頸癌	無	1	70.0	5.0								1	
C539	子宮頸部腺癌	有	3	42.3	10.0						3			
C541	子宮内膜癌	有	15	57.7	11.7					2	6	7		
		無	4	58.3	12.8						3	1		
C541	子宮内膜癌の疑い	有	1	59.0	3.0						1			
C542	子宮肉腫	有	1	55.0	12.0						1			
		無	2	54.0	11.0							2		
C542	子宮肉腫の疑い	無	1	54.0	2.0						1			
C549	子宮体癌の疑い	有	1	40.0	3.0					1				
C56	再発粘液性のう胞腺癌	無	1	77.0	3.0								1	
C56	再発卵巣癌	有	1	48.0	38.0						1			
		無	5	60.6	10.0						3	2		
C56	卵巣癌	有	18	57.6	13.3				1		10	7		
		無	73	58.4	5.9					1	45	27		
C56	卵巣肉腫	有	1	48.0	8.0						1			
C56	卵巣漿液性腺癌	有	1	69.0	15.0								1	
		無	2	69.0	4.0									2
C56	卵巣顆粒膜細胞腫(悪性)	有	1	36.0	10.0					1				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C570	卵管癌	有	5	60.8	36.0						2	3		
		無	15	56.3	8.3						6	9		
C570	卵管癌術後再発	無	1	77.0	5.0							1		
C61	去勢抵抗性前立腺癌	有	7	72.6	23.4							4	3	
		無	5	74.8	10.0							3	2	
C61	前立腺癌	有	11	77.6	8.3							6	5	
		無	8	72.3	2.6							8		
C61	前立腺癌の疑い	有	1	67.0	4.0							1		
		無	108	74.0	2.0					11	64	33		
C629	精巣悪性腫瘍	有	2	40.5	4.5					1	1			
		無	1	32.0	56.0					1				
C64	腎癌	有	22	66.7	10.2						5	15	2	
		無	6	64.2	15.2						2	4		
C64	腎細胞癌	有	1	67.0	10.0							1		
C65	腎盂癌	有	7	73.0	12.7						1	3	3	
		無	5	67.8	13.0							5		
C65	腎盂癌の疑い	無	2	61.0	3.5						1	1		
C66	尿管癌	有	5	79.4	10.6							2	3	
		無	3	67.3	29.0						1	2		
C66	尿管癌の疑い	無	1	73.0	4.0							1		
C670	膀胱三角部膀胱癌	有	1	87.0	21.0								1	
C671	膀胱凹蓋部膀胱癌	有	2	75.0	11.5							2		
C672	膀胱側壁部膀胱癌	有	29	73.6	11.0						3	17	9	
		無	10	71.3	13.8							10		
C673	膀胱前壁部膀胱癌	有	3	75.0	7.3							2	1	
C674	膀胱後壁部膀胱癌	有	20	76.5	9.5							12	8	
		無	1	60.0	6.0						1			
C675	膀胱頸部膀胱癌	有	7	78.1	6.1						1	3	3	
C676	尿管口部膀胱癌	有	1	71.0	6.0							1		
C700	テント上下神経膠腫	無	1	12.0	11.0									
C711	前頭葉膠芽腫	有	2	42.0	36.0								1	
		無	11	11.2	3.4							11		
C712	側頭葉悪性星状細胞腫	有	1	39.0	43.0									
		無	1	38.0	2.0						1			
C712	側頭葉星状細胞腫	有	1	62.0	16.0							1		
		無	1	62.0	44.0							1		
C713	再発頭頂葉膠芽腫	無	1	52.0	11.0						1			
C719	原発性悪性脳腫瘍	無	1	90.0	14.0								1	
C719	神経膠腫	有	1	69.0	55.0							1		
C721	馬尾上衣腫	有	1	71.0	21.0							1		
C73	甲状腺癌	有	2	65.0	5.0							2		
C73	甲状腺乳頭癌	有	30	58.4	7.9						8	7	11	4
		無	2	71.0	6.5							2		
C73	甲状腺濾胞癌	無	1	74.0	10.0							1		
C73	再発甲状腺乳頭癌	有	1	73.0	9.0							1		
C770	頸部リンパ節転移	有	8	78.5	17.9							4	4	
		無	10	76.2	23.2						1	3	6	
C770	頸部リンパ節転移の疑い	有	2	67.5	6.0						1	1		
C771	縦隔リンパ節転移の疑い	無	1	71.0	2.0							1		
C772	胃周囲リンパ節転移	無	1	60.0	3.0						1			
C772	大動脈周囲リンパ節転移の疑い	無	1	56.0	3.0						1			
C779	リンパ節転移	無	2	58.0	29.5						1		1	
C780	転移性肺癌	有	2	78.0	18.5							1	1	
C780	転移性肺腫瘍	有	32	70.2	9.4						1	4	19	8
		無	2	81.5	20.0								2	2
C782	癌性胸膜炎	無	4	80.0	11.8							2	2	
C782	癌性胸膜炎の疑い	無	2	74.0	4.0							2		
C782	転移性胸膜腫瘍	無	2	53.0	19.0						2			
C783	転移性気管腫瘍	有	1	70.0	20.0							1		
C785	転移性大腸腫瘍	有	2	60.5	24.5						1	1		
C785	転移性直腸癌	有	1	66.0	12.0							1		
C785	転移性直腸腫瘍	有	2	67.0	10.0							2		
C786	癌性腹水	有	1	63.0	3.0							1		
C786	癌性腹膜炎	無	2	66.0	9.0						1	1		
C786	転移性後腹膜腫瘍	無	1	85.0	14.0									1
C786	腹膜播種	無	3	62.7	7.7							1	2	
C787	転移性肝癌	有	27	68.5	13.5						1	3	17	6
		無	5	64.6	7.8						2	2	1	
C787	転移性肝癌の疑い	無	1	75.0	7.0							1		
C787	転移性肝腫瘍	有	16	68.9	13.8							4	8	4
		無	1	71.0	2.0							1		
C788	胃浸潤	有	1	65.0	17.0							1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C788	転移性脳腫瘍	有	2	57.5	20.5						2		
C792	上肢転移性皮膚腫瘍	無	1	61.0	6.0							1	
C792	転移性皮膚腫瘍	有	1	71.0	11.0							1	
C792	乳癌皮膚転移	有	1	42.0	15.0						1		
C793	転移性脳腫瘍	有	5	62.4	37.0						1	4	
		無	7	64.6	13.6						2	4	1
C795	胃癌骨転移	有	1	32.0	10.0					1			
C795	胸骨骨転移の疑い	無	1	70.0	3.0							1	
C795	腰椎転移	有	1	73.0	22.0							1	
C795	骨盤転移	有	3	64.3	8.3						2	1	
C795	上腕骨転移性骨腫瘍	有	1	79.0	4.0							1	
C795	脊椎転移	無	2	55.5	3.5						2		
C795	仙骨転移の疑い	無	1	72.0	2.0							1	
C795	前立腺癌骨転移	有	1	72.0	35.0							1	
		無	1	89.0	11.0								1
C795	大腿骨転移性骨腫瘍	有	1	79.0	31.0							1	
C795	転移性胸椎腫瘍	無	1	51.0	24.0					1			
C795	転移性胸椎腫瘍の疑い	無	1	69.0	2.0							1	
C795	転移性骨腫瘍	有	2	61.5	24.5					1	1		
		無	7	76.3	16.4							5	2
C795	肺癌骨転移	有	1	89.0	16.0								1
C795	肋骨転移	無	1	53.0	8.0					1			
C796	転移性卵巣癌	有	3	64.0	8.3					1	2		
C797	副腎転移	有	1	75.0	8.0							1	
C798	転移性胸壁腫瘍	有	2	75.0	3.5							1	1
C798	腹腔内転移	有	1	70.0	34.0							1	
C80	原発不明癌	有	5	69.6	21.2					1	3	1	
		無	2	76.5	8.5							2	
C811	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	有	3	41.0	52.0					2		1	
		無	15	35.8	19.4					12		3	
C811	再発結節硬化型ホジキン病	無	1	44.0	8.0					1			
C812	混合細胞型古典的ホジキンリンパ腫	無	2	76.5	14.5							1	1
C820	濾胞性リンパ腫・グレード1	有	9	60.1	18.7						6	3	
		無	7	66.0	19.0						2	5	
C821	濾胞性リンパ腫・グレード2	有	2	67.5	14.0							2	
		無	15	69.4	14.3						4	7	4
C821	濾胞性リンパ腫・グレード3a	有	3	76.0	32.7							3	
		無	7	73.9	20.1							7	
C830	小リンパ球性リンパ腫	無	3	69.0	12.3							3	
C830	脾辺縁帯リンパ腫	無	1	63.0	10.0							1	
C831	マントル細胞リンパ腫	有	8	70.0	34.3							7	1
		無	4	65.0	16.0					1	2	1	
C833	T細胞組織球豊富型大細胞型B細胞性リンパ腫	有	4	57.3	18.3						4		
		無	3	57.0	12.3						3		
C833	びまん性大細胞型・バーキット中間型分類不能B細胞性リンパ腫	有	5	62.8	50.2						1	4	
		無	5	64.6	19.6						1	3	1
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	68	70.9	27.3					3	6	47	12
		無	72	70.1	20.2					2	6	55	9
C833	回腸びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	無	4	67.3	17.5							4	
C833	高齢者EBV陽性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	2	77.5	35.0							1	1
		無	3	69.0	20.3							3	
C833	再発小腸びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	3	79.0	31.3							3	
		無	2	79.0	24.0							2	
C833	縦隔原発大細胞型B細胞性リンパ腫	有	1	49.0	45.0						1		
		無	2	49.0	15.5						2		
C835	Tリンパ芽球性リンパ腫	有	1	13.0	61.0								
		無	4	13.0	5.8			1					
C837	バーキットリンパ腫	有	1	46.0	86.0						1		
C838	リンパ形質細胞性リンパ腫	有	3	74.7	31.0							2	1
		無	5	83.0	18.6								5
C844	ALK陰性未分化大細胞リンパ腫	有	1	68.0	31.0							1	
		無	5	68.2	15.4							5	
C844	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	有	2	78.0	34.5							2	
		無	5	73.6	18.6							5	
C844	末梢性T細胞リンパ腫	有	3	81.7	34.0								3
C851	MALTリンパ腫	有	3	47.7	13.0						3		
		無	11	55.3	11.4						8	3	
C851	マントル細胞リンパ腫	無	1	85.0	5.0								1
C851	胃MALTリンパ腫	無	1	55.0	11.0						1		
C851	直腸MALTリンパ腫	有	1	76.0	25.0							1	
		無	4	76.0	17.8							4	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C857	血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	有	4	67.3	20.5								4	
		無	2	68.0	9.5								2	
C857	節外性NK/T細胞リンパ腫・鼻型	有	1	82.0	16.0									1
C857	腸管症関連T細胞リンパ腫	有	1	67.0	41.0								1	
		無	1	67.0	1.0								1	
C859	悪性リンパ腫	有	4	70.8	15.3						1	2	1	
		無	2	71.0	2.5							2		
C859	悪性リンパ腫の疑い	有	1	75.0	4.0							1		
		無	2	68.0	2.5							2		
C859	甲状腺悪性リンパ腫の疑い	無	1	42.0	5.0						1			
C859	心臓悪性リンパ腫	無	1	82.0	17.0									1
C880	原発性マクログロブリン血症	有	1	89.0	8.0									1
C900	ペンスジョーンズ型多発性骨髄腫	有	3	64.0	35.3								3	
		無	1	61.0	26.0								1	
C900	形質細胞性骨髄腫	無	1	78.0	69.0								1	
C900	多発性骨髄腫	有	31	66.1	40.1						8	21	2	
		無	11	62.6	18.9						3	8		
C901	形質細胞白血病	有	1	73.0	22.0								1	
C910	Ph陽性急性リンパ性白血病	有	18	55.9	65.1						14	4		
		無	11	51.1	17.7					1	9	1		
C910	TEL-AML1陽性Bリンパ芽球性白血病	有	2	5.5	159.5		1	1						
		無	1	9.0	74.0			1						
C910	Tリンパ芽球性白血病	有	1	55.0	53.0						1			
C910	Tリンパ芽球性白血病/リンパ腫	有	1	36.0	77.0						1			
C910	急性リンパ性白血病	有	14	47.9	67.1			2		6		6		
		無	12	39.1	24.4					8	2	2		
C910	高2倍体性Bリンパ芽球性白血病	有	2	8.0	34.5			2						
C911	B細胞型慢性リンパ性白血病	有	1	83.0	24.0									1
		無	1	82.0	24.0									1
C911	慢性リンパ性白血病の疑い	無	1	84.0	8.0									1
C915	CCR4陽性成人T細胞白血病リンパ腫	有	3	64.0	27.0								3	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	有	8	73.1	53.8						1	4	3	
		無	7	78.7	20.6							4	3	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫・リンパ腫型	有	2	73.0	37.0							2		
		無	3	73.7	20.0							3		
C915	成人T細胞白血病リンパ腫・急性型	有	2	75.5	59.5							1	1	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫の疑い	無	1	65.0	3.0							1		
C920	急性骨髄性白血病	有	34	67.4	50.4						9	23	2	
		無	16	60.9	11.0					1	3	12		
C920	分化型急性骨髄性白血病(M2)	有	10	64.3	32.6						2	8		
		無	4	63.0	10.5						2	2		
C920	未分化型急性骨髄性白血病(M1)	有	10	60.5	73.5			1				9		
C921	慢性骨髄性白血病	有	1	34.0	19.0					1				
		無	3	66.7	18.0							3		
C921	慢性骨髄性白血病慢性期	無	4	51.3	21.0						3	1		
C924	急性前骨髄球性白血病(M3)	有	2	50.0	62.5						2			
		無	4	44.0	22.3					1	3			
C925	急性骨髄単球性白血病(M4)	有	2	66.0	70.0								2	
		無	2	5.0	7.0			2						
C927	慢性骨髄単球性白血病	有	2	75.5	58.5								2	
C930	急性単球性白血病	有	1	49.0	75.0							1		
C930	急性単球性白血病(M5)	有	3	53.7	69.7							3		
		無	2	45.5	87.5							2		
C950	急性白血病	有	1	69.0	8.0								1	
C967	芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍	有	1	33.0	238.0					1				
		無	1	34.0	57.0					1				
D001	食道上皮内癌	有	9	68.2	8.8						1	8		
		無	1	71.0	3.0							1		
D012	直腸上皮内癌	有	1	74.0	10.0							1		
D022	肺上皮内癌	有	2	59.5	10.0						2			
D043	頬部ポ一エン病	有	1	85.0	15.0									1
D045	背部ポ一エン病	有	1	90.0	5.0									1
D047	大腿ポ一エン病	有	1	91.0	4.0									1
D061	子宮腔部上皮内癌	有	1	55.0	3.0						1			
D069	子宮頸部上皮内癌	有	10	35.8	3.0					7	3			
D072	膺上皮内癌	有	1	60.0	6.0						1			
D103	軟口蓋良性腫瘍	有	1	46.0	5.0						1			
D110	耳下腺多形腺腫	有	2	57.5	6.5						1	1		
D110	耳下腺良性腫瘍	有	7	61.0	7.4						2	4	1	
D117	顎下腺多形腺腫	有	2	40.0	6.5					2				
D120	盲腸腺腫	有	3	74.0	9.7						1			2
D122	上行結腸腺腫	有	5	76.0	5.8							2	3	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
D123	横行結腸腺腫	有	5	71.6	8.6						1	3	1
D124	下行結腸腺腫	有	1	70.0	3.0								1
D125	S状結腸腺腫	有	5	72.4	7.8							5	
D126	大腸腺腫	有	1	80.0	9.0								1
D128	直腸腺腫	有	7	70.0	8.1					1		4	2
D130	食道乳頭腫	有	1	53.0	9.0						1		
D130	食道顆粒細胞腫	有	1	61.0	6.0								1
D131	胃GIST(良性)	有	2	74.5	8.5							1	1
D131	胃神経鞘腫	有	1	40.0	11.0					1			
D131	胃腺腫	有	4	64.5	8.5						2	2	
D132	十二指腸ブルネル腺腫	有	1	70.0	7.0								1
D132	十二指腸腺腫	有	7	65.3	8.0						1	6	
D135	十二指腸乳頭部腺腫	有	3	70.3	27.0								3
		無	2	71.0	3.5								2
D135	胆のう筋腫症	有	10	61.1	4.8					1	5	4	
		無	6	67.2	2.0								6
D135	胆のう筋腫症の疑い	有	1	81.0	2.0								1
		無	7	74.7	21.6								5
D136	膵管内乳頭粘液性腺腫	有	1	62.0	2.0								1
		無	1	62.0	2.0								
D136	膵粘液性のう胞腺腫	有	1	84.0	14.0								1
D136	膵漿液性のう胞腺腫	有	1	70.0	20.0								1
D137	インスリノーマ	有	1	80.0	25.0								1
D137	インスリノーマの疑い	有	2	51.0	9.0					1		1	
		無	2	51.0	9.0								
D140	鼻副鼻腔乳頭腫	有	1	62.0	6.0								1
D141	喉頭乳頭腫	有	2	63.0	4.5						1		
D141	喉頭良性腫瘍	有	3	53.7	6.3						2	1	
D143	肺過誤腫	有	1	48.0	7.0						1		
D143	肺良性腫瘍	有	10	60.2	7.6					1	3	6	
D150	胸腺腫	有	1	59.0	5.0						1		
D151	右心房粘液腫	有	1	76.0	32.0								1
D152	縦隔神経鞘腫	有	1	63.0	8.0								1
D161	母趾爪下外骨腫	有	1	11.0	3.0				1				
D162	大腿骨転子部良性骨腫瘍	有	2	75.5	9.5								2
D163	踵骨良性骨腫瘍	有	1	16.0	4.0				1				
D164	顎歯牙腫	有	1	9.0	3.0				1				
D165	下顎エナメル上皮腫	無	2	57.0	10.0						1	1	
D165	角化のう胞性菌原性腫瘍	無	1	43.0	7.0						1		
D169	上腕骨頸部良性骨腫瘍	無	1	61.0	3.0								1
D170	頸部脂肪腫	有	4	55.0	4.3						1	2	1
D171	背部脂肪腫	有	2	63.5	5.5						1	1	1
D171	峯径部脂肪腫	有	1	67.0	4.0								1
D172	前腕血管脂肪腫	有	1	63.0	3.0								1
D172	前腕脂肪腫	有	1	43.0	5.0							1	
		無	1	74.0	2.0								1
D175	十二指腸脂肪腫	有	1	59.0	22.0						1		
D175	小腸脂肪腫	有	1	79.0	10.0								1
D179	脂肪腫	無	1	0.0	4.0	1							
D180	海綿状血管腫	有	2	15.5	5.5				1		1		
D180	肝血管腫	有	1	48.0	10.0							1	
D180	乳児顔面血管腫	有	1	0.0	14.0	1							
D180	背部海綿状血管腫	無	1	0.0	1.0	1							
D181	頸部のう胞性リンパ管腫	有	1	66.0	5.0								1
D181	前胸部リンパ管腫	無	2	1.0	4.5	2							
D181	脾リンパ管腫	無	1	79.0	3.0								1
D211	肩部良性軟部腫瘍	有	1	62.0	3.0								1
D211	手部良性軟部腫瘍	有	1	69.0	2.0								1
D211	上腕軟部良性腫瘍	有	1	76.0	6.0								1
D211	上腕良性軟部腫瘍	有	1	55.0	3.0							1	
D212	下腿良性軟部腫瘍	有	1	87.0	4.0								1
D212	膝部良性軟部腫瘍	有	1	56.0	5.0							1	
D215	殿部良性軟部腫瘍	有	2	65.0	3.5								2
D215	尾骨軟部良性腫瘍	有	1	18.0	11.0				1				
D216	背部良性軟部腫瘍	有	1	55.0	4.0							1	
D226	手青色母斑	有	1	25.0	10.0						1		
D227	下腿母斑細胞母斑	有	1	4.0	4.0						1		
D233	頬部石灰化上皮腫	有	3	5.7	3.0						2	1	
D235	胸部石灰化上皮腫	有	1	80.0	14.0								1
D235	胸部皮膚良性腫瘍	有	1	42.0	4.0							1	
D235	殿部皮膚良性腫瘍	有	1	75.0	2.0								1
D235	肛門皮膚良性腫瘍	有	1	66.0	3.0								1
D239	汗管腫	有	1	41.0	2.0							1	
D24	乳管内乳頭腫	有	1	37.0	4.0						1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D24	乳管内乳頭腫の疑い	有	1	65.0	4.0								1	
D250	筋腫分娩	有	4	46.5	3.5					1	3			
D250	子宮粘膜下筋腫	有	29	43.4	5.1					8	20	1		
D251	壁内子宮平滑筋腫	有	55	42.5	8.2					19	36			
D252	有茎性漿膜下子宮筋腫茎捻転	有	1	48.0	11.0							1		
D252	漿膜下子宮平滑筋腫	有	22	43.7	7.5					4	18			
D259	子宮頸部筋腫	有	1	42.0	6.0							1		
D259	多発性子宮筋腫	有	1	42.0	2.0							1		
D27	卵巢のう腫	有	24	43.2	6.1				1	10	10		3	
D27	卵巢奇形腫	有	4	43.8	6.8					2	1		1	
D27	卵巢甲状腺腫	有	2	51.0	8.5					1			1	
D27	卵巢成熟のう胞性奇形腫	有	5	39.6	6.2					4			1	
D27	卵巢成熟奇形腫	有	2	19.5	5.0			1		1				
D27	卵巢粘液性腺腫	有	1	62.0	8.0								1	
D27	卵巢類皮のう腫	有	1	17.0	7.0				1					
D27	卵巢漿液性腺腫	有	2	69.0	6.5						1			1
D27	卵巢莢膜細胞腫	有	2	54.5	7.5							1	1	
D320	鞍結節部髄膜腫	有	1	68.0	34.0								1	
D320	小脳テント髄膜腫	無	1	82.0	5.0									1
D320	前頭髄膜腫	無	1	59.0	11.0							1		
D320	大脳鎌髄膜腫	有	1	86.0	12.0									1
D320	嗅窩髄膜腫	無	1	79.0	5.0								1	
D321	胸椎脊髄硬膜内髄外神経鞘腫	有	2	48.0	22.0							2		
D321	脊髄硬膜内髄外神経鞘腫	有	1	66.0	28.0								1	
D321	脊髄硬膜内髄外髄膜腫	有	2	67.5	24.0							1	1	
		無	1	77.0	2.0								1	
D333	聴神経鞘腫	有	1	66.0	15.0								1	
		無	2	68.5	13.5								2	
D334	馬尾神経鞘腫	有	1	71.0	24.0								1	
D350	褐色細胞腫	有	1	66.0	8.0								1	
D350	副腎腺腫	有	1	67.0	8.0								1	
D361	後腹膜神経節細胞腫の疑い	無	1	37.0	2.0					1				
D361	神経鞘腫	有	1	60.0	7.0							1		
D369	多形性腺腫	有	1	76.0	8.0								1	
D369	類皮のう胞	有	1	3.0	3.0			1						
D370	顎下腺腫瘍	有	5	67.6	7.6							1	4	
D370	耳下腺腫瘍	有	1	76.0	6.0								1	
D370	舌腫瘍	無	1	63.0	6.0								1	
D371	胃粘膜下腫瘍	有	1	64.0	10.0								1	
D372	小腸腫瘍	無	1	79.0	2.0								1	
D373	虫垂腫瘍	有	1	50.0	5.0							1		
D376	肝腫瘍	無	1	91.0	4.0									1
D376	胆のう腫瘍	有	1	58.0	5.0							1		
		無	1	57.0	2.0							1		
D376	胆管内乳頭状腫瘍	有	1	70.0	13.0								1	
D377	腫瘍性瘻のう胞	有	1	42.0	13.0							1		
D377	膵管内乳頭粘液性腫瘍	有	1	68.0	3.0								1	
		無	12	68.2	2.8							2	9	1
D377	膵腫瘍	有	1	68.0	15.0								1	
D377	膵神経内分泌腫瘍	有	1	45.0	15.0							1		
D380	喉頭腫瘍	有	2	66.5	4.5							1		1
D382	胸膜腫瘍の疑い	有	1	80.0	10.0									1
D383	前縦隔腫瘍	無	1	82.0	2.0									1
D383	前縦隔腫瘍の疑い	無	1	43.0	2.0							1		
D390	子宮頸部腫瘍	有	2	50.5	5.0							2		
D391	のう胞性卵巢腫瘍	有	3	30.7	7.0				1	1	1			
D391	充実性卵巢腫瘍	有	1	47.0	7.0							1		
D391	卵巢境界悪性腫瘍	有	2	47.5	7.5							2		
D391	卵巢腫瘍	有	2	44.0	10.0				1				1	
D397	外陰腫瘍	有	1	0.0	3.0			1						
D407	陰茎腫瘍	無	1	72.0	4.0								1	
D407	精巣上部腫瘍	有	1	37.0	4.0					1				
D421	胸椎硬膜内髄外脊髄腫瘍	無	1	48.0	2.0							1		
D421	硬膜内髄外脊髄腫瘍	有	1	70.0	17.0								1	
		無	1	82.0	2.0									1
D432	脳腫瘍	無	1	62.0	3.0								1	
D434	頸髄腫瘍	無	1	58.0	2.0							1		
D434	脊髄腫瘍	無	1	71.0	2.0								1	
D434	馬尾神経腫瘍	無	1	71.0	2.0								1	
D443	鞍上部腫瘍	有	1	33.0	12.0					1				
D444	頭蓋咽頭腫	有	2	42.0	8.5							2		
D447	傍神経節腫	有	1	51.0	12.0							1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D45	真性赤血球増加症	無	1	72.0	25.0								1	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1	有	2	68.0	27.0								2	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1RAEB-1	有	8	73.8	32.9								6	2
		無	10	67.4	12.5								10	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2RAEB-2	有	8	78.0	46.4								4	4
		無	23	76.9	11.0								22	1
D467	骨髄異形成症候群	有	1	60.0	103.0						1			
D467	多系統血球異形成を伴う不応性血球減少症RCMD	有	5	76.6	38.4								5	
D467	多血球系異形成を伴う不応性血球減少症	有	3	70.7	15.3								3	
		無	4	70.5	9.3								4	
D469	骨髄異形成症候群	有	21	75.1	29.3						2	13	6	
		無	19	73.9	9.7								19	
D469	骨髄異形成症候群の疑い	無	1	70.0	8.0								1	
D471	骨髄線維症	有	1	74.0	172.0								1	
D471	骨髄増殖性疾患	有	1	82.0	6.0									1
D480	胸椎腫瘍	無	1	17.0	2.0				1					
D480	大腿骨遠位部骨腫瘍	無	1	26.0	3.0					1				
D480	頭蓋骨腫瘍	有	1	75.0	13.0								1	
D480	腓骨近位部骨腫瘍	無	1	29.0	3.0					1				
D481	顔面皮下腫瘍	有	1	5.0	3.0		1							
D481	項部皮下腫瘍	有	1	50.0	3.0						1			
D481	指皮下腫瘍	有	1	4.0	3.0		1							
D481	仙尾部奇形腫	有	1	0.0	20.0	1								
D481	足底皮下腫瘍	有	1	13.0	2.0			1						
D481	膝窩部皮下腫瘍	有	1	45.0	3.0						1			
D481	腹壁デスマイト	有	3	39.3	24.0					2	1			
D481	腋窩皮下腫瘍	有	1	6.0	3.0			1						
D481	趾皮下腫瘍	有	1	41.0	4.0						1			
D483	後腹膜腫瘍の疑い	無	1	73.0	2.0								1	
D485	足底皮膚腫瘍	有	1	35.0	2.0					1				
D487	頸部リンパ節腫瘍	有	2	44.0	7.5					1		1		
D487	結膜腫瘍	有	1	58.0	2.0						1			
D500	出血性貧血	有	1	81.0	5.0									1
D529	葉酸欠乏性貧血	有	1	59.0	12.0						1			
D531	巨赤芽球性貧血	有	1	43.0	14.0						1			
		無	1	77.0	5.0							1		
D580	遺伝性球状赤血球症	無	1	15.0	3.0			1						
D591	温式自己免疫性溶血性貧血	無	1	47.0	45.0						1			
D591	寒冷凝集素症	有	1	68.0	5.0								1	
D591	自己免疫性溶血性貧血	有	1	67.0	71.0								1	
D594	機械的溶血性貧血	有	1	69.0	588.0								1	
D595	発作性夜間ヘモグロビン尿症	有	3	85.0	23.0									3
		無	1	85.0	13.0									1
D595	発作性夜間ヘモグロビン尿症の疑い	無	1	50.0	4.0						1			
D613	特発性再生不良性貧血	有	5	41.4	135.4			1		2		2		
		無	1	10.0	6.0			1						
D619	再生不良性貧血	有	3	73.0	34.3								3	
		無	1	31.0	4.0					1				
D619	中等症再生不良性貧血	有	3	79.7	25.7							1	2	
D619	汎血球減少症	有	2	71.5	138.0								2	
		無	1	68.0	6.0								1	
D62	急性失血性貧血	有	1	85.0	24.0									1
D648	重症貧血	有	2	73.0	11.0								2	
D648	症候性貧血	有	1	53.0	2.0						1			
D65	播種性血管内凝固	有	2	69.5	18.5						1	1		
		無	2	63.5	10.5					1				1
D66	血友病A	有	1	15.0	10.0			1						
D680	フォンウィルブランド病	無	1	9.0	2.0			1						
D684	ビタミンK欠乏による凝固因子欠乏	無	1	65.0	6.0								1	
D689	血液凝固異常	有	3	65.3	14.0						1	2		
		無	1	42.0	5.0						1			
D690	IgA血管炎	有	1	32.0	11.0					1				
		無	10	20.3	8.1		2	4		2	2			
D690	アナフィラクトイド紫斑	無	1	15.0	9.0			1						
D690	シェーンライン・ヘンツホ紫斑病	無	3	6.7	3.7			3						
D693	エバンス症候群	有	4	25.5	16.3					4				
D693	急性特発性血小板減少性紫斑病	無	2	8.0	5.5			2						
D693	特発性血小板減少性紫斑病	有	15	69.7	40.5			1		2	1	3	8	
		無	3	29.0	10.3			2				1		
D693	難治性特発性血小板減少性紫斑病	有	1	93.0	14.0									1
D693	慢性特発性血小板減少性紫斑病	無	11	6.1	1.3			11						

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D694	血小板減少性紫斑病	有	1	67.0	148.0								1	
		無	1	3.0	6.0		1							
D696	血小板減少症	有	2	54.5	14.5					1				1
D70	シュワックマン症候群の疑い	無	1	45.0	11.0						1			
D70	好中球減少症	無	2	69.5	11.0						1			1
D70	発熱性好中球減少症	無	2	65.5	8.5								2	
D70	無顆粒球症	有	1	70.0	17.0								1	
D733	脾膿瘍	有	1	81.0	20.0									1
D734	脾のう胞	有	1	33.0	11.0					1				
D763	組織球性壊死性リンパ節炎	有	1	30.0	9.0					1				
		無	2	27.0	9.0			1			1			
D820	ウィスコット・オールドリッチ症候群	有	1	0.0	110.0	1								
D860	肺サルコイドーシス	無	2	72.0	11.5								1	1
D860	肺サルコイドーシスの疑い	無	1	70.0	2.0								1	
D862	リンパ節サルコイドーシスを伴う肺サルコイドーシスの疑い	無	4	54.3	2.0					1	1		2	
D868	心サルコイドーシス	無	1	48.0	24.0						1			
D898	SAPHO症候群	有	2	45.5	10.0					1	1			
E049	腺腫様甲状腺腫	有	39	53.1	5.3			1		10	16	8		4
E050	バセドウ病	有	5	40.2	8.8					2	2	1		
		無	4	30.5	6.0			1		2	1			
E055	甲状腺クリーゼ	無	2	45.0	22.0					1			1	
E055	甲状腺クリーゼの疑い	無	1	23.0	4.0					1				
E059	原発性甲状腺機能亢進症	有	1	69.0	4.0								1	
E059	甲状腺機能亢進症	無	2	29.5	5.5			1			1			
E101	劇症1型糖尿病	無	1	63.0	12.0								1	
E109	1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	2	41.5	19.0			1					1	
E11	2型糖尿病	無	1	70.0	30.0								1	
E111	2型糖尿病性ケトアシドーシス	無	1	55.0	12.0						1			
E112	2型糖尿病・腎合併症あり	無	4	58.0	11.0						2	2		
E112	2型糖尿病性腎症第1期	無	2	66.0	9.0								2	
E112	2型糖尿病性腎症第1期の疑い	無	1	35.0	6.0					1				
E112	2型糖尿病性腎症第2期	無	3	75.3	12.0								2	1
E112	2型糖尿病性腎症第3期	無	1	58.0	12.0						1			
E112	2型糖尿病性腎症第4期	無	1	73.0	29.0								1	
E113	2型糖尿病・眼合併症あり	有	1	68.0	12.0								1	
		無	7	67.9	10.0						2	3		2
E115	2型糖尿病・末梢循環合併症あり	無	1	74.0	4.0								1	
E115	2型糖尿病性壊疽	有	1	58.0	11.0						1			
E117	2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	無	1	84.0	16.0									1
E119	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	10	68.0	8.2					1		7		2
E132	腎移植後糖尿病	無	1	69.0	44.0								1	
E139	膵性糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	1	81.0	12.0									1
E146	高血糖高浸透圧症候群	無	1	86.0	5.0									1
E15	低血糖昏睡	無	2	67.0	11.5								2	
E160	医原性低血糖症	無	1	72.0	6.0								1	
E161	ケトン性低血糖症	無	2	5.0	2.5	1		1						
E162	低血糖	無	3	17.0	3.7	1	1					1		
E162	低血糖発作	無	1	87.0	4.0									1
E210	原発性副甲状腺機能亢進症	有	4	73.5	5.0								3	1
E222	ADH分泌異常症	無	1	73.0	19.0								1	
E230	下垂体機能低下症	無	1	48.0	3.0						1			
E230	下垂体機能低下症の疑い	無	1	74.0	5.0								1	
E236	ラトケのう胞	有	1	64.0	17.0								1	
E260	原発性アルドステロン症	無	4	43.3	4.3					2	1	1		
E260	原発性アルドステロン症の疑い	無	12	45.2	3.3			1		3	6	2		
E270	サブクリニカルクッシング症候群	無	1	82.0	5.0				1					1
E270	サブクリニカルクッシング症候群の疑い	無	1	73.0	4.0								1	
E274	続発性副腎皮質機能低下症の疑い	無	1	52.0	2.0						1			
E328	胸腺のう胞	有	3	59.0	12.3						2	1		
E46	栄養失調	有	1	70.0	19.0								1	
E512	ウェルニッケ脳症	無	1	65.0	36.0								1	
E639	栄養障害	無	2	1.0	46.0	2								
E722	シトリン欠損症	無	1	4.0	3.0			1						
E858	ALアミロイドーシスの疑い	無	1	83.0	4.0									1
E86	脱水症	無	41	69.1	5.4			4	1	3	3	9		21
E870	高ナトリウム血症	無	1	86.0	23.0									1
E871	低ナトリウム血症	有	1	80.0	15.0									1
		無	21	68.0	11.4			1		1	3	11		5
E872	アルコール性ケトアシドーシス	無	1	59.0	3.0						1			
E872	ケトアシドーシス	無	2	66.5	2.5								2	
E872	ケトン血性嘔吐症	無	1	6.0	3.0			1						
E872	乳酸アシドーシス	無	1	59.0	3.0						1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
E875	高カリウム血症	有	2	89.5	13.0									2
		無	7	78.0	8.4							1	2	4
E876	低カリウム血症	無	6	55.5	8.7					1	3	1	1	
E877	水中毒	有	1	52.0	4.0						1			
E880	低アルブミン血症	無	1	80.0	6.0									1
E891	膵全摘後二次性糖尿病	無	1	79.0	5.0								1	
F028	レビー小体型認知症	無	1	74.0	24.0								1	
F100	急性アルコール中毒	無	3	47.0	2.7					1	2			
F107	アルコール性脳症候群の疑い	無	1	67.0	2.0								1	
F202	緊張型統合失調症	無	1	15.0	705.0				1					
F239	急性一過性精神病性障害	無	1	41.0	10.0						1			
F421	強迫行為	無	1	14.0	42.0				1					
F432	遷延性抑うつ反応	無	1	29.0	12.0					1				
F432	適応障害	無	8	14.4	54.0				8					
F440	解離性健忘	無	1	14.0	93.0				1					
F442	解離性昏迷	無	2	12.0	41.0				2					
F449	解離性障害	無	2	11.0	4.5				2					
F449	解離性障害の疑い	無	1	68.0	4.0								1	
F449	転換性障害	無	1	48.0	11.0						1			
F459	小児心身症	無	1	13.0	7.0				1					
F459	身体表現性障害	無	1	49.0	44.0						1			
F500	神経性食欲不振症	無	4	26.8	34.3				2	1	1			
F840	高機能自閉症	無	1	13.0	39.0				1					
F849	自閉症スペクトラム障害	無	3	13.7	39.0				3					
F900	注意欠陥多動障害	無	8	13.3	30.9				8					
G009	急性細菌性髄膜炎	無	1	0.0	15.0	1								
G030	無菌性髄膜炎	無	7	41.0	17.4		1	1			3	2		
G030	無菌性髄膜炎の疑い	無	1	11.0	3.0			1						
G040	急性散在性脳脊髄炎	無	2	10.0	11.5				2					
G049	急性脊髄炎	無	1	39.0	2.0					1				
G060	側頭頂部脳膿瘍	有	1	69.0	68.0								1	
G112	歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症	無	1	21.0	14.0					1				
G122	筋萎縮性側索硬化症	無	2	69.0	16.5								2	
G122	脊髄性筋萎縮症	無	4	3.0	10.3				4					
G122	脊髄性筋萎縮症の疑い	無	1	1.0	12.0	1								
G128	頸椎症性筋萎縮症	有	4	66.8	17.8						1	3		
		無	8	69.4	2.0						1	5	2	
G20	パーキンソン病	無	1	65.0	2.0								1	
G402	症候性部分てんかん	無	16	6.4	3.9	1	5	10						
G402	症候性複雑部分てんかん	無	10	4.6	3.2		9	1						
G402	側頭葉てんかん	無	1	46.0	2.0						1			
G402	特発性部分てんかん	無	1	0.0	9.0	1								
G402	部分てんかん	無	1	84.0	18.0									1
G403	ミオクローヌステんかん	無	1	3.0	2.0			1						
G403	若年性ミオクローヌステんかん	無	2	19.5	3.5				2					
G403	定型欠神発作	無	1	7.0	2.0				1					
G404	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	無	4	4.0	8.3			4						
G404	症候性全般てんかん	無	5	26.6	12.2	1	2				1	1		
G404	点頭てんかん	無	7	3.6	21.0	2	5							
G404	点頭てんかんの疑い	無	1	0.0	2.0	1								
G408	症候性てんかん	有	3	69.7	40.0						1	1	1	
		無	53	55.9	9.0	4	4	2		3	4	31	5	
G408	症候性てんかんの疑い	無	2	45.0	3.5	1								1
G408	難治性てんかん	無	1	34.0	9.0					1				
G409	てんかん	無	5	7.6	3.4	1	1	3						
G409	てんかんの疑い	無	8	10.0	2.3	2	1	4		1				
G419	てんかん重積状態	無	2	73.0	2.5								1	1
G431	脳底動脈性片頭痛	無	1	57.0	2.0							1		
G459	一過性脳虚血発作	有	1	49.0	12.0							1		
		無	14	72.4	3.9						2	9	3	
G459	一過性脳虚血発作の疑い	無	1	45.0	2.0						1			
G473	睡眠時無呼吸症候群	有	4	4.5	12.0	1	2	1						
G473	閉塞性睡眠時無呼吸	有	2	8.5	10.0				2					
G510	顔面神経麻痺	有	1	65.0	12.0								1	
		無	17	50.4	8.9		1	1		4	5	3	3	
G510	末梢性顔面神経麻痺	無	3	66.7	9.7						1	2		
G522	術後反回神経麻痺	有	1	71.0	8.0								1	
G530	帯状疱疹後神経痛	無	1	65.0	10.0								1	
G560	手根管症候群	有	1	47.0	3.0						1			
G562	肘部管症候群	有	1	75.0	3.0								1	
G610	ギラン・バレー症候群	無	1	45.0	30.0						1			
G64	末梢神経障害性疼痛	無	1	75.0	10.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
G700	全身型重症筋無力症	無	1	47.0	2.0						1		
G713	ミトコンドリア筋症の疑い	無	1	62.0	4.0							1	
G723	低カリウム血性周期性四肢麻痺	無	1	65.0	34.0							1	
G800	痙性脳性麻痺	有	1	21.0	14.0					1			
G824	痙性四肢麻痺	無	2	10.0	11.5		1	1					
G825	四肢不全麻痺	無	1	70.0	8.0							1	
G831	下肢単麻痺	無	1	77.0	3.0							1	
G839	痙性麻痺	無	1	4.0	2.0		1						
G903	多系統萎縮症	無	1	91.0	1.0								1
G908	神経調節性失神	無	2	80.0	3.0							1	1
G910	交通性水頭症	有	6	60.3	17.0	1						5	
G912	正常圧水頭症	無	1	79.0	5.0							1	
G931	低酸素性脳症	有	1	80.0	22.0								1
G934	HHV-6脳症	無	1	1.0	9.0	1							
G934	急性脳症	無	1	8.0	11.0			1					
G934	脳梁膨大部に一過性拡散低下を伴う脳炎・脳症	無	1	8.0	13.0			1					
G934	痙攣重積型二相性急性脳症	無	2	1.0	7.0	2							
G939	小脳機能障害の疑い	無	1	13.0	2.0			1					
G948	インフルエンザ脳症	無	1	13.0	5.0			1					
G948	低血糖性脳症	有	1	75.0	15.0							1	
G951	脊髄梗塞	無	1	70.0	20.0							1	
G960	髄液鼻漏	有	1	48.0	29.0						1		
H001	霰粒腫	有	1	4.0	3.0		1						
H020	眼瞼内反症	有	2	9.0	3.0			2					
H020	上眼瞼内反症	有	1	7.0	3.0			1					
H020	睫毛内反症	有	1	4.0	3.0		1						
H024	眼瞼下垂症	有	7	60.0	5.9			1	1	1	2	2	
H050	眼窩蜂巣炎	無	1	65.0	8.0							1	
H250	加齢性皮質性白内障	有	4	79.8	4.5							2	2
H250	老人性初発白内障	有	70	76.0	6.7					1	43	26	
H251	核性白内障	有	1	67.0	4.0							1	
H251	老人性核白内障	有	1	75.0	7.0							1	
H258	成熟白内障	有	6	72.3	8.5					1	2	3	
H259	加齢性白内障	有	1	84.0	3.0								1
H262	併発白内障	有	2	40.0	5.0				2				
H270	人工無水晶体眼	有	1	67.0	6.0							1	
H332	網膜剥離	有	3	62.7	21.0						1	2	
H341	網膜中心動脈閉塞症	無	3	79.7	5.0							1	2
H353	黄斑円孔	有	3	71.0	16.3							3	
H353	黄斑前膜	有	10	69.0	15.4						2	7	1
H353	加齢性黄斑変性症	無	2	90.0	2.0								2
H360	増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病	有	2	47.5	19.0						2		
H402	急性緑内障発作	有	1	79.0	11.0							1	
H405	続発性緑内障	無	1	59.0	4.0						1		
H431	硝子体出血	有	5	56.4	12.4						3	2	
H440	眼内炎	有	2	46.0	9.5					1	1		
H46	球後視神経炎	無	1	23.0	14.0					1			
H470	虚血性視神経症	無	1	82.0	6.0								1
H490	動眼神経麻痺	無	1	77.0	35.0							1	
H501	外斜視	有	1	18.0	3.0				1				
H602	悪性外耳炎	有	1	82.0	14.0								1
H604	外耳道真珠腫	有	1	54.0	5.0							1	
H650	急性滲出性中耳炎	無	1	1.0	5.0	1							
H652	慢性滲出性中耳炎	有	4	5.3	3.0	1	2	1					
H660	急性化膿性中耳炎	無	3	1.3	6.7	2	1						
H663	慢性化膿性穿孔性中耳炎	有	16	35.8	6.1			7		3	2	4	
H700	急性乳様突起炎	有	1	1.0	5.0	1							
H71	真珠腫性中耳炎	有	7	49.0	5.7					3	2	2	
H71		無	1	68.0	2.0							1	
H742	外傷性耳小骨離断	有	1	26.0	6.0					1			
H810	メニエール病	無	10	63.5	7.4					1	6	1	2
H810	遅発性内リンパ水腫	無	2	65.5	9.5							2	
H810	内耳性めまい	有	1	61.0	2.0							1	
H810		無	12	65.5	9.6						4	7	1
H810	迷路性めまい	無	1	67.0	6.0							1	
H811	良性発作性頭位めまい症	無	9	67.7	5.7						4	4	1
H812	前庭神経炎	無	3	43.0	10.7					1	2		
H813	耳性めまい	無	5	54.8	10.2					1	2	1	1
H813	末梢性めまい症	無	15	62.5	6.3					3	3	6	3
H814	頭位めまい症	無	1	69.0	2.0							1	
H912	突発性難聴	無	9	60.0	10.7						3	6	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I050	僧帽弁狭窄症	有	1	72.0	7.0							1	
		無	2	77.0	5.5							1	1
I052	僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症	無	1	75.0	3.0							1	
I080	僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症兼大動脈弁閉鎖不全症	有	1	75.0	22.0							1	
I080	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症	有	1	75.0	24.0							1	
I081	僧帽弁・三尖弁の合併を伴う連合弁膜症	有	1	56.0	16.0					1			
I081	僧帽弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	有	1	74.0	33.0							1	
I081	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁狭窄症	有	1	83.0	151.0								1
		有	11	70.0	34.8						3	5	3
		無	4	72.3	6.3					1	2	2	1
I082	大動脈弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	有	2	78.5	36.0							1	1
		無	1	69.0	3.0							1	
I083	僧帽弁・大動脈弁および三尖弁の合併を伴う連合弁膜症	無	1	82.0	10.0								1
I083	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	8	72.0	61.3					1	5	2	
		無	3	76.3	3.7							2	1
I083	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	3	73.3	37.0							2	1
I088	大動脈弁狭窄症兼肺動脈弁閉鎖不全症	有	1	71.0	32.0							1	
I10	高血圧症	無	1	78.0	3.0							1	
I10	高血圧性緊急症	無	1	86.0	2.0								1
I10	高血圧切迫症	無	1	89.0	2.0								1
I110	高血圧性うっ血性心不全	有	4	80.5	38.8							1	3
		無	21	78.2	12.2							10	11
I110	高血圧性心不全	無	5	82.6	6.6							1	4
I159	二次性高血圧症の疑い	無	1	42.0	4.0					1			
I200	不安定狭心症	有	40	72.1	12.3					6	21	13	
		無	24	69.2	3.6					7	12	5	
I200	不安定狭心症の疑い	無	8	73.8	2.8					1	4	3	
I201	冠攣縮性狭心症	無	17	62.9	2.7				3	2	9	3	
I201	冠攣縮性狭心症の疑い	無	8	66.6	3.0					3	4	1	
I208	労作性狭心症	有	192	72.0	5.3					20	124	48	
		無	394	72.4	3.0					44	251	99	
I208	労作性狭心症の疑い	無	11	69.2	3.4					2	6	3	
I209	狭心症の疑い	無	1	64.0	3.0							1	
I210	急性広範前壁心筋梗塞	有	2	73.0	10.0					1			1
		無	1	86.0	1.0								1
I210	急性前壁心筋梗塞	有	21	71.8	17.6					3	11	7	
I210	急性前壁心筋梗塞の疑い	無	1	71.0	3.0							1	
I210	急性前壁中隔心筋梗塞	有	8	68.6	24.3					2	4	2	
I210	心破裂・急性前壁心筋梗塞に合併	有	1	70.0	66.0							1	
I211	急性下後壁心筋梗塞	有	2	77.0	14.0							1	1
I211	急性下側壁心筋梗塞	有	1	79.0	13.0							1	
		有	35	68.1	17.1					9	21	5	
		無	1	60.0	24.0					1			
I212	急性後側部心筋梗塞	有	1	78.0	26.0							1	
I212	急性後壁心筋梗塞	有	7	67.3	10.3					3	2	2	
I212	急性側壁心筋梗塞	有	4	71.3	19.0					1	2	1	
I212	心室中隔穿孔・急性心筋梗塞に合併	有	1	76.0	56.0							1	
I219	急性心筋梗塞	有	1	52.0	15.0					1			
I219	急性心筋梗塞の疑い	無	2	76.5	2.5							1	1
I232	急性心筋梗塞後心室中隔穿孔	有	1	79.0	47.0							1	
I249	急性冠症候群	有	1	88.0	5.0								1
		無	1	86.0	9.0								1
I249	急性冠症候群の疑い	無	8	75.1	4.0							5	3
I251	冠状動脈狭窄症	無	1	71.0	3.0							1	
I251	冠状動脈硬化症	有	2	88.0	17.5								2
		無	4	71.3	3.0							3	1
I252	陳旧性下壁心筋梗塞	無	5	76.0	3.0					1	1	3	
I252	陳旧性後壁心筋梗塞	無	1	66.0	3.0							1	
I252	陳旧性心筋梗塞	無	76	69.7	3.0					15	47	14	
I252	陳旧性前壁心筋梗塞	無	1	60.0	3.0					1			
I252	陳旧性前壁中隔心筋梗塞	無	2	78.0	2.5							1	1
I255	虚血性心筋症	有	2	79.5	6.5							1	1
		無	1	71.0	15.0							1	
I256	無症候性心筋虚血	有	29	74.1	4.6					3	19	7	
		無	63	73.3	3.1					5	45	13	
I256	無症候性心筋虚血の疑い	無	11	67.7	3.0					2	7	2	
I259	虚血性心疾患	無	1	85.0	3.0								1
I269	肺血栓塞栓症	無	1	58.0	19.0					1			
I269	肺塞栓症	有	3	69.7	8.7							3	
		無	4	60.3	13.5					1	1	1	1
I270	肺高血圧症	無	3	71.3	7.7					1			2
I272	二次性肺高血圧症	有	1	29.0	48.0					1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I272	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	無	4	74.8	16.3						1		3
I309	急性心膜炎	無	1	24.0	3.0					1			
I311	収縮性心膜炎	有	1	72.0	62.0							1	
I319	心膜液貯留	無	6	85.7	7.3								6
I330	感染性心内膜炎	有	5	72.8	69.2						1	2	2
I330	急性感染性心内膜炎	無	5	51.0	24.0	1				1		2	1
I330	急性感染性心内膜炎	無	2	71.5	21.5							1	1
I340	僧帽弁逆流症	有	1	57.0	16.0						1		
I340	僧帽弁逆流症	無	5	70.8	3.0						1	3	1
I340	僧帽弁閉鎖不全症	有	2	65.0	16.5						1		1
I340	僧帽弁閉鎖不全症	無	11	65.7	5.8						4	5	2
I341	僧帽弁逸脱症候群	無	1	58.0	3.0						1		
I350	大動脈弁狭窄症	有	62	83.0	21.7							17	45
I350	大動脈弁狭窄症	無	50	83.2	6.3							14	36
I351	大動脈弁逆流症	有	1	73.0	30.0							1	
I351	大動脈弁逆流症	無	2	78.0	3.0							1	1
I351	大動脈弁閉鎖不全症	無	3	69.0	3.0							3	
I358	大動脈弁輪拡張症	有	3	69.0	29.7							2	1
I409	急性心筋炎	無	1	45.0	11.0						1		
I420	拡張型心筋症	有	1	69.0	6.0							1	
I420	拡張型心筋症	無	5	71.2	28.8							4	1
I422	心尖部肥大型心筋症	無	1	87.0	2.0								1
I422	肥大型心筋症	無	2	71.5	3.0						1		1
I429	心筋症	無	1	49.0	11.0						1		
I431	心アミロイドーシス	無	2	76.0	13.0							2	
I441	ウェンケバツハ型第2度房室ブロック	無	1	85.0	4.0								1
I441	高度房室ブロック	有	8	83.3	8.1							2	6
I441	高度房室ブロック	無	1	95.0	7.0								1
I442	完全房室ブロック	有	23	81.0	9.3							7	16
I442	完全房室ブロック	無	1	83.0	35.0								1
I443	間欠性房室ブロック	有	1	90.0	29.0								1
I443	房室ブロック	無	1	74.0	3.0							1	
I455	洞房ブロック	有	1	80.0	2.0								1
I455	洞房ブロック	無	1	70.0	3.0								1
I456	WPW症候群	有	2	45.5	6.5				1			1	
I456	WPW症候群	無	1	8.0	2.0				1				
I459	アダムス・ストークス発作の疑い	有	1	70.0	2.0							1	
I459	アダムス・ストークス発作の疑い	無	1	99.0	11.0								1
I460	蘇生に成功した心停止	無	4	63.5	3.5						2	1	1
I469	来院時心肺停止	無	115	74.8	1.0	1				6	11	42	55
I471	心房頻拍	有	3	62.7	4.0					1		1	1
I471	心房頻拍	無	3	73.7	4.3							2	1
I471	発作性上室頻拍	有	9	58.0	4.0					1	3	5	
I471	発作性上室頻拍	無	5	56.2	2.6				1			2	1
I471	発作性上室頻拍の疑い	無	1	60.0	3.0						1		
I471	発作性心房頻拍	無	1	30.0	1.0					1			
I472	持続性心室頻拍	有	3	71.0	15.0							3	
I472	持続性心室頻拍	無	2	76.0	8.5							1	1
I472	心室頻拍	有	5	77.8	17.4							2	3
I472	心室頻拍	無	5	75.2	12.0							3	2
I472	非持続性心室頻拍	有	1	95.0	11.0								1
I472	非持続性心室頻拍	無	1	56.0	10.0						1		
I48	持続性心房細動	有	2	64.0	4.0							2	
I48	徐脈性心房細動	有	3	71.7	10.0							2	1
I48	心房細動	有	12	61.6	4.4					2	1	8	1
I48	心房細動	無	1	75.0	2.0							1	
I48	心房粗動	有	2	79.5	9.0							1	1
I48	心房粗動	無	2	59.0	2.0						1	1	
I48	発作性心房細動	有	9	68.0	4.0						3	4	2
I48	発作性心房細動	無	4	72.5	4.8							3	1
I48	非弁膜症性心房細動	有	9	55.3	4.1					2	3	4	
I48	非弁膜症性発作性心房細動	有	3	64.7	4.3						1	2	
I48	非弁膜症性発作性心房細動	無	1	89.0	2.0								1
I48	頻脈性心房細動	有	2	56.5	4.0						1	1	
I48	頻脈性心房細動	無	7	62.9	7.6						4	1	2
I48	慢性心房細動	無	1	92.0	2.0								1
I490	QT延長症候群	有	1	29.0	7.0					1			
I490	QT延長症候群の疑い	無	1	0.0	7.0	1							
I490	トルサードポアント	有	1	38.0	12.0					1			
I490	心室細動	有	4	67.3	34.3						1	2	1
I493	心室期外収縮	有	5	59.4	5.6						1	1	2
I493	心室期外収縮	無	1	52.0	3.0						1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I494	上室期外収縮	無	1	82.0	2.0									1
I495	徐脈頻脈症候群	有	1	83.0	8.0									1
		無	1	99.0	3.0									1
I495	洞不全症候群	有	13	79.5	10.8						1	5		7
		無	3	86.3	3.3									3
I495	洞不全症候群の疑い	無	1	84.0	4.0									1
I498	致命的不整脈	有	1	88.0	2.0									1
I499	不整脈	有	1	88.0	2.0									1
I499	不整脈の疑い	無	1	12.0	4.0			1						
I500	うっ血性心不全	有	34	79.4	41.4						3			23
		無	111	80.1	17.8				1		6	35		69
I500	慢性うっ血性心不全	有	3	68.7	33.3						1	1		1
		無	8	73.6	15.9						1	4		3
I501	左心不全	有	1	87.0	13.0									1
		無	1	86.0	11.0									1
I509	急性心不全	無	2	34.0	9.0	1							1	
I509	慢性心不全	有	3	74.7	15.0								2	1
		無	8	78.5	18.5						1	1		6
I513	心室内血栓症	有	1	71.0	50.0								1	
		無	1	58.0	9.0						1			
I515	たこつぼ型心筋症	有	1	91.0	19.0									1
		無	11	82.1	10.5								4	7
I519	低心拍出量症候群	有	1	72.0	32.0								1	
		無	1	71.0	15.0								1	
I600	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	7	73.0	23.9						1	5		1
I600	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	2	61.0	17.5						1	1		
I601	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	5	70.8	26.4						2			3
I602	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	6	63.8	20.7						3	3		
I604	脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	4	69.3	16.3						1	3		
I605	破裂性椎骨動脈解離によるくも膜下出血	有	2	54.0	25.5						2			
I606	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	4	74.3	17.3						1	1		2
I608	後下小脳動脈からのくも膜下出血	有	1	82.0	41.0									1
I608	脳動静脈奇形破裂によるくも膜下出血	有	1	13.0	74.0			1						
I609	くも膜下出血	有	1	66.0	30.0								1	
		無	3	72.3	9.7						1	1		1
I610	後頭葉脳皮質下出血	有	1	60.0	39.0						1			
I610	視床出血	有	3	70.7	31.7								3	
		無	29	77.4	18.9								14	15
I610	側頭葉脳皮質下出血	有	1	64.0	30.0								1	
I610	頭頂葉脳皮質下出血	有	1	89.0	23.0									1
I610	脳皮質下出血	有	4	76.5	32.8								3	1
		無	16	77.9	17.9						1	6		9
I610	被殻出血	有	7	65.9	31.3						4	2		1
		無	34	68.0	16.9						12	15		7
I613	橋出血	有	1	48.0	47.0						1			
		無	1	69.0	8.0								1	
I613	脳幹部出血	有	1	88.0	32.0									1
		無	6	68.5	18.7						1	4		1
I614	小脳出血	無	7	74.1	14.4						1	4		2
I619	高血圧性脳内出血	有	1	90.0	13.0									1
I620	非外傷性慢性硬膜下血腫	有	1	53.0	8.0						1			
I633	アテローム血栓性脳梗塞	有	9	67.3	29.0								9	
		無	26	73.0	17.9						3	14		9
I633	アテローム血栓性脳梗塞・急性期	有	9	76.9	23.2						1	4		4
		無	64	75.9	17.1				1		6	31		26
I633	血栓性脳梗塞	有	1	69.0	32.0								1	
		無	15	75.2	14.7						1	10		4
I634	奇異性脳塞栓症	無	1	70.0	14.0								1	
I634	塞栓性脳梗塞	有	1	46.0	16.0						1			
		無	1	81.0	3.0									1
I634	塞栓性脳梗塞・急性期	有	9	70.8	17.8						3	2		4
		有	40	81.0	24.9								16	24
I634	心原性脳塞栓症	有	60	79.2	14.9						1	29		30
I635	橋梗塞	無	1	73.0	24.0								1	
I635	小脳梗塞	無	2	68.5	20.5								2	
I635	脳幹梗塞・急性期	有	1	46.0	4.0						1			
I638	ラクナ梗塞	有	11	70.7	10.3						2	6		3
		無	2	74.0	38.5								2	
		無	6	70.5	14.5						2	2		2
I638	脳血管攣縮による脳梗塞	無	1	13.0	38.0			1						
I639	脳梗塞・急性期の疑い	無	1	84.0	2.0									1
I650	椎骨動脈閉塞症	有	1	71.0	38.0								1	
		無	1	69.0	2.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I652	内頸動脈狭窄症	有	10	69.9	9.8						1	8	1
		無	13	75.2	2.4						1	8	4
I652	内頸動脈狭窄症の疑い	無	1	71.0	3.0							1	
I652	内頸動脈閉塞症	無	1	63.0	3.0							1	
I660	中大脳動脈閉塞症	有	1	55.0	13.0						1		
		無	1	54.0	3.0						1		
I670	解離性脳動脈瘤	有	1	39.0	14.0					1			
		無	1	39.0	3.0					1			
I670	椎骨動脈解離性動脈瘤	無	2	54.5	5.0						2		
I670	未破裂椎骨動脈解離	無	1	68.0	2.0							1	
I670	未破裂内頸動脈解離	無	1	47.0	2.0						1		
I671	硬膜動静脈瘻	有	3	69.0	12.7							3	
		無	1	67.0	5.0							1	
I671	前交通動脈瘤	有	1	54.0	6.0						1		
		無	4	58.3	2.0						3	1	
I671	前大脳動脈瘤	有	1	57.0	8.0						1		
		無	1	41.0	3.0						1		
I671	中大脳動脈瘤	有	2	53.5	10.0						1	1	
		無	3	63.3	2.0						1	2	
I671	内頸動脈海綿静脈洞瘻	有	1	80.0	17.0								1
		無	1	80.0	2.0								1
I671	内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤	無	1	53.0	2.0						1		
I671	内頸動脈脳動脈瘤	有	5	63.0	10.6						2	3	
		無	3	68.3	2.0							3	
I671	脳底動脈瘤	無	2	72.0	2.0							2	
I671	脳動脈瘤	無	1	52.0	2.0						1		
I671	未破裂脳動脈瘤	有	1	66.0	10.0							1	
		無	1	66.0	2.0							1	
I674	高血圧性脳症	無	1	46.0	4.0						1		
I675	もやもや病	無	1	31.0	2.0								
I675	小児もやもや病	無	2	9.0	5.0					1			
I693	脳梗塞後遺症	有	1	77.0	8.0							1	
I701	腎動脈狭窄症	有	2	70.5	4.5							2	
I702	下肢閉塞性動脈硬化症	有	61	74.0	15.0						5	38	18
		無	29	72.5	4.9						3	20	6
I708	腸骨動脈閉塞性動脈硬化症	有	1	57.0	22.0						1		
I709	閉塞性動脈硬化症	有	1	74.0	17.0							1	
I710	解離性胸部大動脈瘤	有	4	57.3	31.8						2	2	
		無	2	57.0	3.0						1	1	
I710	解離性大動脈瘤DeBakeyI	無	1	93.0	17.0								1
I710	解離性大動脈瘤DeBakeyIIIb	有	2	56.0	30.5						1	1	
I710	解離性大動脈瘤StanfordA	有	1	65.0	40.0							1	
I710	急性大動脈解離	有	5	76.2	31.6							3	2
I710	急性大動脈解離DeBakeyI	無	1	96.0	1.0								1
I710	急性大動脈解離DeBakeyII	無	1	73.0	3.0							1	
I710	急性大動脈解離DeBakeyIIIb	無	2	49.0	23.0						2		
I710	急性大動脈解離StanfordA	有	3	79.7	39.0							1	2
		無	1	66.0	15.0							1	
I710	急性大動脈解離StanfordB	有	3	62.7	17.3						2		1
		無	11	73.1	23.2						2	5	4
I710	慢性大動脈解離	無	1	77.0	3.0							1	
I711	胸部大動脈瘤破裂	有	4	77.5	43.8							2	2
I712	下行胸部大動脈瘤	有	1	87.0	48.0								1
		無	1	73.0	3.0							1	
I712	感染性胸部大動脈瘤	無	1	62.0	39.0							1	
I712	弓部大動脈瘤	有	1	86.0	167.0								1
		無	2	83.0	5.5								2
I712	胸部大動脈瘤	有	20	75.4	24.2						1	10	9
		無	10	78.1	4.6							5	5
I712	胸部大動脈瘤切迫破裂	有	2	76.5	63.0							2	
I712	上行胸部大動脈瘤	有	1	69.0	67.0							1	
I713	腹部大動脈瘤破裂	有	2	71.0	31.0							2	
		無	1	75.0	19.0							1	
I714	腹部大動脈瘤	有	40	75.3	16.7						1	28	11
		無	27	74.2	3.3						1	20	6
I714	腹部大動脈瘤切迫破裂	有	3	90.3	35.0								3
I716	胸腹部大動脈瘤	有	6	75.2	46.5							4	2
		無	3	82.7	5.0							1	2
I721	上腕偽性動脈瘤	有	1	79.0	41.0							1	
I723	総腸骨動脈瘤	有	4	74.3	15.0							3	1
		無	3	76.0	3.0							2	1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I723	腸骨動脈解離	有	1	67.0	6.0							1	
I723	腸骨動脈瘤	有	8	78.0	7.6							6	2
I723	腸骨動脈瘤	無	1	83.0	3.0								1
I723	内腸骨動脈腸骨動脈瘤	有	1	86.0	4.0								1
I723	破裂性腸骨動脈瘤	有	1	66.0	57.0							1	
I724	下肢の動脈瘤	有	1	68.0	29.0							1	
I724	大腿動脈仮性動脈瘤	有	1	73.0	20.0							1	
I724	大腿動脈瘤	有	1	79.0	21.0							1	
I728	気管支動脈瘤	有	1	46.0	3.0						1		
I728	上腸間膜動脈瘤	有	1	65.0	22.0							1	
I728	腹腔動脈瘤	有	1	85.0	18.0							1	1
I728	腹腔動脈瘤	無	1	85.0	3.0								1
I728	脾動脈瘤	有	2	68.5	8.5					1	1		
I728	脾動脈瘤	無	1	78.0	3.0						1		
I729	感染性動脈瘤	有	1	57.0	67.0					1			
I731	バージャー病	有	1	56.0	9.0					1			
I740	ルリッシュ症候群	有	1	70.0	14.0							1	
I740	腹部大動脈閉塞症	無	1	91.0	2.0								1
I741	大動脈血栓症	有	1	74.0	21.0							1	
I742	上肢急性動脈閉塞症	有	1	72.0	4.0							1	
I742	上腕急性動脈閉塞症	無	1	71.0	2.0							1	
I743	下肢急性動脈閉塞症	有	3	79.0	19.0							1	2
I743	下肢慢性動脈閉塞症	無	1	89.0	3.0								1
I745	総腸骨動脈閉塞症	有	1	56.0	19.0					1			
I748	鎖骨下動脈閉塞症	有	1	78.0	11.0							1	
I749	コレステロール塞栓症	有	1	79.0	106.0							1	
I749	コレステロール塞栓症	無	1	89.0	12.0								1
I771	外腸骨動脈狭窄	有	1	90.0	3.0								1
I771	鎖骨下動脈狭窄症	無	1	70.0	3.0							1	
I771	動脈狭窄	無	1	67.0	3.0							1	
I780	オスラー病	有	1	35.0	6.0					1			
I788	下部消化管アンギオディスプラジア	有	2	80.5	8.5							1	1
I802	下肢静脈血栓症	有	1	78.0	14.0							1	
I802	深部静脈血栓症	有	1	91.0	3.0								1
I802	深部静脈血栓症	無	2	73.5	4.0					1			1
I81	門脈血栓症	無	1	74.0	7.0							1	
I828	上肢静脈血栓症	有	1	88.0	15.0								1
I828	内頸静脈血栓症	無	1	59.0	7.0					1			
I830	下肢静脈瘤性潰瘍	有	1	81.0	24.0								1
I831	うっ滞性皮膚炎	無	1	83.0	8.0								1
I839	下肢静脈瘤	有	6	77.0	2.3							4	2
I844	出血性外痔核	有	1	91.0	7.0								1
I844	出血性外痔核	無	1	75.0	2.0							1	
I850	食道静脈瘤出血	有	1	84.0	12.0								1
I850	食道静脈瘤出血の疑い	無	1	44.0	1.0					1			
I850	食道静脈瘤破裂	有	4	64.0	6.8					2	2		
I859	食道胃静脈瘤	有	2	64.0	19.5					1	1		
I859	食道静脈瘤	有	5	62.2	11.8					1	4		
I864	胃静脈瘤	有	1	56.0	4.0					1			
I864	胃静脈瘤破裂	有	2	72.0	11.5							2	
I951	起立性調節障害	無	1	28.0	6.0					1			
I951	起立性低血圧症	無	1	76.0	8.0							1	
I951	体位性失神	無	1	75.0	2.0							1	
I952	薬剤性低血圧症	有	1	84.0	19.0								1
I982	アルコール性肝硬変に伴う食道静脈瘤	有	1	62.0	7.0							1	
J018	複数洞急性副鼻腔炎	無	1	56.0	6.0						1		
J020	溶連菌性咽頭炎	無	1	4.0	2.0			1					
J028	アデノウイルス咽頭炎	無	3	1.0	4.7	3							
J028	ウイルス性咽頭炎	無	1	0.0	10.0	1							
J029	咽頭炎	無	2	53.5	2.5					1			1
J029	急性咽頭炎	無	7	2.7	3.7	6		1					
J039	急性扁桃炎	無	2	22.5	8.0					2			
J050	急性閉塞性喉頭炎	無	3	0.7	4.0	3							
J051	急性喉頭蓋炎	無	3	48.3	5.7			1			1	1	
J060	急性咽頭喉頭炎	無	5	4.0	3.8	4			1				
J068	急性咽頭扁桃炎	無	2	4.0	3.5	1		1					
J069	急性上気道炎	無	35	2.3	3.6	27	6	1		1			
J100	インフルエンザB肺炎	無	1	40.0	5.0					1			
J101	インフルエンザA気管支炎	無	1	55.0	7.0						1		
J101	インフルエンザA型	無	13	41.2	5.3	4	1	1			2	1	4
J101	インフルエンザB気管支炎	無	3	49.0	6.3			1			1		1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
J101	インフルエンザB型	無	8	14.5	3.5	2	3	2						1
J121	RSウイルス肺炎	無	11	1.4	7.7	10	1							
J128	ヒトメタニューモウイルス肺炎	無	1	1.0	6.0	1								
J129	ウイルス性肺炎	無	2	1.5	5.5	2								
J13	肺炎球菌肺炎	無	2	86.5	8.5							1	1	
J152	MRSA肺炎	有	1	76.0	23.0							1	1	
J152	MRSA肺炎	無	2	86.0	30.5							1	1	1
J157	マイコプラズマ肺炎	有	1	84.0	9.0									1
J157	マイコプラズマ肺炎	無	5	18.4	11.0		2	2			1			
J159	細菌性肺炎	有	13	84.4	31.0								3	10
J159	細菌性肺炎	無	111	77.7	13.2	1					6	49	55	
J180	気管支肺炎	有	3	81.7	16.0								1	2
J180	気管支肺炎	無	5	41.2	6.0	2							3	
J181	大葉性肺炎	無	1	66.0	6.0								1	
J189	急性肺炎	有	2	85.0	9.0									2
J189	急性肺炎	無	28	31.2	7.2	10	3	4		1	2	2	2	6
J189	非定型肺炎	無	3	86.0	14.7									3
J200	マイコプラズマ気管支炎	無	1	10.0	5.0									
J205	RSウイルス気管支炎	有	1	0.0	12.0	1								
J205	RSウイルス気管支炎	無	61	1.0	5.1	54	5	2						
J208	ウイルス性気管支炎	無	1	19.0	5.0				1					
J208	ヒトメタニューモウイルス気管支炎	無	8	0.8	5.6	8								
J209	クループ性気管支炎	無	4	1.5	3.5	4								
J209	急性気管支炎	無	99	7.1	4.5	68	14	8	3		2			4
J210	RSウイルス細気管支炎	無	13	0.4	5.8	13								
J320	上顎洞炎	無	2	14.5	6.0		1			1				
J324	汎副鼻腔炎	有	6	55.0	6.8					1	2	3		
J328	好酸球性副鼻腔炎	有	2	43.5	6.5					1	1			
J328	複数洞慢性副鼻腔炎	有	45	57.7	6.6			1	1	5	17	18	3	
J330	後鼻孔ポリープ	有	1	6.0	4.0			1						
J341	術後性上顎のう胞	有	5	68.0	5.8						1	4		
J341	前頭洞のう胞	有	3	69.3	6.3						1	1	1	
J341	篩骨洞のう胞	有	1	79.0	5.0								1	
J342	鼻中隔彎曲症	有	6	30.5	7.8				2	3	1			
J350	慢性扁桃炎	有	22	22.3	11.2			3	2	3	14			
J351	扁桃肥大	有	24	7.0	11.1			10	13	1				
J351	扁桃肥大	無	2	7.0	2.0				2					
J352	アデノイド肥大	有	3	13.0	7.0					1				
J36	扁桃周囲炎	無	2	31.5	6.5					2				
J36	扁桃周囲膿瘍	有	2	70.5	9.5								2	
J36	扁桃周囲膿瘍	無	2	29.5	6.5					2				
J380	声帯麻痺	有	1	77.0	27.0								1	
J381	ポリープ様声帯	有	1	57.0	6.0						1			
J381	声帯ポリープ	有	3	67.3	4.7						1	1	1	
J383	声帯白斑症	有	1	75.0	5.0								1	
J387	喉頭蓋のう胞	有	1	74.0	5.0								1	
J387	喉頭潰瘍	無	1	68.0	18.0								1	
J387	喉頭蜂巣炎	無	1	5.0	11.0			1						
J390	咽後膿瘍	無	2	2.5	6.5	1	1							
J390	深頸部膿瘍	無	1	3.0	13.0			1						
J391	咽頭膿瘍	無	1	43.0	8.0						1			
J40	気管気管支炎	無	2	68.0	5.0						1			1
J40	気管支炎	無	1	88.0	5.0									1
J411	粘液膿性慢性気管支炎	無	1	74.0	2.0								1	
J431	汎小葉性肺気腫	無	2	72.0	18.0							1		1
J432	中心小葉性肺気腫	無	2	63.5	9.0							1	1	
J441	慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	無	3	72.7	3.3							1	1	1
J448	小児喘息性気管支炎	無	5	0.8	4.6	5								
J448	喘息性気管支炎	無	6	1.2	4.2	5	1							
J449	慢性閉塞性肺疾患	無	3	75.3	6.7								2	1
J450	アトピー性喘息	無	1	48.0	8.0						1			
J450	小児喘息	無	14	2.7	5.1	8	4	2						
J450	乳児喘息	無	1	0.0	9.0	1								
J459	気管支喘息	無	4	69.0	4.8							1	1	2
J46	気管支喘息重積発作	無	10	55.4	13.4	2			1				4	3
J46	気管支喘息発作	無	19	35.6	7.0	1	3	5	1	1	1	5	2	
J47	気管支拡張症	有	2	80.0	10.5								1	1
J47	気管支拡張症	無	2	74.0	16.5								2	
J47	限局性気管支拡張症	有	1	82.0	11.0									1
J628	珪肺症	無	1	68.0	15.0								1	
J690	誤嚥性肺炎	有	13	73.9	25.5						2	6	5	
J690	誤嚥性肺炎	無	78	76.3	13.8	1		3		2	2	25	45	
J700	放射線肺炎	無	1	62.0	8.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
J80	急性呼吸窮迫症候群	有	2	79.0	66.5							1	1
J80	急性呼吸窮迫症候群	無	4	64.5	12.3							2	1
J81	肺水腫	無	1	89.0	14.0						1		1
J82	好酸球性肺炎	無	1	68.0	11.0							1	
J82	慢性好酸球性肺炎	無	2	54.0	12.5					1		1	
J841	特発性器質性肺炎	無	3	73.0	22.7						1	1	1
J841	特発性器質性肺炎の疑い	無	1	72.0	2.0							1	
J841	特発性肺線維症	有	2	75.0	8.0							1	1
J841	特発性肺線維症	無	5	71.0	12.6							5	
J841	非特異性間質性肺炎	無	1	77.0	6.0							1	
J848	びまん性間質性肺炎	有	1	74.0	40.0							1	
J848	びまん性間質性肺炎	無	12	75.2	16.4						1	7	4
J848	びまん性間質性肺炎の疑い	無	1	63.0	2.0							1	
J848	器質性肺炎	有	3	59.3	9.3						2	1	
J848	器質性肺炎	無	3	77.0	8.7							2	1
J848	特発性間質性肺炎	無	8	74.1	14.5							7	1
J849	間質性肺炎	無	4	73.8	6.5							4	
J849	間質性肺炎の疑い	無	1	74.0	2.0							1	
J851	肺炎合併肺膿瘍	有	1	77.0	26.0							1	
J851	肺炎合併肺膿瘍	無	1	68.0	18.0							1	
J852	肺化膿症	有	1	69.0	25.0							1	
J860	気管支嚢腫	有	1	72.0	36.0							1	
J860	気管支嚢腫	無	1	68.0	2.0							1	
J869	急性膿胸	無	3	77.3	17.3							2	1
J869	膿胸	有	1	68.0	37.0							1	
J869	膿胸	無	1	77.0	14.0							1	
J869	慢性膿胸	有	2	67.5	47.5							2	
J869	慢性膿胸	無	1	68.0	16.0							1	
J90	胸水貯留	有	1	75.0	10.0							1	
J90	胸水貯留	無	6	73.8	14.3							5	1
J90	細菌性胸膜炎	無	2	91.0	26.0								2
J930	緊張性気胸	無	1	67.0	11.0							1	
J931	自然気胸	有	9	45.8	10.9			3	1		1	3	1
J931	自然気胸	無	3	60.0	8.7				1			1	1
J931	続発性自然気胸	有	1	69.0	31.0							1	
J938	月経随伴性気胸	有	1	33.0	6.0					1			
J938	続発性気胸	有	6	63.2	12.8						3	3	
J938	続発性気胸	無	8	73.4	9.1						2	2	4
J942	血気胸(非外傷性)	無	1	67.0	4.0							1	
J942	血胸(非外傷性)	有	1	23.0	7.0					1			
J950	気管切開機能障害	無	3	59.3	6.7					1		1	1
J950	気管切開部気道閉塞	有	1	2.0	3.0	1							
J950	気管切開部気道閉塞	無	1	80.0	1.0								1
J960	急性呼吸不全	無	2	35.5	11.5	1						1	
J961	慢性呼吸不全	無	4	80.5	5.5							2	2
J961	慢性呼吸不全急性増悪	有	1	75.0	12.0							1	
J961	慢性呼吸不全急性増悪	無	1	92.0	4.0								1
J980	気管支嚢	有	1	68.0	15.0							1	
J982	縦隔気腫	無	1	16.0	5.0			1					
J984	術後肺嚢	無	1	83.0	7.0								1
J988	気道狭窄	無	1	63.0	2.0							1	
J988	気道閉塞	有	1	74.0	19.0							1	
J991	皮膚筋炎性間質性肺炎	無	1	52.0	8.0						1		
J991	膠原病性間質性肺炎	無	1	70.0	40.0							1	
K010	下顎骨性完全埋伏智歯	有	1	35.0	2.0					1			
K010	骨性完全埋伏歯	無	1	16.0	2.0			1					
K011	上顎過剰埋伏歯	無	1	7.0	3.0			1					
K011	埋伏歯	無	2	28.5	4.5			1			1		
K011	埋伏智歯	有	1	42.0	2.0						1		
K029	う蝕	無	1	13.0	5.0			1					
K044	急性化膿性根尖性歯周炎	無	1	5.0	5.0			1					
K044	急性根尖性歯周炎	有	1	79.0	6.0							1	
K045	根尖性歯周炎	有	1	37.0	2.0					1			
K045	根尖性歯周炎	無	1	77.0	6.0							1	
K045	慢性根尖性歯周炎	無	1	51.0	5.0						1		
K048	歯根のう胞	有	10	55.3	5.8					2	4	3	1
K048	歯根のう胞	無	4	57.3	6.5						3	1	
K053	智歯周囲炎	有	2	75.0	4.5							1	1
K053	智歯周囲炎	無	1	69.0	3.0							1	
K053	慢性歯周囲炎	有	1	67.0	3.0							1	
K070	オトガイ劣成長	無	1	24.0	4.0					1			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K073	下顎水平埋伏智歯	有	10	28.2	3.4				2	7	1		
		無	7	37.1	2.4				1	3	2	1	
K079	顎変形症	有	1	22.0	5.0					1			
K090	含菌性のう胞	有	5	42.8	5.0			1		1	3		
		無	4	58.3	7.0					1	1	2	
K090	原始性のう胞	有	1	72.0	12.0							1	
		無	1	64.0	6.0							1	
K091	鼻口蓋管のう胞	無	1	21.0	6.0				1				
K100	口蓋隆起	無	1	59.0	3.0						1		
K102	下顎骨壊死	有	1	76.0	31.0							1	
		無	1	93.0	15.0								1
K102	下顎骨骨髓炎	有	3	76.7	13.0							2	1
		無	7	78.4	8.3							3	4
K102	顎腐骨	無	3	75.0	12.7							2	1
K102	側下顎骨骨髓炎	無	1	76.0	25.0							1	
K102	放射線性下顎骨骨髓炎	無	1	71.0	19.0							1	
K108	歯槽骨鋭縁	有	1	78.0	5.0							1	
K112	顎下腺炎	無	1	88.0	8.0								1
K112	急性化膿性顎下腺炎	無	2	61.5	7.5						1	1	
K112	急性化膿性耳下腺炎	無	1	91.0	7.0								1
K112	急性耳下腺炎	無	1	25.0	6.0					1			
K113	耳下腺膿瘍	有	1	52.0	16.0						1		
K115	顎下腺唾石症	有	5	45.8	4.8					1	4		
K115	唾石症	無	3	41.3	4.0					1	2		
K122	顎下部膿瘍	無	1	87.0	16.0								1
K130	口唇粘液のう胞	有	1	5.0	4.0		1						
K210	維持療法の必要な難治性逆流性食道炎	有	1	89.0	2.0								1
		無	1	44.0	1.0						1		
K210	逆流性食道炎	無	2	79.5	4.5							1	1
K210	難治性逆流性食道炎	無	1	75.0	22.0							1	
K220	食道アカラシア	有	1	44.0	4.0						1		
K221	食道潰瘍	有	1	87.0	13.0								1
K222	食道狭窄	有	1	85.0	3.0								1
K223	食道穿孔の疑い	無	1	68.0	6.0							1	
K226	マロリ・ワイス症候群	有	8	63.6	6.0					1	2	3	2
K250	デュラフォイ潰瘍	有	1	84.0	3.0								1
K250	急性胃粘膜病変	無	5	10.6	4.4	4					1		
K250	急性出血性胃潰瘍	有	32	75.6	8.6						3	17	12
		無	1	74.0	3.0							1	
K251	急性胃潰瘍穿孔	有	3	68.7	24.7						1	2	
K252	急性出血性胃潰瘍穿孔	有	1	51.0	14.0						1		
K253	急性ストレス性胃潰瘍	有	1	71.0	4.0							1	
K259	胃前庭部胃潰瘍	無	1	49.0	4.0						1		
K260	急性出血性十二指腸潰瘍	有	13	70.6	10.8					1	2	5	5
K261	急性十二指腸潰瘍穿孔	有	1	48.0	11.0						1		
		無	5	41.0	11.0			1	1	2	1		
K264	出血性十二指腸潰瘍	有	1	78.0	10.0							1	
K265	穿孔性十二指腸潰瘍の疑い	有	1	93.0	24.0								1
K280	急性出血性吻合部潰瘍	有	1	59.0	7.0						1		
K291	急性胃炎	無	1	34.0	3.0					1			
K296	放射線胃炎	有	1	71.0	4.0							1	
K298	十二指腸炎	無	1	30.0	8.0					1			
K315	十二指腸狭窄症	有	2	45.5	12.0					1	1		
K315	上腸間膜動脈症候群	無	1	59.0	7.0						1		
K317	胃ポリープ	有	1	71.0	8.0							1	
K317	胃過形成ポリープ	有	6	78.2	4.8							4	2
K318	胃前庭部毛細血管拡張症	有	2	72.5	3.0							2	
K319	機能性嘔吐	無	3	2.0	23.7	3							
K350	急性穿孔性虫垂炎	有	3	77.3	12.7							2	1
K350	虫垂炎性腹膜炎	有	3	61.3	5.7						1	2	
K350	虫垂穿孔による回盲部周囲膿瘍	有	2	55.0	7.5					1		1	
K351	回盲部周囲膿瘍を伴う急性虫垂炎	有	3	82.0	12.3							1	2
		無	1	6.0	10.0			1					
K351	膿瘍を伴う壊疽性虫垂炎	有	2	43.5	8.5			1					1
K359	急性カタル性虫垂炎	無	2	9.0	3.0				2				
K359	急性化膿性虫垂炎	有	2	41.0	3.5					1	1		
K359	急性虫垂炎	有	23	43.8	5.5			1	4	7	6	3	2
		無	8	13.5	4.3			1	5	1	1		
K36	慢性虫垂炎	有	5	38.6	4.2			1	1			2	
K388	虫垂粘液のう胞	有	1	57.0	11.0						1		
K402	両側鼠径ヘルニア	有	10	30.5	3.4		4	2					4
K403	非還納性鼠径ヘルニア	有	1	2.0	3.0	1							

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K403	臬径ヘルニア嵌頓	有	6	36.0	4.8	3					1		2
		無	1	0.0	3.0	1							
K409	外臬径ヘルニア	有	27	68.9	4.1					2	5	14	6
K409	再発性臬径ヘルニア	有	1	80.0	4.0								1
K409	内臬径ヘルニア	有	5	72.8	4.2						1	3	1
K409	臬径ヘルニア	有	57	9.8	3.1	13	29	10			1	3	1
		無	3	0.7	1.7	3							
K413	大腿ヘルニア嵌頓	有	1	91.0	10.0								1
		無	1	77.0	1.0							1	
K413	閉塞性大腿ヘルニア	有	1	33.0	5.0				1				
K419	大腿ヘルニア	有	2	69.5	4.0							2	
K420	臍ヘルニア嵌頓	有	1	83.0	6.0								1
K429	臍ヘルニア	有	20	5.0	3.1	16	2	1				1	
		無	2	1.0	1.5	2							
K430	絞扼性腹壁ヘルニア	有	1	56.0	5.0						1		
K430	非還納性腹壁癒痕ヘルニア	有	1	73.0	9.0							1	
K430	嵌頓性腹壁癒痕ヘルニア	有	2	65.5	9.0						1		1
K439	腹壁癒痕ヘルニア	有	6	70.3	11.5						2	1	3
		無	2	69.5	1.5						1		1
K440	横隔膜ヘルニア嵌頓	有	1	69.0	9.0							1	
K449	術後食道裂孔ヘルニア	有	1	65.0	7.0							1	
K449	食道裂孔ヘルニア	無	1	102.0	2.0								1
K450	閉鎖孔ヘルニア嵌頓	有	1	81.0	8.0								1
K458	腰ヘルニア	有	1	37.0	5.0					1			
K469	内ヘルニア	有	5	63.2	7.2						2	3	
K500	回腸クローン病	有	1	66.0	4.0							1	
K508	小腸大腸クローン病	有	2	24.5	15.0					2			
K509	クローン病	無	2	10.0	25.0			2					
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	有	3	69.7	31.0						1	1	1
		無	10	26.6	20.9			5		2	1	2	
K513	潰瘍性大腸炎・直腸S状結腸炎型	無	1	43.0	5.0						1		
K518	急性潰瘍性大腸炎の疑い	無	1	14.0	2.0			1					
K522	アレルギー性胃腸炎	無	3	0.0	9.3	3							
K528	薬剤性腸炎	無	1	74.0	8.0							1	
K529	小腸炎	無	1	33.0	3.0					1			
K550	急性虚血性腸炎	有	4	84.3	11.3							1	3
		無	14	76.2	10.6						2	6	6
K550	急性上腸間膜動脈閉塞症	有	1	64.0	38.0							1	
K550	腸壊死	無	1	75.0	1.0							1	
K550	腸間膜静脈血栓症	無	1	76.0	4.0							1	
K550	非閉塞性腸間膜虚血	有	1	79.0	7.0							1	
		無	1	94.0	2.0								1
K550	非閉塞性腸間膜虚血の疑い	無	1	89.0	1.0								1
K551	腹部アングナ	有	1	68.0	72.0							1	
K551	慢性虚血性腸炎	有	1	72.0	11.0							1	
		無	1	72.0	33.0							1	
K552	大腸血管形成異常	有	1	85.0	7.0								1
K558	小腸血管形成異常	有	2	75.0	11.5							1	1
K559	虚血性腸炎	無	1	79.0	8.0							1	
K560	麻痺性イレウス	無	8	27.5	4.0	1		3	2			2	
K561	回盲部腸重積症	有	1	81.0	12.0								1
K561	小腸重積症	無	1	37.0	4.0					1			
K561	腸重積症	有	1	0.0	3.0	1							
K562	S状結腸軸捻転	有	1	78.0	12.0							1	
		無	2	85.5	3.0								2
K562	絞扼性イレウス	有	12	72.1	16.8					1		7	4
K562	小腸軸捻転症	有	1	79.0	4.0							1	
K562	大腸軸捻転症	有	1	86.0	15.0								1
K564	糞便性イレウス	無	7	69.4	8.6			1				3	3
K565	絞扼性癒着性腸閉塞症	有	1	79.0	13.0							1	
K565	癒着性イレウス	有	9	75.3	17.1						2	2	5
		無	13	73.5	8.5						1	10	2
K566	S状結腸狭窄症	有	1	89.0	20.0								1
K566	胃石による小腸イレウス	有	1	85.0	12.0								1
K566	横行結腸狭窄症	有	1	63.0	33.0							1	
K566	回腸狭窄	有	2	77.5	3.0							2	
K566	癌性イレウス	有	2	66.5	26.0						1	1	
K566	結腸閉塞	有	1	79.0	3.0							1	
K566	小腸イレウス	無	1	62.0	11.0							1	
K567	イレウス	無	4	28.8	3.5		1	2					1
K567	垂イレウス	無	2	59.0	12.5						1	1	
K571	十二指腸憩室出血	有	1	85.0	10.0								1
K571	傍十二指腸乳頭憩室	有	1	73.0	5.0							1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K572	S状結腸憩室穿孔	有	6	65.5	21.0						3	2	1
K572	下行結腸憩室穿孔	有	1	59.0	65.0						1		
K572	上行結腸憩室穿孔	有	2	68.0	13.5							2	
		無	1	42.0	6.0						1		
K572	膿瘍性S状結腸憩室	有	1	70.0	24.0							1	
K572	腹膜炎を伴う穿孔性S状結腸憩室	有	1	84.0	77.0								1
K572	盲腸憩室穿孔	有	1	45.0	12.0						1		
K573	S状結腸憩室炎	有	1	84.0	27.0								1
		無	1	70.0	2.0								1
K573	S状結腸憩室出血	有	8	77.3	11.1						1	2	5
		無	1	50.0	3.0						1		
K573	横行結腸憩室出血	有	2	55.5	6.5						1	1	
K573	下行結腸憩室炎	有	1	86.0	15.0								1
K573	下行結腸憩室出血	有	3	81.7	11.3							1	2
K573	回盲部憩室炎	無	3	52.7	8.0					1	1	1	
K573	上行結腸憩室炎	無	4	34.5	7.0				1	2		1	
K573	上行結腸憩室出血	有	4	71.3	10.5								4
		無	4	77.3	5.8								2
K573	多発性大腸憩室症	有	1	60.0	10.0						1		
K573	大腸憩室出血	有	4	68.8	8.8								4
		無	1	82.0	5.0								
K590	便秘症	無	2	23.5	4.5	1					1		
K603	単純痔瘻	有	1	36.0	4.0					1			
K610	肛門周囲膿瘍	無	1	23.0	5.0					1			
K612	直腸肛門周囲膿瘍	無	1	59.0	11.0						1		
K623	直腸脱	有	8	81.6	11.8								6
K624	直腸狭窄	無	1	73.0	2.0								1
K625	直腸出血	有	2	66.5	6.0								2
K626	出血性直腸潰瘍	有	1	75.0	17.0								1
		無	1	99.0	3.0								
K631	S状結腸穿孔	有	3	80.3	24.0							1	2
K631	小腸穿孔	有	1	83.0	18.0								1
K633	宿便性潰瘍	有	2	78.5	18.0								2
K633	大腸潰瘍出血	有	1	86.0	36.0								1
K635	S状結腸ポリープ	無	1	64.0	3.0								1
K635	下行結腸ポリープ	有	1	85.0	9.0								1
		無	5	68.6	4.8						2	1	2
K635	大腸ポリープ	有	1	58.0	1.0						1		
		無	1	58.0	1.0						1		
K650	横隔膜下膿瘍	無	2	53.0	5.5						2		
K650	急性汎発性腹膜炎	有	4	85.3	37.8								3
K650	急性腹膜炎	有	1	86.0	4.0								1
K650	骨盤死腔炎(男性)	有	1	65.0	14.0								1
K650	骨盤膿瘍(男性)	有	2	69.5	11.0								2
K650	十二指腸穿孔腹膜炎	有	1	66.0	67.0								1
K650	腸腰筋膿瘍	有	2	72.0	31.0						1		1
K650	腸穿孔腹膜炎	有	1	84.0	41.0								1
K650	腹腔内膿瘍	有	1	39.0	122.0						1		
		無	1	83.0	11.0								
K661	後腹膜血腫	無	1	69.0	4.0								1
K700	アルコール性脂肪肝	無	1	46.0	2.0						1		
K703	アルコール性肝硬変	有	5	55.2	20.2							5	
		無	4	69.0	16.8								3
K703	非代償性アルコール性肝硬変	無	1	52.0	2.0						1		
K719	薬物性肝障害	無	2	70.5	18.0								2
K720	急性肝炎	無	4	28.8	6.5	2					2		
K720	急性肝不全	有	2	79.5	11.5							1	1
K729	肝性昏睡	無	1	80.0	6.0								1
K729	肝性脳症	無	3	60.0	8.7						1	2	
K743	原発性胆汁性肝硬変の疑い	無	1	71.0	3.0								1
K750	化膿性肝膿瘍	無	1	94.0	7.0								1
K750	肝膿瘍	有	2	75.0	19.0								1
		無	3	80.7	12.0								1
K750	細菌性肝膿瘍	有	1	71.0	14.0								1
K750	多発肝膿瘍	無	1	90.0	13.0								1
K750	多発性肝膿瘍	有	1	54.0	4.0						1		
K760	脂肪肝	有	1	53.0	11.0						1		
K766	門脈圧亢進症性胃腸症	有	1	49.0	3.0						1		
K768	肝のう胞	無	6	62.0	3.2						3	3	
K768	肝腫瘍	有	1	61.0	8.0								1
K768	胆管周囲のう胞	有	1	48.0	13.0						1		
K769	肝障害	無	1	42.0	3.0						1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	23	74.8	8.0						3	11	9
		無	2	82.5	5.0							1	1
K800	胆石性急性胆のう炎	有	11	78.3	8.5						2	4	5
		無	1	66.0	2.0							1	
K801	胆石性胆のう炎	有	1	82.0	9.0								1
K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石	有	61	65.4	7.0				1	24	26		10
		無	2	64.5	2.0					1	1		
K802	胆のう炎を伴わない胆のう結石	有	2	70.0	5.0							2	
K802	胆のう結石症	有	14	65.0	5.3						5	7	2
K803	肝内結石性胆管炎	有	2	74.5	22.5							2	
K803	総胆管結石を伴う急性化膿性胆管炎	有	8	77.0	5.6						1	4	3
K803	総胆管結石を伴う急性閉塞性化膿性胆管炎	有	8	77.4	8.4							3	5
K803	総胆管結石性胆管炎	有	70	76.2	6.2						7	34	29
		無	5	70.4	6.2						1	3	1
K803	胆管炎を伴う総胆管結石	有	9	73.2	5.1							7	2
K803	胆管結石性胆管炎	有	1	91.0	5.0								1
K804	総胆管結石性胆のう炎	有	1	82.0	9.0								1
K804	胆のう炎および胆管炎を伴う総胆管結石	有	2	57.5	9.0						1	1	
K805	肝内結石症	有	7	60.3	10.3					2	1	1	3
		無	3	62.0	2.7					1			2
K805	総胆管結石	有	16	71.0	2.9						3	9	4
		無	2	59.5	2.0						1	1	
K808	胆石性膵炎	有	1	93.0	7.0								1
K810	壊疽性胆のう炎	有	1	87.0	27.0								1
K810	急性気腫性胆のう炎	有	1	70.0	5.0							1	
K810	急性胆のう炎	有	8	74.3	10.8						1	3	4
		無	3	63.0	7.0						1	2	
K811	慢性胆のう炎	有	1	79.0	5.0							1	
		無	1	48.0	3.0						1		
K828	多発性胆のうポリープ	有	1	52.0	5.0						1		
K828	胆のうポリープ	有	7	61.0	5.6						3	4	
K830	逆行性胆管炎	有	1	81.0	6.0								1
		無	3	27.0	4.3	2						1	
K830	急性化膿性胆管炎	無	3	53.0	7.0	1						1	1
K830	急性胆管炎	有	10	79.5	10.7							5	5
		無	17	74.5	7.4	1			1			4	11
K830	急性閉塞性化膿性胆管炎	有	3	91.3	6.0								3
K830	硬化性胆管炎	有	1	71.0	11.0							1	
K830	胆管炎	有	1	65.0	22.0							1	
K830	慢性胆管炎	有	1	69.0	6.0							1	
		無	1	55.0	6.0						1		
K831	胆管狭窄症	有	4	65.5	24.3						1	2	1
		無	2	70.5	2.5							2	
K831	閉塞性黄疸	有	1	74.0	3.0							1	
K838	総胆管拡張症	有	1	74.0	2.0							1	
K838	胆道閉鎖	無	1	2.0	8.0	1							
K85	ERCP後膵炎	無	2	67.5	12.5							2	
K85	アルコール性急性膵炎	無	6	49.5	12.5					3	1	2	
K85	急性膵炎	有	2	64.5	27.5						1		1
		無	18	63.4	8.8					1	7	6	4
K85	重症アルコール性急性膵炎	無	1	60.0	18.0						1		
K85	重症急性膵炎	有	1	91.0	8.0								1
		無	4	84.0	13.0							1	3
K85	胆石性急性膵炎	有	1	93.0	9.0								1
K85	胆石性膵炎	有	1	65.0	8.0							1	
		無	1	87.0	6.0								1
K85	特発性急性膵炎	無	1	92.0	10.0								1
K85	慢性膵炎急性増悪	無	1	69.0	10.0							1	
K860	アルコール性慢性膵炎	有	2	57.0	47.5						2		
		無	2	53.5	5.5						2		
K861	1型自己免疫性膵炎	無	1	61.0	9.0							1	
K861	自己免疫性膵炎	無	1	61.0	2.0							1	
K861	特発性慢性膵炎	無	1	61.0	2.0							1	
K861	慢性膵炎	有	1	77.0	31.0							1	
		無	1	43.0	3.0						1		
K862	膵のう胞	有	1	43.0	27.0						1		
		無	2	82.5	2.5							1	1
K863	仮性膵のう胞	有	4	52.5	21.0						3	1	
		無	1	46.0	27.0						1		
K863	感染性仮性膵のう胞	有	1	71.0	32.0							1	
K904	蛋白漏出性胃腸症の疑い	無	1	70.0	24.0							1	
K911	胃切除後消化障害	無	2	68.0	16.5						1	1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K913	術後イレウス	有	4	60.0	15.5						2	2	
		無	13	69.3	10.9						2	11	
K913	術後癒着性イレウス	有	12	67.1	22.5						4	6	2
		無	16	71.9	6.9							14	2
K914	人工肛門狭窄	有	2	76.0	8.5							2	
K914	人工肛門部腸管脱出	有	1	83.0	25.0								1
K918	術後食道狭窄	有	16	60.0	2.2						6	10	
		無	1	16.0	2.0			1					
K918	術後肛門狭窄	無	1	0.0	4.0	1							
K918	短腸症候群	有	1	64.0	20.0							1	
K918	胆管空腸吻合部狭窄	有	2	74.5	11.5							1	1
		無	6	73.5	3.3							5	1
K918	傍ストーマヘルニア	有	1	66.0	10.0							1	
K921	下血	有	1	81.0	9.0								1
K921	下部消化管出血	有	3	70.7	16.3						1	1	1
		無	3	72.0	5.0							3	
K922	小腸出血の疑い	無	1	53.0	5.0					1			
K922	消化管出血	有	1	87.0	33.0								1
K922	上部消化管出血	有	2	81.5	4.0							1	1
		無	3	86.3	1.3							1	2
K922	毛細血管拡張症による消化管出血	有	1	96.0	7.0								1
L00	ぶどう球菌性熱傷様皮膚症候群	無	5	2.2	6.8	3	2						
L00	水疱性膿痂疹	無	1	96.0	18.0								1
L010	全身伝染性膿痂疹	無	1	2.0	5.0	1							
L010	伝染性膿痂疹	無	1	0.0	5.0	1							
L020	頰部膿瘍	無	1	6.0	4.0			1					
L021	頸部膿瘍	有	2	19.0	14.5				2				
L022	前胸部膿瘍	有	1	61.0	36.0							1	
L023	殿部膿瘍	有	1	30.0	17.0					1			
L024	腋窩部膿瘍	無	1	67.0	10.0							1	
L031	下肢蜂巣炎	有	2	69.0	35.5						1		1
		無	7	70.4	8.4						1	5	1
L031	下腿蜂巣炎	有	3	83.3	37.7							1	2
		無	9	79.1	17.6							4	5
L031	手蜂巣炎	無	1	6.0	8.0			1					
L031	前腕蜂巣炎	無	1	72.0	12.0							1	
L031	足蜂巣炎	有	1	81.0	22.0								1
		無	5	53.2	10.4	1					2		2
L033	体幹蜂巣炎	無	1	65.0	8.0							1	
L039	顎下部蜂窩織炎	有	1	85.0	9.0								1
L040	頸部リンパ節炎	有	2	29.5	4.5			1			1		
		無	5	10.8	9.0	2	2				1		
L040	頸部化膿性リンパ節炎	無	2	2.5	7.0	1	1						
L043	股関節部急性リンパ節炎	無	1	16.0	2.0				1				
L080	側腹部慢性膿皮症	有	1	55.0	5.0						1		
L080	大腿慢性膿皮症	有	1	55.0	14.0						1		
L080	慢性膿皮症	有	3	35.3	25.0					3			
L100	尋常性天疱瘡	無	1	70.0	67.0							1	
		有	1	66.0	74.0							1	
L120	水疱性類天疱瘡	無	1	73.0	11.0							1	
		有	1	66.0	74.0							1	
L138	線状IgA水疱性皮膚症	無	1	76.0	8.0							1	
L208	成人アトピー性皮膚炎	無	1	22.0	8.0					1			
L270	播種状紅斑丘疹型薬疹	無	1	6.0	6.0			1					
L403	掌蹠膿疱症	有	1	30.0	10.0					1			
L430	肥厚性扁平苔癬	無	1	69.0	15.0							1	
L508	感染性蕁麻疹	無	1	32.0	4.0					1			
L519	多形紅斑	無	1	1.0	3.0	1							
L530	特発性中毒疹	無	1	23.0	12.0					1			
L570	顔面光線角化症	有	1	78.0	11.0							1	
L631	汎発性脱毛症	無	1	44.0	5.0						1		
L638	広汎性円形脱毛症	無	1	49.0	5.0						1		
L720	頸部アテローム	有	1	66.0	4.0							1	
L720	稗粒腫	有	1	0.0	3.0	1							
L750	腋臭症	有	2	15.0	5.5			1	1				
L80	尋常性白斑	有	1	18.0	5.0				1				
L818	色素斑の疑い	無	1	68.0	2.0							1	
L89	仙骨部褥瘡	有	2	75.0	123.0							1	1
		有	4	50.0	69.0					3			1
L89	殿部褥瘡	無	1	80.0	16.0								1
		有	1	59.0	5.0						1		
L905	上眼瞼瘢痕拘縮	有	1	59.0	5.0						1		
L905	前腕瘢痕拘縮	有	2	14.5	5.0			2					
L905	足底瘢痕拘縮	有	1	33.0	15.0					1			
L905	鼻瘢痕拘縮	有	1	74.0	2.0							1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
L905	肘癒痕拘縮	有	1	63.0	13.0								1	
L905	趾術後癒痕	有	1	11.0	5.0				1					
L910	下腿肥厚性癒痕	有	1	22.0	16.0									
L910	顔面ケロイド癒痕	有	1	76.0	10.0								1	
L910	口唇部肥厚性癒痕	有	1	49.0	6.0							1		
L910	手関節肥厚性癒痕	有	1	6.0	3.0				1					
L910	手部熱傷後癒痕ケロイド拘縮	有	1	56.0	7.0							1		
L929	気道内肉芽	有	3	7.7	3.3				3					
L97	下肢皮膚潰瘍	無	1	64.0	40.0								1	
L97	下腿難治性皮膚潰瘍	有	2	68.5	33.0								2	
L97	足部皮膚潰瘍	有	1	85.0	19.0									1
L97	大腿皮膚潰瘍	無	1	75.0	4.0								1	
L97	趾皮膚潰瘍	無	1	75.0	13.0								1	
L984	2型糖尿病性潰瘍	有	1	58.0	14.0							1		
L984	指尖難治性皮膚潰瘍	無	1	72.0	13.0								1	
M0004	小指ぶどう球菌性指関節炎	有	2	59.0	7.0							2		
M0006	MRSA膝関節炎	有	1	68.0	297.0								1	
M0006	ぶどう球菌性膝関節炎	有	1	13.0	10.0				1					
M0091	化膿性関節炎・肩関節	無	1	47.0	8.0							1		
M0093	化膿性関節炎・手関節	無	1	81.0	14.0									1
M0096	化膿性関節炎・膝関節	有	1	79.0	35.0								1	
M0690	関節リウマチ	無	1	81.0	17.0									1
M0696	関節リウマチ・膝関節	無	1	74.0	14.0								1	
M1126	膝関節偽痛風	無	2	83.5	8.5									2
M1128	頸椎偽痛風	無	2	84.0	7.5									2
M1315	股関節炎	無	1	9.0	5.0				1					
M1315	仙腸関節炎	無	1	67.0	12.0								1	
M144	股関節アミロイドーシス関節炎	有	1	81.0	17.0									1
M160	両側性原発性股関節症	有	2	62.0	29.0							1	1	
M161	一側性原発性股関節症	有	13	76.8	16.0								9	4
M162	両側性形成不全性股関節症	無	1	94.0	6.0									1
M162	両側性形成不全性股関節症	有	2	58.5	26.0							2		
M163	一側性形成不全性股関節症	有	4	64.0	26.8							1	3	
M163	形成不全性股関節症	有	1	58.0	19.0							1		
M165	一側性外傷後股関節症	有	1	61.0	12.0								1	
M166	両側性続発性股関節症	有	2	75.5	25.0								2	
M167	一側性続発性股関節症	有	2	68.5	17.0								2	
M169	変形性股関節症	有	1	71.0	18.0								1	
M170	両側性原発性膝関節症	有	21	73.3	14.9							2	13	6
M171	原発性膝関節症	有	2	66.5	17.5								2	
M173	一側性外傷後膝関節症	有	2	61.0	45.0							1	1	
M174	両側性続発性膝関節症	有	1	74.0	17.0								1	
M1903	原発性変形性手関節症	有	1	74.0	21.0								1	
M200	示指変形	有	1	60.0	2.0							1		
M201	外反母趾	有	1	50.0	11.0							1		
M2303	内側半月のう腫	有	1	69.0	10.0								1	
M2316	円板状外側半月板	有	1	17.0	12.0				1					
M2451	肩関節拘縮	有	1	50.0	6.0							1		
M2456	膝関節拘縮	有	1	38.0	4.0						1			
M300	結節性多発動脈炎の疑い	有	1	64.0	24.0									1
M300	顕微鏡的多発血管炎	有	1	78.0	65.0									1
M301	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	有	1	76.0	15.0									1
M303	急性熱性皮膚リンパ節症候群	無	2	1.5	13.0									2
M303	川崎病	無	36	2.0	9.8									
M303	不全型川崎病	無	1	2.0	13.0									1
M311	血栓性血小板減少性紫斑病	有	1	68.0	70.0								1	
M318	ANCA関連血管炎	有	1	93.0	94.0									1
M329	全身性エリテマトーデス	無	5	47.2	45.2							1	3	1
M351	混合性結合組織病	無	1	40.0	14.0							1		
M352	ベーチェット病の疑い	無	1	9.0	3.0							1		
M353	リウマチ性多発筋痛	無	3	80.3	22.7								1	2
M359	IgG4関連疾患	無	2	73.0	28.5									2
M4022	頸椎後弯	無	1	48.0	2.0								1	
M4185	胸腰椎変性側弯症	有	4	72.0	19.8									4
M4185	胸腰椎変性側弯症	無	7	71.7	2.0									7
M4312	頸椎すべり症	有	2	81.0	17.5									2
M4312	頸椎すべり症	無	2	81.0	2.0									2
M4312	頸椎変性すべり症	有	2	73.0	15.0									2
M4312	頸椎変性すべり症	無	1	73.0	3.0								1	
M4316	腰椎すべり症	有	2	55.0	14.5							1	1	
M4316	腰椎すべり症	無	2	72.5	2.0									2

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
M4316	腰椎分離すべり症	有	1	69.0	23.0							1	
		無	2	62.5	2.0						1	1	
M4316	腰椎変性すべり症	有	32	64.8	17.8					1	11	17	3
		無	45	67.7	2.2					2	6	33	4
M4361	環軸関節回旋位固定	有	1	12.0	9.0				1				
		無	2	9.0	8.5				2				
M4632	頸椎化膿性椎間板炎	有	2	68.5	15.0							2	
M4635	胸腰椎化膿性椎間板炎	有	1	79.0	73.0							1	
M4636	腰椎化膿性椎間板炎	有	1	68.0	58.0							1	
M4652	頸椎化膿性脊椎炎	有	2	86.0	30.0								2
M4654	胸椎化膿性脊椎炎	有	2	68.5	30.0					1			1
M4656	腰椎化膿性脊椎炎	有	16	79.4	29.1							6	10
M4656	腰椎化膿性脊椎炎の疑い	無	1	49.0	2.0					1			
M4712	頸椎症性脊髄症	有	50	70.0	18.0						5	39	6
		無	46	69.2	3.1					1	5	37	3
M4714	胸椎症性脊髄症	無	2	85.0	17.5								2
M4782	頸椎症	無	2	71.0	2.0							2	
M4782	変形性頸椎症	有	1	75.0	16.0							1	
		無	1	75.0	2.0							1	
M4786	変形性腰椎症	無	3	71.7	2.0							3	
M4800	胸腰椎広範脊柱管狭窄症	無	1	92.0	4.0								1
M4800	広範脊柱管狭窄症	有	1	67.0	15.0							1	
		無	2	57.5	2.0						1	1	
M4802	頸部脊柱管狭窄症	有	1	59.0	9.0						1		
		無	2	67.5	2.0						1	1	
M4806	腰部脊柱管狭窄症	有	56	70.3	14.8					1	3	44	8
		無	90	71.1	2.9					1	7	67	15
M4854	胸椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	1	84.0	23.0								1
M4856	腰椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	1	68.0	15.0							1	
M4881	軸椎歯突起後方偽腫瘍	有	6	75.2	22.0							3	3
		無	1	64.0	2.0							1	
M4882	頸椎黄色靭帯骨化症	有	1	71.0	22.0							1	
M4882	頸椎後縦靭帯骨化症	有	20	62.5	20.7						9	11	
		無	14	59.8	2.0						8	6	
M4884	胸椎黄色靭帯骨化症	有	11	67.5	15.5				1	2	7	7	1
		無	10	69.9	2.0						2	7	1
M4884	胸椎後縦靭帯骨化症	有	2	40.5	51.0				1	1			
		無	1	44.0	2.0					1			
M4886	腰椎黄色靭帯骨化症	有	2	74.0	19.0							2	
		無	1	76.0	2.0							1	
M4886	腰椎椎間関節のう腫	無	2	47.5	2.0						2		
M4909	脊椎結核	有	1	61.0	41.0							1	
M4939	非結核性抗酸菌性脊椎炎	有	2	68.0	56.0							2	
M500	頸椎椎間板ヘルニアによる脊髄症	無	1	70.0	2.0							1	
M502	頸椎椎間板ヘルニア	有	10	54.3	17.5						8	1	1
		無	9	42.8	2.0					3	6		
M512	外側型腰椎椎間板ヘルニア	有	1	29.0	6.0					1			
M512	腰椎椎間板ヘルニア	有	23	44.9	13.7				1	1	6	11	4
		無	36	52.6	3.1					8	16	12	
M512	第4・5腰椎椎間板ヘルニア	無	2	48.0	2.0					1	1		
M5438	坐骨神経痛	無	2	77.0	8.0							1	1
M5456	急性腰痛症	無	1	77.0	7.0							1	
M5485	胸背部痛	無	1	85.0	1.0								1
M5495	背部痛	無	1	89.0	3.0								1
M6259	廃用症候群	無	1	82.0	2.0								1
M6289	横紋筋融解	無	5	73.8	9.4							1	3
M6504	中指化膿性腱鞘炎	有	1	42.0	23.0						1		
M6534	示指ばね指	有	1	68.0	6.0							1	
M6586	膝・非特異性慢性滑膜炎	有	1	56.0	5.0						1		
M674	股関節ガングリオン	有	1	62.0	5.0							1	
M7075	股関節滑液包炎	有	1	76.0	3.0							1	
M7075	坐骨滑液包炎	有	1	68.0	18.0							1	
M7126	ペーカークのう腫	有	1	65.0	11.0							1	
M7260	上肢壊死性筋膜炎	有	1	10.0	20.0				1				
M7267	足部壊死性筋膜炎	無	2	8.0	5.0				2				
M7919	下肢筋肉痛	無	1	82.0	14.0								1
M8095	骨粗鬆症・骨盤部病的骨折あり	無	1	69.0	16.0							1	
M8098	骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	無	2	83.0	27.5								2
M8168	脊椎骨粗鬆症	無	1	75.0	17.0							1	
M8403	橈骨骨折後変形治癒	有	1	70.0	6.0							1	
M8409	趾変形治癒骨折	有	1	51.0	4.0						1		
M8412	上腕骨偽関節症	有	2	66.5	16.0							2	
M8415	大腿骨骨折後骨癒合不全	有	1	75.0	20.0							1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
M8418	胸椎偽関節	有	2	79.0	18.0								1	1
		無	2	80.5	2.0								1	1
M8418	腰椎偽関節	有	3	83.0	11.7									3
		無	1	73.0	2.0								1	
M8445	大腿骨上部病的骨折	有	1	82.0	10.0									1
M8448	脊椎病的骨折	有	1	72.0	14.0								1	
M8559	大腿骨動脈瘤様骨のう腫	有	1	26.0	7.0					1				
M8624	母指亜急性骨髄炎	有	2	57.0	6.5							2		
M8666	脛骨慢性骨髄炎	無	1	81.0	17.0									1
M8697	趾骨髄炎	有	1	92.0	44.0									1
M8698	胸骨骨髄炎	有	2	75.5	78.5								1	1
M8699	下顎骨髄炎	無	1	81.0	4.0									1
M8705	特発性大腿骨頭壊死	有	2	71.5	17.0								2	
M8705	特発性大腿骨内顆骨壊死	有	3	68.7	14.0						1		1	1
M8715	ステロイド性大腿骨頭壊死	有	1	77.0	21.0								1	
M8785	大腿骨頭壊死	有	2	67.0	15.0						1		1	
M960	関節固定術後偽関節	有	1	79.0	12.0								1	
M966	人工膝関節周囲骨折	有	1	77.0	68.0								1	
M966	大腿骨インプラント周囲骨折	有	8	82.5	21.5								3	5
N019	急速進行性糸球体腎炎	有	1	85.0	77.0									1
N028	IgA腎症	有	6	33.3	10.8				1	2	3			
		無	20	31.7	4.6				6	8	5	1		
N039	慢性糸球体腎炎	無	2	51.5	4.0					1			1	
N039	慢性糸球体腎炎の疑い	無	20	48.2	3.8				2	6	7	5		
N040	微小変化型ネフローゼ症候群	無	1	95.0	82.0									1
N049	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	無	1	16.0	4.0				1					
N049	ネフローゼ症候群	有	3	78.0	213.7								2	1
		無	11	44.9	31.5	1	1	1			2	1	3	2
N049	難治性ネフローゼ症候群	有	1	28.0	182.0						1			
		無	1	67.0	156.0								1	
N082	紫斑病腎炎	無	3	10.0	12.7				3					
N083	2型糖尿病性腎症	有	1	63.0	63.0								1	
N083	2型糖尿病性腎症第4期	無	1	73.0	66.0								1	
N083	2型糖尿病性腎症第5期	有	1	45.0	57.0						1			
N085	ループス腎炎	無	1	32.0	10.0					1				
N10	急性腎盂腎炎	有	6	68.2	26.5					1	1	1	1	3
		無	51	45.8	7.6	15		3	1	3	3	14	12	
N10	急性腎盂腎炎の疑い	無	1	66.0	8.0								1	
N10	急性巣状細菌性腎炎	無	1	5.0	20.0		1							
N10	単純性腎盂腎炎	有	1	80.0	13.0									1
N118	非閉塞性慢性腎盂腎炎	有	1	64.0	12.0								1	
N12	水腎症を伴う腎盂腎炎	有	15	84.1	5.5					1	1	3	3	10
		無	5	61.2	11.4	1							3	1
N131	尿管狭窄を伴う水腎症	有	49	67.4	3.3					3	7	32	7	
N132	腎結石性閉塞を伴う水腎症	有	2	68.0	9.0						1			1
N132	尿管結石性閉塞を伴う水腎症	有	26	69.0	6.0					2	4	14	6	
		無	2	74.5	8.0								2	
N133	腎症	無	1	29.0	4.0					1				
N135	後腹膜線維症	無	1	70.0	12.0								1	
N137	膀胱尿管逆流	有	2	1.0	8.0	2								
		無	1	0.0	4.0	1								
N151	腎膿瘍	有	1	88.0	16.0									1
N170	急性腎性腎不全	有	2	73.5	21.5							1		1
N178	急性腎後性腎不全	有	11	59.7	14.0					3	3	2	3	
		無	2	85.5	9.0									2
N178	急性腎前性腎不全	有	1	77.0	8.0								1	
		無	4	80.5	12.8								2	2
N179	急性腎不全	有	1	88.0	29.0									1
		無	5	63.6	20.4						3	1	1	
N180	末期腎不全	有	8	65.4	34.1					1	2	3	2	
		無	12	61.4	8.4					1	5	4	2	
N180	慢性腎臓病ステージG5	有	14	53.1	28.4				1	1	9	2	1	
		無	2	83.5	13.5									2
N188	2型糖尿病性腎不全	有	1	59.0	39.0						1			
N188	腎性網膜症	有	1	16.0	22.0				1					
N188	慢性腎臓病ステージG3	無	1	45.0	2.0						1			
N188	慢性腎臓病ステージG4	有	1	71.0	10.0								1	
		無	1	70.0	38.0								1	
N189	慢性腎不全	有	19	60.4	31.8	1					7	8	3	
		無	23	71.2	12.3						5	11	7	
N19	腎性貧血	無	1	87.0	2.0									1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
N200	腎結石症	有	4	51.3	6.8					2		2	
		無	1	80.0	1.0								1
N201	尿管結石症	有	9	60.2	4.6				1		4	2	2
		無	3	27.3	2.7				1	2			
N209	結石性腎盂腎炎	有	6	79.2	9.8							3	3
		無	2	81.5	7.0								2
N209	尿路結石症	無	3	39.3	4.7					3			
N210	膀胱結石症	有	9	77.4	5.7							4	5
N259	急性尿細管障害	無	1	70.0	24.0								1
N280	腎梗塞	有	1	72.0	15.0								1
		無	1	69.0	7.0								1
N288	腎出血	有	1	92.0	13.0								1
N288	尿管瘤	無	1	1.0	3.0	1							
N289	慢性腎臓病	無	1	67.0	91.0								1
N300	急性出血性膀胱炎	有	2	83.0	6.5								2
		無	1	57.0	11.0						1		
N301	間質性膀胱炎	有	2	56.5	10.0						1		1
N308	気腫性膀胱炎	無	1	76.0	31.0								1
N308	尿管膿瘍	有	1	21.0	4.0					1			
N312	自律性神経因性膀胱	無	3	3.0	8.7			3					
N319	神経因性膀胱	無	1	4.0	5.0			1					
N321	結腸膀胱瘻	有	1	85.0	24.0								1
N321	直腸膀胱瘻	有	3	69.0	4.3								3
		無	1	71.0	10.0								1
N328	膀胱出血	有	2	82.0	10.5								1
N359	尿道狭窄症	有	1	27.0	3.0					1			
N360	尿道直腸瘻	有	1	74.0	5.0								1
N390	急性尿路感染	無	1	45.0	7.0						1		
N390	尿路感染症	有	1	85.0	46.0								1
		無	21	82.3	14.0							8	13
N390	複雑性尿路感染症	無	2	3.0	5.5			2					
N40	前立腺肥大症	有	28	74.4	7.2						2	18	8
N410	急性細菌性前立腺炎	無	3	75.0	7.7						1		2
N421	前立腺出血	有	1	87.0	15.0								1
N433	陰嚢水腫	有	30	8.0	3.1	17	6	4		1	1	1	
		無	1	3.0	2.0		1						
N434	精液瘤	有	1	58.0	4.0						1		
N44	精巣捻転症	有	3	16.0	3.0	1			1	1			
N46	精子減少症	無	1	38.0	1.0					1			
N46	無精子症	無	2	31.5	1.0					2			
N47	真性包茎	有	2	35.0	3.0					2			
N47	包茎	有	2	11.5	3.0			2					
N47	嵌頓包茎	有	2	11.0	2.0			2					
N61	乳腺膿瘍	有	1	85.0	5.0								1
N62	女性化乳房症	有	1	24.0	6.0					1			
N645	陥没乳頭	有	1	38.0	8.0					1			
N700	急性卵管膿腫	無	1	37.0	7.0					1			
N700	急性卵管卵巣膿瘍	有	1	58.0	14.0						1		
N701	慢性卵管卵巣膿瘍	有	1	43.0	6.0						1		
N701	卵管留水症	有	1	32.0	6.0					1			
N710	急性子宮留膿腫	有	1	87.0	29.0								1
N710	急性子宮留膿症	無	1	85.0	13.0								1
N711	慢性子宮留膿腫	有	1	74.0	10.0								1
N733	急性骨盤腹膜炎	無	7	45.0	10.1					3	3	1	
N734	慢性骨盤膿瘍(女性)	有	1	18.0	7.0			1					
N736	卵管癒着	有	1	29.0	6.0					1			
N739	骨盤膿瘍(女性)	有	1	53.0	46.0						1		
		無	1	67.0	13.0								1
N771	外陰部ヘルペス	有	1	25.0	7.0					1			
N800	子宮腺筋症	有	13	46.5	7.9					2	11		
N801	チョコレート嚕胞	有	6	39.7	6.8					4	2		
N801	卵巣子宮内膜症の嚕胞	有	10	36.5	6.2					7	3		
N803	骨盤子宮内膜症	有	3	41.3	7.3					2	1		
		無	1	48.0	5.0						1		
N809	外性子宮内膜症	無	1	33.0	6.0					1			
N811	膀胱瘤	有	1	88.0	5.0								1
N811	膀胱瘤(女性)	有	2	71.0	7.0								2
N812	子宮下垂	有	1	69.0	8.0								1
N812	子宮脱1度	有	2	67.0	8.0								2
		有	4	61.8	6.5						1		3
		無	2	66.0	5.0								2
N812	不全子宮脱	有	1	83.0	8.0								1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
N813	完全子宮脱	有	3	69.7	7.7								3	
		無	1	73.0	1.0								1	
N813	子宮脱3度	有	2	46.5	7.5							2		
		無	1	57.0	7.0						1			
N836	卵管留血腫	有	1	47.0	6.0						1			
N838	卵巣出血	無	1	28.0	6.0					1				
N840	子宮内膜ポリープ	有	4	36.3	4.3					3	1			
N850	子宮内膜増殖症	有	3	48.0	3.0						3			
N851	子宮内膜異型増殖症	有	3	48.7	6.0						3			
N870	子宮頸部軽度異形成	有	1	43.0	3.0						1			
N871	子宮頸部中等度異形成	有	20	37.6	3.0				1	12	7			
		無	1	20.0	2.0			1						
N872	子宮頸部高度異形成	有	47	38.5	3.3					30	17			
N872	子宮頸部上皮異形成・異型度3	有	1	53.0	6.0						1			
N891	膣上皮異形成・異型度2	有	2	55.0	3.0					1		1		
N895	膣閉鎖	有	1	2.0	3.0	1								
N920	過多月経	有	4	47.5	4.5							4		
		無	1	45.0	6.0						1			
N939	子宮出血	有	1	67.0	5.0							1		
N946	月経困難症	無	1	23.0	5.0					1				
N971	卵管性不妊症	有	1	31.0	6.0					1				
N971	卵管閉塞	有	1	36.0	6.0					1				
N980	人工授精後骨盤内炎症性疾患	無	1	38.0	3.0					1				
N981	卵巣過剰刺激症候群	有	1	32.0	27.0					1				
		無	3	32.0	4.0					3				
N993	子宮切除後膣壁脱	有	1	86.0	8.0									1
O001	卵管妊娠	有	1	31.0	5.0					1				
O001	卵管妊娠破裂	有	2	26.5	6.5					2				
O001	卵管流産	無	2	28.5	4.0					2				
O009	異所性妊娠	有	1	32.0	5.0					1				
O021	稽留流産	有	5	31.6	2.6					5				
O034	不全流産	有	1	25.0	3.0					1				
O039	自然流産	無	2	34.0	2.5					2				
O049	人工妊娠中絶	有	1	29.0	2.0					1				
		無	3	28.7	4.0				1	1	1			
O11	加重型妊娠高血圧腎症	無	1	35.0	2.0					1				
O13	軽症妊娠高血圧症候群	有	2	34.0	9.5					2				
		無	6	35.0	7.0					6				
O13	軽症妊娠高血圧腎症	有	3	38.3	16.7					3				
		無	4	37.3	9.8					3	1			
O141	HELLP症候群	有	4	34.3	10.0					3	1			
O141	重症妊娠高血圧症候群	有	8	35.8	10.8					8				
		無	8	35.3	9.1				1	6	1			
O141	重症妊娠高血圧腎症	有	12	34.6	12.5					11	1			
		無	1	40.0	32.0					1				
O149	早発型妊娠高血圧症候群	無	2	31.0	3.5					2				
O149	妊娠高血圧腎症	有	1	28.0	11.0					1				
		無	2	35.5	6.0					1	1			
O200	切迫流産	無	9	36.1	6.4					8	1			
O208	絨毛膜下血腫	無	7	33.9	13.9					6	1			
O211	重症妊娠悪阻	無	6	30.5	9.2					6				
O211	脱水を伴う妊娠悪阻	無	1	36.0	6.0					1				
O230	妊娠中の腎感染症	無	1	31.0	4.0					1				
O241	2型糖尿病合併妊娠	無	4	35.8	7.8					4				
O244	ハイリスク妊娠糖尿病	無	1	44.0	3.0						1			
O244	妊娠糖尿病	無	18	36.7	7.1					12	6			
O244	妊娠糖尿病の疑い	無	1	32.0	3.0					1				
O300	一絨毛膜二羊膜性双胎	有	3	36.3	7.0					2	1			
O300	双胎妊娠	有	15	33.2	10.7				1	13	1			
O300	二絨毛膜二羊膜性双胎	有	3	25.3	10.0				1	2				
O321	骨盤位	有	23	35.7	7.4					20	3			
O321	骨盤位のための母体管理	有	3	39.3	7.0					2	1			
O331	狭骨盤	有	1	32.0	7.0					1				
O332	骨盤入口狭窄	有	1	24.0	6.0					1				
O335	巨大児による骨盤不均衡	有	1	32.0	21.0					1				
O339	児頭骨盤不均衡	有	7	38.1	7.1					5	2			
O339	児頭骨盤不適合	有	1	38.0	10.0					1				
O341	筋腫合併妊娠	有	5	34.2	15.0					5				
		無	3	30.0	12.7					3				
O341	筋腫合併分娩	無	1	37.0	5.0					1				
O342	既往子宮術後妊娠	有	2	39.0	8.5					1	1			
O342	既往子宮術後分娩	有	2	38.5	7.0					2				
O342	既往帝切後妊娠	有	104	33.8	7.0					93	11			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
O343	子宮頸管無力症のための母体管理	有	15	29.8	9.8				1	14				
		無	1	44.0	5.0						1			
O344	頸管熟化不全	有	2	30.5	8.5					2				
		無	12	33.6	6.5			1	9	2				
O351	胎児染色体異常の疑い	無	2	31.5	1.0					1	1			
O358	胎児胸水	無	1	20.0	17.0			1						
O359	胎児異常	有	1	39.0	7.0					1				
O359	胎児奇形	無	1	36.0	18.0					1				
O364	子宮内胎児死亡	有	2	32.0	3.0					2				
		無	2	35.5	3.5					2				
O364	子宮内胎児死亡のための母体管理	無	5	32.4	4.4					5				
O365	子宮内胎児発育不全のための母体管理	有	9	33.8	18.6					9				
		無	5	30.8	24.6			1	3	1				
O365	胎盤機能低下のための母体管理	有	1	28.0	6.0					1				
		無	3	35.3	4.3					3				
O40	胎児因子による羊水過多症	有	1	39.0	6.0					1				
		無	1	39.0	3.0					1				
O410	羊水過少症	無	1	32.0	7.0					1				
O411	羊水感染症	無	3	39.7	1.7					2	1			
O411	羊水感染症の疑い	無	5	38.4	1.2					4	1			
O411	絨毛膜羊膜炎	有	2	28.5	15.5			1	1					
O420	前期破水・分娩開始が破水後24時間未満	有	1	33.0	6.0					1				
		無	2	35.5	7.0					2				
O421	前期破水・分娩開始が破水後24時間以降	有	1	37.0	8.0					1				
		無	2	34.5	7.5					2				
O422	前期破水・治療による分娩遷延	有	1	26.0	7.0					1				
O429	前期破水による羊水過少症	無	2	36.5	58.5					1	1			
O429	前期破水の疑い	無	1	35.0	3.0					1				
O430	双胎児間輸血症候群	無	2	38.0	15.5					2				
O438	胎盤機能不全症	有	1	35.0	7.0					1				
O441	後に低置胎盤	有	1	36.0	7.0					1				
O441	出血を伴う前置胎盤	有	1	35.0	4.0					1				
		無	1	28.0	2.0					1				
O441	出血を伴う低置胎盤	有	1	41.0	25.0						1			
		無	1	41.0	7.0						1			
O441	全前置胎盤	有	5	34.4	38.6					5				
O441	低置胎盤	有	7	35.7	9.7					7				
O441	辺縁前置胎盤	有	3	31.3	13.7					3				
O450	凝固障害を伴う常位胎盤早期剥離	有	2	33.0	8.0					2				
O459	常位胎盤早期剥離	有	2	27.5	6.5					2				
O459	常位胎盤早期剥離の疑い	無	3	26.3	2.0					3				
O459	胎盤早期剥離の疑い	無	1	29.0	4.0					1				
O470	切迫早産	有	49	32.8	40.4					47	2			
		無	66	33.0	25.3					62	4			
O470	妊娠満37週以前の偽陣痛	無	1	27.0	1.0					1				
O471	妊娠満37週以後の偽陣痛	無	14	34.2	1.5					13	1			
O471	妊娠満37週以後の前陣痛	無	1	32.0	2.0					1				
O479	前駆陣痛	無	7	29.9	1.6				1	5	1			
O48	分娩予定日超過	無	1	40.0	8.0					1				
O60	自然早産	無	2	31.0	9.0					2				
O620	原発性陣痛微弱	有	4	30.8	6.8					4				
		無	12	33.8	6.7					9	3			
O621	続発性陣痛微弱	有	10	36.8	7.0					7	3			
		無	9	30.9	5.9					9				
O622	微弱陣痛	有	1	34.0	7.0					1				
		無	5	30.8	7.2					5				
O623	急産	無	2	36.0	5.5					2				
O624	切迫子宮破裂	有	11	32.7	7.6					10	1			
		無	1	40.0	13.0					1				
O624	切迫子宮破裂の疑い	無	3	30.0	2.3					3				
O630	第1期遷延分娩	有	2	34.5	6.5					2				
O631	第2期遷延分娩	有	6	33.5	6.7					6				
		無	1	22.0	6.0					1				
O639	遷延分娩	無	1	27.0	6.0					1				
O640	後方後頭位による分娩停止	有	4	36.3	6.8					2	2			
O640	児頭回旋異常による分娩停止	有	11	33.7	7.6					9	2			
O640	不正軸廻入による分娩停止	有	1	36.0	6.0					1				
O651	児型骨盤による分娩停止	有	1	39.0	7.0					1				
O651	単純狭骨盤による分娩停止	有	1	31.0	7.0					1				
O654	胎児骨盤不均衡による分娩停止	有	8	33.9	7.3					7	1			
O655	軟産道強靱症による分娩停止	有	6	33.3	8.2					5	1			
O662	巨大児による分娩停止	有	1	42.0	11.0						1			
O669	分娩停止	有	3	34.7	6.7					3				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
O680	胎児徐脈	有	5	33.6	6.4					5			
		無	2	35.5	4.5					1	1		
O680	胎児心音異常	有	14	34.4	7.8					12	2		
		無	4	32.5	4.8			1	2	1			
O680	胎児心音不良	有	1	33.0	6.0					1			
O680	胎児頻脈	有	2	31.5	6.5					2			
O680	胎児不整脈	有	1	39.0	7.0					1			
		無	1	34.0	2.0					1			
O683	胎児ジストロシスの生化学的異常を合併する分娩	有	20	33.4	7.0				1	16	3		
		無	3	33.0	6.0					2	1		
O690	臍帯下垂	有	1	46.0	7.0						1		
O703	会陰裂傷第4度	有	1	33.0	6.0					1			
O720	胎盤遺残	有	1	34.0	2.0					1			
		無	1	42.0	5.0						1		
O721	弛緩出血	有	3	33.3	7.0					3			
O723	分娩後DIC	有	2	30.5	10.5					2			
O800	自然頭位分娩	有	2	28.5	7.5					2			
		無	308	32.2	5.8			1	6	289	12		
O821	緊急帝王切開による分娩	無	1	32.0	4.0					1			
O908	産褥子宮退縮不全	無	2	31.5	3.0					2			
O991	特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠	有	1	31.0	12.0					1			
O994	妊娠期脳血管疾患合併症	有	1	38.0	6.0					1			
P034	帝王切開症候群	無	1	0.0	4.0	1							
P070	超低出生体重児	有	8	0.0	119.4	8							
		無	3	0.0	161.7	3							
P070	超低出生体重児(999g以下)	有	1	0.0	108.0	1							
		無	3	0.0	92.3	3							
P071a	極低出生体重児	有	5	0.0	107.0	5							
		無	8	0.0	73.8	8							
P071a	極低出生体重児(1000-1499g)	有	1	0.0	37.0	1							
		無	44	0.0	26.3	44							
P071b	低出生体重児	有	2	0.0	55.5	2							
		無	41	0.0	22.9	41							
P071b	低出生体重児(1500-2499g)	有	2	0.0	15.5	2							
		無	2	0.0	160.5	2							
P073	早産児	無	2	0.0	15.5	2							
P210	重症新生児仮死	有	2	0.0	160.5	2							
		無	4	0.0	97.8	4							
P219	軽症新生児仮死	有	1	0.0	4.0	1							
		無	1	0.0	8.0	1							
P219	新生児仮死	有	1	0.0	8.0	1							
		無	2	0.0	6.0	2							
P220	新生児特発性呼吸窮迫症候群	無	1	0.0	9.0	1							
P221	新生児一過性多呼吸	無	37	0.0	7.2	37							
P228	新生児呼吸障害	無	1	0.0	7.0	1							
P240	胎便吸引症候群	無	13	0.0	6.2	13							
P251	新生児気胸	無	1	0.0	14.0	1							
P282	新生児アノーゼ発作	無	2	0.0	9.5	2							
P284	新生児無呼吸発作	無	21	0.0	5.9	21							
P285	新生児呼吸不全	無	1	0.0	12.0	1							
P291	新生児心調律障害	有	1	0.0	12.0	1							
		無	1	0.0	16.0	1							
P293	新生児遷延性肺高血圧症	無	2	0.0	5.5	2							
P351	先天性サイトメガロウイルス感染症	無	1	0.0	76.0	1							
P399	新生児感染症	無	4	0.0	4.5	4							
P541	新生児メレナ	無	5	0.0	3.8	5							
P543	新生児胃腸出血	無	1	0.0	2.0	1							
P559	新生児溶血性貧血	有	4	0.0	2.5	4							
P599	新生児黄疸	無	54	0.0	3.5	54							
P610	新生児血小板減少症	有	3	0.0	13.0	3							
P704	新生児一過性低血糖症	無	11	0.0	3.4	11							
P704	新生児低血糖	無	27	0.0	4.6	27							
P808	新生児低体温症	無	2	0.0	5.0	2							
P819	新生児発熱	無	7	0.0	5.1	7							
P90	新生児痙攣	無	2	0.0	12.0	2							
P90	新生児痙攣の疑い	無	1	0.0	1.0	1							
P920	新生児溢乳	無	1	0.0	4.0	1							
P920	新生児嘔吐	無	5	0.0	7.4	5							
P922	哺乳不全	無	5	0.0	8.0	5							
Q000	胎児無頭蓋症	無	1	29.0	4.0					1			
Q031	ダンディ・ウォーカー症候群	有	1	13.0	9.0			1					
Q042	全前脳胞症	無	1	0.0	1.0	1							
Q043	水頭症性無脳症	有	1	8.0	13.0			1					
		無	1	7.0	3.0			1					
Q043	脳形成不全性水頭症	無	2	3.5	5.0		2						
Q046	裂脳症	有	1	0.0	346.0	1							

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
Q059	脊髄髄膜瘤	有	2	0.0	23.0	2								
Q070	キアリ奇形第1奇形	有	1	17.0	17.0				1					
Q100	先天性眼瞼下垂	有	1	6.0	4.0			1						
Q172	小耳症	有	1	12.0	17.0			1						
Q178	埋没耳	有	1	12.0	6.0			1						
Q180	側頸のう胞	有	2	22.0	7.5			1		1				
Q181	先天性耳瘻孔	有	4	20.8	3.5			2		2				
Q200	総動脈幹	有	1	1.0	13.0	1								
		無	5	0.6	14.0	5								
Q210	心室中隔欠損症	無	5	0.6	6.4	4	1							
Q211	心房中隔欠損症	有	2	45.5	16.0				1				1	
		無	4	40.3	3.3		1	1				2		
Q213	ファロー四徴症	無	2	0.5	6.0	2								
Q221	先天性肺動脈弁狭窄症	無	1	0.0	2.0	1								
Q225	エプスタイン病	無	1	1.0	2.0	1								
Q234	左心低形成症候群	無	2	5.0	4.5		2							
Q250	動脈管開存症	有	1	17.0	11.0				1					
Q251	大動脈弓離断症	有	1	0.0	10.0	1								
		無	2	0.5	45.0	2								
Q254	右側大動脈弓	無	1	0.0	3.0	1								
Q255	純型肺動脈閉鎖	無	2	0.0	4.5	2								
Q255	肺動脈閉鎖症	有	1	8.0	4.0			1						
Q273	末梢性動静脈奇形	無	1	67.0	4.0								1	
Q282	脳動静脈奇形	有	1	41.0	20.0							1		
Q283	小脳海綿状血管腫	無	1	38.0	16.0					1				
Q283	脳幹部海綿状血管腫の疑い	無	1	88.0	3.0									1
Q330	先天性嚢胞性腺腫様肺奇形	無	1	0.0	16.0	1								
Q332	肺分画症	有	1	19.0	15.0				1					
Q353	軟口蓋裂	有	1	1.0	4.0	1								
Q369	片側性唇裂	有	1	0.0	3.0	1								
Q379	片側性唇顎口蓋裂	有	1	0.0	4.0	1								
		無	1	0.0	6.0	1								
Q388	梨状窩瘻	有	2	19.0	16.5				2					
Q390	食道閉鎖	有	1	0.0	356.0	1								
Q400	肥厚性幽門狭窄症	有	1	0.0	4.0	1								
Q410b	十二指腸閉鎖	有	1	0.0	21.0	1								
Q419b	小腸閉鎖	有	2	0.0	24.5	2								
Q423b	高位鎖肛	有	2	0.0	17.0	2								
Q423b	低位鎖肛	有	1	0.0	10.0	1								
Q431	ヒルシュスプルング病の疑い	無	2	1.5	2.0	1	1							
Q433a	腸回転異常	有	1	0.0	10.0	1								
Q437	総排泄腔遺残	有	1	0.0	33.0	1								
Q444	先天性胆道拡張症	無	1	4.0	14.0			1						
Q446	多発性肝のう胞	無	5	52.0	8.2							5		
Q531	停留精巣	有	8	2.1	3.0	6	1	1						
		無	1	1.0	2.0	1								
Q532	両側性停留精巣	有	4	3.3	3.0	2	1	1						
		無	1	1.0	1.0	1								
Q539	停留精巣(停留睾丸)	有	5	2.4	3.0	3	2							
		無	1	1.0	2.0	1								
Q540	冠状溝部尿道下裂	有	1	3.0	11.0		1							
Q541	陰茎部尿道下裂	有	1	3.0	18.0		1							
Q552	遊走精巣	有	1	7.0	3.0			1						
Q614	多のう胞性異形成腎	無	1	32.0	4.0					1				
Q621	腎盂尿管移行部狭窄	有	1	22.0	8.0					1				
Q642	先天性後部尿道弁	無	1	0.0	2.0	1								
Q644	尿管のう胞	有	2	26.0	5.0				1	1				
Q676	漏斗胸	有	2	13.0	10.0			1	1					
Q699	多指症	有	1	3.0	3.0			1						
Q700	複雑性合指症	有	1	2.0	6.0	1								
		無	1	1.0	2.0	1								
Q704	母指多合指症	有	1	0.0	3.0	1								
Q771	タナトフォリック骨異形成症	無	1	0.0	1.0	1								
Q792	臍帯ヘルニア	無	1	0.0	53.0	1								
Q831	副乳	有	1	42.0	6.0						1			
Q850	神経線維腫症1型	有	2	61.0	15.0								2	
		無	1	16.0	3.0				1					
Q871	ドラング症候群	無	2	10.5	4.0			2						
Q891	副腎皮質形成不全	無	1	10.0	2.0			1						
Q892	甲状舌管のう胞	有	1	24.0	5.0					1				
Q892	正中頸のう胞	有	1	3.0	4.0			1						
Q909	ダウン症候群	無	2	1.0	18.5	2								
Q920	エマヌエル症候群	無	1	4.0	8.0		1							

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
R000	頻脈性不整脈	有	1	68.0	6.0								1	
R001	徐脈性失神の疑い	有	1	90.0	2.0									1
R02	下肢壊疽	有	1	65.0	20.0								1	
R040	鼻出血症	有	2	85.0	11.5									2
		無	4	70.0	5.0					1		1	2	
R042	喀血	有	1	78.0	5.0								1	
		無	6	70.7	6.5						1		4	1
R048	肺出血	有	1	69.0	9.0								1	
		無	3	58.0	3.0						1		2	
R048	肺胞出血	有	1	82.0	15.0									1
R068	CO2ナルコーシス	無	1	94.0	10.0									1
R068	無呼吸発作	無	1	0.0	3.0	1								
R090	低酸素血症	無	1	92.0	1.0									1
R11	アセトン血性嘔吐症	無	3	11.0	3.3			3						
R18	難治性腹水	無	1	73.0	19.0								1	
R190	腹部腫瘤	無	1	32.0	3.0					1				
R252	痙攣	無	1	48.0	2.0						1			
R402	意識障害	無	5	69.8	3.8				1				1	3
R402	遷延性意識障害	無	1	66.0	6.0								1	
R42	めまい症	無	2	70.0	2.0						1			1
R509	発熱	無	1	75.0	3.0								1	
R509	不明熱	無	2	45.0	9.5			1					1	
R54	老衰	無	1	90.0	13.0									1
R55	失神	有	3	75.7	2.0								2	1
		無	2	57.0	2.5					1				1
R55	心臓性失神の疑い	有	1	89.0	2.0									1
R560	熱性痙攣	無	29	2.1	3.4	21	7	1						
R560	複雑型熱性痙攣	無	9	1.9	4.1	8		1						
R568	無熱性痙攣	無	4	6.0	2.0	2		2						
R568	痙攣重積発作	無	4	5.3	2.3	1	2	1						
R570	心原性ショック	無	1	83.0	8.0									1
R571	循環血液量減少性ショック	有	1	43.0	4.0						1			
R610	手多汗症	有	2	19.5	3.5				2					
R628	体重増加不全	無	4	0.0	17.3	4								
S000	後頭部打撲傷	無	3	33.0	6.0	1	1							1
S000	頭部打撲	無	3	62.0	3.3			1						2
S000	頭部皮下血腫	無	1	78.0	2.0								1	
S001	前額部打撲傷	無	1	83.0	6.0									1
S010	後頭部挫創	有	1	55.0	2.0						1			
S010	後頭部裂創	有	1	76.0	2.0								1	
S010	前頭部挫創	有	2	49.0	2.0			1						1
		無	1	5.0	2.0				1					
S010	側頭部挫創	有	1	40.0	1.0					1				
S010	頭部割創	有	1	84.0	4.0									1
S010	頭部挫創	有	3	73.3	10.7						1	1	1	1
S012	鼻部裂創	有	1	88.0	9.0									1
S014	下顎裂創	有	2	67.5	5.5								2	
S015	口唇挫創	無	1	17.0	2.0				1					
S015	口唇裂創	有	1	43.0	2.0						1			
S017	顔面多発挫創	有	2	28.5	7.0			1			1			
S0200	前頭骨骨折	無	1	78.0	1.0								1	
S0200	頭頂骨骨折	有	2	3.5	14.5	1		1						
		無	1	65.0	6.0								1	
S0200	頭頂骨線状骨折	無	1	0.0	2.0	1								
S0210	後頭骨陥没骨折	有	1	65.0	6.0								1	
S0210	側頭骨骨折	有	1	69.0	13.0								1	
S0210	頭蓋底骨折	有	3	73.3	19.7								3	
		無	1	6.0	5.0			1						
S0211	眼窩上蓋開放骨折	有	2	53.0	7.0			1						1
S0220	鼻骨骨折	有	4	32.3	2.5			1		2	1			
		無	1	9.0	2.0			1						
S0230	眼窩底骨折	有	3	12.7	10.7			1	2					
		無	2	20.5	3.5	1				1				
S0231	眼窩底開放骨折	有	1	62.0	18.0								1	
S0240	頬骨弓骨折	有	1	78.0	2.0									1
		無	1	78.0	2.0									1
S0240	頬骨骨折	有	13	47.3	8.1			1	1	4	3	4		
		無	6	45.8	15.7			1	1		2	2		
S0260	下顎頭骨折	無	3	39.7	13.7			2						1
S0260	下顎頭骨折	無	1	48.0	7.0						1			
S0270	顔面多発骨折	有	3	74.0	16.7						1	1	1	1
S0280	眼窩骨折	有	2	59.5	12.5						1	1		
S0280	眼窩内側壁骨折	有	1	14.0	8.0			1						

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S0280	齒槽骨骨折	無	1	17.0	2.0				1					
S0291	頭蓋骨開放骨折	有	1	53.0	26.0						1			
S051	眼球打撲傷	無	1	76.0	7.0								1	
S058	網膜振盪	無	1	70.0	10.0								1	
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	6	38.3	7.3			1	1	1	1		2	
S0610	外傷性脳浮腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	40.0	2.0					1				
S0610	外傷性脳浮腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	63.0	4.0								1	
S0620	脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	85.0	7.0									1
S0620	脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	2	46.0	6.0			1						1
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	4	69.0	18.5				1					3
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	4	77.0	18.3								2	2
S0631	外傷性脳内血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	60.0	17.0						1			
S0631	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	42.0	7.0						1			
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	2	61.5	15.5						1	1		
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	5	24.8	14.8	1	1	1						
S0650	外傷性硬膜下水腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	71.0	3.0								1	
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	有	22	79.5	12.1						1	11	10	
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	無	5	74.2	6.8						1	3	1	
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	10	76.5	29.2						1	4	5	
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	19	74.9	7.9			1				6	11	
S0650	閉鎖性急性硬膜下血腫	無	1	74.0	3.0								1	
S0651	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	76.0	1.0								1	
S0651	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併あり	無	7	74.1	23.3								6	1
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	14	63.1	9.6				1		6	3	4	
S0680	外傷性脳内血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	4	81.0	14.3								1	3
S0681	外傷性髄液鼻漏・頭蓋内に達する開放創合併あり	無	1	69.0	23.0								1	
S071	頭皮挫減創	有	1	2.0	2.0	1								
S099	口腔内損傷	無	1	2.0	7.0	1								
S100	咽頭部血腫	有	1	92.0	15.0									1
S100	咽頭部血腫	無	1	91.0	15.0									1
S101	咽頭部損傷	無	1	8.0	6.0			1						
S1200	環椎骨折	有	2	58.0	18.5							2		
S1210	軸椎骨折	有	8	71.9	18.3							2	4	2
S1210	軸椎骨折	無	2	65.0	3.0							1	1	
S1220	頸椎骨折	有	1	90.0	18.0									1
S1220	頸椎脱臼骨折	有	1	70.0	14.0								1	
S1220	頸椎破裂骨折	有	1	40.0	21.0					1				
S1270	頸椎多発骨折	有	3	87.0	16.3									3
S1290	頸椎椎弓骨折	有	1	81.0	26.0									1
S131	外傷性頸椎椎間板ヘルニア	有	2	47.0	18.0					1	1			
S131	外傷性頸椎椎間板ヘルニア	無	2	46.0	9.0					1	1			
S131	環軸関節亜脱臼	有	3	73.3	15.7								2	1
S131	環軸関節亜脱臼	無	2	69.0	3.5								2	
S131	環軸椎関節亜脱臼	無	1	81.0	2.0									1
S131	頸椎亜脱臼	有	1	79.0	25.0								1	
S131	頸椎脱臼	有	1	45.0	23.0						1			
S131	頸椎脱臼	無	1	75.0	2.0								1	
S134	頸椎捻挫	無	3	44.0	2.3					2			1	
S140	頸髄振盪	無	1	72.0	2.0								1	
S141	下位頸髄損傷	有	1	64.0	14.0								1	
S141	下位頸髄損傷	無	1	63.0	23.0								1	
S141	頸髄損傷	有	6	68.7	31.3					1			2	3
S141	頸髄損傷	無	3	69.7	14.0							1	1	1
S141	頸髄不全損傷	有	7	54.3	27.9					2	3	2		
S141	頸髄不全損傷	無	2	45.5	2.0					1	1			
S141	頸椎損傷	有	3	58.7	9.7						1	2		
S141	頸椎損傷	無	2	67.0	4.0						1	1		
S141	中心性頸髄損傷	有	2	58.5	47.5					1				1
S141	中心性頸髄損傷	無	18	63.2	10.3					2	6	8	2	
S141	非骨傷性頸髄損傷	無	1	80.0	19.0									1
S143	腕神経叢引き抜き損傷	無	1	30.0	3.0					1				
S197	多発性頸部損傷	有	1	18.0	84.0			1						
S198	気管損傷	有	1	65.0	19.0								1	
S198	喉頭外傷	無	1	75.0	5.0								1	
S202	胸部打撲傷	無	1	74.0	2.0								1	
S2200	胸椎圧迫骨折	有	6	74.2	14.3							1	3	2
S2200	胸椎圧迫骨折	無	2	61.0	14.5							1	1	
S2200	胸椎骨折	有	6	71.5	17.7						1	4	1	
S2200	胸椎骨折	無	2	83.0	11.5								1	1
S2200	胸椎椎体骨折	有	4	83.8	33.0								2	2
S2200	胸椎椎体骨折	無	1	95.0	11.0									1
S2200	胸椎破裂骨折	有	14	63.5	11.4					1	5	6	2	
S2200	胸椎破裂骨折	無	1	66.0	8.0								1	

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S2210	胸椎多発圧迫骨折	有	1	81.0	17.0									1
S2210	胸椎多発骨折	有	3	70.0	10.7						1	2		
S2210	胸椎多発骨折	無	1	76.0	2.0							1		
S2210	胸椎多発椎体骨折	無	1	64.0	11.0								1	
S2210	胸椎多発破裂骨折	有	1	68.0	36.0								1	
S2220	胸骨骨折	無	4	60.3	3.5			1					2	1
S2230	肋骨骨折	有	1	82.0	2.0									1
S2230	肋骨骨折	無	1	77.0	2.0								1	
S2240	肋骨多発骨折	無	6	58.8	6.2						4	2		
S231	胸椎脱臼	有	1	29.0	23.0					1				
S241	下位胸髄損傷	有	1	92.0	23.0									1
S241	胸髄損傷	有	1	47.0	5.0						1			
S250	胸部大動脈損傷	有	2	58.0	30.0						1	1		
S2700	閉鎖性外傷性気胸	有	1	87.0	3.0									1
S2700	閉鎖性外傷性気胸	無	2	45.5	9.0					1		1		
S2710	閉鎖性外傷性血胸	有	1	91.0	28.0									1
S2710	閉鎖性外傷性血胸	無	2	62.5	8.0						1			1
S2720	閉鎖性外傷性血気胸	有	2	83.0	36.5								1	1
S2720	閉鎖性外傷性血気胸	無	2	53.0	12.0					1		1		
S2730	肺挫傷・胸腔に達する開放創合併なし	有	2	44.0	13.5					1		1		
S2730	肺挫傷・胸腔に達する開放創合併なし	無	3	41.3	4.3					1	2			
S300	腰部打撲傷	無	1	88.0	2.0									1
S302	外傷性外陰血腫	有	1	40.0	5.0					1				
S309	腹部打撲傷	有	1	16.0	2.0			1						
S309	腹部打撲傷	無	3	11.7	2.0		1	1		1				
S310	殿部皮膚欠損創	有	1	75.0	128.0								1	
S3200	腰椎圧迫骨折	有	8	74.5	12.4						1	4	3	
S3200	腰椎圧迫骨折	無	7	73.7	9.4						1	3	3	
S3200	腰椎横突起骨折	無	1	68.0	3.0							1		
S3200	腰椎腰椎圧迫骨折	有	1	87.0	31.0									1
S3200	腰椎腰椎破裂骨折	有	1	93.0	34.0									1
S3200	腰椎骨折	有	3	46.7	10.0			1			1	1		
S3200	腰椎脱臼骨折	有	1	68.0	15.0								1	
S3200	腰椎椎体骨折	有	2	56.0	14.0					1		1		
S3200	腰椎椎体骨折	無	2	54.5	9.5					1				1
S3200	腰椎破裂骨折	有	23	60.5	13.8					1	9	10	3	
S3200	腰椎破裂骨折	無	1	82.0	2.0									1
S3210	仙骨骨折	無	1	88.0	5.0									1
S3230	腸骨骨折	有	1	79.0	7.0								1	
S3230	腸骨骨折	無	1	34.0	11.0					1				
S3231	腸骨開放骨折	有	1	69.0	11.0								1	
S3240	寛骨臼骨折	有	7	69.1	25.4						2	3	2	
S3240	寛骨臼骨折	無	2	40.5	13.0					1	1			
S3250	恥骨骨折	無	4	81.5	10.3						1			3
S3270	腰椎横突起多発骨折	無	2	59.0	5.5						1	1		
S3270	腰椎骨盤多発骨折	有	1	72.0	8.0								1	
S3270	腰椎多発圧迫骨折	有	2	58.0	13.5						2			
S3270	腰椎多発圧迫骨折	無	2	91.5	7.5									2
S3270	腰椎多発骨折	有	4	35.0	8.5			2		1		1		
S3270	腰椎多発骨折	有	8	59.9	27.5					1	2	5		
S3280	骨盤骨折	有	3	83.3	4.3									3
S3280	骨盤骨折	無	2	68.5	24.5						1	1		
S3280	骨盤骨折	無	1	54.0	7.0						1			
S3280	坐骨骨折	無	1	82.0	13.0									1
S334	外傷性恥骨結合離開	有	1	86.0	15.0									1
S358	腰動脈損傷	有	1	84.0	10.0									1
S3600	脾損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	1	60.0	11.0							1		
S3600	脾損傷・腹腔に達する開放創合併なし	無	1	13.0	5.0			1						
S3601	脾損傷・腹腔に達する開放創合併あり	有	2	53.5	21.5					1				1
S3610	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	3	63.7	35.7						1	2		
S3610	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	無	3	14.0	5.0	1		2						
S3640	小腸損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	2	66.0	13.0						1	1		
S3660	直腸損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	2	42.0	15.0						2			
S3680	外傷性腹腔内出血	有	4	66.5	13.0								4	
S3680	外傷性腹腔内出血	無	1	51.0	6.0						1			
S3700	腎損傷・骨盤腔に達する開放創合併なし	有	1	25.0	23.0					1				
S3710	尿管損傷・骨盤腔に達する開放創合併なし	有	1	48.0	11.0						1			
S3710	閉鎖性尿管損傷	有	1	50.0	6.0						1			
S390	殿部筋肉内血腫	有	2	72.0	11.5						1	1		1
S390	殿部筋肉内血腫	無	2	81.5	5.0								1	1
S399	精巣損傷	有	1	24.0	9.0					1				
S4200	鎖骨遠位端骨折	有	3	40.7	7.3					1	2			

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
S4200	鎖骨骨幹部骨折	有	4	36.5	4.3					3	1		
		無	1	41.0	6.0						1		
S4200	鎖骨骨折	有	6	63.0	7.3						3	2	1
		無	1	50.0	15.0						1		
S4210	肩関節脱臼骨折	有	1	80.0	14.0								1
S4210	肩甲骨肩峰骨折	有	1	52.0	13.0					1			
S4210	肩甲骨骨折	無	2	80.5	8.0							1	1
S4220	上腕骨近位端骨折	有	12	69.8	11.8						4	4	4
		無	2	59.0	10.0				1			1	
S4221	上腕骨近位端開放骨折	有	1	84.0	10.0								1
S4230	上腕骨骨幹部骨折	有	2	48.5	10.0				1			1	
S4230	上腕骨骨折	有	1	64.0	16.0							1	
S4240	上腕骨遠位端骨折	有	3	79.3	11.3							2	1
S4240	上腕骨内上顆骨折	有	3	12.0	4.0			3					
S4240	上腕骨顆上骨折	有	2	4.0	2.5			2					
		無	1	4.0	1.0			1					
S431	肩鎖関節脱臼	有	1	59.0	3.0						1		
S451	上腕動脈損傷	有	1	47.0	18.0						1		
S462	上腕二頭筋断裂	有	1	80.0	9.0								1
S510	肘部切創	有	1	60.0	2.0						1		
S519	前腕挫創	有	1	66.0	4.0							1	
S519	前腕裂創	有	1	34.0	4.0					1			
S5200	モンテジア骨折	有	1	9.0	14.0			1					
S5200	尺骨近位端骨折	有	1	36.0	5.0					1			
S5200	肘頭骨折	有	6	65.7	11.7						3	1	2
		無	1	56.0	3.0						1		
S5201	肘関節開放性脱臼骨折	有	2	70.5	12.0							2	
S5210	橈骨頭粉碎骨折	有	1	55.0	3.0						1		
S5220	尺骨骨折	有	1	86.0	5.0								1
S5231	橈骨骨幹部開放骨折	有	1	77.0	13.0							1	
S5240	橈骨尺骨骨幹部骨折	有	2	6.5	4.0	1		1					
S5241	橈骨尺骨開放骨折	有	4	21.5	5.5			2	1		1		
S5241	橈骨尺骨骨幹部開放骨折	有	3	30.3	17.7			2				1	
S5250	ガレアッチ骨折	有	1	26.0	3.0					1			
S5250	橈骨遠位端関節内骨折	有	2	69.5	6.5							2	
S5250	橈骨遠位端骨折	有	15	64.6	5.0			1			3	10	1
S5250	橈骨遠位端粉碎骨折	有	1	40.0	6.0					1			
S5261	開放性橈骨尺骨遠位端骨折	有	2	71.0	15.5							2	
S5270	前腕多発骨折	有	1	64.0	12.0							1	
S542	橈骨神経損傷	有	1	30.0	4.0					1			
S542	橈骨神経断裂	有	1	22.0	2.0					1			
S547	前腕多発性神経損傷	有	1	33.0	5.0					1			
S551	橈骨動脈損傷	有	1	83.0	12.0								1
S561	環指深指屈筋腱断裂	有	1	67.0	9.0							1	
S563	長母指伸筋腱断裂	有	1	66.0	24.0							1	
S618	手背部挫創	有	1	91.0	24.0								1
S6211	手根骨開放骨折	有	1	24.0	11.0					1			
S6230	中手骨骨折	有	1	29.0	2.0					1			
S6231	中手骨開放骨折	有	3	71.0	10.0						1	1	1
S6250	母指基節骨骨折	有	1	40.0	3.0					1			
S6251	母指開放骨折	有	1	69.0	10.0							1	
S6251	母指基節骨開放骨折	有	1	40.0	13.0					1			
S6260	環指中節骨骨折	有	2	51.5	2.5						2		
S6260	環指末節骨骨折	有	1	49.0	7.0						1		
S6260	中指基節骨骨折	有	1	27.0	9.0					1			
S6261	小指末節骨開放骨折	有	1	56.0	5.0						1		
S6271	手指多発開放骨折	有	1	27.0	15.0					1			
S644	手指神経断裂	有	1	72.0	4.0							1	
S660	長母指屈筋腱断裂	有	1	48.0	3.0						1		
S670	手指挫減創	有	1	47.0	18.0						1		
S681	環指手指不全切断	有	1	42.0	15.0						1		
S681	示指切断	有	1	23.0	2.0					1			
S681	手指不全切断	有	1	70.0	18.0							1	
S681	小指手指不全切断	有	1	70.0	16.0							1	
S681	小指切断	有	1	61.0	5.0							1	
S682	多指外傷性切断	有	1	73.0	9.0							1	
S701	大腿部皮下血腫	有	2	89.5	3.0								2
S711	大腿部刺創	有	1	18.0	2.0				1				
		無	1	29.0	4.0					1			
S7200	股関節脱臼骨折	有	1	57.0	19.0						1		
S7200	大腿骨頸部基部骨折	有	1	87.0	14.0								1
S7200	大腿骨頸部骨折	有	50	81.5	16.9						3	14	33
S7210	大腿骨転子部骨折	有	60	85.6	19.7						1	9	50

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S7220	大腿骨転子下骨折	有	1	85.0	18.0									1
S7220	転子下骨折	有	3	86.3	17.7								1	2
S7230	大腿骨骨幹部骨折	有	8	41.3	27.1				3		2		1	2
S7231	大腿骨骨幹部開放骨折	有	2	58.0	35.5							1	1	
S7240	大腿骨遠位端骨折	有	4	65.0	15.5				1				1	2
S7240	大腿骨内顆骨折	有	1	81.0	15.0									1
S7240	大腿骨顆上骨折	有	2	92.5	22.5									2
S7240	大腿骨顆部骨折	有	1	65.0	8.0								1	
S7241	大腿骨顆上開放骨折	有	1	84.0	28.0									1
S761	大腿四頭筋挫傷	無	1	64.0	12.0								1	
S771	大腿圧挫傷	有	1	80.0	2.0									1
		無	1	31.0	9.0					1				
S810	膝部裂創	有	1	70.0	2.0								1	
S818	腓腹筋挫創	有	1	11.0	2.0				1					
S819	下腿汚染創	無	1	69.0	2.0								1	
S819	下腿裂創	有	2	38.5	20.5				1				1	
S8200	膝蓋骨骨折	有	4	65.5	9.3							2	2	
S8201	膝蓋骨開放骨折	有	2	47.0	10.0							2		
S8210	脛骨近位端骨折	有	3	74.7	30.0								2	1
S8210	脛骨近位端粉碎骨折	有	1	60.0	10.0							1		
S8210	脛骨高原骨折	有	1	91.0	17.0									1
S8210	脛骨腓骨近位端骨折	有	1	77.0	31.0									1
		無	4	28.5	16.8				1		2	1		
S8220	脛骨腓骨骨幹部骨折	有	4	64.5	36.3					1			2	1
S8220	脛骨腓骨骨幹部粉碎骨折	有	2	8.5	29.5				2					
S8221	難治性脛骨腓骨骨幹部開放性粉碎骨折	有	1	54.0	7.0							1		
S8221	脛骨開放骨折	有	1	51.0	5.0							1		
S8221	脛骨骨幹部開放骨折	有	1	55.0	15.0							1		
S8221	脛骨腓骨開放骨折	有	1	5.0	39.0				1					
S8221	脛骨腓骨骨幹部開放骨折	有	4	26.5	19.8				1		2	1		
S8230	脛骨遠位端骨折	有	3	53.7	18.0				1				2	
S8230	脛骨腓骨遠位端骨折	有	3	48.3	17.7				1				1	
S8231	脛骨腓骨遠位端開放骨折	有	1	82.0	19.0									1
S8231	脛骨腓骨遠位端開放性粉碎骨折	有	1	64.0	102.0								1	
S8240	腓骨近位端骨折	無	1	20.0	4.0				1					
S8240	腓骨骨幹部骨折	無	1	62.0	5.0								1	
S8250	足関節内果骨折	有	2	28.5	3.5				1	1				
S8260	足関節外果骨折	有	2	73.5	25.5								1	1
S8280	足関節果部骨折	有	3	65.0	14.7								3	
		無	2	47.5	14.0						1	1		
S8280	足関節脱臼骨折	有	3	60.0	18.7							1	2	
		無	1	44.0	3.0							1		
S8281	足関節開放骨折	有	2	7.5	8.0				2					
S8281	足関節開放性脱臼骨折	有	1	66.0	23.0								1	
S831	膝関節脱臼	無	1	18.0	9.0				1					
S832	外側半月板損傷	有	4	47.3	4.0					1	2	1		
S832	外側半月板断裂	有	2	37.0	3.5					2				
S832	内側半月板損傷	有	3	56.7	5.0							2	1	
S832	内側半月板断裂	有	2	50.5	4.5					1			1	
S834	膝関節内側副靭帯損傷	有	1	21.0	11.0					1				
S860	アキレス腱断裂	有	3	48.3	8.7					1	1	1		
S878	下腿挫減創	有	1	96.0	17.0									1
		無	6	65.7	12.7									6
S9200	踵骨骨折	有	1	41.0	104.0						1			
S9201	踵骨開放骨折	有	1	41.0	104.0							1		
S9210	ショパール関節脱臼骨折	有	1	48.0	8.0							1		
S9210	距骨骨軟骨損傷	有	1	73.0	10.0								1	
S9211	距骨開放骨折	有	1	49.0	8.0							1		
S9230	中足骨骨折	有	2	70.5	4.5								2	
S9231	中足骨開放骨折	有	1	41.0	59.0							1		
S9240	母趾末節骨骨折	有	1	66.0	3.0								1	
S9241	母趾開放骨折	有	2	66.5	52.5								2	
S9241	母趾末節骨開放骨折	有	1	49.0	42.0							1		
S9271	多発性足の多発開放骨折	有	1	60.0	62.0							1		
S930	腓骨筋腱脱臼	有	1	58.0	11.0							1		
S981	趾外傷性切断	有	1	73.0	11.0								1	
S981	趾切断	有	1	53.0	12.0							1		
T009	全身挫傷	無	1	88.0	2.0									1
T009	全身打撲	無	5	35.2	2.2				2	1	1	1		

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
T0210	胸腰椎圧迫骨折	有	2	44.0	16.5			1					1	
T0210	胸腰椎多部位骨折	有	2	66.0	15.5							1	1	
T0221	一側上肢多発開放骨折	有	2	60.5	56.0							1	1	
T0230	一側下肢多発骨折	有	1	45.0	31.0							1		
T0280	多部位骨折	有	6	66.8	48.2							3	1	2
T068	下肢の多部位損傷	有	1	48.0	11.0							1		
T068	多部位損傷	有	6	64.7	39.7					1	1	2	2	
T07	多発性外傷	有	1	49.0	2.0						1	1		
T099	シートベルト損傷	無	2	50.0	2.0					1			1	
T148	高エネルギー外傷	有	2	66.5	2.0								2	
		無	20	47.2	2.3				1	9	4	4	2	
T172	咽頭異物	有	1	68.0	11.0								1	
T181	食道異物	有	3	27.0	3.0	1		1					1	
		無	1	12.0	2.0			1						
T189	異物誤飲	有	1	2.0	2.0	1								
		無	2	1.0	2.0	2								
T191	膀胱内異物	有	1	74.0	4.0								1	
T212	会陰第2度熱傷	無	1	88.0	46.0									1
T220	上肢熱傷	有	1	46.0	80.0							1		
T223	上肢第3度熱傷	有	1	58.0	27.0							1		
T243	下肢第3度熱傷	有	3	74.3	70.0								2	1
T252	足第2度熱傷	無	1	0.0	9.0	1								
T253	足底部第3度熱傷	有	1	89.0	46.0									1
T266	角膜アルカリ化学熱傷	無	1	65.0	4.0								1	
T269	眼化学熱傷	無	1	67.0	8.0								1	
T270	気管熱傷	無	1	36.0	30.0					1				
T290	全身熱傷	無	1	65.0	29.0								1	
T292	多発性第2度熱傷	有	1	52.0	50.0							1		
		無	1	2.0	29.0	1								
T293	下半身第3度熱傷	有	1	66.0	106.0								1	
T293	多発性第3度熱傷	有	4	72.5	57.0							1		3
T300	熱傷	有	1	67.0	9.0								1	
T391	アセトアミノフェン中毒	無	1	22.0	5.0					1				
T424	ベンゾジアゼピン中毒	無	6	55.3	4.7		1			1	1	1	1	2
T424	ベンゾジアゼピン中毒の疑い	無	1	3.0	1.0		1							
T450	ジフェンヒドラミン中毒	無	2	31.5	2.0					2				
T460	ジギタリス中毒	有	1	87.0	12.0									1
		無	1	94.0	9.0									1
T509	医薬品中毒	無	4	71.5	4.0							2		2
T509	医薬品中毒の疑い	無	1	77.0	2.0								1	
T509	急性薬物中毒	無	5	27.4	3.0	1		1		2			1	
T509	急性薬物中毒の疑い	無	1	0.0	2.0	1								
T520	有機溶剤中毒	無	1	73.0	3.0								1	
T543	次亜塩素酸ナトリウム中毒	無	1	71.0	18.0								1	
T600	カーバメート中毒	無	1	50.0	11.0							1		
T600	有機リン中毒	無	1	82.0	16.0									1
T603	パラコート中毒	無	1	81.0	1.0									1
T630	ヘビ咬傷の疑い	無	1	78.0	2.0								1	
T630	マムシ咬傷	無	2	78.0	4.0								1	1
T630	母指マムシ咬傷	無	1	68.0	3.0								1	
T634	蜂刺によるアナフィラキシーショック	無	4	56.3	2.0						2		2	
T636	クラゲ刺傷によるアナフィラキシーショック	無	1	35.0	2.0					1				
T652	タバコ誤飲	無	1	1.0	2.0	1								
T652	急性ニコチン中毒	無	1	15.0	1.0			1						
T678	熱中症	有	1	96.0	15.0									1
		無	14	56.0	4.6			2	1	1	3	4	3	
T68	低体温	有	2	68.0	9.0								2	
		無	9	77.6	14.2					1		3	5	
T691	凍瘡	無	1	13.0	4.0			1						
T708	爆発損傷症候群	無	1	34.0	1.0					1				
T751	溺水	無	3	13.7	4.7	1		1		1				
T754	上肢電撃傷	無	1	47.0	2.0							1		
T781	牛乳アレルギー	無	1	0.0	6.0	1								
T781	食物アレルギー	無	2	19.0	2.5	1				1				
T781	卵アレルギー	無	3	0.7	1.7	3								
T782	アナフィラキシー	無	2	32.5	1.5			1			1			
T782	アナフィラキシーショック	無	2	64.0	2.5								2	
T782	アナフィラキシーの疑い	無	1	32.0	2.0					1				

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
T794	外傷性出血性ショック	有	1	56.0	3.0						1		
T810	術後出血	有	4	62.8	8.0					1	1		2
		無	3	36.0	5.3					2	1		
T810	生検後出血	有	6	70.0	5.0					1		3	2
		無	1	49.0	1.0						1		
T810	大腸ポリープ切除後出血	有	1	61.0	3.0							1	
T811	術中ショック	有	1	69.0	15.0							1	
T812	医原性気胸	無	1	92.0	21.0								1
T812	術後リンパ漏	無	1	46.0	10.0						1		
T812	術後顔面神経麻痺	有	1	49.0	12.0						1		
T812	術後乳び胸	無	1	64.0	15.0							1	
T814	MRSA術後創部感染	有	1	83.0	31.0								1
T814	下腿術後創部感染	有	1	27.0	12.0					1			
T814	手術創部膿瘍	無	2	58.0	7.0					1			1
		有	4	74.8	35.3							3	1
T814	術後創部感染	無	2	51.5	22.0			1					1
T814	術後腹腔内膿瘍	有	3	76.0	17.7							2	1
		無	2	79.0	16.5							1	1
T814	術後腹壁膿瘍	有	1	29.0	35.0				1				
T814	腓骨術後感染症	有	2	66.0	9.0							2	
T815	術後異物体内遺残	有	1	89.0	6.0								1
T818	術後瘢痕狭窄	無	3	74.0	1.7							3	
T818	創部潰瘍	有	2	73.0	15.5							1	1
T818	吻合部狭窄	有	1	72.0	8.0							1	
T821	ペースメーカーリード感染	有	1	68.0	119.0							1	
T821	ペースメーカー電池消耗	有	23	79.3	8.3						2	7	14
T821	植込型除細動器電池消耗	有	8	65.3	8.9					1	2	3	2
T823	シャント機能不全	無	1	37.0	8.0					1			
T825	植込型カテーテルポート破損	有	1	87.0	4.0								1
T826	人工弁感染の疑い	無	1	84.0	9.0								1
T827	ペースメーカー植え込み後感染症	有	5	79.8	18.6							2	3
		無	3	84.0	13.7								3
T827	移植人工血管感染	有	3	67.0	32.0						1	2	
T827	透析シャント感染症	有	2	75.0	45.5							2	
T828	ペースメーカー植え込み後皮膚圧迫壊死	有	4	83.0	11.0								4
T828	透析シャント仮性動脈瘤	有	1	71.0	27.0							1	
T828	透析シャント狭窄	有	13	71.1	5.6					1	2	3	7
T828	透析シャント静脈高血圧症	有	1	66.0	50.0							1	
T828	透析シャント閉塞	有	9	70.0	16.0						2	5	2
T840	人工股関節のゆるみ	有	1	66.0	22.0							1	
T840	人工膝関節のゆるみ	有	2	61.0	27.0						1	1	
T842	ワイヤーによる胸骨周囲炎	有	1	80.0	11.0								1
T850	VAシャント機能不全の疑い	無	1	78.0	7.0							1	
T850	VPシャント機能不全	有	2	6.0	8.5			1	1				
		無	2	7.0	8.0				2				
T852	眼内レンズ脱臼	有	1	92.0	8.0								1
T852	眼内レンズ偏位	有	1	82.0	12.0								1
T856	LPシャント機能不全	有	4	68.8	13.3					1		1	2
T857	VAシャント感染症	有	1	8.0	61.0				1				
T857	インプラント周囲炎	無	1	83.0	5.0								1
T858	移植腎動脈狭窄	無	1	75.0	18.0							1	
T861	腎移植急性拒絶反応	無	1	69.0	14.0							1	
T861	腎移植慢性拒絶反応	無	1	16.0	12.0				1				
T881	予防接種後発熱	無	1	0.0	1.0	1							
T881	予防接種副反応	無	5	0.0	2.0	5							
T886	造影剤ショック	無	1	68.0	2.0							1	
T886	薬剤によるアナフィラキシーショック	無	5	62.6	3.4					1	1	2	1
T888	義歯不適合	有	1	22.0	7.0					1			
T913	頸髄損傷後遺症	無	1	18.0	3.0				1				
X70	縊死	無	1	23.0	2.0					1			
Z520	末梢血幹細胞移植ドナー	有	5	44.4	5.8			1	1	1	1	2	
Z523	骨髄移植ドナー	有	5	40.4	4.0					2	2	1	
Z524	腎移植ドナー	有	14	60.1	13.8						8	6	
		無	2	57.0	4.5						1	1	
Z955	冠動脈ステント植え込み状態	無	1	66.0	3.0							1	

2 外来患者数(前年度対比)

上段:28年度

下段:29年度

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	470	500	522	495	516	470	475	502	438	432	499	513	5,832
	447	565	579	596	602	553	579	575	576	581	573	546	6,772
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	104	94	107	115	116	105	126	109	117	109	111	149	1,362
	132	124	136	136	151	143	146	139	155	132	139	159	1,692
地域医療科	14	11	10	9	5	10	7	9	9	8	10	10	112
	9	9	9	9	9	8	10	11	8	9	8	8	107
血液内科・輸血科	538	514	611	537	562	635	533	572	625	577	575	631	6,910
	590	574	665	636	635	654	699	641	614	631	563	683	7,585
代謝・内分泌科	280	275	342	342	314	368	312	350	321	372	310	382	3,968
	336	278	353	325	328	319	329	320	314	332	303	338	3,875
放射線療法科	145	139	153	157	178	145	147	199	219	160	109	149	1,900
	180	122	141	137	166	170	256	241	212	178	214	224	2,241
感染症科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
腫瘍内科	368	373	428	383	420	433	413	431	378	397	410	455	4,889
	404	472	410	395	401	417	416	390	375	404	417	403	4,904
ペインクリニック科	359	330	392	373	371	352	356	384	355	323	286	350	4,231
	335	361	368	332	333	312	332	323	313	280	271	336	3,896
放射線科	24	28	28	28	25	26	15	14	17	13	17	26	261
	18	24	28	19	17	22	31	27	20	39	32	17	294
神経内科	64	60	68	64	59	75	49	67	48	68	42	80	744
	53	68	70	74	68	73	65	53	67	73	68	80	812
脳神経外科	380	362	366	414	375	278	410	345	348	350	338	348	4,314
	328	301	342	340	356	247	305	309	323	301	307	269	3,728
眼科	655	632	711	701	740	744	645	700	713	669	601	710	8,221
	580	564	631	625	638	600	565	578	612	428	448	507	6,776
耳鼻咽喉科	836	805	813	664	907	770	824	807	817	780	827	897	9,747
	833	895	994	892	797	876	963	784	961	837	921	891	10,644
歯科口腔外科	1,494	1,497	1,678	1,593	1,723	1,465	1,546	1,538	1,475	1,427	1,525	1,773	18,734
	1,375	1,459	1,606	1,497	1,667	1,445	1,561	1,511	1,688	1,505	1,472	1,573	18,359
呼吸器内科	489	494	538	564	552	501	523	544	485	527	586	617	6,420
	570	614	601	600	430	497	499	470	478	452	422	412	6,045
呼吸器外科	238	287	267	250	267	243	255	267	269	286	294	301	3,224
	278	277	271	271	306	272	309	287	286	268	271	302	3,398
循環器内科	734	691	746	645	636	629	652	603	617	636	670	697	7,956
	649	676	731	658	651	658	717	711	712	698	713	748	8,322
心臓血管外科	349	336	408	320	320	355	318	344	369	316	247	375	4,057
	303	342	346	327	279	306	333	331	355	338	281	379	3,920
乳腺・甲状腺外科	316	279	285	270	335	343	337	322	397	342	345	411	3,982
	324	350	377	383	403	360	307	288	334	306	310	396	4,138
消化器内科	370	356	432	346	416	299	373	339	348	314	359	337	4,289
	367	366	407	364	397	338	359	392	363	339	354	352	4,398
消化器外科・一般外科	1,081	997	1,157	1,076	1,112	1,015	1,063	999	1,118	945	975	1,114	12,652
	972	1,019	1,059	1,002	1,104	1,117	1,069	959	1,053	1,079	964	1,143	12,540
泌尿器科	620	560	596	571	545	579	624	560	608	582	470	601	6,916
	546	496	615	565	587	586	603	526	559	510	469	643	6,705
腎臓内科・膠原病科	525	492	491	460	510	431	276	312	307	296	308	365	4,773
	263	330	315	312	322	316	301	300	311	291	266	359	3,686
婦人科	638	649	745	681	719	684	757	698	682	659	698	766	8,376
	639	683	766	634	728	658	754	705	678	662	667	718	8,292
生殖医療科	237	245	278	231	264	257	280	247	209	223	216	262	2,949
	239	273	274	235	268	219	256	225	215	242	225	242	2,913
移植外科	198	187	194	181	207	180	201	191	199	194	206	235	2,373
	223	222	188	180	194	215	224	199	183	201	204	203	2,436
救命救急科	852	929	736	933	964	826	901	711	854	985	778	857	10,326
	757	909	774	948	873	776	790	797	858	1,012	887	763	10,144
集中治療科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	6
	2	2	0	1	4	3	1	1	2	1	6	2	25
麻酔科	2	1	3	0	9	15	3	3	0	2	1	1	40
	1	2	3	0	2	0	2	1	1	2	0	2	16
小児科	1,447	1,399	1,550	1,547	1,743	1,367	1,433	1,587	1,521	1,386	1,280	1,617	17,877
	1,329	1,416	1,476	1,401	1,665	1,429	1,460	1,518	1,562	1,355	1,303	1,614	17,528
小児外科	202	163	197	223	246	191	186	191	180	191	175	240	2,385
	201	184	185	222	234	220	148	190	225	197	166	201	2,373
産科	910	904	960	896	975	896	898	905	973	945	932	990	11,184
	935	924	973	874	934	869	899	832	855	786	767	813	10,461
皮膚科	608	573	675	647	722	557	684	592	645	546	521	721	7,491
	608	576	616	561	598	564	631	577	609	576	477	619	7,012
整形外科	688	662	853	709	783	746	678	715	707	682	692	930	8,845
	708	723	855	810	882	738	795	843	862	823	807	840	9,686
形成外科	186	192	191	208	249	181	164	151	174	180	185	222	2,283
	170	185	199	177	199	167	195	177	185	170	163	221	2,208
緩和ケア内科	210	178	175	183	124	145	138	178	168	142	108	170	1,919
	185	205	179	184	159	150	181	146	141	171	188	189	2,078
児童精神科	304	308	291	298	298	239	285	284	251	200	206	156	3,120
	157	199	210	220	249	231	248	251	250	251	215	262	2,743
<b>28年度合計</b>	<b>16,935</b>	<b>16,502</b>	<b>17,997</b>	<b>17,115</b>	<b>18,307</b>	<b>16,555</b>	<b>16,887</b>	<b>16,770</b>	<b>16,981</b>	<b>16,265</b>	<b>15,913</b>	<b>18,461</b>	<b>204,688</b>
<b>29年度合計</b>	<b>16,046</b>	<b>16,789</b>	<b>17,752</b>	<b>16,943</b>	<b>17,636</b>	<b>16,528</b>	<b>17,338</b>	<b>16,828</b>	<b>17,316</b>	<b>16,460</b>	<b>15,861</b>	<b>17,457</b>	<b>202,754</b>
<b>28年度検診等合計</b>	<b>361</b>	<b>373</b>	<b>412</b>	<b>398</b>	<b>409</b>	<b>402</b>	<b>414</b>	<b>405</b>	<b>389</b>	<b>397</b>	<b>416</b>	<b>493</b>	<b>4,869</b>
<b>29年度検診等合計</b>	<b>463</b>	<b>450</b>	<b>488</b>	<b>438</b>	<b>501</b>	<b>406</b>	<b>408</b>	<b>392</b>	<b>387</b>	<b>391</b>	<b>368</b>	<b>411</b>	<b>5,103</b>
<b>増減数</b>	<b>-889</b>	<b>287</b>	<b>-245</b>	<b>-172</b>	<b>-671</b>	<b>-27</b>	<b>451</b>	<b>-142</b>	<b>355</b>	<b>195</b>	<b>-52</b>	<b>-1,004</b>	<b>-1,014</b>
<b>増減率</b>	<b>-5.2%</b>	<b>1.7%</b>	<b>-1.4%</b>	<b>-1.0%</b>	<b>-3.7%</b>	<b>-0.2%</b>	<b>2.7%</b>	<b>-0.8%</b>	<b>2.1%</b>	<b>1.2%</b>	<b>-0.3%</b>	<b>-5.4%</b>	<b>-0.9%</b>
増減数…29年度合計-28年度合計													
増減率…増減数/28年度合計													

### 3 全科疾病分類別上位頻度表

I	感染症および寄生虫症	ICDコード	件数	%
1	感染症と推定される下痢および胃腸炎	A09	53	22.9%
2	ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症	A08	39	16.9%
3	その他の敗血症	A41	38	16.5%
4	その他の細菌性腸管感染症	A04	14	6.1%
5	その他の非結核性抗酸菌による感染症	A31	11	4.8%
6	皮膚および粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの	B08	10	4.3%
7	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	B02	8	3.5%
8	呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されたもの	A15	7	3.0%
9	伝染性単核症	B27	6	2.6%
10	部位不明の細菌感染症	A49	6	2.6%
11	その他		39	16.9%
	合計		231	100.0%

II	新生物	ICDコード	件数	%
1	気管支および肺の悪性新生物	C34	502	13.0%
2	胃の悪性新生物	C16	247	6.4%
3	食道の悪性新生物	C15	222	5.8%
4	びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	C83	204	5.3%
5	結腸の悪性新生物	C18	186	4.8%
6	乳房の悪性新生物	C50	179	4.7%
7	前立腺の悪性新生物	C61	140	3.6%
8	肝および肝内胆管の悪性新生物	C22	121	3.1%
9	膵の悪性新生物	C25	120	3.1%
10	子宮平滑筋腫	D25	113	2.9%
11	その他		1,813	47.1%
	合計		3,847	100.0%

III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	ICDコード	件数	%
1	紫斑病およびその他の出血性病態	D69	55	45.1%
2	その他の無形成性貧血	D61	16	13.1%
3	後天性溶血性貧血	D59	9	7.4%
4	サルコイドーシス	D86	8	6.6%
5	無顆粒球症	D70	6	4.9%
6	鉄欠乏性貧血	D68	6	4.9%
7	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	D65	4	3.3%
8	リンパ細網組織および細網組織球系の疾患	D76	3	2.5%
9	その他の貧血	D64	3	2.5%
10	その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの	D89	2	1.6%
11	その他		10	8.2%
	合計		122	100.0%

IV	内分泌, 栄養および代謝疾患	ICDコード	件数	%
1	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	E87	44	19.4%
2	体液量減少(症)	E86	41	18.1%
3	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	39	17.2%
4	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>	E11	35	15.4%
5	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	E26	16	7.0%
6	甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	E05	15	6.6%
7	その他の膵内分泌障害	E16	7	3.1%
8	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症およびその他の副甲状腺<上皮小体>障害	E21	4	1.8%
9	下垂体機能低下およびその他の下垂体障害	E23	3	1.3%
10	その他の副腎障害	E27	3	1.3%
11	その他		20	8.8%
	合計		227	100.0%

V	精神および行動の障害	ICDコード	件数	%
1	多動性障害	F90	8	19.0%
2	重度ストレスへの反応および適応障害	F43	8	19.0%
3	解離性[転換性]障害	F44	7	16.7%
4	アルコール使用<飲酒>による精神および行動の障害	F10	4	9.5%
5	摂食障害	F50	4	9.5%
6	広汎性発達障害	F84	4	9.5%
7	身体表現性障害	F45	2	4.8%
8	強迫性障害<強迫神経症>	F42	1	2.4%
9	急性一過性精神病性障害	F23	1	2.4%
10	他に分類されるその他の疾患の認知症	F02	1	2.4%
11	その他		2	4.8%
	合計		42	100.0%

VI 神経系の疾患		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	てんかん	G40	122	49.6%
2	顔面神経障害	G51	21	8.5%
3	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12	19	7.7%
4	一過性脳虚血発作および関連症候群	G45	16	6.5%
5	脳のその他の障害	G93	15	6.1%
6	その他および詳細不明の原因による髄膜炎	G03	8	3.3%
7	水頭症	G91	7	2.8%
8	睡眠障害	G47	6	2.4%
9	自律神経系の障害	G90	3	1.2%
10	対麻痺および四肢麻痺	G82	3	1.2%
11	その他		26	10.6%
	合計		246	100.0%

VII 眼および付属器の疾患		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	老人性白内障	H25	83	61.5%
2	その他の網膜障害	H35	15	11.1%
3	眼瞼のその他の障害	H02	11	8.1%
4	硝子体の障害	H43	5	3.7%
5	網膜血管閉塞症	H34	3	2.2%
6	網膜剥離および裂孔	H33	3	2.2%
7	その他の白内障	H26	2	1.5%
8	眼球の障害	H44	2	1.5%
9	緑内障	H40	2	1.5%
10	他に分類される疾患における網膜の障害	H36	2	1.5%
11	その他		7	5.2%
	合計		135	100.0%

VIII 耳および乳様突起の疾患		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	前庭機能障害	H81	59	56.7%
2	化膿性および詳細不明の中耳炎	H66	19	18.3%
3	その他の難聴	H91	9	8.7%
4	中耳真珠腫	H71	8	7.7%
5	非化膿性中耳炎	H65	5	4.8%
6	外耳炎	H60	2	1.9%
7	他に分類される疾患における中耳炎	H74	1	1.0%
8	乳(様)突(起)炎および関連病態	H70	1	1.0%
	合計		104	100.0%

IX 循環器系の疾患		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	狭心症	I20	695	27.0%
2	脳梗塞	I63	261	10.1%
3	慢性虚血性心疾患	I25	199	7.7%
4	心不全	I50	171	6.6%
5	大動脈瘤および解離	I71	163	6.3%
6	非リウマチ性大動脈弁障害	I35	121	4.7%
7	心停止	I46	119	4.6%
8	脳内出血	I61	113	4.4%
9	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	I70	94	3.7%
10	急性心筋梗塞	I21	89	3.5%
11	その他		548	21.3%
	合計		2,573	100.0%

X 呼吸器系の疾患		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	急性気管支炎	J20	175	19.2%
2	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	J15	133	14.6%
3	固形物および液状物による肺臓炎	J69	91	10.0%
4	慢性副鼻腔炎	J32	55	6.0%
5	扁桃およびアデノイドの慢性疾患	J35	51	5.6%
6	その他の間質性肺疾患	J84	45	4.9%
7	多部位および部位不明の急性上気道感染症	J06	42	4.6%
8	肺炎, 病原体不詳	J18	42	4.6%
9	気胸	J93	29	3.2%
10	喘息発作重積状態	J46	29	3.2%
11	その他		219	24.0%
	合計		911	100.0%

XI 消化器系の疾患		ICDコード <sup>②</sup>	件数	%
1	胆石症	K80	252	21.6%
2	そけい<鼠径>ヘルニア	K40	111	9.5%
3	消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	K91	78	6.7%
4	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	K56	73	6.3%
5	腸の憩室性疾患	K57	53	4.5%
6	胆道のその他の疾患	K83	50	4.3%
7	急性虫垂炎	K35	49	4.2%
8	胃潰瘍	K25	45	3.9%
9	急性膵炎	K85	39	3.3%
10	腸の血行障害	K55	31	2.7%
11	その他		385	33.0%
	合計		1,166	100.0%

XII 皮膚および皮下組織の疾患		ICDコード <sup>②</sup>	件数	%
1	蜂巣炎<蜂窩織炎>	L03	31	28.2%
2	急性リンパ節炎	L04	10	9.1%
3	皮膚の萎縮性障害	L90	7	6.4%
4	じょく<褥>瘡性潰瘍	L89	7	6.4%
5	下肢の潰瘍, 他に分類されないもの	L97	6	5.5%
6	皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>およびよう<カルブンケル>	L02	6	5.5%
7	ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群<SSSS>	L00	6	5.5%
8	皮膚の肥厚性障害	L91	5	4.5%
9	皮膚および皮下組織のその他の局所感染症	L08	5	4.5%
10	皮膚および皮下組織の肉芽腫性障害	L92	3	2.7%
11	その他		24	21.8%
	合計		110	100.0%

XIII 筋骨格系および結合組織の疾患		ICDコード <sup>②</sup>	件数	%
1	その他の脊椎障害	M48	226	30.2%
2	脊椎症	M47	105	14.0%
3	その他の変形性脊柱障害	M43	94	12.6%
4	その他の椎間板障害	M51	62	8.3%
5	結節性多発(性)動脈炎および関連病態	M30	42	5.6%
6	股関節症[股関節部の関節症]	M16	29	3.9%
7	膝関節症[膝の関節症]	M17	26	3.5%
8	その他の炎症性脊椎障害	M46	25	3.3%
9	頸部椎間板障害	M50	20	2.7%
10	骨の癒合障害	M84	15	2.0%
11	その他		104	13.9%
	合計		748	100.0%

XIV 腎尿路生殖器系の疾患		ICDコード <sup>②</sup>	件数	%
1	閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	N13	84	12.2%
2	慢性腎不全	N18	83	12.0%
3	子宮頸(部)の異形成	N87	70	10.1%
4	急性尿細管間質性腎炎	N10	60	8.7%
5	子宮内膜症	N80	34	4.9%
6	精巣<睾丸>水腫および精液瘤	N43	32	4.6%
7	前立腺肥大症	N40	28	4.1%
8	腎結石および尿管結石	N20	28	4.1%
9	急性腎不全	N17	26	3.8%
10	反復性および持続性血尿	N02	26	3.8%
11	その他		219	31.7%
	合計		690	100.0%

XV 妊娠,分娩および産じょく<褥>		ICDコード <sup>②</sup>	件数	%
1	単胎自然分娩	O80	310	30.0%
2	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	O34	147	14.2%
3	偽陣痛	O47	138	13.4%
4	娩出力の異常	O62	58	5.6%
5	胎児ストレス[仮死<ジストレス>]を合併する分娩	O68	53	5.1%
6	明らかなたんぱく<蛋白>尿を伴う妊娠高血圧(症)	O14	38	3.7%
7	その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	O36	27	2.6%
8	既知の胎位異常またはその疑いのための母体ケア	O32	26	2.5%
9	妊娠中の糖尿病	O24	24	2.3%
10	多胎妊娠	O30	21	2.0%
11	その他		191	18.5%
	合計		1,033	100.0%

XVI 周産期に発生した病態		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	P07	118	34.4%
2	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	54	15.7%
3	新生児の呼吸窮<促>迫	P22	39	11.4%
4	胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	38	11.1%
5	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	24	7.0%
6	新生児吸引症候群	P24	13	3.8%
7	新生児の哺乳上の問題	P92	11	3.2%
8	出生児仮死	P21	10	2.9%
9	新生児のその他の体温調節機能障害	P81	7	2.0%
10	その他の新生児出血	P54	6	1.7%
11	その他		23	6.7%
	合計		343	100.0%

XVII 先天奇形,変形および染色体異常		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	停留精巣<睾丸>	Q53	20	15.5%
2	心(臓)中隔の先天奇形	Q21	13	10.1%
3	大型動脈の先天奇形	Q25	8	6.2%
4	心臓の房室および結合部の先天奇形	Q20	6	4.7%
5	胆のう<嚢>,胆管および肝の先天奇形	Q44	6	4.7%
6	脳のその他の先天奇形	Q04	6	4.7%
7	顔面および頸部のその他の先天奇形	Q18	6	4.7%
8	腸のその他の先天奇形	Q43	4	3.1%
9	小腸の先天(性)欠損,閉鎖および狭窄	Q41	3	2.3%
10	大腸の先天(性)欠損,閉鎖および狭窄	Q42	3	2.3%
11	その他		54	41.9%
	合計		129	100.0%

XVIII 症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	けいれん<痙攣>,他に分類されないもの	R56	46	45.1%
2	気道からの出血	R04	18	17.6%
3	失神および虚脱	R55	6	5.9%
4	傾眠,昏迷および昏睡	R40	6	5.9%
5	身体標準発育不足	R62	4	3.9%
6	悪心および嘔吐	R11	3	2.9%
7	不明熱	R50	3	2.9%
8	ショック,他に分類されないもの	R57	2	2.0%
9	めまい<眩暈>感およびよろめき感	R42	2	2.0%
10	発汗過多<多汗>(症)	R61	2	2.0%
11	その他		10	9.8%
	合計		102	100.0%

XIX 損傷,中毒およびその他の外因の影響		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	大腿骨骨折	S72	135	11.4%
2	頭蓋内損傷	S06	113	9.6%
3	腰椎および骨盤の骨折	S32	93	7.9%
4	心臓および血管のプロステーシス,挿入物および移植片の合併症	T82	76	6.4%
5	下腿の骨折,足首を含む	S82	58	4.9%
6	頭蓋骨および顔面骨の骨折	S02	57	4.8%
7	肋骨,胸骨および胸椎骨折	S22	55	4.7%
8	頸部の神経および脊髄の損傷	S14	48	4.1%
9	肩および上腕の骨折	S42	46	3.9%
10	処置の合併症,他に分類されないもの	T81	45	3.8%
11	その他		456	38.6%
	合計		1,182	100.0%

XX 傷病および死亡の外因		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	縊首,絞首および窒息による故意の自傷および自殺	X70	1	100.0%
	合計		1	100.0%

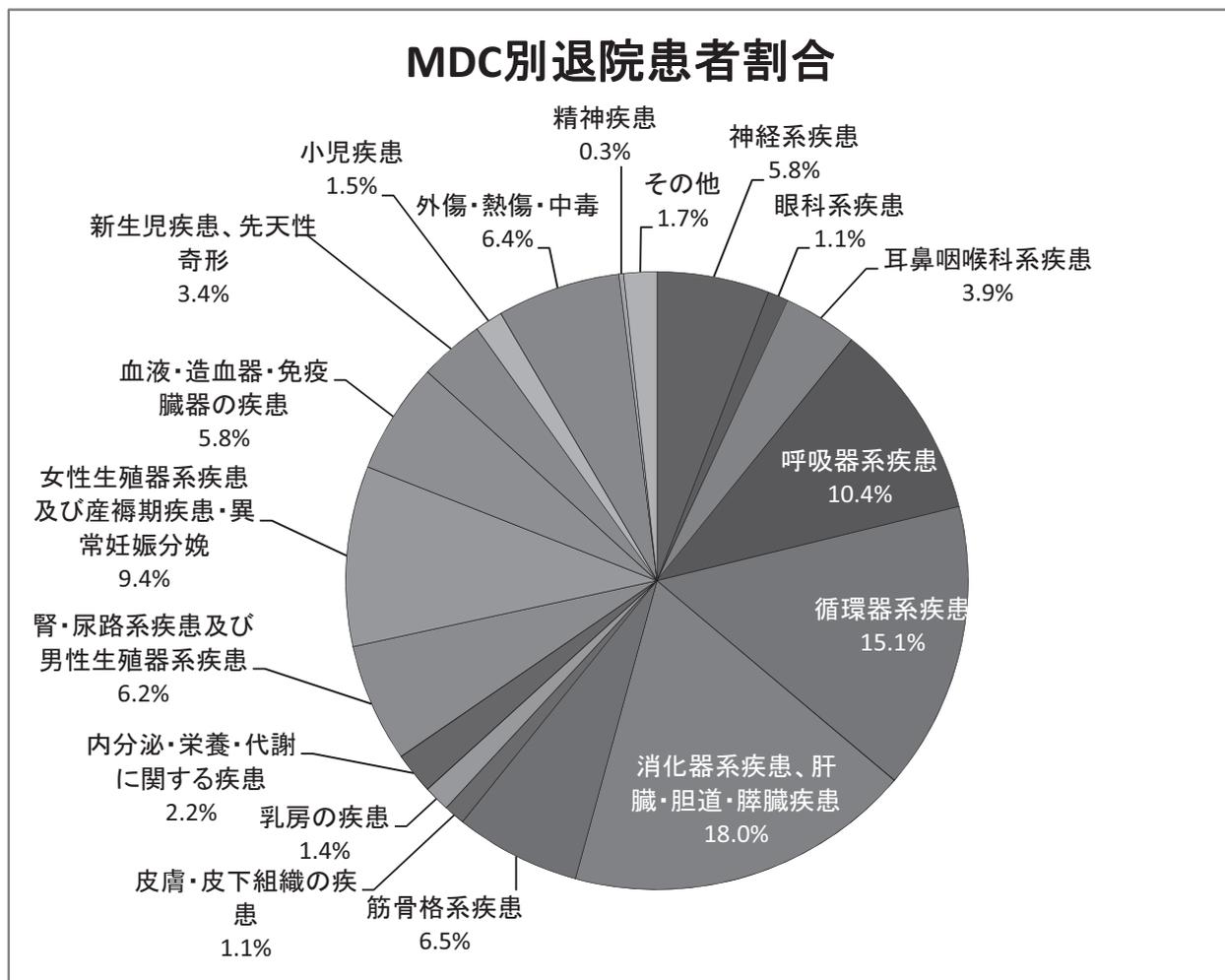
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用		ICDコード <sup>2</sup>	件数	%
1	臓器および組織の提供者<ドナー>	Z52	26	96.3%
2	心臓および血管の挿入物および移植片の存在	Z95	1	3.7%
	合計		27	100.0%

## 4 DPC統計

### (1) MDC別退院患者数

平成29年4月1日～平成30年3月31日退院患者  
(自費を除く)

MDC 番号	MDC 名称	件数
MDC01	神経系疾患	763
MDC02	眼科系疾患	138
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	503
MDC04	呼吸器系疾患	1,354
MDC05	循環器系疾患	1,965
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	2,353
MDC07	筋骨格系疾患	851
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	144
MDC09	乳房の疾患	177
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	282
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	809
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,232
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	758
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	439
MDC15	小児疾患	190
MDC16	外傷・熱傷・中毒	836
MDC17	精神疾患	33
MDC18	その他	223
総計		13,050



## (2) 在院期間別退院患者数

平成29年4月1日～平成30年3月31日退院患者  
(自費を除く)

	在院期間									総計	平均在院 日数 (日)
	1～10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61～ 90日	91～ 180日	181日～		
MDC01 神経系疾患	336	246	103	40	19	8	11	0	0	763	14.8
MDC02 眼科系疾患	109	22	5	1	1		0	0	0	138	8.2
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	371	92	10	7	3	4	14	2	0	503	11.0
MDC04 呼吸器系疾患	945	244	83	38	22	9	7	6	0	1,354	10.7
MDC05 循環器系疾患	1,412	301	126	44	26	21	19	14	2	1,965	10.5
MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆 道・膵臓疾患	1,470	565	155	75	38	12	26	10	2	2,353	12.2
MDC07 筋骨格系疾患	446	263	91	27	5	6	9	2	2	851	12.5
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	85	34	8	6	3	1	5	2	0	144	15.5
MDC09 乳房の疾患	158	12	3	3	1		0	0	0	177	7.2
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関 する疾患	215	53	8	1	3	1	1	0	0	282	8.4
MDC11 腎・尿路系疾患及び男性 生殖器系疾患	608	120	28	19	11	5	14	2	2	809	10.4
MDC12 女性生殖器系疾患及び 産褥期疾患・異常妊娠分 娩	1,023	98	41	22	16	13	12	7	0	1,232	10.0
MDC13 血液・造血管器・免疫臓器 の疾患	171	272	131	51	36	23	39	29	6	758	28.6
MDC14 新生児疾患、先天性奇 形	274	81	22	17	13	7	7	12	6	439	18.6
MDC15 小児疾患	167	20	3				0	0	0	190	5.7
MDC16 外傷・熱傷・中毒	422	244	99	35	18	4	11	3	0	836	13.7
MDC17 精神疾患	11	4	3	3	1	4	3	3	1	33	53.2
MDC18 その他	121	60	16	11	5	5	3	2	0	223	14.5
総計	8,344	2,731	935	400	221	123	181	94	21	13,050	12.7

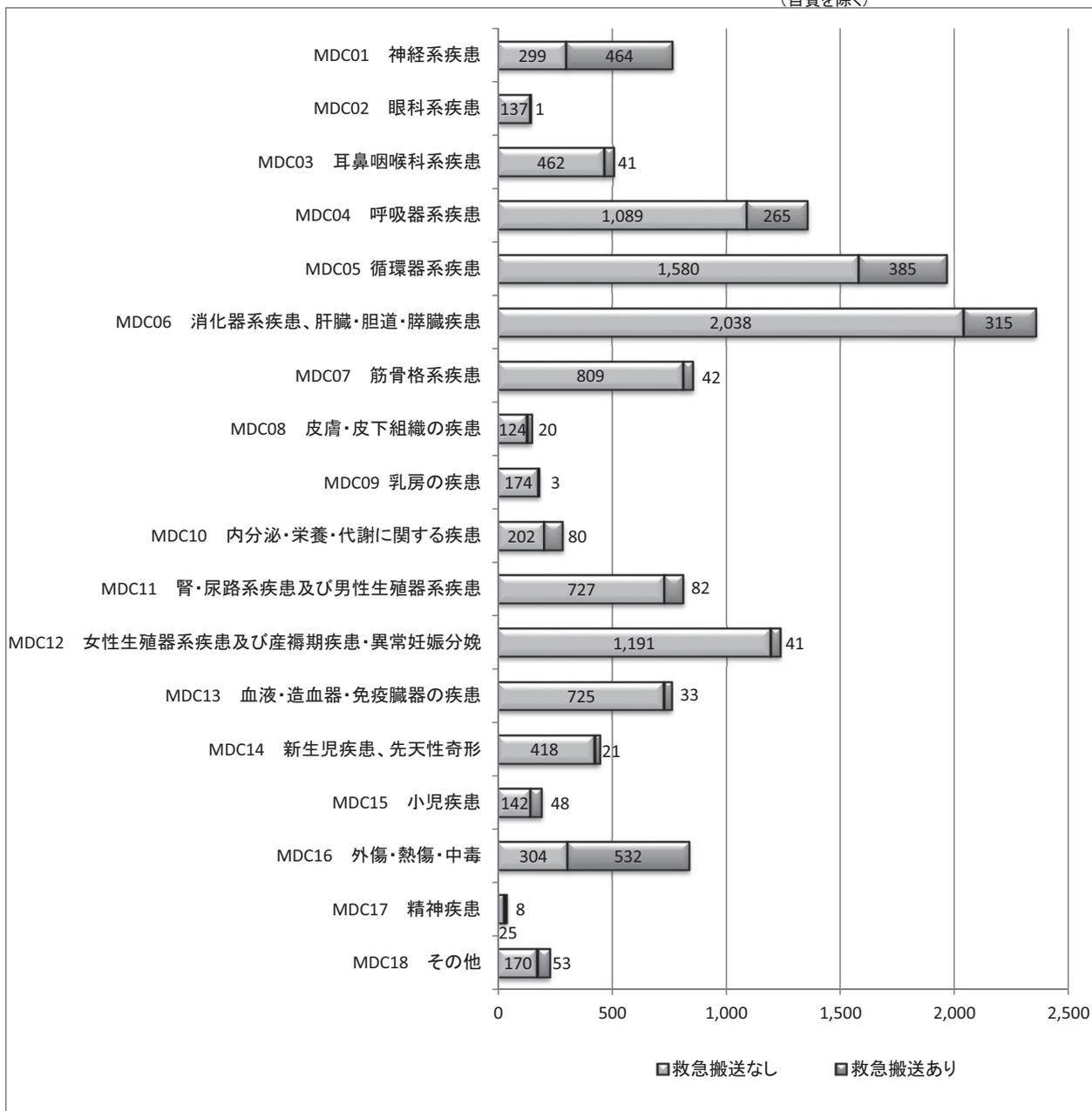
### (3) MDC別年齢別・性別退院患者数

平成29年4月1日～平成30年3月31日退院患者  
(自費を除く)

	性別	年齢階層											総計
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	
MDC01 神経系疾患	男	60	27		9	21	44	104	117	61	12		455
	女	26	9	1	3	13	23	58	61	88	25	1	308
MDC02 眼科系疾患	男	2	3	2	1	2	2	16	21	18	1		68
	女	3				5	6	12	22	18	4		70
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	男	63	16	9	16	21	32	55	54	26	1		293
	女	43	8	18	19	16	36	27	24	18	1		210
MDC04 呼吸器系疾患	男	155	17	4	2	36	49	187	245	129	27	1	852
	女	107	10	5	5	19	39	90	105	91	29	2	502
MDC05 循環器系疾患	男	3	1	2	9	38	113	327	452	292	32		1,269
	女	2	2	4	5	18	32	105	175	276	77		696
MDC06 消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患	男	71	11	8	19	87	154	436	446	221	24		1,477
	女	53	12	10	19	41	95	176	215	191	59	5	876
MDC07 筋骨格系疾患	男	14	11	8	14	43	63	125	163	60	3		504
	女	10	6	5	17	29	34	78	113	49	6		347
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	男	14	3	2	7	3	5	23	12	7	3		79
	女	12	5	2	4	6	1	12	7	9	7		65
MDC09 乳房の疾患	男			1									1
	女			3	14	31	31	52	28	16	1		176
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	男	3	4	1	6	15	12	25	23	17	3		109
	女	12	6	7	17	22	15	29	26	29	10		173
MDC11 腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	男	48	9	6	20	16	48	114	157	120	11		549
	女	14	14	10	11	24	26	51	48	49	7	6	260
MDC12 女性生殖器系疾患 及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	男												0
	女	3	7	175	549	295	99	61	36	7			1,232
MDC13 血液・造血管器・免疫臓器の疾患	男	13	3	8	13	13	58	118	125	42	3		396
	女	23	11	8	16	24	23	121	92	39	4	1	362
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	男	221	9	1	2			1					234
	女	187	5	1	4	1	4	1	2				205
MDC15 小児疾患	男	81	6	1	3	7		2	1	2	1		104
	女	64	4	5	2	2	3	1	1	4			86
MDC16 外傷・熱傷・中毒	男	25	39	20	25	32	46	69	86	70	24	2	438
	女	23	13	3	10	19	24	47	93	107	57	2	398
MDC17 精神疾患	男		9		1	2		2					14
	女		17	1		1							19
MDC18 その他	男	22	3	5	3	5	10	31	20	26	7		132
	女	8	2	3	4	4	3	13	25	20	9		91
総 計		1,385	302	339	849	911	1,130	2,569	2,995	2,102	448	20	13,050

#### (4) MDC別退院患者・救急搬送数

平成29年4月1日～平成30年3月31日退院患者  
(自費を除く)



※ 退院患者総数 13,050  
救急搬送総数 2,434

(5) 科別診断群分類(DPC)上位頻度表

対象:平成29年4月1日～平成30年3月31日退院患者

ペインクリニック科

総件数 4件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	080020xxxxxxx	帯状疱疹 手術・処置等1 手術・処置等2	2
2	010111xxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等1 手術・処置等2なし	1
3	06007xx99000x	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1

移植外科

総件数 69件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2 定義副傷病なし	9
2	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	8
3	180040xx01x0xx	手術・処置等の合併症 内シャント又は外シャント設置術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	8
4	180040xx02x0xx	手術・処置等の合併症 内シャント血栓除去術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	6
5	110280xx97x4xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等24あり	5
6	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	5
7	150010xxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等1 手術・処置等2なし	4
8	040070xxxx0xx	インフルエンザ、ウイルス性肺炎 手術・処置等1 手術・処置等2なし	3
9	110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	3
10	180040xx01x1xx	手術・処置等の合併症 内シャント又は外シャント設置術等 手術・処置等1 手術・処置等21あり	2

緩和ケア内科

総件数 39件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110050xx97x00x	後腹膜疾患 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	28
2	060280xxxxxxx	アルコール性肝障害 手術・処置等1 手術・処置等2	4
3	060020xx97x0xx	胃の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	1
4	110050xx99x00x	後腹膜疾患 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
5	110050xx97x01x	後腹膜疾患 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病あり	1
6	06007xx97x60x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等26あり 定義副傷病なし	1
7	12002xx97x41x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等24あり 定義副傷病あり	1
8	040040xx99000x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
9	0400800499x00x	肺炎等(市中肺炎以外かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1

眼科

総件数134件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2 片眼	53
2	020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2 両眼	33
3	020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	10
4	020240xx97xxx0	硝子体疾患 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2 片眼	5
5	020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2	4
6	020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	3
7	020360xx97xxxx	眼球の障害 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2	3
8	020210xx99x0xx	網膜血管閉塞症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	3
9	020200xx9700xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	2
10	020370xx99xxxx	視神経の疾患 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	2

## 救命救急科

総件数 560件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	100380xxxxxxx	体液量減少症 手術・処置等1 手術・処置等2	26
2	161070xxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	25
3	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	24
4	110310xx99x00x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	23
5	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	20
6	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	20
7	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	16
8	161020xxxx00x	体温異常 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	14
9	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	11
10	160200xx99x0xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	9

## 形成外科

総件数 143件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	160200xx0200xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	16
2	080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	15
3	080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)等 手術・処置等1なし 手術・処置等2	13
4	070010xx970xxx	骨軟部(椎骨を除く。)その他の手術あり 手術・処置等1なし 手術・処置等2	8
5	070570xx010xxx	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2	8
6	080250xx971xxx	褥瘡潰瘍 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2	4
7	020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	4
8	080005xx99x1xx	黒色腫 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2あり	3
9	140140xxxxxxxx	口蓋・口唇先天性疾患 手術・処置等1 手術・処置等2	3
10	090010xx05xxxx	乳房の悪性腫瘍 組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合等 手術・処置等1 手術・処置等2	3

## 血液内科・輸血科

総件数 711件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	116
2	130030xx97x40x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	86
3	130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等22あり	57
4	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等24あり	53
5	130060xx97x40x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	34
6	130010xx99x2xx	急性白血病 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等22あり	23
7	130040xx97x5xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等25あり	20
8	130030xx99x30x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等23あり 定義副傷病なし	20
9	130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等23あり	20
10	130010xx97x6xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等26あり	16

## 呼吸器外科

総件数 322件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	108
2	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	39
3	040040xx9908xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等28あり	16
4	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	14
5	040040xx99000x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	13
6	040030xx01xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除等 手術・処置等1 手術・処置等2	11
7	040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	9
8	040150xx97x00x	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	8
9	040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	7
10	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり	7

## 呼吸器内科

総件数 525件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	100
2	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	89
3	040110xxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等1 手術・処置等2なし	37
4	040040xx99000x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	22
5	040040xx9908xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等28あり	19
6	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	14
7	040160xxxxxxx	呼吸器の結核 手術・処置等1 手術・処置等2	10
8	040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	9
9	040040xx9906xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等26あり	9
10	040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり	9

## 産科

総件数 693件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等 手術・処置等1 手術・処置等2	166
2	120170xx99x0xx	早産、切迫早産 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	83
3	120260xx01xxxx	分娩の異常 子宮破裂手術等 手術・処置等1 手術・処置等2	75
4	120170xx01x0xx	早産、切迫早産 子宮破裂手術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	67
5	120260xx99xxxx	分娩の異常 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	46
6	120260xx02xxxx	分娩の異常 骨盤位娩出術等 手術・処置等1 手術・処置等2	44
7	120180xx99xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	43
8	120160xx01xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 子宮破裂手術等 手術・処置等1 手術・処置等2	30
9	120160xx99xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	19
10	120180xx02xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 骨盤位娩出術等 手術・処置等1 手術・処置等2	16

## 児童精神科

総件数 27件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170050xxxxxxx	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 手術・処置等1 手術・処置等2	13
2	170060xxxxxxx	その他の精神及び行動の障害 手術・処置等1 手術・処置等2	8
3	170020xxxxxx1x	精神作用物質使用による精神および行動の障害 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病あり	1
4	010260xxxxxxx	ウェルニッケ脳症 手術・処置等1 手術・処置等2	1
5	170030xxxxxxx	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 手術・処置等1 手術・処置等2	1
6	160690xx01xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 脊椎、骨盤脱臼親血的手術等 手術・処置等1 手術・処置等2	1
7	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1
8	161070xxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	1

## 耳鼻咽喉科

総件数 434件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	030230xxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患 手術・処置等1 手術・処置等2	63
2	030350xxxxxxx	慢性副鼻腔炎 手術・処置等1 手術・処置等2	52
3	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	46
4	03001xx01000x	頭頸部悪性腫瘍 頭部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	27
5	030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2	23
6	030440xx01xxxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術 手術・処置等1 手術・処置等2	22
7	030390xx99xxxx	顔面神経障害 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	19
8	03001xx97x3xx	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等23あり	14
9	03001xx97x00x	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	12
10	030360xxxxxxx	副鼻腔嚢胞、鼻前庭嚢胞 手術・処置等1 手術・処置等2	11

## 腫瘍内科

総件数 49件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060020xx97x0xx	胃の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	6
2	06007xx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	4
3	060035xx97x00x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	3
4	060020xx97x4xx	胃の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等24あり	3
5	060020xx99x00x	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	3
6	060060xx99x00x	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	2
7	060020xx97x60x	胃の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等26あり 定義副傷病なし	2
8	060340xx99x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	2
9	060035xx99x00x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	2
10	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	2

## 循環器内科

総件数 1,661件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等11あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	545
2	050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	267
3	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1,3あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	84
4	050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等1 手術・処置等2なし	57
5	050080xx9910xx	弁膜症(連合弁膜症を含む。) 手術なし 手術・処置等11あり 手術・処置等2なし	55
6	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	55
7	050030xx97000x	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	43
8	050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等12あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	40
9	050080xx9700xx	弁膜症(連合弁膜症を含む。) その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし	26
10	050163xx9910xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 手術なし 手術・処置等11あり 手術・処置等2なし	23

## 小児科

総件数 1,214件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	185
2	140010x199x00x	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	150
3	140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	76
4	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	70
5	150010xxxxxx0x	ウイルス性腸炎 手術・処置等1 手術・処置等2なし	65
6	030270xxxxxx0x	上気道炎 手術・処置等1 手術・処置等2	51
7	150040xxxxxx0x	熱性けいれん 手術・処置等1 手術・処置等2なし	38
8	040070xxxxxx0x	インフルエンザ、ウイルス性肺炎 手術・処置等1 手術・処置等2なし	28
9	040100xxxxxx00x	喘息 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	24
10	150070x0xx01xx	川崎病(2歳以上) 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり	22

## 小児外科

総件数 201件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060160x101xxxx	鼠径ヘルニア(15歳未満) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア 手術・処置等1 手術・処置等2	48
2	11022xx02xxxx	男性生殖器疾患 陰嚢水腫手術等 手術・処置等1 手術・処置等2	27
3	060170xx02xxxx	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁瘢痕ヘルニア等 手術・処置等1 手術・処置等2	19
4	140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2	18
5	060160x102xxxx	鼠径ヘルニア(15歳未満) 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側) 手術・処置等1 手術・処置等2	14
6	060150xx99xx0x	虫垂炎 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	5
7	11022xx04xx0x	男性生殖器疾患 包茎手術 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	4
8	140590xx99xxxx	停留精巣 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	3
9	140430xx01x1xx	腸管の先天異常 小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術等 手術・処置等1 手術・処置等2あり	3
10	070560xx97x0xx	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	3

## 消化器外科・一般外科

総件数 1,583件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	85
2	060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	84
3	060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	78
4	060020xx02x0xx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	56
5	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	54
6	060050xx02x1xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) 肝切除術 部分切除等 手術・処置等1 手術・処置等2あり	51
7	060040xx02x00x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 肛門悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	47
8	060020xx01x0xx	胃の悪性腫瘍 胃全摘術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	36
9	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	35
10	060010xx97x40x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。) その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	31

## 消化器内科

総件数615件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	105
2	060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 手術・処置等1 手術・処置等2なし	72
3	060140xx97x00x	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの) その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	37
4	060350xx99x00x	急性膵炎 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	22
5	060010xx02x00x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。) 内視鏡的食道粘膜切除術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	21
6	060090xx02xxxx	胃の良性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術等 手術・処置等1 手術・処置等2	19
7	06007xx97x00x	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	16
8	060100xx03xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 手術・処置等1 手術・処置等2	15
9	060300xx97100x	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。) その他の手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	14
10	060130xx02000x	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患) 内視鏡的消化管止血術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	14

## 心臓血管外科

総件数 371件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050080xx01010x	弁膜症(連弁膜症を含む。) ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	32
2	050163xx03x10x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステントグラフト内挿術 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	29
3	050163xx02x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 腹部大動脈(枝血管の再建を伴うもの)等 手術・処置等1 手術・処置等2あり	27
4	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの(親血的なもの)等 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	26
5	050163xx97x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	19
6	050170xx02010x	閉塞性動脈疾患 動脈形成術、吻合術 指(手、足)の動脈等 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	16
7	050163xx01x10x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。) 上行大動脈及び月部大動脈の同時手術等 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	12
8	050163xx99000x	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	12
9	050080xx0111xx	弁膜症(連弁膜症を含む。) ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等 手術・処置等11あり 手術・処置等2あり	11
10	050161xx97x10x	解離性大動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	10

## 腎臓内科・膠原病科

総件数 149件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	27
2	110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2 定義副傷病なし	22
3	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	12
4	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	11
5	110280xx99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	7
6	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等1 手術・処置等2あり	7
7	180040xx02x0xx	手術・処置等の合併症 内シャント血栓除去術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	5
8	070560xx99x0xx	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	5
9	130111xxxx0xx	アレルギー性紫斑病 手術・処置等1 手術・処置等2なし	3
10	140450xx99xxxx	胆道の先天異常(拡張症) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	3

## 整形外科

総件数 1,258件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	070343xx99x1xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2あり	130
2	160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等 手術・処置等1 手術・処置等2	117
3	070341xx020xxx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)頸部 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)後方又は後側方固定等 手術・処置等1なし 手術・処置等2	66
4	070341xx99xx0x	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)頸部 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	60
5	070343xx01x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。)前方椎体固定等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	47
6	160690xx01xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)脊椎、骨盤脱臼観血的手術等 手術・処置等1 手術・処置等2	44
7	070350xx99xxxx	椎間板変性、ヘルニア 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	42
8	07040xx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等 手術・処置等1 手術・処置等2	34
9	070343xx97x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	34
10	070230xx01xxxx	膝関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等 手術・処置等1 手術・処置等2	26

## 生殖医療科

総件数 7件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120300xxxxxxxx	人工授精に関する合併症 手術・処置等1 手術・処置等2	3
2	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等 手術・処置等1 手術・処置等2	1
3	120130xx97xxxx	異所性妊娠(子宮外妊娠) 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2	1
4	120100xx01xx0x	子宮内膜症 子宮全摘術等 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	1
5	120100xx02xxxx	子宮内膜症 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等 手術・処置等1 手術・処置等2	1

## 総合診療科

総件数 262件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	23
2	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	13
3	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	10
4	080011xx99xxxx	急性膿皮症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	10
5	100380xxxxxxxx	体液量減少症 手術・処置等1 手術・処置等2	6
6	180010x0xx0xx	敗血症(1歳以上) 手術・処置等1 手術・処置等2なし	6
7	161020xxxx00x	体温異常 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	6
8	110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	5
9	040081xx97x0xx	誤嚥性肺炎 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	5
10	0400801499x002	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし A-DROP スコア2	5

## 糖尿病・内分泌内科

総件数 68件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	100070xx99x100	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし 85歳未満	15
2	100180xx99000x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	14
3	120200xx99xxxx	妊娠中の糖尿病 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	12
4	100070xx99x000	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし 85歳未満	6
5	100070xx99x010	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病あり 85歳未満	3
6	100140xx99x00x	甲状腺機能亢進症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	3
7	100140xx99x2xx	甲状腺機能亢進症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2あり	3
8	100080xx99x100	その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし 85歳未満	2
9	06007xxx99000x	脾臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	2
10	100070xx97x100	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。) 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし 85歳未満	1

乳腺・甲状腺外科

総件数 268件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	100130xx97x0xx	甲状腺の良性結節 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	39
2	090010xx02x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 単純乳房切除術(乳腺全摘術)等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	37
3	090010xx03x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの) 手術・処置等1 手術・処置等2なし	36
4	090010xx99x40x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2あり 定義副傷病なし	30
5	100020xx01x0xx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	29
6	090010xx01x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	10
7	090010xx99x6xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等26あり	9
8	090010xx99x5xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等25あり	8
9	090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	6
10	100140xx97xxxx	甲状腺機能亢進症 手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2	5

脳神経外科

総件数 657件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010040x199x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10以上) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	39
2	010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	39
3	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	32
4	010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	29
5	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	27
6	010060x2990501	脳梗塞(脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等25あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	27
7	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	25
8	010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	20
9	010061xxxxx0xx	一過性脳虚血発作 手術・処置等1 手術・処置等2なし	16
10	010060x2990201	脳梗塞(脳卒中発症3日以内、かつ、JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等22あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	15

泌尿器科

総件数 468件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2	113
2	110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	48
3	110420xx97xx0x	水腎症(その他) その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	46
4	11012xx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2 定義副傷病なし	35
5	110200xx04xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的レーザー前立腺切除術 手術・処置等1 手術・処置等2	26
6	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	21
7	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	16
8	110060xx01x0xx	腎盂・尿管の悪性腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	9
9	110290xx01x0xx	急性腎不全 経皮的腎(腎盂)瘻造設術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	8
10	11013xxx06xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等 手術・処置等1 手術・処置等2	8

皮膚科

総件数 22件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	080011xx99xxxx	急性膿皮症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	4
2	080020xxxxxxx	帯状疱疹 手術・処置等1 手術・処置等2	3
3	080110xxxxx0xx	水疱症 手術・処置等1 手術・処置等2なし	3
4	161000x199x0xx	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷(Burn Index10未満) 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	2
5	080190xxxxxxx	脱毛症 手術・処置等1 手術・処置等2	2
6	180040xx99x0xx	手術・処置等の合併症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2なし	1
7	130111xxxxx0xx	アレルギー性紫斑病 手術・処置等1 手術・処置等2なし	1
8	080230xx99xxxx	皮膚色素異常症 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	1
9	050180xx99xxxx	静脈・リンパ管疾患 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	1
10	080011xx971xxx	急性膿皮症 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2	1

## 婦人科

総件数 532件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	12002xx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮筋腫摘出(枝出)術 腔式等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	79
2	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等 手術・処置等1 手術・処置等2	76
3	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等 手術・処置等1 手術・処置等2	35
4	120010xx99x50x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等25あり 定義副傷病なし	30
5	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等 手術・処置等1 手術・処置等2	28
6	120010xx99x70x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等27あり 定義副傷病なし	28
7	120100xx01xx0x	子宮内膜症 子宮全摘術等 手術・処置等1 手術・処置等2 定義副傷病なし	25
8	120070xx01xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 開腹によるもの等 手術・処置等1 手術・処置等2	21
9	12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 手術・処置等2なし	19
10	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等24あり 定義副傷病なし	16

## 放射線療法科

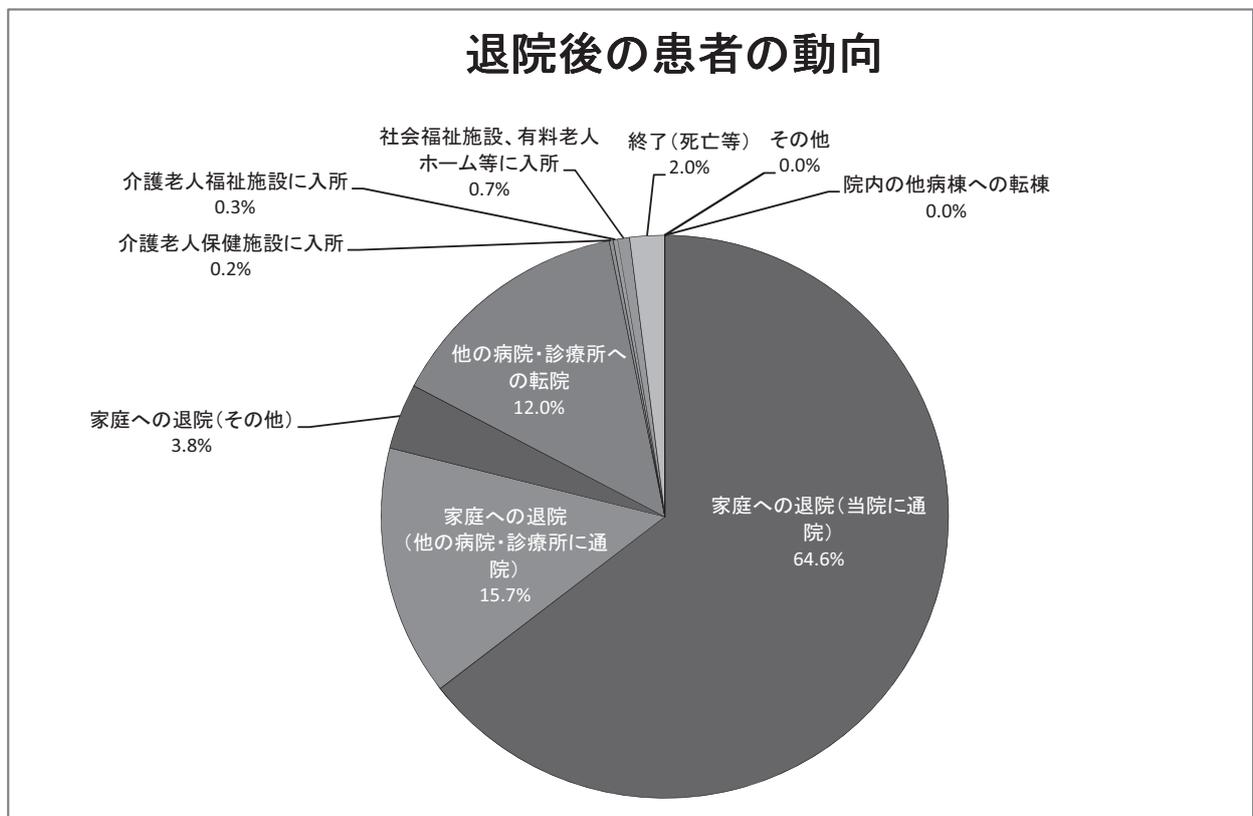
総件数 4件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) その他の手術あり 手術・処置等1 手術・処置等2なし	2
2	070020xxxx0xxx	神経の良性腫瘍 手術・処置等1なし 手術・処置等2	1
3	060320xx99xxxx	肝嚢胞 手術なし 手術・処置等1 手術・処置等2	1

## (6) 退院後の患者の動向

対象：平成29年4月1日～平成30年3月31日退院患者

退院先	件数
院内の他病棟への転棟	0
家庭への退院(当院に通院)	8,424
家庭への退院(他の病院・診療所に通院)	1,877
家庭への退院(その他)	492
他の病院・診療所への転院	1,846
介護老人保健施設に入所	29
介護老人福祉施設に入所	34
社会福祉施設、有料老人ホーム等に入所	89
終了(死亡等)	257
その他	2
総計	13,050



## 5 悪性新生物統計

### (1) 悪性新生物 主な手術・処置件数

平成29年度

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
<b>C00-C14 口唇、口腔および咽頭</b>				
C01 ~C06	舌、舌根<基底>部、口腔、歯肉	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	6	23.0
		舌悪性腫瘍手術 亜全摘	4	32.3
		化学療法ありかつ放射線療法なし	4	10.8
		口腔底悪性腫瘍手術	3	14.7
		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	3	73.7
		セツキシマブ	2	8.0
C07~C08	耳下腺、唾液腺	舌悪性腫瘍手術 切除	2	14.5
		耳下腺悪性腫瘍手術 全摘	4	27.3
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	3.0
		顎下腺悪性腫瘍手術	1	14.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	55.0
C10	中咽頭	化学療法なしかつ放射線療法あり	1	56.0
		咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	3	18.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	2	25.5
C12	梨状陥凹<洞>	化学療法ありかつ放射線療法なし	1	3.0
		咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	8	28.8
		化学療法ありかつ放射線療法なし	5	14.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	4	38.5
		頸部郭清術 片側	2	14.0
		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	2	46.5
		セツキシマブ	1	7.0
C13	下咽頭	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術(頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む)	1	34.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	2	69.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	3.0
C14	中咽頭	喉頭腫瘍摘出術 直達鏡によるもの	1	6.0
		喉頭粘膜焼灼術(直達鏡)	1	6.0
<b>C15-C26 消化器</b>				
C15	食道	中咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	1	13.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	88	8.4
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	36	15.0
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	17	39.4
		化学療法ありかつ放射線療法あり	16	16.3
		内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	13	11.2
		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	7	28.6
		食道悪性腫瘍手術(消化管再建)(頸・胸・腹操作)	5	57.0
		創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径5cm未満)	4	29.8
		化学療法なしかつ放射線療法あり	4	31.0
		気管・気管支ステント留置術(硬性鏡)	2	62.0
		中心静脈注射	2	8.5
		食道狭窄拡張(バルーン)	1	10.0
		食道ステント留置術	1	3.0
		C16 ~C17	胃・小腸	放射線療法
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	1			7.0
抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1			38.0
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥	57			9.4
胃切除術 悪性腫瘍手術	39			19.4
胃全摘術 悪性腫瘍手術	37			24.8
腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	29			17.6
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜)	17			8.4
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	16			7.4
腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	8			15.5
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	4			27.3
胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む)	4			26.3
胃局所切除術	3			11.0
膵頭部腫瘍切除術(血行再建を伴う腫瘍切除術)	2			27.0
大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術(腸切除を伴う)	2			30.0
小腸切除術 悪性腫瘍手術	2	13.5		
噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	2	17.5		
膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又	2	28.5		
トラスツマブ	2	32.0		
大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術(腸切除を伴わない)	2	18.0		

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C16 ~C17	胃・小腸	腸瘻造設術	1	14.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	1	25.0
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍ポリープ)	1	8.0
		後腹膜悪性腫瘍手術	1	101.0
		バクリタキセル	1	18.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	8.0
C18 ~C21	結腸、直腸、肛門	結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	75	18.2
		腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	58	12.4
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの	28	10.4
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	28	17.4
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	16	16.1
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	11	17.5
		直腸切除・切断術 低位前方切除術	11	34.9
		早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	10	8.3
		直腸切除・切断術 切除術	9	25.1
		人工肛門造設術	9	13.7
		内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	8	11.3
		化学療法ありかつ放射線療法あり	6	23.3
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	6	3.2
		内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	6	7.0
		内視鏡的胆道ステント留置術	4	11.0
		直腸切除・切断術 切断術	4	31.5
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	2	13.0
		小腸切除術 悪性腫瘍手術	2	23.0
直腸切除・切断術(超低位前方切除術)	1	13.0		
結腸切除術(小範囲切除)	1	8.0		
化学療法なしかつ放射線療法あり	1	22.0		
C22	肝および肝内胆管	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	46	5.4
		肝切除術 部分切除	13	13.9
		肝切除術 亜区域切除	9	11.3
		内視鏡的胆道ステント留置術	6	11.5
		肝切除術(1区域切除(外側区域切除を除く))	6	29.2
		肝切除術(2区域切除)	6	13.8
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(2cm以内)(その他)	5	5.2
		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(その他)	4	13.3
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	2	24.0
		放射線療法	1	40.0
		肝切除術 3区域切除以上のもの	1	17.0
		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(止血術)	1	9.0
		経皮的胆管ドレナージ術	1	12.0
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	1	40.0
		肝切除術 外側区域切除	1	10.0
		肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	1	13.0
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(2cmを超える)(その他)	1	4.0
		胆管悪性腫瘍(膵頭十二指腸切除、肝切除(葉以上)伴う)	1	13.0
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連)(2cm以内)(腹腔鏡)	1	4.0
		抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	35.0
		C23 ~C24	胆のう<嚢>、胆道	内視鏡的胆道ステント留置術
膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又	15			32.9
経皮的胆管ドレナージ術	6			22.5
肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	3			30.3
胆嚢悪性腫瘍手術(肝切除(亜区域切除以上))	2			14.0
血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(その他)	2			5.0
内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみ)	2			45.0
胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に局限するもの(リンパ節郭清を含む)	2			9.5
中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	1			8.0
胆嚢悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除を伴う)	1	36.0		
C25	膵	内視鏡的胆道ステント留置術	38	7.7
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又	12	34.3
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	9	8.6
		膵体尾部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術)	6	21.2
		膵頭部腫瘍切除術(血行再建を伴う腫瘍切除術)	4	24.8
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	4	9.0
		胆管・膵管造影法	4	4.3
		化学療法ありかつ放射線療法あり	3	39.7
		膵頭部腫瘍切除術(膵頭十二指腸切除術)	3	15.7
膵全摘術	3	25.3		

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C25	腭	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む)	2	25.5
		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(止血術)	2	25.0
		経皮的胆管ドレナージ術	2	14.5
		内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみ)	2	10.0
		パクリタキセル(アルブミン懸濁型)	1	2.0
		腭体尾部腫瘍切除術(血行再建を伴う場合)	1	37.0
<b>C30-C39 呼吸器および胸腔内臓器</b>				
C31	副鼻腔	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(全摘)	1	6.0
		鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 切除	1	9.0
C32	喉頭	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	5	55.0
		喉頭悪性腫瘍手術 全摘	3	35.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	18.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	2	58.0
		喉頭腫瘍摘出術 直達鏡によるもの	1	5.0
		咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	1	13.0
		頸部郭清術 両側	1	17.0
C34	気管支および肺	化学療法ありかつ放射線療法なし	133	6.6
		気管支ファイバースコープ	94	4.5
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	51	9.9
		ベムレキセドナトリウム水和物	38	7.3
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	20	26.7
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	16	7.5
		経皮的針生検法	14	13.3
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	10	8.4
		ゲフィチニブ	10	14.2
		経気管肺生検法	10	2.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	9	17.8
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	8	11.3
		化学療法ありかつ放射線療法あり	6	27.7
		アフチニブマレイン酸塩	3	18.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	3	32.3
		エルロチニブ	3	13.0
		創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径5cm未満)	2	14.5
		中心静脈注射	2	7.5
		気管・気管支ステント留置術(硬性鏡)	2	25.5
		超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法(EBUS-TBNA)	2	2.5
		ペバシズマブ	2	6.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1	8.0
		肺悪性腫瘍手術(部分切除)	1	9.0
		セリチニブ	1	7.0
		放射線療法	1	20.0
		気管切開術	1	23.0
肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除	1	20.0		
C37	胸腺	縦隔悪性腫瘍手術 広汎摘出	3	26.3
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	18.5
		放射線療法	1	33.0
		胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	1	7.0
C38	心臓、縦隔及び胸膜	縦隔悪性腫瘍手術 広汎摘出	1	11.0
<b>C40-C41 骨および関節軟骨</b>				
C40	(四)肢の骨および関節軟骨	メトレキサート大量療法	3	9.7
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	5.0
		骨悪性腫瘍手術(下腿)	1	11.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	5.0
		骨悪性腫瘍手術(上腕)	1	24.0
<b>C43-C44 皮膚</b>				
C43~C44	皮膚およびその他の皮膚	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	9	12.8
		インターフェロン	3	8.0
		皮膚悪性腫瘍切除術 広汎切除	2	47.0
		全層植皮術(25cm <sup>2</sup> 未満)	2	13.5
		耳下腺悪性腫瘍手術 全摘	2	78.0
		自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付き)	1	43.0
		全層植皮術(100cm <sup>2</sup> 以上200cm <sup>2</sup> 未満)	1	53.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	10.0

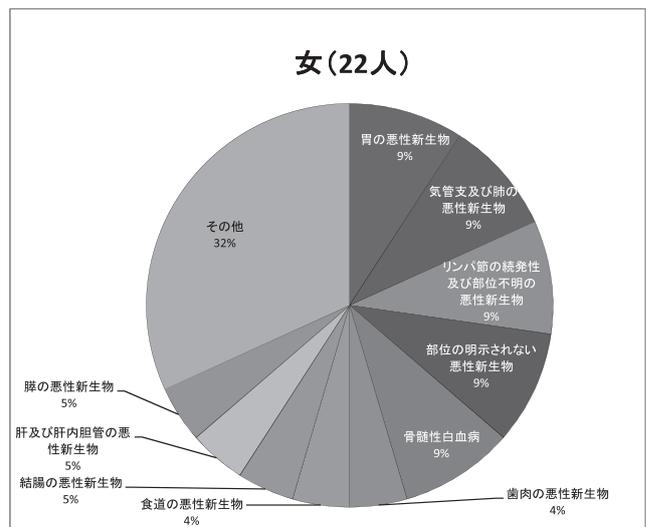
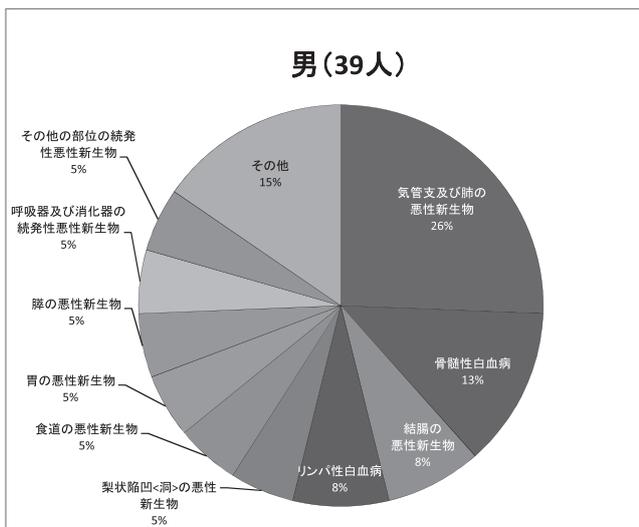
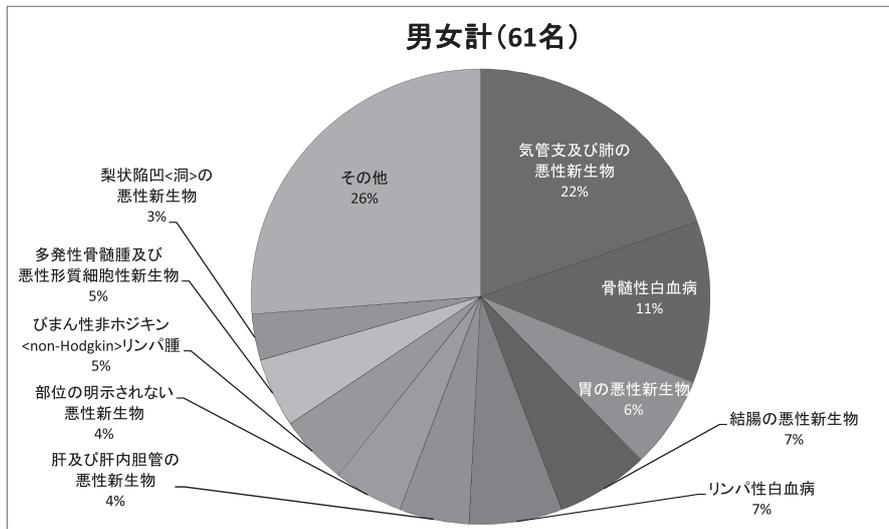
コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
<b>C45-C49 中皮および軟部組織(悪性新生物)</b>				
C45	中皮腫	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1	3.0
		腸間膜腫瘍摘出術(腸切除を伴わないもの)	1	8.0
		ペメトレキセドナトリウム水和物	1	5.0
C48	後腹膜および腹膜	後腹膜悪性腫瘍手術	2	35.0
		結腸切除術 全切除、垂全切除又は悪性腫瘍手術	1	33.0
C49	その他の結合組織および軟部組織	化学療法ありかつ放射線療法なし	26	14.6
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	3	12.0
		自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付き)	1	28.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	50.0
		四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	1	36.0
		四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(上腕)	1	5.0
<b>C50 乳房</b>				
C50	乳房	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	35	5.5
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	34	9.5
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	14	4.2
		パクリタキセル	12	3.4
		トラスツズマブ	8	2.8
		ドセタキセル水和物	8	5.6
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋	8	10.0
		エリプリンメシル酸塩	8	6.1
		シクロホスファミド+塩酸エビルピシンあり	7	3.4
		ゲムタビン塩酸塩	3	3.7
		創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径5cm未満)	3	17.7
		放射線療法	3	33.3
		ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	3	11.3
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	3	4.3
		乳腺悪性腫瘍手術 単純乳房切除術(乳腺全摘術)	3	7.7
		トラスツズマブ エムタンシン	2	2.5
		乳腺悪性腫瘍手術 乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)	2	19.5
		乳腺腫瘍摘出術(長径5cm以上)	2	5.5
		ペバンズマブ	1	3.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	8.0
		パクリタキセル(アルブミン懸濁型)	1	5.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	23.0
		乳管腺葉区域切除術	1	6.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	1	36.0
		ベルツズマブ	1	3.0
		乳腺悪性腫瘍手術 乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)	1	17.0
		乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴う))	1	7.0
		<b>C51-C58 女性性器</b>		
C51	子宮頸(部)	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	1	21.0
C53	子宮頸(部)	化学療法ありかつ放射線療法なし	15	7.9
		子宮悪性腫瘍手術	8	15.8
		子宮頸部(腔部)切除術	4	3.0
		子宮全摘術	2	7.5
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	2	9.0
C54	子宮体部	化学療法ありかつ放射線療法あり	1	52.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	32.0
		子宮悪性腫瘍手術	8	9.4
		化学療法ありかつ放射線療法なし	4	6.5
		子宮内膜搔爬術	3	3.0
		子宮全摘術	2	9.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	6.0
		後腹膜腫瘍摘出術(腸切除を伴わないもの)	1	8.0
C56	卵巣	化学療法ありかつ放射線療法あり	1	39.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	1	62.0
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	30	6.4
		ペバンズマブ	17	4.5
		化学療法ありかつ放射線療法なし	17	6.1
		子宮付属器悪性腫瘍手術(両側)	12	16.3
		ドキソルビシン塩酸塩リポソーム製剤	7	3.9
		カルボプラチン+ドセタキセル水和物あり	6	7.7
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	3	5.7
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	3	3.3

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C56	卵巣	胆嚢摘出術	1	12.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術(腸切除を伴わない)	1	22.0
		試験開腹術	1	15.0
		子宮悪性腫瘍手術	1	39.0
C57	その他の女性生殖器	ペバシズマブ	13	8.2
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	3	8.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	35.5
		子宮付属器悪性腫瘍手術(両側)	1	89.0
<b>C60-C63 男性性器</b>				
C61	前立腺	前立腺針生検法	112	2.0
		精巣摘出術	8	5.3
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	3	12.3
		化学療法	2	4.5
		腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	2	17.5
		カバジタキセル アセトン付加物	2	10.0
		膀胱内凝血除去術	1	21.0
		経尿道的前立腺手術 電解質溶液利用のもの	1	46.0
C62	精巣<睾丸>	放射線療法	1	43.0
		精巣悪性腫瘍手術	2	4.5
<b>C64-C68 尿路</b>				
C64	腎盂を除く腎	化学療法	1	56.0
		腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	11	9.9
		腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	10	9.2
		腎(尿管)悪性腫瘍手術	2	17.0
		スニチニブリンゴ酸	2	15.5
		中心静脈注射	2	12.5
C65	腎盂	中心静脈注射	1	28.0
		腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	5	12.0
		化学療法	4	12.0
C66	尿管	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	20.0
		腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	2	11.5
		放射線療法	1	22.0
		腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	1	14.0
C67	膀胱	腎(尿管)悪性腫瘍手術	1	12.0
		経尿道的尿管ステント留置術	1	4.0
		化学療法	1	40.0
		膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	50	8.0
		化学療法	7	12.4
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	4	19.5
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	24.7
		経尿道的尿管ステント留置術	2	25.0
		経尿道的尿管ステント除去術	1	26.0
経尿道的電気凝固術	1	5.0		
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	1	16.0		
膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	1	4.0		
<b>C69-C72 眼、脳および中枢神経系その他の部位</b>				
C70	髄膜	中心静脈注射	1	11.0
C71	脳	ペバシズマブ	12	4.0
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	2	53.0
		テモゾロミド(内服薬による初発の初回治療に限る。)	1	44.0
		造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的	1	2.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	1	9.0
C72	脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物	穿頭術(トレバナチオン)	1	55.0
C72	脊髄腫瘍摘出術 髄外のもの	1	21.0	
<b>C73-C75 甲状腺およびその他の内分泌腺</b>				
C73	甲状腺	甲状腺悪性腫瘍手術 切除	16	5.4
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘	15	9.9
		レンバチニブメシル酸塩	2	10.0
<b>C76-C80 部位不明確、続発部位および部位不明</b>				
C77	リンパ節の続発性および部位不明	リンパ節摘出術(長径3cm以上)	2	6.0
		リンパ節群郭清術 鎖骨上窩及び下窩	1	8.0
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	10.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	10.0
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1	6.0

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)		
C78	呼吸器および消化器の続発性	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	26	8.2		
		肝切除術 部分切除	20	11.3		
		肝切除術 亜区域切除	8	16.0		
		内視鏡的胆道ステント留置術	5	6.8		
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	4	11.5		
		肝切除術(2区域切除)	4	17.0		
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	3	9.7		
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	13.0		
		肝切除術(1区域切除(外側区域切除を除く))	2	13.0		
		結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	2	24.5		
		直腸切除・切断術 低位前方切除術	1	11.0		
		気管支ファイバースコープ	1	2.0		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	20.0		
		直腸切除・切断術 切除術	1	12.0		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	11.0		
		胃切除術 悪性腫瘍手術	1	17.0		
		気管支腫瘍摘出術(気管支鏡等による)	1	49.0		
化学療法なしかつ放射線療法あり	1	38.0				
C79	その他の部位の続発性	放射線療法	6	22.2		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	7.3		
		胸壁悪性腫瘍摘出術(その他)	2	3.5		
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	2	50.5		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	2	22.0		
		化学療法なしかつ放射線療法あり	2	17.5		
		化学療法ありかつ放射線療法あり	2	18.0		
		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(後方又は後側方固定)	2	28.5		
		皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	2	14.5		
		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(その他)	2	5.5		
		子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	2	7.5		
		骨盤悪性腫瘍手術	1	14.0		
		腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	1	8.0		
		皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術(25~100cm2未満)	1	11.0		
		慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	1	10.0		
		C80	部位の明示なし	化学療法ありかつ放射線療法なし	2	8.5
				中心静脈注射用植込型カテーテル設置(四肢)	2	16.5
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1			17.0		
腹腔鏡下試験開腹術	1			5.0		
<b>C81-C96</b>	<b>リンパ組織、造血組織および関連組織</b>					
C81	ホジキン<Hodgkin>病	化学療法ありかつ放射線療法なし	14	20.7		
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1	33.0		
		ブレンツキシマブ ベドチン	1	13.0		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	56.0		
C82	ろ胞性[結節性]非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	リツキシマブ	28	19.9		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	7	16.3		
		造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(自家移植)	1	33.0		
		造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(自家移植)	1	21.0		
		ベンダムスチン塩酸塩	1	10.0		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	16.0		
C83	びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	リツキシマブ	110	19.9		
		化学療法ありかつ放射線療法なし	22	32.6		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	22	33.1		
		中心静脈注射	5	36.2		
		放射線療法	4	29.5		
		造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(自家移植)	4	25.5		
		造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(自家移植)	3	18.7		
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	2	46.0		
		ベンダムスチン塩酸塩	1	20.0		
		造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(同種移植)	1	87.0		
C84	末梢性および皮膚T細胞リンパ腫	化学療法ありかつ放射線療法なし	12	20.5		
		リンパ節摘出術(長径3cm以上)	2	41.0		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	1	22.0		
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	リツキシマブ	16	14.9		
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	5	28.0		
		脾摘出術	2	6.0		
		造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(自家移植)	1	31.0		
		リンパ節摘出術(長径3cm以上)	1	3.0		

コード	部位	主な手術・処置(1入院に対して主な手術・処置を1つ選択)	件数	在院日数の平均(日)
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(自家移植)	1	19.0
		ガンマグロブリン	1	9.0
		リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1	4.0
		放射線療法	1	11.0
C90	多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍	レナリドミド水和物	9	37.2
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	9	42.7
		造血幹細胞採取(末梢血幹細胞採取)(自家移植)	7	19.0
		造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(自家移植)	5	33.4
		カルフィルゾミブ	4	31.5
		ボマリドミド	3	41.7
		ボルテゾミブ	2	47.5
		シクロスポリン(点眼薬を除く。)	1	29.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	22.0
		C91	リンパ性白血病	ダサチニブ水和物
化学療法	14			43.4
化学療法ありかつ放射線療法なし	13			25.8
中心静脈注射	13			58.5
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	5			47.6
造血幹細胞移植(骨髄移植)(同種移植)	3			97.7
リンパ節摘出術(長径3cm未満)	3			44.3
イマチニブメシル酸	3			23.0
造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(同種移植)	3			168.7
モガムリズマブ	3			47.7
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	2			132.0
C92	骨髄性白血病	化学療法	39	33.7
		中心静脈注射	17	44.2
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(四肢)	8	48.4
		ダサチニブ水和物	3	21.7
		造血幹細胞移植(骨髄移植)(同種移植)	3	77.0
		ニロチニブ塩酸塩水和物	2	18.0
		ボスチニブ水和物	2	18.5
		抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	1	166.0
		造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(同種移植)	1	146.0
C93	単球性白血病	造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(同種移植)	1	159.0
		中心静脈注射	1	75.0
C95	細胞型不明の白血病	中心静脈注射	1	8.0
C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不詳の悪性新生物	造血幹細胞移植(末梢血幹細胞移植)(同種移植)	1	238.0
<b>D00-D09 上皮内新生物</b>				
D00	口腔、食道および胃の上皮内癌	内視鏡的食道粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)	7	8.9
D01	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	1	10.0
D02	中耳及び呼吸器系の上皮内癌	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	1	9.0
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	1	11.0
D04	皮膚の上皮内癌	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	3	8.0
D06	子宮頸(部)の上皮内癌	子宮頸部(腔部)切除術	11	3.0
D09	その他及び部位不明の上皮内癌	腔壁腫瘍摘出術	1	6.0

(2) 悪性新生物による死亡患者数



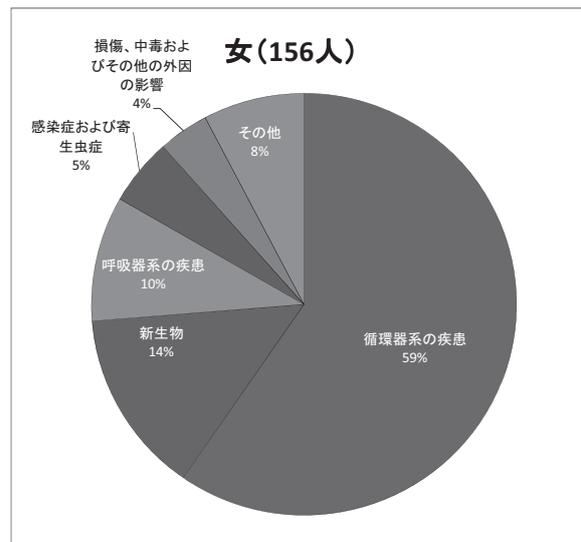
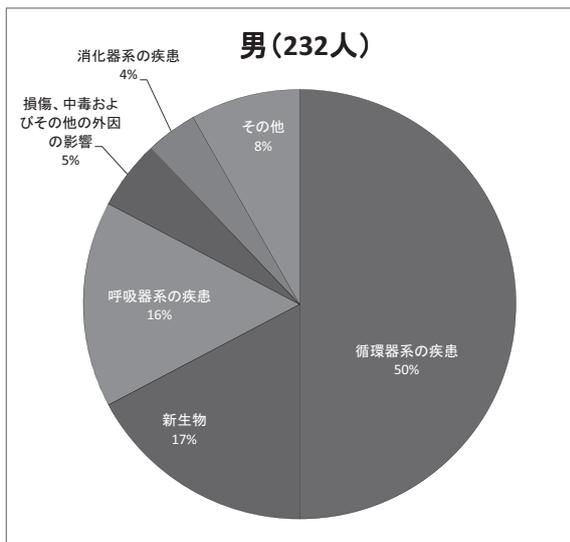
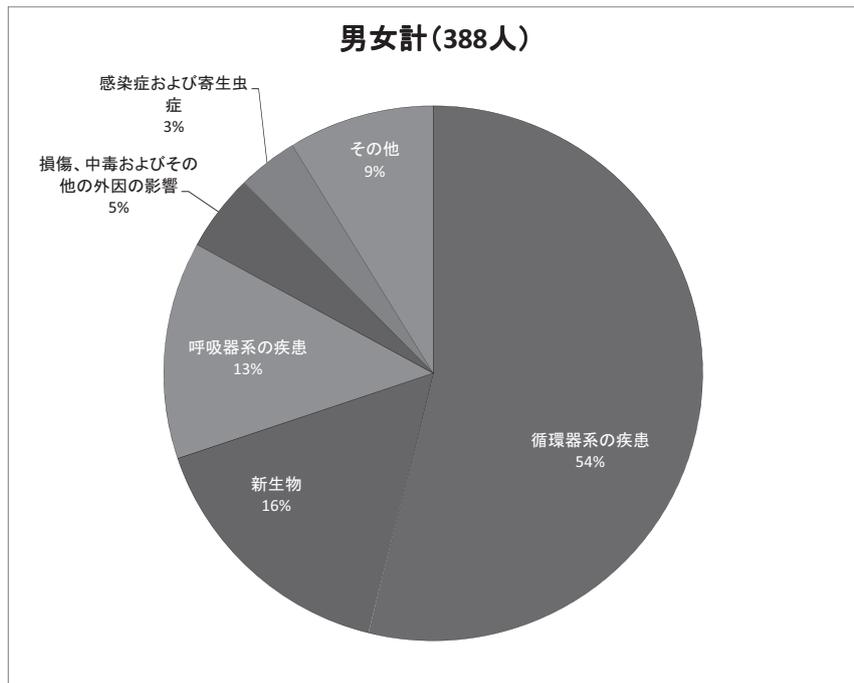
## 6 死亡患者統計 (1) 科別死亡率

診療科	退院患者数			死亡患者数				
	男	女	計	男	女	計	死亡率 (%)	平均年齢 (才)
総合診療科	137	129	266	8	1	9	3.4%	80.1
血液内科・輸血科	394	334	728	16	4	20	2.7%	67.9
糖尿病・内分泌内科	27	41	68			0	-	-
放射線療法科	1	3	4			0	-	-
腫瘍内科	27	22	49	6	2	8	16.3%	67.8
ペインクリニック科	2	2	4			0	-	-
脳神経外科	376	297	673	22	22	44	6.5%	75.8
眼科	70	66	136			0	-	-
耳鼻咽喉科	264	173	437	5		5	1.1%	82.8
歯科口腔外科	63	86	149		3	3	2.0%	62.7
呼吸器内科	381	151	532	21	7	28	5.3%	74.6
呼吸器外科	183	140	323	2	1	3	0.9%	67
循環器内科	1,089	582	1,671	27	21	48	2.9%	79.7
心臓血管外科	230	148	378	7	5	12	3.2%	75.3
乳腺・甲状腺外科	21	248	269			0	-	-
消化器内科	376	240	616	2	2	4	0.6%	81.5
消化器外科・一般外科	1,026	567	1,593	8	7	15	0.9%	72.7
泌尿器科	354	115	469			0	-	-
腎臓内科・膠原病科	86	63	149	2		2	1.3%	83.0
婦人科		533	533		2	2	0.4%	69.0
生殖医療科		7	7			0	-	-
移植外科	48	39	87			0	-	-
救命救急科	438	303	741	103	78	181	24.4%	75.7
小児科	688	545	1,233	1	1	2	0.2%	0.0
小児外科	134	71	205			0	-	-
産科		1,031	1,031			0	-	-
皮膚科	10	12	22			0	-	-
整形外科	769	607	1,376	1		1	0.1%	28.0
形成外科	83	71	154	1		1	0.6%	61.0
緩和ケア内科	26	13	39			0	-	-
児童精神科	9	18	27			0	-	-
総計	7,312	6,657	13,969	232	156	388	2.8%	74.9

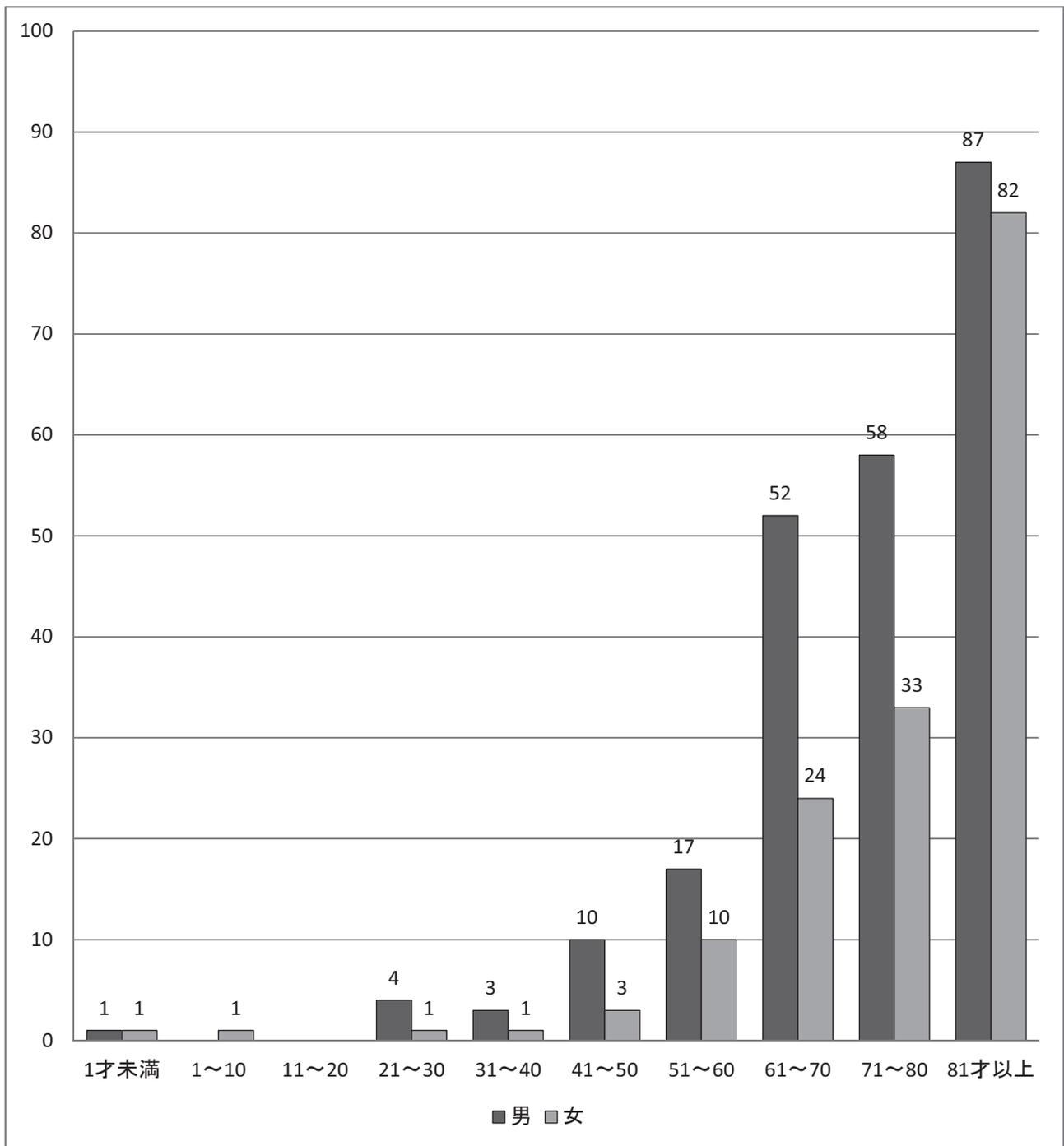
## (2) 死亡患者数

疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	計	%
I	感染症および寄生虫症	6	8	14	3.6%
II	新生物	40	22	62	16.0%
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	2		2	0.5%
IV	内分泌、栄養および代謝疾患				0.0%
V	精神および行動の障害				0.0%
VI	神経系の疾患	4	3	7	1.8%
VII	眼及び付属器の疾患				0.0%
VIII	耳及び乳様突起の疾患				0.0%
IX	循環器系の疾患	116	93	209	53.9%
X	呼吸器系の疾患	36	15	51	13.1%
X I	消化器系の疾患	9	5	14	3.6%
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	1	1	2	0.5%
X III	筋骨格系および結合組織の疾患				0.0%
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	2	1	3	0.8%
X V	妊娠、分娩及び産じょく<褥>				0.0%
X VI	周産期に発生した病態				0.0%
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	1	1	2	0.5%
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2	1	3	0.8%
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	12	6	18	4.6%
X X	傷病および死亡の外因	1			0.0%
総 計		232	156	388	100.0%

(3) 死亡患者数の割合



#### (4) 年齢別死亡患者数





(5) 死亡患者疾病順位表<性別・年齢別>

	年齢階層	患者数	順位																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
男 (232人)	1才未満	1	先天奇形、変形および染色体異常 1																	
	1-10	0																		
	11-20	0																		
	21-30	4	循環器系の疾患 2	損傷、中毒およびその他の外因の影響 1	傷病および死亡の外因 1															
	31-40	3	循環器系の疾患 3																	
	41-50	10	循環器系の疾患 8	新生物 1	消化器系の疾患 1															
	51-60	17	循環器系の疾患 9	新生物 7	消化器系の疾患 1															
	61-70	52	循環器系の疾患 22	新生物 15	呼吸器系の疾患 5	神経系の疾患 3	損傷、中毒およびその他の外因の影響 2	感染症および寄生虫症 1	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害 1	皮膚および皮下組織の疾患 1	腎尿路生殖器系の疾患 1	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 1								
	71-80	58	循環器系の疾患 33	呼吸器系の疾患 10	新生物 8	損傷、中毒およびその他の外因の影響 3	消化器系の疾患 2	感染症および寄生虫症 1	神経系の疾患 1											
	81才以上	87	循環器系の疾患 39	呼吸器系の疾患 21	新生物 9	損傷、中毒およびその他の外因の影響 6	消化器系の疾患 5	感染症および寄生虫症 4	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害 1	腎尿路生殖器系の疾患 1	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 1									
女 (156人)	1才未満	1	先天奇形、変形および染色体異常 1																	
	1-10	1	循環器系の疾患 1																	
	11-20	0																		
	21-30	1	新生物 1																	
	31-40	1	循環器系の疾患 1																	
	41-50	3	新生物 1	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 1	損傷、中毒およびその他の外因の影響 1															
	51-60	10	循環器系の疾患 5	感染症および寄生虫症 2	新生物 2	神経系の疾患 1														
	61-70	24	循環器系の疾患 10	新生物 8	損傷、中毒およびその他の外因の影響 2	感染症および寄生虫症 1	神経系の疾患 1	呼吸器系の疾患 1	皮膚および皮下組織の疾患 1											
	71-80	33	循環器系の疾患 21	新生物 5	感染症および寄生虫症 3	呼吸器系の疾患 2	消化器系の疾患 1	腎尿路生殖器系の疾患 1												
	81才以上	82	循環器系の疾患 55	呼吸器系の疾患 12	新生物 5	消化器系の疾患 4	損傷、中毒およびその他の外因の影響 3	感染症および寄生虫症 2	神経系の疾患 1											